

令和 7 年度

履修の手引き

全 日 制 普 通 科 (单 位 制)

茨 城 県 立 太 田 第 一 高 等 学 校

〒313-0005

茨城県常陸太田市栄町 58

TEL 0294-72-2115

FAX 0294-72-2119

学習について

1 本校の教育

本校では、生徒が「自ら課題を発見し、他者との協働により創造的に解決する力、主体的に学び続ける力、多様性を受容し、地球的視野で判断する力を身につける」ことを目標としています。また、各自が単位制高等学校の特色を生かし、「学力の向上を図り、自らの進路希望の実現に努める」ことができるよう指導しています。多くの生徒が大学進学を希望する本校で、進路希望の実現に足る力を身につけ、社会・世界に貢献できる人材となるよう、主体的に学習に取り組んで下さい。

2 学習の方法

＜There is no royal road to learning.＞＜学問に王道なし＞といわれます。

昔から学習者は、最適な学習方法を模索してきましたが、この言葉に示されるように、残念ながら万人に通じる学問の王道はありません。しかし、各自に合った学び方、教科・科目に適した学習計画は存在します。まずは教科担当の先生のアドバイスのもとに高校での学びに取り組みましょう。次に、自分に合った学習方法を考え、実際に試してみましょう。学習方法についても探究的な視点を持って、自分なりに検証し確立していくことが、一見遠回りに見えても、持続的かつ確かな学力の伸長には欠かせません。また、進路の目標を設定することも大切です。目標に向かって学習時間を確保し、計画を立て、スマールステップで近づき、達成するイメージを持って努力しましょう。

3 学習の心構え

- (1) 高等学校の「学習」は将来の基礎となることを忘れないこと。
- (2) 遅刻、早退、欠席を無くして生活のリズムを確立すること。
- (3) 授業中の活動に積極的に参加し、疑問に思うことを大切にし、調べたり、質問したり、話し合ったりして学びを深めること。
- (4) 中学校の学習と比べて進度が速く、内容も難しくなるので、家庭学習も毎日必ず行うこと。「学年の数字 + 1 時間」が 標準的な家庭学習時間とされています。

全日制課程普通科－単位制－について

I 単位制とは

1 単位について

高等学校では科目の授業を受け（これを「履修」という）、定期試験などによって評価し一定以上の成果が認められた場合に、この科目の週間に応じて各年度毎に単位が与えられることになっています。生徒の側からすれば単位が得られた（これを「修得」という）という言い方になります。生徒の修得する単位数はその科目の1週間の授業時数と一致しています。

学校が準備している教科・科目の単位数（週当たり授業時間数）を年次毎に一覧にしたもののが「教育課程表」です。教育課程表の共通・選択の欄にある数字、これが各科目の週当たりの授業時間数で、その科目の単位数となります。

2 全日制課程普通科－単位制－について

現在の各高等学校の教育システムは、次の(ア)(イ)(ウ)の中から1つずつの方法を選んだ形で構成されています。

(ア)	全日制課程	定時制課程	通信制課程
(イ)	普通科	専門学科（農業、工業、商業科など）	総合学科
(ウ)	学年制	単位制	

本校は以前は「全日制課程－普通科－学年制」でしたが、平成15年度入学生から「全日制課程－普通科－単位制」へ変更になりました。

全日制課程普通科の学年制は、学年毎に定められた教科・科目の単位を修得して学年を進級していく、基本的には3年間で卒業していくシステムです。一方、全日制課程普通科の単位制は学年という枠を取り払って、3年間に卒業に必要な教科・科目の単位を修得して卒業していくシステムです。年次毎に単位を修得して卒業に必要な単位数以上を修得すれば、3年で卒業することになります。しかし、卒業に必要な単位数が3年間で修得できなかった場合には、卒業が認められず4年目の在籍（4年次）ということになります。

3 普通科－単位制－の教育課程について

単位制の普通科では学年制の普通科と比べて、選択科目をはるかに多く設けることが可能ですので、生徒の皆さんの多様化した進路にきめ細かく対応できることになります。

本校では、入学生のほとんどが、卒業後に上級学校へ進学することを目標としているので、進学に対応した教育課程を設けています。選択科目を大幅に設けていることから、国公立及び私立大学、短期大学、専門学校など進学全般に柔軟に対応でき、生徒の多様な進路目標に沿った学習ができます。

4 教科・科目の単位修得について

各年次で学習する教科・科目を一覧にしたものを「教育課程表」といいます。この表の各年次の欄の数字、例えば1年次の言語文化の共通の欄は「3」となっていますが、これは言語文化という科目を週3時間で1年間学習することを意味しています。そして、授業への出席状況、取組、課題などの学習状況がある一定以上と認められると、科目を「履修」した、さらに定期考査の成績状況等で一定以上の成果が認められると、言語文化という科目を「3単位修得」したということになります。

また、科目によっては2年間に渡って学習するものもあります。例えば、教育課程表の国語の科目、論理国語の欄は次のようになっています（下表参照）。

教科	科目	1年次		2年次				3年次			
		共通		文系		理系		文系		理系	
		共通	選択	共通	選択	共通	選択	共通	選択	共通	選択
国語	言語文化	3									
	論理国語			2		2		2		2	

これは国語の論理国語という科目は1年次には学習せず、2年次及び3年次に学習することになっており、

2年次に週2時間、3年次に週2時間授業があることを示しています。そして最終的に認められれば、現代文の単位が4単位修得できるということになります。このような積み重ねによって、卒業に必要な教科・科目の単位数を修得すれば卒業ということになります。

5 教科・科目について

中学校と違って、高校のそれぞれの教科にはたくさんの科目が設けられています。その中にはすべての高校生が必ず学習しなければならない「必履修科目」と、自分の進路や適性、興味・関心によって選択して学習する「選択履修科目」があります。単位制の普通科では選択履修する科目を学年制の普通科よりもはるかに多く用意して、生徒のみなさんの多様な進路等によりきめ細かく対応できるようにしています。

また、選択履修科目の中には学校独自の科目（これを「学校設定科目」といいます）を設けて、より幅広い科目選択ができるようにしています。例えば、「王朝物語研究Ⅰ」や「数学探究Ⅰ」などがこれにあたります。

6 学習する教科・科目の選択について

1年次には基礎基本である必履修科目を重点的に学習し、2年次以降は用意された教科・科目の中から進路、適性、興味・関心に応じて選択し、学習することになります。そのため、1年次は全員がほぼ同じ科目を学習することになり、クラス単位の学習が基本になりますが、2年次以降は選択科目の違いからクラス毎の学習は少なくなります。

2・3年次での科目的選択の仕方については、各年次で皆さんの将来の進路等についての指導やガイダンスを行い、どのような科目選択をすれば、みなさんが将来の人生において自己実現が図れるのかアドバイスを行っていきます。その際の科目選択の目安として、2年次では「文系」「理系」の2パターン、3年次では「文系1」「文系2」「理系1」「理系2」の4パターンの選択モデルを用意しましたので、これを参考にして自分の時間割を作ることができます。迷ったり困ったりしたときにはクラス担任やカリキュラム担当の先生に相談することができるようになっています。

7 進路目標が変わった場合について

年次の途中で科目を変えることはできませんが、次の年次（4月）からは予定していた科目を、変更した進路目標に応じて選択し直すことができます（担任の先生等に相談してください。希望科目が選択できない場合もあります）。学年制のコース制と比べて進路変更にはるかに柔軟に対応できます。

8 単位制による年次や学級活動について

単位制は学年の枠を取り扱うという考え方から、「学年」という集団の概念はなくなるのではないかと考えるかもしれません、そんなことはありません。学習集団としての学年の形は教育上有意義なものですので、単位制では呼び方が、1年次、2年次、3年次と変わりますが、学校行事や各種活動の基本的な活動単位としています。

また、学級（ホームルーム）についても変わりありません。学級担任・担任サポーターがいて、SHR、LHRなどの学級活動を行い、各種の学校行事、例えば体育大会や文化祭（本校では青龍祭）などへクラス単位で参加します。

9 学校行事や生徒会活動、部活動について

いすれも単位制以外の高校と変わりません。儀式的行事、体育的行事、文化的行事など多彩な学校行事を予定しています。この中には生徒会が中心となって企画・運営するものが多くあります。また、部活動については文化部、運動部ともに可能な限り多くの部を準備しています。

II 単位制教育課程の特徴

1 開設科目

本校は単位制の高校です。この単位制の特徴を生かし、ほぼ全員が上級学校に進学という進路状況です。そこで、多様な能力・適性・進路・興味・関心などに応えられるよう教育課程を編成しています。

共通履修科目		すべての本校生徒が必ず履修しなければならない科目
1年次	現代の国語、言語文化、歴史総合、公共、数学Ⅰ、数学A、化学基礎、生物基礎、体育、保健、英語コミュニケーションⅠ、論理・表現Ⅰ、家庭基礎、総合的な探究の時間（青龍タイム）	
2年次	論理国語、地理総合、数学Ⅱ、数学B、体育、保健、英語コミュニケーションⅡ、論理・表現Ⅱ、情報Ⅰ、総合的な探究の時間（青龍タイム）	
3年次	論理国語、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅲ、体育、総合的な探究の時間（青龍タイム）	
選択必履修科目		すべての本校生徒が必ず選択し履修しなければならない科目
1年次	音楽Ⅰ 又は 美術Ⅰ 又は 書道Ⅰ	
類型必修選択科目		類型によって必ず選択しなければならない学校指定の科目
2年次	文学国語、古典探究、地理総合、世界史探究 又は 日本史探究、物理基礎、地学基礎、化学、物理、又は、生物、又は、地学	
3年次	文学国語、古典探究、地理探究、地理探究 又は 政治・経済、日本史探究 又は 世界史探究、日本史研究B 又は 世界史研究B、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学C、数学探究Ⅲ、地学基礎、物理、化学、生物、地学、国際探究	
自由選択科目		類型に用意されている科目から自由に選択できる科目
国語	作家研究、王朝物語研究Ⅰ、現代の問題研究、文流日記文学研究、論語研究	
地歴	地理研究A、日本史研究A、世界史研究A	
公民	公民研究	
数学	数学探究Ⅰ、数学探究Ⅱ、数学探究Ⅲ	
理科	生物探究	
芸術	音楽Ⅱ、美術Ⅱ、書道Ⅱ 音楽実技研究Ⅰ、音楽実技研究Ⅱ、デザイン、テッサン、書の世界Ⅰ、書の世界Ⅱ	
英語	国際探究	
家庭	フードデザイン	
情報	情報Ⅱ	

2 日課表

始業時刻 8:30

	平常日課 55分 6時間授業	短縮日課 50分 6時間授業		一斉試験 50分
SHR	8:30~ 8:35	SHR	8:30~ 8:35	SHR
1時限	8:40~ 9:35	1時限	8:40~ 9:30	1時限
2時限	9:45~10:40	2時限	9:40~10:30	2時限
3時限	10:50~11:45	3時限	10:40~11:30	3時限
昼休み	11:45~12:35	昼休み	11:30~12:20	昼休み
4時限	12:35~13:30	4時限	12:20~13:10	4時限
5時限	13:40~14:35	5時限	13:20~14:10	5時限
6時限	14:45~15:40	6時限	14:20~15:10	6時限
清掃等	15:40~16:00	清掃等	15:10~15:30	清掃等

3 授業

単位制だからといって、授業が他校より難しいということはありません。他の普通高校と同じ内容の教科書を使って学習します。ただ、高校に入ると数学や英語が難しいと感じ、苦手意識を持つ生徒が多くいます。本校では、一人一人の生徒を大切にし、個性・能力を十分伸長させるために下記のような授業を実施しています。

（1）少人数による授業

多くの科目の中から各自が学びたい科目を自由に選択するので、1つの科目を受講する生徒の数は、1クラスの人数より少なくなります。少人数で自分の興味・関心・進路に合った科目を受講するので、効率のよい学習ができます。当たり前のことですが、予習・復習をしっかりやる必要があります。また、英語や数学では、1クラスを2グループ、2クラスを3グループに分けた授業を実施し、生徒一人ひとりへの細やかな対応ができるよう工夫しています。

（2）習熟度別授業

生徒一人一人の個性や能力には違いがあり、得意教科や不得意教科も異なります。得意な生徒にはさらに学力の向上を図り、不得意な生徒には基礎を徹底することにより、理解力を深めることができます。将来どのような進路に進もうとも、困ることのない学力と学習習慣を身につけるため、特に学習プロセスが重要となる英語と数学で、習熟度別授業が考えられます。自分のレベルに合った授業内容と進度が生徒一人一人の理解を促し、学習することの「喜び」や「満足感」を与えると考えています。

（3）T・Tによる授業

T・T（team teaching）とは複数の指導者による学習活動のことです。授業を進める上で、必要な場合には複数の教員がチームを組んで支援に当たります。「情報」や「家庭」は実習的要素が多く、コンピュータ操作その他に大きな個人差があるため、一人の教員による一斉授業では生徒一人ひとりに対応できません。

4 卒業

卒業するためには、本校で定めた単位数以上の単位を修得することが必要です。

III 履修登録について

履修登録

1年次：殆ど必履修科目のため、全員がほぼ共通の科目を学びます。

本校では芸術の教科について選択科目を用意していますので、どの科目を選択するかを決定しなければなりません。

芸術：(音楽Ⅰ又は 書道Ⅰ 又は 美術Ⅰ)

※ () 内から1科目を必ず選択します。

履修登録への流れ

将来の進路を考えながら、類型や学習する教科・科目を決定します。文系と理系の希望者数でクラス数を決定します。

7月中旬	第1回履修ガイダンス
9月中旬	第2回履修ガイダンス
9月下旬	希望調査
10月中旬	生徒面談
11月中旬	保護者面談
11月下旬	履修科目登録

2年次：文系では英語・国語・地歴の単位数が多くなり、理系では数学・理科の単位数が多くなります。

また、文系では地歴について、理系は理科について選択科目を用意しています。

文系 地歴：(世界史探究 又は 日本史探究)

理系 理科：(物理 又は 生物)

※ () 内から1科目を必ず選択します。

履修登録への流れ

将来の進路を考えながら、類型や学習する教科・科目を決定します。

7月中旬	第1回履修ガイダンス
9月上旬	第2回履修ガイダンス
9月中旬	第3回履修ガイダンス
10月中旬	生徒面談
10月下旬	希望調査
11月中旬	保護者面談
11月下旬	履修科目登録

3年次：文系1・文系2・理系1・理系2のパターンに分かれます。

自分の進路希望・興味・関心に応じた科目選択をすることで、自分の時間割が作成できます。

学校設定科目から自分の進路に合わせて科目を選択できます。

例：王朝物語研究・公民研究・数学探究・生物探究・国際探究など

履修ガイダンス・進路ガイダンス計画

※時期・名称変更あり

月	1年次	2年次	3年次
3	合格者説明会 ・科目選択登録 ・教科書等購入		
4	第1回進路希望調査 第1回生徒面談 教科ガイダンス	第1回進路希望調査 第1回生徒面談 生徒個人別時間割作成	第1回進路希望調査 第1回生徒面談 生徒個人別時間割作成
5	進路ガイダンス ・進路設計について ・職業について	進路ガイダンス ・進路設計について ・職業について	
6	キャリア教育講座※	キャリア教育講座※	保護者面談
7	進路ガイダンス ・履修パターンについて 大学見学会※	進路ガイダンス ・履修パターンについて 大学見学会※	総合型・学校推薦型選抜希望者説明会
8	大学見学会※	大学見学会※	総合・推薦対策講座※
9	第2回進路希望調査 履修科目 科目選択ガイダンス 進路講演会(外部講師)※ 年次PTA	第2回進路希望調査 履修科目 科目選択ガイダンス 年次PTA	第2回進路希望調査 共通テスト出願説明会
10	第2回生徒面談	第2回生徒面談	第2回生徒面談保護者
11	第1次履修科目登録 保護者面談 第2次履修科目登録	第1次履修科目登録保護者 面談 第2次履修科目登録	面談
12	履修登録の最終確認	履修登録の最終確認	
1		大学・学部・学科研究 受験科目研究	共通テスト直前指導
2	第3回進路希望調査	第3回進路希望調査	
3	進学懇談会(3年生合格体験)	進学懇談会(3年生合格体験)	卒業式

履修モデルパターンの例

◇ 履修モデルパターン ◇

共通履修		
1年次	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	
現代の国語 言語文化 歴史総合 公共 数学Ⅰ 数学A 化学基礎 生物基礎 体育 保健 音楽 美術 書道 英語コミュニケーションⅠ 論理・表現Ⅰ 家庭基礎 タイム 青龍 HR		
2年次	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	
文系 論理国語 文学国語 古典探究 地理総合 日本史探究 世界史探究 数学Ⅱ 数学B 地学基礎 体育 保健 英語コミュニケーションⅡ 論理・表現Ⅱ 情報Ⅰ 青龍 タイム HR		
理系 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33		
論理国語 文学国語 古典探究 地理総合 数学Ⅱ 数学B 化学 物理基礎 生物 地学 体育 保健 英語コミュニケーションⅡ 論理・表現Ⅱ 情報Ⅰ 青龍 HR		
文系1 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33		
論理国語 文学国語 古典探究 政治経済 日本史探究 世界史探究 地歴学設 数学Ⅱ 数学C 地学基礎 理科学設 体育 英語コミュニケーションⅢ 論表Ⅲ タイム 青龍 HR		
論理国語 文学国語 古典探究 地理探究 政治経済 数学Ⅱ 数学C 地学基礎 理科学設 体育 英語コミュニケーションⅢ 論表Ⅲ タイム 青龍 HR		
文系2 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33		
論理国語 文学国語 古典探究 政治経済 日本史探究 世界史探究 地歴学設 国際探究 選択科目 体育 英語コミュニケーションⅢ 論表Ⅲ タイム 青龍 HR		
論理国語 文学国語 古典探究 地理探究 政治経済 国際探究 選択科目 体育 英語コミュニケーションⅢ 論表Ⅲ タイム 青龍 HR		
理系1 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33		
論理国語 古典探究 地理探究 政治経済 数学Ⅲ 数学C 物理 生物 地学 化学 体育 英語コミュニケーションⅢ 論表Ⅲ タイム 青龍 HR		
自然科学類型(理系2) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33		
論理国語 古典探究 地理探究 政治経済 数学Ⅱ 数学探究 数学C 物理 生物 地学 化学 体育 英語コミュニケーションⅢ 論表Ⅲ タイム 青龍 HR		

令和7年度教育課程編成表

学校番号	10	学校名	茨城県立太田第一高等学校	学校長名	谷津 勉						
課程名		全日制	学科名	普通科	令和5, 6, 7年 4月 入学生徒用						
教科	単位数または時数 科 目			総単位数	年 次 別 配 当						
					1	2	3				
						文系	理系	文系1	文系2	理系1	理系2
国 語	現代の国語	2	2								
	言語文化	3	3								
	論理国語	4,6		3	2	3	3			2	2
	古典探査	4,6		3	2	3	3			2	2
	*作家研究	0,2						[2]			
	*王朝物語研究I	0,2						[2]			
	*現代の問題研究	0,2						[2]			
	*女流日記文学研究	0,2						[2]			
	*論語研究	0,2						[2]			
地理歴史	地理総合	2,3		2	3						
	地理探査	3,4				4	3	4	3	-3	-3
	歴史総合	2	2								
	日本史探査	0,6		4		2	2	2	2		
	世界史探査	0,6				1	1	1	1		
	*地理研究A	0,2						[2]	[2]	[2]	
	*日本史研究A	0,2						[2]	[2]	[2]	
	*世界史研究A	0,2						[2]	[2]	[2]	
	*日本史研究B	0,2						2	2	2	
	*世界史研究B	0,2						1	1	1	
公民	公共共	2	2								
	政治・経済	0,3				3	3	3	3	-	-
	*公民研究	0,2						[2]	[2]	[2]	
数 学	数学I	3	3								
	数学II	4,7		4	4	3					3
	数学III	0,5									5
	数学A	2	2								
	数学B	2		2	2						
	数学C	0,2				2				2	2
	*数学探査I	0,2							[2]		
	*数学探査II	0,2							[2]		
	*数学探査III	0,2									2
理 科	物理基礎	0,2			-2						
	物理	0,7			2					-5	-5
	化学基礎	2	2								
	化学	0,6		3					3	3	
	生物基礎	2	2								
	生物	0,7			—						
	地学基礎	0,2,4		2	—	2					
保健体育	地学	0,7									
	*生物探査	0,2				2			[2]		
音楽	体育	7	2	2	2	3	3	3	3	3	3
	保健	2	1	1	1						
芸 術	音楽I	0,2									
	音楽II	0,2									
	美術I	0,2	2								
	美術II	0,2							[2]		
	書道I	0,2									
	書道II	0,2									
	*音楽実技研究I	0,2							[2]		
	*音楽実技研究II	0,2							[2]		
	*デッサン	0,2							[2]		
	*デザイン	0,2							[2]		
外 国 語	*書の世界I	0,2							[2]		
	*書の世界II	0,2							[2]		
家庭	英語コミュニケーション	4	4								
	英語コミュニケーション	4		4	4						
	英語コミュニケーション	4				4	4	4	4	4	4
	論理・表現I	2	2								
	論理・表現II	2		2	2						
	論理・表現III	2				2	2	2	2	2	2
情報	*国際探査	0,3				3					
	家庭基礎	2	2								
情報	情報I	2,4		2	2				[2]		
	其 他	91~93	31	31	31	31	29~31	31	31		
職業	情報	2,4		2	2				[2]		
	（専門）科目の履修単位数	0,2									
総合的な探査の時間	青龍タイム	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	履修単位数合計	96	32	32	32	32	32	32	32	32	32
ホームルーム活動の適当な配	組 数					5					
	授業1コマの時間										
	55 分										
	学期制										
	2										

備考1 3年次の文系2では[]のうちから3科目を選択する。

科目名		単位数	課程・学科・学年		使用教科書名(出版社)			
現代の国語		2	普通科・1年次		精選 現代の国語(三省堂)			
科目的目標		言葉による見方・考え方を働きかせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようとする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						教材及び教科等横断的な視点等
時期 月 週	単元名	領域	指導 時数	単元で育成する資質・能力 <単元の評価規準>	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	
4月	ぐうぜん、うたがう、読書のすすめ	話す・聞く	6	① 知識・技能 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 ② 思考・判断・表現 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・読書の意義と効用について進んで理解を深め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討し、学習課題にそって発表しようとしている。	ノート リアクション ペーパー 考査 授業時の反応	1 筆者にとって「読書の原体験」はどのようなものだったのか、整理する。 2 本文の「自分の人生の……巻き込まれてしまうのです。」とはどういうことか、筆者の考えをまとめる。 3 筆者の読書に対する考え方をまとめる。 4 「数々の偶然性」によって新しい発見をした体験を発表し、話し合う。 5 グラフを手がかりに、読書の意義について話し合う。	文章をもとに感じたこと、考えたことをその根拠も含めて伝え合う。	
5月～6月	水の東西	読む	7	① 知識・技能 ・文、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 ② 思考・判断・表現 ・目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・進んで文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解し、自分の考えが的確に伝わるよう、粘り強く根拠の示し方や説明の仕方を考え、課題にそって表現の仕方を工夫して紹介文を書こうとしている。	記述の点検 (ノート) 授業時の発言・考査	1 筆者は、「鹿おどし」と「噴水」とを、どのようなものとして捉えているか、本文中の対句的表現を手がかりに整理する。 2 筆者が「『鹿おどし』は、……いえるかもしれない。」という理由を、本文の内容にそってまとめること。 3 この文章の構成や展開の特徴を指摘し、その効果について話し合う。	文章の構成や展開の特徴、その効果について考えたことをまとめ、話し合う。	
7月 1週～3週	ネットが崩す公私の境	書く	10	① 知識・技能 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ② 思考・判断・表現 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・「著者」という言葉を手がかりに情報メディアのあり方を考える。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 推論の学習の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉	記述の点検 (ノート) 授業時の発言・考査	1 活版印刷術の成立以降、「著者」はどのような存在であったか、本文からまとめる。 2 インターネットを中心とする電子メディアが登場したことによって、どのような大きな変化が起こっているか、本文からまとめる。 3 インターネットなど電子メディアの普及によって起こる問題にはどのようなものがあるか、話し合う。	複数の文章や図表を読み、現代の情報社会の課題や可能性についてまとめ話し合う。	情報 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について
9月 1週～4週	大切な会話—ワールド・カフェへの招待	話す・聞く	8	① 知識・技能 発表の際に、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができている。 ② 思考・判断・表現 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉	記述の点検 (ノート) 授業時の発言・考査	1 本文にある「集合的な知恵」とはどのような知恵のことか。次の言葉を手がかりに考え、説明する。 ・「ワールド・カフェの会話は、……前提として設計されています。」 2 筆者のいう「大切な会話」とは、どのような会話のことか、説明する。 3 コミュニケーション・ネットワークの発達によって目に見えるようになった「私たちの集団的な苦境」について、話し合う	私たちの身近な問題の中から「大切なテーマ」を発見し、ワールド・カフェを開催する。	

10月 1週～ 4週	コインは円形か	読む	6	<p>① 知識・技能 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉</p>	記述の点検 (ノート) 授業時の発言・考查	<p>1 三つに分かれた文章の、それぞれの部分の要旨をまとめた。 2 本文の次の部分はどのようにことをいっているか、わかりやすく説明する。 ①「論理的に、二つの面は同格だと言うべきであろう」 ②「人間の認識一般は、ある立場からの有限のアプローチである」 ③「レトリックは発見的認識への努力に近い」 3 筆者のいう「レトリック」とはどのようなものか、まとめる。 4 筆者の言う「精神硬化現象」とはどういうことか、身近な例をあげて話し合う。</p>	三つの文章を読み比べ、相互理解を深めるために今何が必要か、意見文を書き、話し合う。	美術				
11月 1週～ 3週	人がアンドロイドとして甦る未来	書く	10	<p>① 知識・技能 筋道を立てて論述する仕方を学ぶ中で、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉</p>	記述の点検 (ノート) 授業時の発言・考查	<p>1 「アンドロイドが可能とする特別な魔法」とは何か、説明する。 2 「アンドロイドとして甦らせることは、写真や映像の記録を残すこととは本質的に異なる」とはどういうことか、説明する。 3 筆者の提起している「私たちの社会はアンドロイドとどのように付き合っていくべきなのか」という問題について自分の考えをまとめる。</p> <p>4 「人がアンドロイドとして甦る未来」について、どのように考えるか、話し合う。</p>	アンドロイドの登場がもたらす新たな問題について考察し、文章にまとめる。	公共				
11月 4週～ 12月 3週	自然をめぐる合意の設計	話す・聞く	6	<p>① 知識・技能 本学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。</p> <p>② 思考・判断・表現 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉</p>	記述の点検 (ノート) 授業時の発言・考查	<p>1 本文にある「遠景の語り」「近景の語り」とは、それどのようなことか、説明する。 2 「『都会の人は……暮らしているんです』」とはどのようなことか、具体例をあげて説明する。</p> <p>3 「そうした語りがもつ多面性や多様性はいかにして担保されるのだろうか」とあるが、この問い合わせ筆者はどのように考えているのか、説明する。</p> <p>4 「自然保護」をめぐって意見が対立している問題には、どのようなものがあるか。新聞や書籍、インターネットで調べて発表する。</p>	自分の考えについてスピーチをしたり、それを聞いて、同意したり、質問したり、論拠を示して反論したりする活動。	地理 生物 情報				
1月 2週～ 4週	対談「国際貢献」ではなく「国際協力」であるコラム ガンベリ砂漠を目指せ	読む	7	<p>① 知識・技能 筋道を立てて論述する仕方を学ぶ中で、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題をとらえなおしたりすること。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉</p>	記述の点検 (ノート) 授業時の発言・考查	<p>1 「『貢献』ではなくて、『協力』なんですよ」とはどういうことか、対談の内容に即して説明する。</p> <p>2 「対談」という表現形式の特徴について、具体的に指摘する。</p> <p>3 次の問題について、具体例をあげて話し合う。 ・私たちにできる「国際協力」 ・私たちの身近にある「多文化共生」</p>	提示された問題について図書館やインターネットで調べ、理解したことや解釈してことをまとめて発表する。					
2月1週～3月末	生物と無生物のあいだ	書く	10	<p>① 知識・技能 推論の仕方を理解し使うことができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 目的に応じて、文章や図表などの含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて、評価したりとともに、自分の考えを深めることができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉</p>	記述の点検 (ノート) 授業時の発言・考查	<p>1 本文の「生命という名の動的な平衡」とはどういうことか、整理する。</p> <p>2 「これを乱すような操作的な介入を行えば、……ダメージを受ける。」とあるが、「操作的な介入」にあたる体験を本文から抜き出して、整理する。</p> <p>3 私たちの社会で「操作的な介入」にあたる事例を調べ、発表し合う。</p>	医療や介護、生命倫理など、「生命」をめぐる問題をテーマにして小論文を書く。					
領域ごとの指導時間数の計	話すこと・聞くこと		20									
	書くこと		30									
	読むこと		20									
指導時間数の合計			70									

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)					
言語文化	3	普通科・1年次	精選 言語文化(三省堂)					
科目の目標		(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようとする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようとする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						
時期 月 週	単元名	領域	指導 時数	単元で育成する資質・能力 <単元の評価規準>	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	教材及び教科 等横断的な視 点
4月	児のそら寝	読む	7	① 知識・技能 古文の入門的な文章である説話を読んで、文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解できる。 ② 思考・判断・表現 説話をいう文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に关心と親しみを持ち、これからの中の学習に見通しをもって取り組んでいる。(授業態度) /発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。(発表・授業時の態度)	記述の点検 (ノート、リアクションペーパー)、 考査	①歴史的仮名遣いの読み方を学ぶ。 ②古語と現代語の違いについて理解し、辞書の使い方について学ぶ。 ③説話の面白さについて、内容・表現・歴史的背景などの点から理解する。 ④品詞について理解する。特に体言と用言の区別、用言の品詞の区別を理解する。	作品の「構成」を意識して四コマ漫画を描く。	
5月	漁夫之利 借虎威	読む	7	① 知識・技能 古典の世界に親しむために、故事成語の歴史的・文化的背景などを理解している。 ② 思考・判断・表現 故事成語の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に关心と親しみを持ち、これからの中の学習に見通しをもって取り組んでいる。(授業態度) /発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。(発表・授業時の態度)	記述の点検 (ノート、リアクションペーパー)、 考査	①漢文訓説について理解する。 ②「故事成語」に表れた教訓や風刺などを読み取る。 ③各教材に描かれた当時の中國の人々の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。	教科書で取りあげた二編以外の故事成語について意味や由来を調べ、それを使って短い文章をつくり、発表する。	中国史を踏まえた本文の把握 世界史
6月	羅生門	読む	13	① 知識・技能 「今昔物語集」と読み比べて、時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解している。 ② 思考・判断・表現 「羅生門」に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に关心と親しみを持ち、これからの中の学習に見通しをもって取り組んでいる。(授業態度) /発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。(発表・授業時の態度)	記述の点検 (ノート、リアクションペーパー)、 考査	①時代背景、時刻や場所の設定、「下人」と「老婆」のやりとりや小説の結末を通して、人間が自分の進退や生死などに関する選択や決断で苦悩するときの思考のあり方を考察する。 ③周到に計算された描写や比喻などの表現技巧を整理し、その効果と小説世界の有機的な構造を考える。 ④「参考」として掲載されている『今昔物語集』の文章と比較して、その違いをまとめる。	本文と「今昔物語」と読み比べ、グループで話し合って気づいたことや共通点・相違点をまとめる。	
7月 1週～ 3週	絵仙師良秀	読む	9	① 知識・技能 古典の世界に親しむために、説話の歴史的・文化的背景などを理解している。 ② 思考・判断・表現 説話をいう文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に关心と親しみを持ち、これからの中の学習に見通しをもって取り組んでいる。(授業態度) /発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。(発表・授業時の態度)	記述の点検 (ノート、リアクションペーパー)、 考査	①歴史的仮名遣いについて理解する。 ②用言の活用の種類と活用形を理解する。 ③物語に描かれた平安時代の人々の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。 ④説話の特色について理解する。	作品の「構成」を意識して四コマ漫画を描く。	

9月	伊勢物語	書く	12	<p>① 知識・技能 「伊勢物語」を読み、言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 「伊勢物語」の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に关心と親しみを持ち、これから学習に見通しをもって取り組んでいる。(授業態度) /発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。(発表・授業時の態度)</p>	記述の点検 (ノート、リアクションペーパー)、 考査	<p>①助動詞・係り結びの法則について理解する。 ②接続助詞「ば」の用法について理解する。 ③物語の内容を把握し、和歌に託された人物の心情を読み取る。 ④物語に描かれた平安時代の人々の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。 ⑤歌物語の特色や、『伊勢物語』について理解する。</p>	教科書の中から一つ好きな詩歌を選んで、「歌物語」を作る。
				<p>① 知識・技能 古典の世界に親しむために、古典をよむために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 「土佐日記」や日記文学の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 小説の文体の特徴を捉え、表現を工夫しながら人称を書き換え、今までの学習を生かして小説における人称の選択と表現効果について考え、理解を深めようとしている。</p>	記述の点検 (ノート、プリント)、 授業時の反応、 考査	<p>①助詞について理解する。 ②日記の内容を把握し、作者の心情を理解する。 ③日記に描かれた平安時代の人々の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。 ④日記の特色や、『土佐日記』について理解する。</p>	選んだ古典の物語を古典特有の表現や語句に気をつけながら一人称に換えて書く。
				<p>① 知識・技能 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 「漢詩」に描かれた情景や心情を読み取る。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に关心と親しみを持ち、これから学習に見通しをもって取り組んでいる。(授業態度) /発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。(発表・授業時の態度)</p>	記述の点検 (ノート、リアクションペーパー)、 考査	<p>①「望郷」の二作品と井伏鱒二の試詩とを読み比べ、それぞれの味わいについて話し合う。 ②「友情」の二作品を読み比べ、感じたことを話し合う。 ③中国の歴史・文化について理解する。 ④漢詩の特色を声に出して味わう。</p>	教科書に掲載された作品から登場人物を一人選び、特徴を挙げながら人物評を書く。
11月	漢詩	読む	10	<p>① 知識・技能 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 「漢詩」に描かれた情景や心情を読み取る。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に关心と親しみを持ち、これから学習に見通しをもって取り組んでいる。(授業態度) /発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。(発表・授業時の態度)</p>	記述の点検 (ノート、リアクションペーパー)、 考査	<p>①「望郷」の二作品と井伏鱒二の試詩とを読み比べ、それぞれの味わいについて話し合う。 ②「友情」の二作品を読み比べ、感じたことを話し合う。 ③中国の歴史・文化について理解する。 ④漢詩の特色を声に出して味わう。</p>	中国史を踏まえた本文の把握 世界史
				<p>① 知識・技能 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 「平家物語」の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に关心と親しみを持ち、これから学習に見通しをもって取り組んでいる。(授業態度) /発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。(発表・授業時の態度)</p>	記述の点検 (ノート、リアクションペーパー)、 考査	<p>①音便、敬語法、対句表現について理解する。 ②物語の内容を把握し、登場人物の心情を理解する。 ③物語に描かれた平安時代末期の武人の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。 ④軍記物語や、『平家物語』の特色について理解する。 ⑤語りの文体としての軍記物語の特色を声に出して味わう。</p>	琵琶法師の語る「平家物語」を聞き、グループに分かれて考えたことを話し合い、まとめ、「語り」の特徴を理解する。
				<p>① 知識・技能 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 「平家物語」の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に关心と親しみを持ち、これから学習に見通しをもって取り組んでいる。(授業態度) /発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。(発表・授業時の態度)</p>	記述の点検 (ノート、プリント)、 授業時の反応、 考査	<p>①音便、敬語法、対句表現について理解する。 ②物語の内容を把握し、登場人物の心情を理解する。 ③物語に描かれた平安時代末期の武人の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。 ④軍記物語や、『平家物語』の特色について理解する。 ⑤語りの文体としての軍記物語の特色を声に出して味わう。</p>	琵琶法師の語る「平家物語」を聞き、グループに分かれて考えたことを話し合い、まとめ、「語り」の特徴を理解する。
12月 1週～ 3週	平家物語	読む	11	<p>① 知識・技能 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 「平家物語」の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に关心と親しみを持ち、これから学習に見通しをもって取り組んでいる。(授業態度) /発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。(発表・授業時の態度)</p>	記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)、 授業時の反応、 グループ発表	<p>①音便、敬語法、対句表現について理解する。 ②物語の内容を把握し、登場人物の心情を理解する。 ③物語に描かれた平安時代末期の武人の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。 ④軍記物語や、『平家物語』の特色について理解する。 ⑤語りの文体としての軍記物語の特色を声に出して味わう。</p>	音楽

1月	雑説	読む	12	<p>① 知識・技能 古典の世界に親しむために、古典をよむために必要な文語の決まりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 「雑説」の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの中見通しをもって取り組んでいる。(授業態度) /発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。(発表・授業時の態度)</p>	記述の点検 (ノート、リアクションペーパー)、 考査	<p>①「雑説」の論旨を文章の展開に沿って把握する。 ②中国の歴史・文化について理解する。 ③漢文の特色を声に出して味わう。</p>	<p>「雑説」の寓意が当てはまる現代の事例を探し、「雑説」の文章構成を参考しながら、意見文を書く。</p>	中国史を踏まえた本文の把握 世界史
2月 3月	韻文の表現	書く	12	<p>① 知識・技能 近現代詩を通して、我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>② 思考・判断・表現 近現代詩を創作する際には、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの中見通しをもって取り組んでいる。(授業態度) /発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。(発表・授業時の態度)</p>	記述の点検 (ノート、リアクションペーパー)、 考査	<p>①「小説なる古域のほとり」について、各連の内容を整理し、詩の主題をまとめる。 ②「時計」について、詩句はどのような様子を表現しているか、説明する。 ③「サーカス」について、「ゆあーん ゆよーん ゆやゆよん」は何を表現しているか、話し合う。 ④「シジミ」の詩句から読み取れる「私」の思いについて、話し合う。 ⑤「I was born」について、「父」が「蝶々」の話をしたのはなぜか説明し、「僕」がどのようなことを感じたかを考える。 ⑥五編の詩をもとに、日本の近現代史の変遷を調べる。</p>	<p>「詩」に描かれた情景や、作者の心情を理解し、作品世界に即した朗誦会をする。</p>	
領域ごとの指導時間数の計	話すこと・聞くこと							
	書くこと		36					
	読むこと		69					
	指導時間数の合計		105					

科目名	単位数	課程・学科・学年		使用教科書名(出版社)				
論理国語	3	全日制・普通科・2年次		高等学校 論理国語(第一学習社)				
科目の目標	1 近代以降の論理的な文章及び現代の社会生活に必要とされる実用的な文章を読み、論理的・批判的に考え、かつ社会状況を洞察する力を養う。 2 言葉による見方・考え方を働きかせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質や能力を育成する。							
時期	単元名	領域	指導時数	単元で育成する資質・能力 <単元の評価規準>	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	
通年	・授業冒頭5分ずつ説明的文章や評論などさまざまな文体を通読 ・週1回漢字の小テストを実施 ・週1回現代文単語小テストを実施							
4月 2~3週	評論(一)	B読むこと	6	② 思考・判断・表現 言い換えや比喩を用いながら、自他の関係性について論じる叙述の方法を理解する。(B(1)ア) 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。(B(1)カ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 粘り強く本文の構成と各段落の関係を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。	記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ペーパーテスト)	○文章を読んで、筆者のものの見方や感じ方を理解する。 ○筆者の言う「多様性を認める」ことについて、自らの経験に照らしながら考察を深める。	社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等] B(2)イ)	他の「間あい」(鷲田清一)
4月 4週 ~5月2週	評論(二)①	B読むこと	9	① 知識・技能 文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。(1)イ) 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。(2)イ) ② 思考・判断・表現 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。(B(1)ア) 筆者の述べる西洋と日本の「自然」を対比的につかみ、筆者の問題意識や執筆意図に目を向ける。(B(1)カ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 「自然」という言葉について、それぞれの例における意味内容の違いを粘り強く説明しようとしている。	記述の点検 (ノート) 記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ペーパーテスト)	○具体的例が示しているものを丁寧に読み取り、筆者の主張を理解する。 ○西洋と東洋の「自然」についてTチャートを活用し、まとめる。	学術的な学習の基礎に関する事柄について書かれた短い論文を読み、自分の考えを論述したり発表したりする活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等] B(2)ウ)	日本人の「自然」(木村敏)評論のしるべ「地歴・公民」との連携
5月 3週~6月1週	論理研究 —推論	B読むこと	9	① 知識・技能 推論のしかたについて理解し、活用する方法を学ぶ。(1)イ) ② 思考・判断・表現 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検証し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する方法を学ぶ。(A(1)ア) ③ 主体的に学習に取り組む態度 複数の文章を粘り強く読み、推論について理解したことを生かして積極的に誤りを指摘しようとしている。	記述の点検 (ワークシート) 記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ワークシート)	○「演繹法」、「帰納法」で身近な事象について考察する。 ○主張のための根拠を示すために重要なことをまとめる。	伝統的な研究方法である「演繹法」、「帰納法」を実際に体験し、自分の推論や考えを論述したり発表したりする活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等] B(2)ウ)	帰納法のワナーー一般化に対する疑問(谷岡一郎)
6月2週 ~7月1週	評論(四)	B読むこと	12	① 知識・技能 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。(1)イ) 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。(2)ア) ② 思考・判断・表現 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。(B(1)ア) アリの生態の紹介から人間社会の問題点へと展開する論の構造を読み取り、筆者の主張を理解する。(B(1)オ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 実験をふまえて結論に至った論理の展開を表形式で積極的にまとめようとしている。	記述の点検 (ノート) 記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ペーパーテスト)	○論理展開が明確な評論文の読解を通して、論理展開を丁寧にたどる姿勢と力を養う。 ○「ともに生きる」ことについて、自分自身のあり方も踏まえて理解を深める。	論理の展開について表にまとめ、文章の妥当性や信頼性を他の文章、研究成果から吟味する活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等] B(2)ウ)	働かないアリに意義がある(長谷川英祐)評論のしるべ「理科」との連携
7月1~2週	レポートを書く	A書くこと	6	① 知識・技能 文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深める。(2)ア) ② 思考・判断・表現 資料から客観的な実態を取り出す方法を理解する。(A(1)ア) 情報を多面的・多角的な視点から分析し、報告するテーマを決める方法を学ぶ。(A(1)イ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 教科書の例を参考に、集めた資料から粘り強く実態を読み取り、積極的に疑問点をあげようとしている。	記述の点検 (ワークシート) 記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ワークシート)	○「価値のある情報発信」を意識し、対象を「読む」方法を習得する。 ○新たな問い合わせを生むことの意義について考える。	設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等] A(2)ウ)	・資料を集め情報整理する ・得られた情報を分析して報告するテーマを絞り込む
9月1~2週	評論(五)	B読むこと	8	① 知識・技能 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。(1)ウ) 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。(2)ア) ② 思考・判断・表現 「生物多様性が必要だ」という筆者の主張を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。(B(1)ア) 動的平衡という視点から生態系を捉える筆者の主張を把握し、生物多様性が必要な理由について考察する。(B(1)ウ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 生物多様性の必要性について述べた本文を粘り強く読み、学習課題に沿って内容の理解を深めようとしている	記述の点検 (ワークシート) 記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ワークシート)	1 ○話題、論旨の展開を把握し、筆者の主要な見解をつかむ。指示表現が指す内容を明らかにすることで、本文内容を的確に捉える。 2 ○本文中の対比関係に注目して、論理構造や筆者の主要な見解をつかむ。本文理解に欠かせないキーフレーズを見つけ、内容を的確に理解する。	論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、批評したり討論したりする活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等] B(2)ア)	なぜ多様性が必要か(福岡伸一)評論のしるべ

9月3週 ～10月 2週	読み比べ—コミュニケーション	B読むこと	12	<p>① 知識・技能 文章と文章との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 ((1)ウ)</p> <p>② 思考・判断・表現 様コミュニケーションをテーマとした文章を読み比べ、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈し、両者を比較しながら考えをまとめる。 (A (1)ア)</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 魅力的な観光地紹介文を作成するために、情報を収集・整理したり、文章やレイアウトに工夫をしている。</p>	<p>記述の点検 (ワークシート)</p> <p>記述の点検 (ワークシート)</p> <p>記述の分析 (ワークシート)</p> <p>記述の確認 (振り返りシート)</p>	<p>○コミュニケーションに関する二つの文章を読み、コミュニケーションをする上で重要なことについて考え、共有する。 ○限られたスペースの中で、伝えたい情報を整理し、正確に伝わる文章の書き方を身につける。レイアウトを工夫し、読み手を引き付ける紹介文の作成の仕方を身につける。</p>	<p>特定の資料について、様々な観点から概要などをまとめる活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等] A (2)ア)</p>	<p>対話の意味 (細川英雄) 身体的表現の関係性 (野村雅一) 観光地紹介を書く 修学旅行事前学習</p>
10月3 ～11月 2週	評論(六)	B読むこと	12	<p>① 知識・技能 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 ((1)ア) 文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ((1)エ)</p> <p>② 思考・判断・表現 メディアを「第二の身体」と捉える論理を把握し、自己と技術や道具との関係について考えを深める。 (B (1)ア) 自己と技術や道具との関係について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。 (B (1)カ)</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 学習課題に沿って積極的に本文中の語句や表現について考えることで、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。</p>	<p>記述の点検 (ノート)</p> <p>記述の点検 (ワークシート)</p> <p>記述の分析 (ペーパーテスト)</p> <p>記述の確認 (振り返りシート)</p>	<p>○身体の特徴とメディアの特徴に着目し、「第二の身体」と表現する意味を理解する。 ○「情報」の働きについて考え、自らが豊かな「情報」の使い手となる意識を持つ。</p>	<p>論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、批評したり討論したりする活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等] B (2)ア)</p>	<p>「第二の身体」としてのメディアと技術 (若林幹夫) 評論のしるべ 「情報」との連携</p>
11月3 週～12 月2週	評論(三)	B読むこと	10	<p>① 知識・技能 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で正しく活用している。 ((1)イ)</p> <p>② 思考・判断・表現 「『欠落』や『無』が重要な役割を果たしている芸術作品」について、調査したことをまとめたり発表したりする。 (B (1)ウ) 筆者の感性や着眼点、表現の特徴について整理し、主張に説得力を持たせるための論展開について考える。 (B (1)カ)</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 積極的に「異類婚姻譚」で描かれる「悲劇」について調べ、表現の仕方を工夫して説明することで自分の考えを深めようとしている。</p>	<p>記述の点検 (ノート)</p> <p>記述の点検 (ワークシート)</p> <p>記述の分析 (ペーパーテスト)</p> <p>記述の確認 (振り返りシート)</p>	<p>○『欠落』や『無』が重要な役割を果たしている芸術作品について調査し、発表する。</p>	<p>小説の文章の特徴について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等] B (2)イ)</p>	<p>手の変幻 (清岡卓行) 評論のしるべ 越境する動物がもたらす贈り物 (矢野智司) 評論のしるべ 「地歴公民」との連携</p>
1月2～ 4週	実用文(一)	A書くこと	9	<p>① 知識・技能 自分の考えが的確に伝わる文章になるように、表現のしかたを工夫する。 ((1)エ) 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使うこと。 ((2)イ)</p> <p>② 思考・判断・表現 二種類の実用的な文章を読み比べて必要な情報を読み取り、両者を関連づけて解釈する方法を学ぶ。 (A (2)ウ) 文章の構成や表現のしかたについて、多面的・多角的な視点から評価する。 (A (1)エ)</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 異なる形式で書かれた複数の実用的な文章を粘り強く読み、解釈したことを学習課題に沿ってまとめようとしている。</p>	<p>記述の点検 (ワークシート)</p> <p>記述の点検 (ワークシート)</p> <p>記述の分析 (ワークシート)</p> <p>記述の確認 (振り返りシート)</p>	<p>○二種類の実用的な文章を読み比べて必要な情報を読み取り、両者を関連づけて解釈する方法を理解する。 文章の構成や表現のしかたについて</p>	<p>設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等] A (2)エ)</p>	<p>法に関わる文章を読み比べる ボランティアへの参加を伝えるメールの文章を検討する</p>
2月1週 ～3月2 週	評論(一) 評論(二) 評論(三) 評論(四) 評論(五) 評論(六)	B読むこと	12	<p>① 知識・技能 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ((2)ア) 筋道を立てて考えることを通して理解を深め、内容の解釈を深めている。 ((2)ウ)</p> <p>② 思考・判断・表現 「読むこと」において、新しい人と自然をつなぐモラルについて、多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 (B (1)カ)</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 学習課題に沿って、ある場面における自分自身をさす語の選択について積極的に考え、発表しようとしている。</p>	<p>記述の点検 (ノート)</p> <p>記述の点検 (ワークシート)</p> <p>記述の分析 (ペーパーテスト)</p> <p>記述の確認 (振り返りシート)</p>	<p>○教科書の文章から一つ題材を選び、読み解きを深める。 ○選んだ題材から自分の知識や考えをまとめレポートを書く。</p>	<p>関心をもった事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書や短い論文などにまとめたりする活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等] B (2)オ)</p>	<p>評論(一)～(六)の中で授業で扱っていない評論文</p>
領域ごとの指導時間数の計	話すこと・聞くこと							
	書くこと	15						
	読むこと	90						
指導時間数の合計		105						

科目名	単位数	課程・学科・学年		使用教科書名(出版社)				
論理国語	2	全日制・普通科・2年次		探求 論理国語(桐原書店)				
科目的目標		1 近代以降の論理的な文章及び現代の社会生活に必要とされる実用的な文章を読み、論理的・批判的に考え、かつ社会状況を洞察する力を養う。 2 言葉による見方・考え方を働きかせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質や能力を育成する。						
時期	単元名	領域	指導時数	単元で育成する資質・能力 <単元の評価規準>	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	
通年	・授業冒頭5分ずつ説明的文章や評論などさまざまな文体を通読 ・週1回漢字の小テストを実施 ・週1回現代文単語小テストを実施							
4月 2~3週	評論(一)	B読むこと	4	② 思考・判断・表現 言い換えや比喩を用いながら、自他の関係性について論じる叙述の方法を理解する。(B(1)ア) 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。(B(1)カ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 粘り強く本文の構成と各段落の関係を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。	記述の点検(ワークシート) 記述の分析(ペーパーテスト)	○文章を読んで、筆者のものの見方や感じ方を理解する。 ○筆者の言う「多様性を認める」ことについて、自らの経験に照らしながら考察を深める。	社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等] B(2)イ)	他の「間あい」(鷺田清一)
4月 4週 ~5月2週	評論(二)①	B読むこと	4	① 知識・技能 文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。(1)イ) 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。(2)イ) ② 思考・判断・表現 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。(B(1)ア) 筆者の述べる西洋と日本の「自然」を対比的につかみ、筆者の問題意識や執筆意図に目を向ける。(B(1)カ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 「自然」という言葉について、それぞれの例における意味内容の違いを粘り強く説明しようとしている。	記述の点検(ノート) 記述の点検(ワークシート) 記述の分析(ペーパーテスト)	○具体例が示しているものを丁寧に読み取り、筆者の主張を理解する。 ○西洋と東洋の「自然」についてTチャートを活用し、まとめる。	学術的な学習の基礎に関する事柄について書かれた短い論文を読み、自分の考えを論述したり発表したりする活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等] B(2)ウ)	日本人の「自然」(木村敏) 評論のしるべ 「地歴・公民」との連携
5月 3週~6月1週	論理研究 —推論	B読むこと	8	① 知識・技能 推論のしかたについて理解し、活用する方法を学ぶ。(1)イ) ② 思考・判断・表現 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検証し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する方法を学ぶ。(A(1)ア) ③ 主体的に学習に取り組む態度 複数の文章を粘り強く読み、推論について理解したことを生かして積極的に誤りを指摘しようとしている。	記述の点検(ワークシート) 記述の点検(ワークシート) 記述の分析(ワークシート)	○「演繹法」、「帰納法」で身近な事象について考察する。 ○主張のための根拠を示すために重要なことをまとめる。	伝統的な研究方法である「演繹法」、「帰納法」を実際に体験し、自分の推論や考えを論述したり発表したりする活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等] B(2)ウ)	帰納法のワナ—一般化に対する疑問(谷岡一郎)
6月2週 ~7月1週	評論(四)	B読むこと	8	① 知識・技能 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。(1)エ) 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。(2)ア) ② 思考・判断・表現 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。(B(1)ア) アリの生態の紹介から人間社会の問題点へと展開する論の構造を読み取り、筆者の主張を理解する。(B(1)オ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 実験をふまえて結論に至った論理の展開を表形式で積極的にまとめようとしている。	記述の点検(ノート) 記述の点検(ワークシート) 記述の分析(ペーパーテスト)	○論理展開が明確な評論文の読解を通して、論理展開を丁寧にたどる姿勢と力を養う。 ○「ともに生きること」について、自分自身のあり方も踏まえて理解を深める。	論理の展開について表にまとめ、文章の妥当性や信頼性を他の文章、研究成果から吟味する活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等] B(2)エ)	働かないアリに意義がある(長谷川英祐) 評論のしるべ 「理科」との連携
7月1~2週	レポートを書く	A書くこと	4	① 知識・技能 文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深める。(2)ア) ② 思考・判断・表現 資料から客観的な実態を取り出す方法を理解する。(A(1)ア) 情報を多面的・多角的な視点から分析し、報告するテーマを決める方法を学ぶ。(A(1)イ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 教科書の例を参考に、集めた資料から粘り強く実態を読み取り、積極的に疑問点をあげようとしている。	記述の点検(ワークシート) 記述の点検(ワークシート) 記述の分析(ワークシート)	○「価値のある情報発信」を意識し、対象を「読む」方法を習得する。 ○新たな問い合わせの意義について考える。	設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等] A(2)エ)	・資料を集めて情報を整理する ・得られた情報を分析して報告するテーマを絞り込む
9月1~2週	評論(五)	B読むこと	4	① 知識・技能 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。(1)ウ) 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。(2)ア) ② 思考・判断・表現 「生物多様性が必要だ」という筆者の主張を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。(B(1)ア) 動的平衡という視点から生態系を捉える筆者の主張を把握し、生物多様性が必要な理由について考察する。(B(1)ウ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 生物多様性の必要性について述べた本文を粘り強く読み、学習課題に沿って内容の理解を深めようとしている	記述の点検(ワークシート) 記述の点検(ワークシート) 記述の分析(ワークシート)	1 ○話題、論旨の展開を把握し、筆者の主要な見解をつかむ。指示表現が指す内容を明らかにすることで、本文内容を的確に捉える。 2 ○本文中の対比関係に注目して、論理構造や筆者の主要な見解をつかむ。本文理解に欠かせないキーフレーズを見つけ、内容を的確に理解する。	論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、批評したり討論したりする活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等] B(2)ア)	なぜ多様性が必要か(福岡伸一) 評論のしるべ

9月3週 ～10月 2週	読み比べ—コミュニケーション	B読むこと	8	<p>① 知識・技能 文章と文章との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 ((1)ウ)</p> <p>② 思考・判断・表現 様コミュニケーションをテーマとした文章を読み比べ、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈し、両者を比較しながら考えをまとめる。 (A(1)ア)</p> <p>③ 主題的に学習に取り組む態度 魅力的な観光地紹介文を作成するために、情報を収集・整理したり、文章やレイアウトに工夫をしている。</p>	<p>記述の点検 (ワークシート)</p> <p>記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ワークシート)</p> <p>記述の確認 (振り返りシート)</p>	<p>○コミュニケーションに関する二つの文章を読み、コミュニケーションをする上で重要なことをについて考え、共有する。 ○限られたスペースの中で、伝えたい情報を整理し、正確に伝わる文章の書き方を身につける。レイアウトを工夫し、読み手を引き付ける紹介文の作成の仕方を身につける。</p>	<p>特定の資料について、様々な観点から概要などをまとめる活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等] A(2)ア)</p>	<p>対話の意味 (細川英雄) 身体的表現の関係性 (野村雅一) 観光地紹介を書く 修学旅行事前学習</p>	
10月3 ～11月 2週	評論(六)	B読むこと	8	<p>① 知識・技能 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 ((1)ア) 文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ((1)エ)</p> <p>② 思考・判断・表現 メディアを「第二の身体」と捉える論理を把握し、自己と技術や道具との関係について考えを深める。 (B(1)ア) 自己と技術や道具との関係について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。 (B(1)カ)</p> <p>③ 主題的に学習に取り組む態度 学習課題に沿って積極的に本文中の語句や表現について考えることで、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。</p>	<p>記述の点検 (ノート)</p> <p>記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ペーパーテスト)</p> <p>記述の確認 (振り返りシート)</p>	<p>○身体の特徴とメディアの特徴に着目し、「第二の身体」と表現する意味を理解する。 ○「情報」の働きについて考え、自らが豊かな「情報」の使い手となる意識を持つ。</p>	<p>論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、批評したり討論したりする活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等] B(2)ア)</p>	<p>「第二の身体」としてのメディアと技術 (若林幹夫) 評論のしるべ 「情報」との連携</p>	
11月3 週～12 月2週	評論(三)	B読むこと	8	<p>① 知識・技能 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で正しく活用している。 ((1)イ)</p> <p>② 思考・判断・表現 「『欠落』や『無』が重要な役割を果たしている芸術作品」について、調査したことをまとめたり発表したりする。 (B(1)ウ) 筆者の感性や着眼点、表現の特徴について整理し、主張に説得力を持たせるための論展開について考える。 (B(1)カ)</p> <p>③ 主題的に学習に取り組む態度 積極的に「異類婚姻譚」で描かれる「悲劇」について調べ、表現の仕方を工夫して説明することで自分の考えを深めようとしている。</p>	<p>記述の点検 (ノート)</p> <p>記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ペーパーテスト)</p> <p>記述の確認 (振り返りシート)</p>	<p>○『欠落』や『無』が重要な役割を果たしている芸術作品について調査し、発表する。</p>	<p>小説の文章の特徴について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等] B(2)イ)</p>	<p>手の変幻 (清岡卓行) 評論のしるべ 越境する動物がもたらす贈り物 (矢野智司) 評論のしるべ 「地歴公民」との連携</p>	
1月2～ 4週	実用文(一)	A書くこと	6	<p>① 知識・技能 自分の考えが的確に伝わる文章になるように、表現のしかたを工夫する。 ((1)エ) 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使うこと。 ((2)イ)</p> <p>② 思考・判断・表現 二種類の実用的な文章を読み比べて必要な情報を読み取り、両者を関連づけて解釈する方法を学ぶ。 (A(2)ウ) 文章の構成や表現のしかたについて、多面的・多角的な視点から評価する。 (A(1)エ)</p> <p>③ 主題的に学習に取り組む態度 異なる形式で書かれた複数の実用的な文章を粘り強く読み、解釈したことを学習課題に沿ってまとめようとしている。</p>	<p>記述の点検 (ワークシート)</p> <p>記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ワークシート)</p> <p>記述の確認 (振り返りシート)</p>	<p>○二種類の実用的な文章を読み比べて必要な情報を読み取り、両者を関連づけて解釈する方法を理解する。 文章の構成や表現のしかたについて</p>	<p>設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等] A(2)エ)</p>	<p>法に関わる文章を読み比べる ボランティアへの参加を伝えるメールの文章を検討する</p>	
2月1週 ～3月2 週	評論(一) 評論(二) 評論(三) 評論(四) 評論(五) 評論(六)	B読むこと	8	<p>① 知識・技能 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ((2)ア) 筋道を立てて考えることを通して理解を深め、内容の解釈を深めている。 ((2)ウ)</p> <p>② 思考・判断・表現 「読むこと」において、新しい人と自然をつなぐモラルについて、多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 (B(1)カ)</p> <p>③ 主題的に学習に取り組む態度 学習課題に沿って、ある場面における自分自身をさす語の選択について積極的に考え、発表しようとしている。</p>	<p>記述の点検 (ノート)</p> <p>記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ペーパーテスト)</p> <p>記述の確認 (振り返りシート)</p>	<p>○教科書の文章から一つ題材を選び、読み解きを深める。 ○選んだ題材から自分の知識や考えをまとめレポートを書く。</p>	<p>関心をもった事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書や短い論文などにまとめたりする活動。(関連: [思考力、判断力、表現力等] B(2)オ)</p>	<p>評論(一)～(六)の中で授業で扱っていない評論文</p>	
領域ごとの指導時間数の計	話すこと・聞くこと								
	書くこと	10							
	読むこと	60							
指導時間数の合計		70							

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
古典探究	3	全日制・普通科・2年次	高等学校古典探究(数研出版)			
科目的目標	(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					
時期 月 週	単元名	領域 指導 時数	単元で育成する資質・能力 <単元の評価規準>	評価方法	主な学習活動	主な言語活動
4月	説話/十訓抄	読むこと 5	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【2(イ)】	記述の確認・点検(ノート・小テスト)	・登場人物の言動の意図をそれをまとめる。 ・どのような教訓を示すためと考えられるか話し合う。	本文に示された教訓について話し合つ。
5月 1週～ 2週	故事	読むこと 5	思考・判断・表現 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考え方や目的、意図を捉えて内容を解釋するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。【A(イ)ウ】	記述の点検(ノート、プリント)		
5月 3週～ 6月 1週	歌物語	読むこと 9	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【2(イ)】	記述の確認・点検(ノート・小テスト)	・本文を読んで、登場人物の人物像を読み取る。 ・登場人物の行動理由を考える。	
6月 2週～ 6月 4週	文章/桃花源記	読むこと 9	思考・判断・表現 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考え方や目的、意図を捉えて内容を解釋するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。【A(イ)ウ】	記述の点検(ノート、プリント)		
7月 1週～ 3週	軍記物語/平家物語	読むこと 9	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【2(イ)】	記述の確認・点検(ノート・小テスト)	・物語中の歌について、誰がどこで説いた歌であるかを確認し、主題を考える。 ・和歌がどのようにやりとりされているのか、それぞれの関係を考える。	登場人物の交流関係について感想を話し合う。
9月 1週～ 2週	漢詩	読むこと 5	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【2(イ)】	記述の確認・点検(ノート・小テスト)	・段落ごとにあらすじをまとめる。 ・自分なりにまとめた本文の内容を説明し合う。	
9月 3週～ 10月 1週	歴史物語/大鏡	読むこと 9	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【2(イ)】	記述の確認・点検(ノート・小テスト)	・作品の特徴を把握し、『平家物語』が書かれる意図を理解する。 ・登場人物の言動について、当時の常識、身分秩序について踏まえ、考える。	
10月 2週～ 3週	隨筆(～)/枕草子	読むこと 7	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【2(イ)】	記述の確認・点検(ノート・小テスト)	・それぞれの詩について、一句の字数、一首の句数、押韻を確認する。 ・それぞれの詩について対句表現を抜き出し、表現効果を考える。 ・「春」をテーマとした七言絶句を作る。	詩に用いられた対句などの修辞効果について話し合う。 漢詩の習作に取り組む。

10月 4週～ 5週	日記文学(～)/更級日記	読むこと	7	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	記述の確認・点検(ノート・小テスト)	・表現の気持ちが表れている 表現を順に抜き出し、説明する。	作者の心情を説明する。	
				思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【A(1)イ】	記述の点検(ノート、プリント)			
				主体的に学習に取り組む態度 積極的に作者の心情をとらえ、学習の見通しをもって自分の考えを説明しようとしている。	記述の確認(振りかえり、まとめテスト) 行動の分析			
11月 1週～ 3週	史伝/鴻門之会	読むこと	9	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	記述の確認・点検(ノート・小テスト)	・本文を読んで、登場人物の人物像を読み取る。 ・登場人物の行動理由を考える。	登場人物の行動の理由を考えて話し合う。	
				思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【A(1)イ】	記述の点検(ノート、プリント)			
				主体的に学習に取り組む態度 本文から読みとった人物像を踏まえて、作中の行動の経緯、理由を粘り強く考察し、主体性をもって話し合いに参加しようとしている。	記述の確認(振りかえり、まとめテスト) 行動の分析			
11月 4週～ 12月 1週	史伝/四面楚歌	読むこと	9	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	記述の確認・点検(ノート・小テスト)	・「四面楚歌」という成語が現在どのような意味で使われているか調べる。 ・項羽は敗戦の原因をどのように考えているか、詩の一旬目と二旬目の表現を踏まえて考える。	項羽が敗戦の原因をどのように考えているか、詩の一旬目と二旬目の表現を踏まえて考え、話し合う。	
				思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【A(1)イ】	記述の点検(ノート、プリント)			
				主体的に学習に取り組む態度 内容について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	記述の確認(振りかえり、まとめテスト) 行動の分析			
12月 2週～ 4週	物語/源氏物語	読むこと	9	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	記述の確認・点検(ノート・小テスト)	・『源氏物語』の文学史上の価値を既習作品と比較して考える。 ・登場人物の言動について、当時の常識、身分秩序について踏まえ、考える。 ・登場人物の人物像について考える。	登場人物の心情と人物像について話し合う。	
				思考・判断・表現 「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の見見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。【A(1)イ】	記述の点検(ノート、プリント)			
				主体的に学習に取り組む態度 登場人物の心情とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	記述の確認(振りかえり、まとめテスト) 行動の分析			
1月 2週～ 3週	思想/荀子	読むこと	4	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	記述の確認・点検(ノート・小テスト)	・本文における荀子の主張をまとめる。 ・性善説について自分の考えをまとめる。	・性善説と性悪説を比較し、話し合う。	
				思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【A(1)イ】	記述の点検(ノート、プリント)			
				主体的に学習に取り組む態度 本文で書かれている主張の特徴について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	記述の確認(振りかえり、まとめテスト) 行動の分析			
1月 4週～ 2月 1週	思想/莊子	読むこと	4	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	記述の確認・点検(ノート・小テスト)	・本文における莊子の主張をまとめる。 ・莊子の主張を踏まえ、自分の考えをまとめう。	儒家と道家の思想において、それぞれ人間が生きていくうえでどのようなことについて話し合う。	
				思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【A(1)イ】	記述の点検(ノート、プリント)			
				主体的に学習に取り組む態度 本文で書かれている主張の特徴について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	記述の確認(振りかえり、まとめテスト) 行動の分析			
2月 2週～ 3月	思想/探究の扉 未来に備える遺伝子	読むこと	5	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	記述の確認・点検(ノート)	・「未来に備える遺伝子」を読んで、単元内で学習した諸子百家の文章に見る考え方との共通点を考える。 ・諸子百家の文章から現代に通じる考え方を探し、文章としてまとめる。	諸子百家の文章に見える考え方から、現代社会に通用する部分を考察して文章にまとめる。	
				思考・判断・表現 「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の見見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。【A(1)イ】	記述の点検(ノート、プリント)			
				主体的に学習に取り組む態度 諸子百家の文章から現代に通じる考え方を粘り強く見いだし、積極的に文章に表そうとしている。	記述の確認(振りかえり) 行動の分析			
場ごとの指導時間数の合計			105					

科目名	単位数	課程・学科・学年		使用教科書名(出版社)			
古典探究	3	全日制・普通科・2年次		高等学校古典探究(教研出版)			
科目的目標		(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようになる。 (2) 理論的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできることができるようになる。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自觉を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					
時期 月 週	単元名	領域	指導 時数	単元で育成する資質・能力 <単元の評価基準>	評価方法	主な学習活動	主な言語活動
4月	説話/十訓抄	読むこと	5	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	記述の確認・点検(ノート・小テスト)	・登場人物の意図をそれぞれまとめる。 ・どのような教訓を示すためと考えられるか話し合う。	本文に示された教訓について話し合う。
				思考・判断・表現 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考え方や目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。【A(1)ウ】	記述の点検(ノート、プリント)		
				主題的に学習に取り組む態度 積極的に説者が示す教訓性について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	記述の確認(振りかえり、まとめテスト) 行動の分析		
5月 1週～ 2週	故事	読むこと	4	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	記述の確認・点検(ノート・小テスト)	・本文を読んで、登場人物の人物像を読み取る。 ・登場人物の行動理由を考える。	・本文の内容を踏まえ、自分が考えたことをまとめ、話し合う。
				思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【A(1)イ】	記述の点検(ノート、プリント)		
				主題的に学習に取り組む態度 故事について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	記述の確認(振りかえり、まとめテスト) 行動の分析		
5月 3週～ 6月 1週	歌物語	読むこと	5	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	記述の確認・点検(ノート・小テスト)	・物語中の歌について、誰がどこで歌んだ歌であるかを確認し、主題を考える。 ・和歌がどのようにやりとりされているのか、それぞれの関係を考える。	・登場人物の交流関係について感想を話し合う。
				思考・判断・表現 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考え方や目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。【A(1)ウ】	記述の点検(ノート、プリント)		
				主題的に学習に取り組む態度 編者が話の展開に込めた工夫について進んで考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	記述の確認(振りかえり、まとめテスト) 行動の分析		
6月 2週～ 6月 4週	文章/桃花源記	読むこと	5	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	記述の確認・点検(ノート・小テスト)	・段落ごとにあらすじをまとめる。 ・自分なりにまとめた本文の内容を説明し合う。	・自分なりにまとめた本文の内容を説明し合う。
				思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【A(1)イ】	記述の点検(ノート、プリント)		
				主題的に学習に取り組む態度	記述の確認(振りかえり、まとめテスト) 行動の分析		
7月 1週～ 3週	軍記物語/平家物語	読むこと	5	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	記述の確認・点検(ノート・小テスト)	・作品の特徴を把握し、『平家物語』が書かれる意図を理解する。 ・登場人物の言動について、当時の常識、身分秩序について踏まえ、考える。	・登場人物の行動の理由を考えて話し合う。
				思考・判断・表現 「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考え方を広げたり深めたりしている。【A(1)オ】	記述の点検(ノート、プリント)		
				主題的に学習に取り組む態度 登場人物の交流関係について自ら進んで評価し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	記述の確認(振りかえり、まとめテスト) 行動の分析		
9月 1週～ 2週	漢詩	読むこと	4	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	記述の確認・点検(ノート・小テスト)	・それぞれの詩について、一句の字数、一首の句数、押韻を確認する。 ・それぞれの詩について対句表現を抜き出し、表現効果を考察する。 ・「春」をテーマとした七言絶句を作る。	詩に用いられた対句などの修辞効果について話し合う。 漢詩の習作に取り組む。
				思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【A(1)イ】	記述の点検(ノート、プリント)		
				主題的に学習に取り組む態度 漢詩の詩型・押韻・対句について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	記述の確認(振りかえり、まとめテスト)		
9月 3週～ 10月 1週	歴史物語/大鏡	読むこと	5	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	記述の確認・点検(ノート・小テスト)	・作品の特徴を把握し、『大鏡』が書かれる意図を理解する。 ・登場人物の言動の意図を理解し、まとめる。	・登場人物の関係について確認し合う。
				思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。【A(1)ア】	記述の点検(ノート、プリント)		
				主題的に学習に取り組む態度 積極的に登場人物の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	記述の確認(振りかえり、まとめテスト) 行動の分析		

10月 2週～ 3週	随筆(一)/草子	読むこと	5	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	記述の確認・点検(ノート・小テスト)	・「隨筆」というジャンルを意識する。 ・章段の性格を押さえる。 ・作者の感性や価値観を理解する。			
				思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【A(1)イ】	記述の点検(ノート・プリント)				
10月 4週～ 5週	日記文学(一)/更級日記	読むこと	5	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	記述の確認・点検(ノート・小テスト)	・作者の気持ちが表れている表現を順に抜き出し、説明する。			
				思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【A(1)イ】	記述の点検(ノート・プリント)				
11月 1週～ 3週	史伝/鴻門之会	読むこと	5	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	記述の確認・点検(ノート・小テスト)	・本文を読んで、登場人物の人物像を読み取る。 ・登場人物の行動理由を考える。			
				思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【A(1)イ】	記述の点検(ノート・プリント)				
11月 4週～ 12月 1週	史伝/四面楚歌	読むこと	5	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	記述の確認・点検(ノート・小テスト)	・「四面楚歌」という成語が現在どのような意味で使われているか調査する。 ・項羽は敗戦の原因をどのように考えているか、詩の一節と二句目の表現を踏まえて考え、話し合う。			
				思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【A(1)イ】	記述の点検(ノート・プリント)				
12月 2週～ 4週	物語/源氏物語	読むこと	5	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	記述の確認・点検(ノート・小テスト)	・「源氏物語」の文学史上の価値を既存作品と比較して考える。 ・登場人物の言動について、当時の常識、身分秩序について踏まえ、考える。 ・登場人物の人物像について考える。			
				思考・判断・表現 「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。【A(1)オ】	記述の点検(ノート・プリント)				
1月 2週～ 3週	思想/荀子	読むこと	4	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	記述の確認・点検(ノート・小テスト)	・本文における荀子の主張をまとめる。 ・性善説について自分の考えをまとめる。			
				思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【A(1)イ】	記述の点検(ノート・プリント)				
1月 4週～ 2月 1週	思想/莊子	読むこと	4	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	記述の確認・点検(ノート・小テスト)	・本文における莊子の主張をまとめる。 ・莊子の主張を踏まえ、自分の考えをまとめう。			
				思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【A(1)イ】	記述の点検(ノート・プリント)				
2月 2週～ 3月	思想/探究の扉 未来に備える遺伝子	読むこと	4	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	記述の確認・点検(ノート)	・「未来に備える遺伝子」を読んで、単元内で学習した諸子百家の文章に見える考え方との共通点を考える。 ・諸子百家の文章から現代に通じる考え方を探し、文章としてまとめる。			
				思考・判断・表現 「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。【A(1)オ】	記述の点検(ノート・プリント)				
場 ご との 指 導 時 間 数 の	話すこと・聞くこと		0						
	書くこと		0						
	読むこと		70						
指導時間数の合計			70						

科目名		単位数	課程・学科・学年		使用教科書名(出版社)			
論理国語		3	全日制・普通科・3年次		探究 論理国語(桐原書店)			
科目の目標		1 近代以降の論理的な文章及び現代の社会生活に必要とされる実用的な文章を読み、論理的・批判的に考え、かつ社会状況を洞察する力を養う。 2 言葉による見方・考え方を働きかせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質や能力を育成する。						
時期	単元名	領域	指導時数	単元で育成する資質・能力 <単元の評価規準>	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	教材及び教科等横断的視点等
4月 2週～3週	文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、芸術においての視覚的映像の重要性、人間の美学への理解を深める。	読むこと	9	① 知識・技能 「オブジェ」と「イマージュ」についてその意味を把握する。 ② 思考・判断・表現 イマージュの世界と芸術、ひいては文化のあり方について、本文を踏まえて考えている。 人間の「美学」や「生きる論理」についてそれぞれ自分のこととして考えている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 絵画を見て感動や賛嘆を覚えた経験を想起することで、本文の内容に関心を抱く。(オ) 動物が死を理解しているかを考えることから、本文の内容に関心を抱く。(人)	記述の点検 (ノート) 記述の点検 (ノート、プリント) 記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)	○絵画になることにより失われるものについて、付け加えられるものについて読み取る。 ○「死」を知ることと「生きる論理」の関係について、動物と比較しながら、人間の特徴を読み取る。	「イマージュの世界がいかに人間のイマジネーションに訴える力を持っているか」という筆者の考えを実証する例を、グループで話し合う活動。 近代以降の文学作品をその原作と読み比べ、作品の特徴について発表したり改作について論じたりする活動。 (関連：[思考力、判断力、表現力])	・オブジェとイマージュ ・人間の領域 芸術科と連携、芸術作品の鑑賞を通して、導入とする。
5月 1週～4週	評論の基本的な読み方を習得し、論理構造を把握した上で二つの文章を読み、その論旨を比較して考えを深める。	読むこと	12	① 知識・技能 特定秘密保護法についてその内容を確認する。「メディア」と「民主主義」についてその意味を把握する。 ② 思考・判断・表現 現代社会とメディアの関係について考えている。 メディアと民主化について関係を考えている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 特定秘密保護法に着目しつつ、権力と秘密との関係を本文の主要な話題として意識する。 (権) 民主主義とメディアとの関係を、本文の主要な話題として意識する。(メ)	記述の点検 (ノート) 記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)	○権力と秘密との関係に注意しながら本文を通読し、その内容と構成を大まかにつかむ。 ○民主主義とメディアの発展との関係に注意して本文を通読し、内容を大まかにつかむ。	読み比べを通して、メディアとのつきあい方を、考えさせ発表する活動。 (関連：[思考力、判断力、表現力等])	・権力にまつわる「秘密」 ・メディアと民主化 地歴公民科と連携、民主主義とメディアについて理解を深める。
6月 1週～4週	文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、近代化・都市化によって生じた家族や人間の存在についての認識や考察を深める。	書くこと	12	① 知識・技能 「ザザエさん」「ちびまる子ちゃん」「クレヨンしんちゃん」における家族のあり方を理解する。 ② 思考・判断・表現 「異質な生活リズムが相互に異質性を保持したままに組み合わせられるような生活世界」とは、具体的にどのようなものか考えている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 漫画やアニメに登場する家族と、自分の家庭、あるいは自分の理想とする家族を比べ、家族のあり方に関心を抱く。(市) 本文と同時に、エイリアンの立場になり、身近な空間や道具から何を考えるか想像することで、道具と身体との関係について関心を抱いた後、本文を通読する。(身)	記述の点検 (ノート) 記述の点検 (ノート、プリント) 記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)	○家族の市民社会が人々に与える影響について確認し、それに対して筆者が考える対策を読み取る。 ○人類がたどった歴史を踏まえ、生活空間や道具と身体の関係、さらに自然から疎外されたことを理解したうえで、宗教と芸術の起源をつかむ。	「子ども」「老人」について本文で述べられていることを踏まえ、市民社会の圧力に抗する人間のあり方について、八百字程度にまとめる活動。	・市民社会する家族 ・身体と出現
7月 1週～3週	「書く」ということが対話的な行為であるとともに、自分自身の側にも言いたいことが必要であるという筆者の主張を理解し、「知的創造」のために必要な条件についての考えを深める。	書くこと	9	① 知識・技能 「小論文」「レポート」について、構成を理解している。 ② 思考・判断・表現 読む人の立場になって、自分の考えを表現すること。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 言葉の定義を文章化することによって、言葉についての意識を高める。	記述の点検 (ノート) 記述の点検 (ノート、プリント) 記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)	○小論文・レポートを書く。	「他者の視点を意識して」小論文を書く活動。(関連：[思考力、判断力、表現力等])	・知的創造のために
9月 1週～4週	文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、自らの文化に対する見方を見つめ直し、芸術についての自分の考えを深める。	読むこと	12	① 知識・技能 正岡子規、紀貫之についての知識を理解している。(貫) ② 思考・判断・表現 「日本語の問題」についてまとめ、確認している。 風景と自分との関わりについて、本文を踏まえ、考えている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 言葉の定義を文章化することによって、言葉についての意識を高める。(言) 風景と自分との関わりを、本文で紹介される歌や絵画の風景と関連づけて考える。(霧)	記述の点検 (ノート) 記述の点検 (ノート、プリント) 記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)	○「言語使用の二種類」に関して、各言語・各文化間にある種の「差異」があることを把握する。 ○現代の風景の危機が、惑性や存在感の危機であることを読み取り、それに気づかれないことの危険性を理解する。	「無意味な七五調」に「陶酔する心構えが我ら日本人の中にはある」という木下順二氏の考えについてどう思うか、話し合う活動。	・言葉の〈意味〉と〈表現〉 ・霧の風景 ・「貫之は下手な歌よみ」か?
10月 1週～4週	戦争と平和について綴った文章を読んで、「他者理解」や「戦争と平和」といった問題について認識を深める。	読むこと	12	① 知識・技能 本文の話題となっている太平洋戦争についての知識を身についている。 ② 思考・判断・表現 最終部に述べられた筆者に心情を押さえて、全文をまとめることができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 本文の話題となっている太平洋戦争についての知識を確認し、教材への関心を高める。	記述の点検 (ノート) 記述の点検 (ノート、プリント) 記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)	○屈託のない笑みを見せた料理人の「強さと柔らかさ」について考察する。	「どんな歴史があって私たちのほほんとしていることができるのか。それだけはやはりきっと残さなくてはいけないのでないか。」という筆者の考えについてどう思うか、戦争における加害と被害の両面の歴史を押さえながら、クラスで話し合う活動。	・沙魚 地歴公民科と連携、太平洋戦争の背景と、様子を理解し、主人公の心情の理解を深める。

11月 1週～ 4週	文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、自らの文化や世界に対する見方を見つめ直し、現代をどう生きていくかについて考える。	書くこと	12	<p>① 知識・技能 評論コラム「『大きな物語』の喪失とポストモダン」を読んで、人々のものの考え方や生き方において、「近代（モダン）」の「大きな物語」から「現代（ポストモダン）」の「小さな物語」へ移行があったという考え方を理解できた。（ボ）</p> <p>② 思考・判断・表現 「ファンタジー・ワールドの誕生」の過程をまとめることができる。 ポストモダン社会の問題点についてまとめることができた。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 「ポストモダン社会」における自らの考え方や生き方について考える。</p>	<p>記述の点検 (ノート)</p> <p>記述の点検 (ノート、プリント)</p> <p>記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)</p>	<p>○筆者の言う「ファンタジー・ワールド」とは何かを理解する。 ○「二十一世紀の情報技術」と「二十一世紀のマスメディア」との違いを理解する。</p>	<p>「未開文化」とは「想像力が生み出した」ものであるという筆者の考えについてどう思うか、本文の内容を踏まえて話し合う活動。</p>	<p>・ファンタジー・ワールドの誕生 ・ポスト社会と排除社会</p>
12月 1週～ 3週	近代の知識人による日本文化・娯楽・アボリズムについての文章を読んで、筆者の考え方を理解し、「今」につながる近代という時代や文化を見つめ直す。	読むこと	9	<p>① 知識・技能 三木清について、まとめる。（娯）</p> <p>② 思考・判断・表現 伝統とは尊重するべきものかということについて考え、筆者はなぜ本文のような考え方を持つようになったのか想像することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 伝統とは尊重するべきかどうか考える。（日） 三木清について、まとめる。（娯）</p>	<p>記述の点検 (ノート)</p> <p>記述の点検 (ノート、プリント)</p> <p>記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)</p>	<p>○欧米人の日本「発見」と、日本人自身の立場との、根本的な相違について理解する。 ○生活娯楽の差異を知る。</p>	<p>「多くの日本人は、故郷の古い姿が破壊されて欧米風な建物が出現するたびに、悲しみよりも、むしろ喜びを感じる。」とあるが、古い街並みの保存と現代的な都市の開発はどうちらが優先されるべきか、クラスで検討する活動。</p>	<p>・日本文化私観 ・娯楽について—「人生論ノート」より</p>
1月 2週～ 4週	抽象性の高い評論文を読んで、文化の規範性と地図を媒介とした社会認識や真理を探求しようとする「知」への意志と民主主義との関係について考察する。	読むこと	9	<p>① 知識・技能 地図と現実の違いを、把握する。</p> <p>② 思考・判断・表現 自己のイメージを地図化することで、自己の世界認識や社会との関係を確認することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 実際の地図を見ながら地図と現実の違いを確認し、地図の特徴を理解したうえで、本文の内容について関心を抱く。</p>	<p>記述の点検 (ノート)</p> <p>記述の点検 (ノート、プリント)</p> <p>記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)</p>	<p>○地図の主観性と、それが私たちの認識に及ぼす影響を考える。</p>	<p>「地図」と「世界経験、社会経験のあり方」について、次の二点からまとめる活動。 ①現在の私たちとかつての人々との違い ②現在の私たちとかつての人々との共通性</p>	<p>・地図の想像力 カーボードリヤールの寓話</p>
領域ごとの指導時間数の計	話すこと・聞くこと	0						
	書くこと	36						
	読むこと	69						
	指導時間数の合計	105						

科目名		単位数	課程・学科・学年		使用教科書名(出版社)			
論理国語		2	全日制・普通科・3年次		探究 論理国語(桐原書店)			
科目的目標		1 近代以降の論理的な文章及び現代の社会生活に必要とされる実用的な文章を読み、論理的・批判的に考え、かつ社会状況を洞察する力を養う。 2 言葉による見方・考え方を働きかせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質や能力を育成する。						
時期	単元名	領域	指導時数	単元で育成する資質・能力 <単元の評価規準>	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	教材及び教科等横断的な視点等
4月 2週～3週	文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、芸術においての視覚的映像の重要性、人間の美学への理解を深める。	読むこと	6	① 知識・技能 「オブジェ」と「イメージ」についてその意味を把握する。 ② 思考・判断・表現 イメージの世界と芸術、ひいては文化のあり方について、本文を踏まえて考えている。人間の「美学」や「生きる論理」についてそれぞれ自分のこととして考えている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 絵画を見て感動や賛嘆を覚えた経験を想起することで、本文の内容に関心を抱く。(才) 動物が死を理解しているかを考えることから、本文の内容に関心を抱く。(人)	記述の点検 (ノート) 記述の点検 (ノート、プリント) 記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)	○絵画になることにより失われるものについて、付け加えられるものについて読み取る。 ○「死」を知ることと「生きる論理」の関係について、動物と比較しながら、人間の特徴を読み取る。	「イメージの世界がいかに人間のイメージーションに訴える力を持っているか」という筆者の考えを実証する例を、グループで話し合う活動。 近代以降の文学作品をその原作と読み比べ、作品の特徴について発表したり改作について論じたりする活動。 (関連：[思考力、判断力、表現])	・オブジェとイメージ ・人間の領域 芸術科と連携、芸術作品の鑑賞を通して、導入とする。
5月 1週～4週	評論の基本的な読み方を習得し、論理構造を把握した上で二つの文章を読み、その論旨を比較して考えを深める。	読むこと	8	① 知識・技能 特定秘密保護法についてその内容を確認する。「メディア」と「民主主義」についてその意味を把握する。 ② 思考・判断・表現 現代社会とメディアの関係について考えている。 メディアと民主化について関係を考えている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 特定秘密保護法に着目しつつ、権力と秘密との関係を本文の主要な話題として意識する。 (権) 民主主義とメディアとの関係を、本文の主要な話題として意識する。(メ)	記述の点検 (ノート) 記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)	○権力と秘密との関係に注意しながら本文を通読し、その内容と構成を大まかにつかむ。 ○民主主義とメディアの発展との関係に注意して本文を通読し、内容を大まかにつかむ。	読み比べを通して、メディアとのつきあい方を、考えさせ発表する活動。 (関連：[思考力、判断力、表現力等])	・権力にまつわる「秘密」・メディアと民主化 地歴公民科と連携、民主主義とメディアについて理解を深める。
6月 1週～4週	文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、近代化・都市化によって生じた家族や人間の存在についての認識や考察を深める。	書くこと	8	① 知識・技能 「サザエさん」「ちびまる子ちゃん」「クレヨンしんちゃん」における家族のあり方を理解する。 ② 思考・判断・表現 「異質な生活リズムが相互に異質性を保持したままに組み合わせられるような生活世界」とは、具体的にどのようなものかを考えている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 漫画やアニメに登場する家族と、自分の家庭、あるいは自分の理想とする家族を比べ、家族のあり方に関心を抱く。(市) 本文と同時に、エイリアンの立場になり、身近な空間や道具から何を考えるか想像することで、道具と身体との関係について関心を抱いた後、本文を通読する。(身)	記述の点検 (ノート) 記述の点検 (ノート、プリント) 記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)	○家族の市民社会化が人々に与える影響について確認し、それに対して筆者が考える対策を読み取る。 ○人類がたどった歴史を踏まえ、生活空間や道具と身体の関係、さらに自然から疎外されたことを理解したうえで、宗教と芸術の起源をつかむ。	「子ども」「老人」について本文で述べられていることを踏まえ、市民社会化の圧力に抗する人間のあり方について、八百字程度にまとめる活動。	・市民社会化する家族 ・身体と出現
7月 1週～3週	「書く」ということが対話的な行為であるとともに、自分自身の側にも言いたいことが必要であるという筆者の主張を理解し、「知的創造」のために必要な条件についての考えを深める。	書くこと	6	① 知識・技能 「小論文」「レポート」について、構成を理解している。 ② 思考・判断・表現 読む人の立場になって、自分の考えを表現すること。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 言葉の定義を文章化することによって、言葉についての意識を高める。	記述の点検 (ノート) 記述の点検 (ノート、プリント) 記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)	○小論文・レポートを書く。	「他者の視点を意識して」小論文を書く活動。(関連：[思考力、判断力、表現力等])	・知的創造のために
9月 1週～4週	文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、自らの文化に対する見方を見つめ直し、芸術についての自分の考えを深める。	読むこと	8	① 知識・技能 正岡子規、紀貫之についての知識を理解している。(貴) ② 思考・判断・表現 「日本語の問題」についてまとめ、確認している。 風景と自分との関わりについて、本文を踏まえ、考えている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 言葉の定義を文章化することによって、言葉についての意識を高める。(言) 風景と自分との関わりを、本文で紹介される歌や絵画の風景と関連づけて考える。(霧)	記述の点検 (ノート) 記述の点検 (ノート、プリント) 記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)	○「言語使用の二種類」に関して、各言語・各文化間にある種の「差異」があることを把握する。 ○現代の風景の危機が、感性や存在感の危機であることを読み取り、それに気づかぬことの危険性を理解する。	「無意味な七五調」に「陶酔する心構えが我ら日本人の中にはある」という木下順二氏の考えについてどう思うか、話し合う活動。	・言葉の〈意味〉と〈表徴〉 ・霧の風景 ・「貴之は下手な歌よみ」か?
10月 1週～4週	戦争と平和について綴った文章を読んで、「他者理解」や「戦争と平和」といった問題について認識を深める。	読むこと	8	① 知識・技能 本文の話題となっている太平洋戦争についての知識を身についている。 ② 思考・判断・表現 最終部に述べられた筆者との心情を押さえて、全文をまとめることができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 本文の話題となっている太平洋戦争についての知識を確認し、教材への関心を高める。	記述の点検 (ノート) 記述の点検 (ノート、プリント) 記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)	○屈託のない笑みを見せた料理人の「強さと柔らかさ」について考察する。	「どんな歴史があつて私たちがのほほんとしていることができるのか。それだけはやはりきっと残さなくてはいけないのではないか。」という筆者の考え方についてどう思うか、戦争における加害と被害の両面の歴史を押さえながら、クラスで話し合う活動。	・沙魚 地歴公民科と連携、太平洋戦争の背景と、様子を理解し、主人公の心情の理解を深める。
11月 1週～4週	文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、自らの文化や世界に対する見方を見つめ直し、現代をどう生きていくかについて考える。	書くこと	8	① 知識・技能 評論コラム「大きな物語」の喪失とポストモダン」を読んで、人々のものの考え方や生き方において、「近代(モダン)」の「大きな物語」から「現代(ポストモダン)」の「小さな物語」へ移行があったという考え方を理解できた。(ボ) ② 思考・判断・表現 「ファンタジー・ワールドの誕生」の過程をまとめることができる。 ポストモダン社会の問題点についてまとめることができた。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 「ポストモダン社会」における自らの考え方や生き方について考える。	記述の点検 (ノート) 記述の点検 (ノート、プリント) 記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)	○筆者の言う「ファンタジー・ワールド」とは何かを理解する。 ○「二十一世紀の情報技術」と「二十一世紀のマスメディア」との違いを理解する。	「未開文化」とは「想像力が生み出した」ものであるという筆者の考えについてどう思うか、本文の内容を踏まえて話し合う活動。	・ファンタジー・ワールドの誕生 ・ポスト社会と排除社会

12月 1週～ 3週	近代の知識人による日本文化・娯楽・アオリズムについての文章を読んで、筆者の考え方を理解し、「今」につながる近代という時代や文化を見つめ直す。	読むこと	6	① 知識・技能 三木清について、まとめる。(娛)	記述の点検 (ノート)	○欧米人の日本「発見」と、日本人自身の立場との、根本的な相違について理解する。 ○生活娯楽の差異を知る。	「多くの日本人は、故郷の古い姿が破壊されて欧米風な建物が出現するたびに、悲しみよりも、むしろ喜びを感じる。」とあるが、古い街並みの保存と現代的な都市の開発はどちらが優先されるべきか、クラスで検討する活動。	・日本文化私観 ・娯楽について「人生論ノート」より
				② 思考・判断・表現 伝統とは尊重するべきものかということについて考え、筆者はなぜ本文のような考え方を持つようになったのか想像することができる。	記述の点検 (ノート、プリント)			
				③ 主体的に学習に取り組む態度 伝統とは尊重するべきかどうか考える。(日) 三木清について、まとめる。(娛)	記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)			
1月 2週～ 4週	抽象性の高い評論文を読んで、文化の規範性と地図を媒介とした社会認識や真理を探求しようとする「知」への意志と民主主義との関係について考察する。	読むこと	6	① 知識・技能 地図と現実の違いを、把握する。	記述の点検 (ノート)	○地図の主観性と、それが私たちの認識に及ぼす影響を考える。	「地図」と「世界経験、社会経験のあり方」について、次の二点からまとめる活動。 ①現在の私たちとかつての人々との違い ②現在の私たちとかつての人々との共通性	・地図の想像力一ボードリヤールの寓話
② 思考・判断・表現 自己のイメージを地図化することで、自己の世界認識や社会との関係を確認することができる。	記述の点検 (ノート、プリント)							
③ 主体的に学習に取り組む態度 実際の地図を見ながら地図と現実の違いを確認し、地図の特徴を理解したうえで、本文の内容について関心を抱く。	記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)							
領域ごとの指導時間数の計	話すこと・聞くこと		0					
	書くこと		24					
	読むこと		46					
	指導時間数の合計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年		使用教科書名(出版社)				
古典探究	3	全日制・普通科・3年次		高等学校古典探究				
科目的目標		(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようとする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考え方を広げたり深めたりすることができるようとする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他人や社会に関わろうとする態度を養う。						
時期 月 週	単元名	領域	指導 時数	単元で育成する資質・能力 <単元の評価規準>	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	教材及び教科 等横断的な視 点等
4月 ~ 5月2週	日記文学/鷹(蜻蛉日記)	読む こと	8	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 [2イ]	行動の確認	・作者と道綱のやり取りを確認する。 ・「死にたい」けれど「死ねない」という相反する気持ちについてそれぞれの理由を理解する。 ・「あらそへば……」の歌に込められた作者の道綱への思いを読み取る。	作者と道綱のやりとりから道綱の思いについて考え、話し合う。	
5月 3週~ 5月4週	思想/荀子	読む こと	6	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 [2イ]	行動の確認	・本文における荀子の主張をまとめる。 ・性善説と性惡説について自分の考えをまとめる。	・性善説と性惡説を比較し、話し合う。	
6月 1週~ 6月 2週	逸話/知音	読む こと	6	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 [2イ]	記述の確認	・この逸話から生まれた故事成語である「知音」は現在どのような意味で使われているか、確認する。 ・登場人物の関係性を理解する。	「知音」の現代での意味を調べ、どのような使いができるか考え、実際に使用してみる。	
6月 2週~ 4週	歴史物語/最後の除目(大鏡)	読む こと	8	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 [2イ]	行動の分析	・政權と家を守ることへの執念がどのように描かれているかを本文中の描写から読み取る。 ・兼通・兼家それぞれの家と天皇家との関係について確認する。 ・若侍がなぜ反論したのかを考える。	「大鏡」の歴史を語る特徴について考え、話し合う。	
7月 1週~ 2週	探究の扉/栄花物語	読む こと	6	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 [2イ]	行動の分析	・歴史物語に分類される両作品の特徴を整理する。 ・円融天皇に対する兼通の働きかけの違いをまとめる。 ・「大鏡」と「栄花物語」の書き方の違いについて考える。	両作品の最後の一文を比較し、読み取れることを出し合う。	
9月 1週~ 3週	文章/捕蛇者説	読む こと	8	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 [2イ]	記述の確認	・永州の人が争って奔走したのなぜか読み取る。 ・蔣氏の主張の理由を考える。	作者がこの説を執筆したのかグループで話し合う。	
9月 4週~ 10月2週	評論/秘すれば花(風姿花伝)	読む こと	8	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 [2イ]	行動の確認	・能や世阿弥について確認する。 ・具体例が何をたとえているかを考える。 ・「秘す」には二種類の意味があることをおさえ、本文の結論をまとめる。	「秘すれば花」という考え方や、能以外の分野である場面を話し合う。	

10月 3週～ 11月1 週	漢詩/古体詩	読む こと	8	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	行動の分析	・それぞれの詩について、一句の字数、一首の句数、押韻を確認する。 ・それぞれの詩について対句表現を抜き出し、表現効果を考察する。	詩に用いられた修辞の効果について話し合う。
				思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【A(1)イ】	記述の点検 (ノート、プリント)		
				主体的に学習に取り組む態度 漢詩について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)		
11月 2週～ 3週	探究の扉/比べ読み 漢文と 日本文学	読む こと	6	知識・技能 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。【(1)エ】	記述の確認	・教科書家に掲載されている日本文学作品と中国文学作品を読み比べ、表現の類似点を指摘する。	中国文学がどのような形で日本文学に影響を与えるのかを考察し、発表しあう。
				思考・判断・表現 「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。【A(1)オ】	記述の点検 (ノート、プリント)		
				主体的に学習に取り組む態度 漢文と日本文学のかかわりについて進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)		
11月 4週～ 12月1 週	近世隨筆/師の説になづまざ ること(玉勝間)	読む こと	8	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	記述の確認	・国学について調べる。 ・「師の心」に対する宣長の受け取り方を読み取る。 ・「師の心」の誤りに対し、宣長はどのように対処すべきと考えているかを読み取る。	学問に対する宣長の考え方について話し合う。
				思考・判断・表現 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考え方や目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。【A(1)ウ】	記述の点検 (ノート、プリント)		
				主体的に学習に取り組む態度 学問に対する宣長の考え方を積極的にまとめ、学習課題に沿って自分の考え方を説明しようとしている。	記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)		
12月 2週～ 1月2週	文章/師説	読む こと	8	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	記述の確認	・どのような人が「師」となるのか、筆者の主張を確認する。 ・「師の心」の誤りに対し、宣長はどのように対処すべきと考えているかを読み取る。	都を離れた光源氏の生活ぶりを読み取る。 ・登場人物の気持ちの推移をたどる。 ・主従の気持ちが一つになっていく様子をたどる。
				「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。【A(1)オ】	記述の点検 (ノート、プリント)		
				主体的に学習に取り組む態度 積極的に筆者の主張をとらえ、学習の見通しをもって自分の考え方を説明しようとしている。	記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)		
1月 3週～ 2月1週	物語/須磨(源氏物語)	読む こと	9	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	行動の確認	・光源氏の教養に根ざす生活ぶりを読み取る。 ・登場人物の気持ちの推移をたどる。 ・主従の気持ちが一つになっていく様子をたどる。	都を離れた光源氏の生活ぶりから、貴族の教養の奥深さについて考え、発表する。
				思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【A(1)イ】	記述の点検 (ノート、プリント)		
				主体的に学習に取り組む態度 登場人物の心情とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)		
2月 2週～ 3月1週	物語/紫の上の死(源氏物語)	読む こと	9	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	行動の確認	・登場人物の関係性を確認する。 ・和歌のやり取りから、そこに入れられた思い読み取る。	紫の上の苦悩について本文中から読み取れる内容を話し合う。
				思考・判断・表現 「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。【A(1)オ】	記述の点検 (ノート、プリント)		
				主体的に学習に取り組む態度 登場人物の心情とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)		

3月	思想/探究の扉 未来に備える 読むこと	7	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	記述の確認	・「未来に備える遺伝子」を読んで、単元内で学習した諸子百家の文章に見える考え方との共通点を考える。 ・諸子百家の文章から現代に通じる考え方を探し、文章としてまとめる。	諸子百家の文章に見える考え方から、現代社会に通用する部分を考察して文章にまとめる。	
			思考・判断・表現 「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。【A(1)オ】	記述の点検 (ノート、プリント)			
			主体的に学習に取り組む態度 諸子百家の文章から現代に通じる考え方を粘り強く見いだし、積極的に文章に表そうとしている。	記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)			
指導時間数の合計		105					

科目名	単位数	課程・学科・学年		使用教科書名(出版社)				
古典探究	2	全日制・普通科・3年次		高等学校古典探究				
科目の目標		(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようとする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようとする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						
時期 月 週	単元名	領域	指導 時数	単元で育成する資質・能力 <単元の評価規準>	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	教材及び教科 等横断的な視 点等
4月 5月2週	日記文学/鷹(蜻蛉日記)	読む こと	7	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	行動の確認	・作者と道綱のやり取りを確認する。 ・「死にたい」けれど「死ねない」という相反する気持ちについてそれぞれの理由を理解する。 ・「あらそへば……」の歌に込められた作者の道綱への思いを読み取る。	作者と道綱のやりとりから道綱の思いについて考え、話し合う。	
5月 3週～ 5月4週	思想/荀子	読む こと	4	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	行動の確認	・本文における荀子の主張をまとめる。 ・性善説について自分の考えをまとめる。	・性善説と性悪説を比較し、話し合う。	
6月 1週～ 6月 3週	逸話/知音	読む こと	5	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	記述の確認	・この逸話から生まれた故事成語である「知音」は現在どのような意味で使われているか、確認する。 ・登場人物の関係性を理解する。	「知音」の現代での意味を調べ、どのような使い方ができるか考え、実際に使用してみる。	
6月 3週～ 7月	歴史物語/最後の除目(大鏡)	読む こと	7	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	行動の分析	・政権と家を守ることへの執念がどのように描かれているかを本文中の描写から読み取る。 ・兼通・兼家それぞれの家と天皇家との関係について確認する。 ・若侍がなぜ反論したのかを考える。	「大鏡」の歴史を語る特徴について考え、話し合う。	
9月 1週～ 3週	文章/捕蛇者説	読む こと	6	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	記述の確認	・永州の人が争って奔走したのなぜか読み取る。 ・蒋氏の主張の理由を考える。	作者がこの説を執筆したのかグループで話し合う。	
9月 4週～ 10月3 週	評論/秘すれば花(風姿花伝)	読む こと	7	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	行動の確認	・能や世阿弥について確認する。 ・具体例が何をとえているかを考える。 ・「秘す」には二種類の意味があることをおさえ、本文の結論をまとめる。	「秘すれば花」という考え方方が、能以外の分野であてはまる場面を話し合う。	
10月 4週～ 11月1 週	漢詩/古体詩	読む こと	4	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	行動の分析	・それぞれの詩について、一句の字数、一首の句数、押韻を確認する。 ・それぞれの詩について対句表現を抜き出し、表現効果を考察する。	詩に用いられた修辞の効果について話し合う。	

				主体的に学習に取り組む態度 漢詩について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)		
11月 2週～ 12月1週	近世隨筆/師の説になづまざること(玉勝間)	読むこと	6	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	記述の確認	・国学について調べる。 ・「師の心」に対する宣長の受け取り方を読み取る。 ・「師の心」の誤りに対し、宣長はどのように対処るべきと考えているかを読み取る。	学問に対する宣長の考え方について話し合う。
12月 2週～ 1月2週	文章/師説	読むこと	6	思考・判断・表現 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考え方や目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。【A(1)ウ】	記述の点検 (ノート、プリント)		
1月 3週～ 2月1週	物語/須磨(源氏物語)	読むこと	6	主体的に学習に取り組む態度 学問に対する宣長の考え方を積極的にまとめ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)		
2月 2週～ 3月1週	物語/紫の上の死(源氏物語)	読むこと	7	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】	行動の確認	・光源氏の教養に根ざす生活ぶりを読み取る。 ・登場人物の気持ちの推移をたどる。 ・主従の気持ちが一つになっていく様子をたどる。	都を離れた光源氏の生活ぶりから、貴族の教養の奥深さについて考え、発表する。
3月	思想/探究の扉 未来に備える遺伝子	読むこと	5	思考・判断・表現 「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。【A(1)オ】	記述の点検 (ノート、プリント)	・登場人物の関係性を確認する。 ・和歌のやり取りから、そこに込められた思い読み取る。	紫の上の苦悩について本文から読み取れる内容を話し合う。
領域ごとの指導時間数の計	話すこと・聞くこと	0		主体的に学習に取り組む態度 登場人物の心情とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)	・「未来に備える遺伝子」を読んで、単元内で学習した諸子百家の文章に見える考え方との共通点を考える。 ・諸子百家の文章から現代に通じる考え方を探し、文章としてまとめる。	諸子百家の文章に見える考え方から、現代社会に通用する部分を考察して文章にまとめる。
	書くこと	0			記述の点検 (ノート、プリント)		
	読むこと	70			記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)		
	指導時間数の合計	70					

科目名	単位数	課程・学科・学年		使用教科書名(出版社)				
作家研究	2	3		高校生のための近現代文学ベーシックちくま小説入門(筑摩書房)				
科目的目標		1 近現代の作家について複数の作品を比較しながら読解することにより、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨く。 2 自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章で表現し、発表する力を身につける。 3 近現代の文学に対する理解と関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、人生を豊かにする態度を育てる。						
時期 月 週	単元名	領域	指導 時数	単元で育成する資質・能力 <単元の評価規準>	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	教材及び教科 等横断的な視 点等
4~6 月	作家論と作品論	読む こと	20	① 知識・技能 表現と理解に役立てるための文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身につけて いる。 ② 思考・判断・表現 文章を読み取りながら、自分の考えをまとめたり深めたりして、目的に応じて筋道を立てて適 切に文章を書いている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 国語や言語文化に対する関心を高め、進んで表 現しようと努め、伝え合おうとする。	意見交流や ディスカッ ション中の発 言、および意 見の記述 意見交流や ディスカッ ション中の発 言、および意 見の記述 意見交流や ディスカッ ション中の発 言、および意 見の記述	芥川龍之介の小説と、作品に ついての論文を複数読み、作 品論の考え方について学ぶと ともに、作家の一生と照らし て作品を捉えた場合の、作家 論についても、考え方を学 ぶ。	小説や論文の読み取りをも とにした意見交流および ディスカッション。	英語の学習を 生かし、海外 における芥川 龍之介作品の 評価を知るた めに、英語で 論文を読む活 動を含む。
7、9~ 10月	作家研究、作品研 究	読む こと	18	① 知識・技能 表現と理解に役立てるための文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身につけて いる。 ② 思考・判断・表現 文章を読み取りながら、自分の考えをまとめたり深めたりして、目的に応じて筋道を立てて適 切に文章を書いている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 国語や言語文化に対する関心を高め、進んで表 現しようと努め、伝え合おうとする。	意見交流や ディスカッ ション中の発 言、および意 見の記述 意見交流や ディスカッ ション中の発 言、および意 見の記述 意見交流や ディスカッ ション中の発 言、および意 見の記述	生徒たちが興味や関心のある 作家の小説を持ち寄り交説 し、考えを深める。4~6月に 実施した芥川龍之介の作品を 題材にした学習を踏まえ、小 説論として成立する論理的な 読みの力を深める。	小説や論文の読み取りをも とにした意見交流および ディスカッションおよび小 レポートの記述。	地歴公民科と 連携し、作家 が生きた時代 背景や思想の 背後にある歴 史的な事実に ついて学ぶ。
11~12 月	レポート執筆	書くこと	20	① 知識・技能 表現と理解に役立てるための文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身につけて いる。 ② 思考・判断・表現 自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や 目的に応じ、筋道を立てて適切に文章で表現す る力を身につけている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 国語や言語文化に対する関心を高め、進んで表 現しようと努め、伝え合おうとする。	レポートの記 述 レポートの記 述 レポートの記 述	研究したい作家を1人決め、 その作家や作品についてレ ポートにまとめる。	レポートの記述。	地歴公民科と 連携し、作家 が生きた時代 背景や思想の 背後にある歴 史的な事実に ついて学ぶ。
1月	発表	話すこと・ 聞くこと	12	① 知識・技能 表現と理解に役立てるための言葉遣い、発表の仕 方等を理解し、身につけている。 ② 思考・判断・表現 自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的 に応じ、筋道を立てて適切に文章で表現し、発表す る力を身につけている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 国語や言語文化に対する関心を高め、進んで表 現しようと努め、伝え合おうとする。	レポートの発表 レポートの発表 レポートの発表	研究したい作家を1人決め、その 作家や作品についてまとめたレ ポートをもとに、発表する。	レポートをもとに発表。	地歴公民科と連 携し、作家が生 きた時代背景や 思想の背後にある歴 史的な事実に ついて学ぶ。
ご と の 指 導 時 間 数	話すこと・聞くこと		12					
	書くこと		20					
	読むこと		38					
指導時間数の合計			70					

科目名		単位数	課程・学科・学年		使用教科書名(出版社)			
王朝物語研究 I		2	全日制・普通科・第3年次		『源氏物語読本』(筑摩書房)			
科目の目標		1 王朝物語文学の傑作と言われる『源氏物語』を読み味わうことによって、古典を読む力を養う。 2 『源氏物語』を生み出した社会の高度な文化的蓄積や伝統について理解する。 3 『源氏物語』についての理解や関心を深めることによって、古典に親しみ人生を豊かにする態度を育てる。						
時期 月 週	単元名	領域	指導 時数	単元で育成する資質・能力 <単元の評価規準>	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	教材及び教科 等横断的な視 点等
4月 ~6月	『源氏物語』概論	B読 むこと	20	① 知識・技能 『源氏物語』を読むことを通して、我が国の文化の特質などについて理解を深めている。 (2)ア) ② 思考・判断・表現 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえながら、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している (A(1)エ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 『源氏物語』に興味を持ち、作品の内容や背景、文章の特色について理解を深めるために粘り強く取り組み、自らの学習を調整しようとしている	記述の確認・点検(ノート・小テスト) 発表資料の分析・行動の観察	○『源氏物語』の表現上の特色について考え、優れた表現に親しむ。 ○作品に描かれた人間・社会・自然等に対する思想や感情について考える。	○『源氏物語』を読み解きながら、表現上の特色や表現について調べてまとめる。 (関連: [思考力、判断力、表現力等] A(2)ア)	『源氏物語』(紫式部)
7月 ~10月	文法・和歌・敬語等表現技法について	B読 むこと	22	① 知識・技能 古典の読むために必要な文語の決まりや訓読の決まりについて理解を深めている。 (2)イ) ② 思考・判断・表現 「読むこと」において、書き手の考え方や目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している (A(1)ウ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 『源氏物語』を読み解き、作品の展開や叙述を理解するために粘り強く取り組み、自らの学習を調整しようとしている。	記述の確認・点検(ノート・小テスト) 発表資料の分析・行動の観察	○古典に用いられている語句の意味・用法等についての理解を深め、自分の力で『源氏物語』を読み味わえるようにする。 ○作品に描かれた人間・社会・自然等に対する思想や感情を読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。	○『源氏物語』を読み解きながら、表現上の特色や表現について調べてまとめる。 ○作品に描かれた人間関係や背景についてまとめて発表する。 (関連: [思考力、判断力、表現力等] A(2)オ)	『源氏物語』(紫式部)
11月 ~1月	『源氏物語』総論・総括	B読 むこと	28	① 知識・技能 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している (2)イ) ② 思考・判断・表現 「読むこと」において、作品や文章について、内容や解釈を自分の見方と結び付け、考え方を広げたり深めたりしている。 (A(1)オ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 今まで学習したことを生かし『源氏物語』を読み解くことを通して、王朝物語について理解を深めるために粘り強く取り組み、自らの学習を調整しようとしている	発表資料・ノートの確認・点検 発表資料の分析・行動の観察	○『源氏物語』から1帖選び、登場人物の関係性や時代背景等を踏まえて通読し、内容について理解を深める。 ○同時代の他の作品との比較を通じ、王朝物語について理解を深める。	○『源氏物語』から1帖選び、その内容や登場人物の関係性、背景等をまとめ発表する。 ○同時代の他の作品と比較し、歴史的背景等も踏まえながらまとめて発表する。 (関連: [思考力、判断力、表現力等] A(2)オ)	『源氏物語』(紫式部) 地歴公民科 文学史・歴史的背景の理解をもとに内容説解を深める。
領域ごとの指導時間数の計	話すこと・聞くこと		0					
	書くこと		0					
	読むこと		70					
指導時間数の合計			70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)					
現代の問題研究	3	全日制・普通科・3年次	日本語力を付ける文章読本知的探究の新書30冊(東京大学出版会)					
科目的目標	(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようとする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようとする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。							
時期 月 週	単元名	領域	指導 時数	単元で育成する資質・能力 <単元の評価規準>	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	教材及び教科 等横断的な視 点等
4~6 月	要約文作成による評論読解	読むこと	20	① 知識・技能 現代社会の問題を扱った様々な文章を読み、表現と理解に役立てるための語彙等を理解し、知識を身につけている。 ② 思考・判断・表現 現代社会の問題を扱った様々な文章を読み、要旨を的確にとらえている。 ③ 主題的に学習に取り組む態度 現代社会の問題を扱った様々な文章を読み、進んで表現しようと努め、伝え合おうとする。	意見交流やディスカッション中の発言、および要約文の記述	新書を中心に評論を複数読み、評論の読み方にについて学ぶとともに、要約文を作成することを通じて評論独自の論理展開を学ぶ。	新書の読み取りをもとにした意見交流およびディスカッションと要約文作成。	英語科、地歴公民科や家庭科と連携し、背景知識について学び読解に役立てる。
7、9~ 10月	小論文演習	書くこと	20	① 知識・技能 現代社会の問題を扱った様々な文章を読み、表現と理解に役立てるための語彙等を理解し、知識を身につけている。 ② 思考・判断・表現 現代社会の問題を扱った様々な文章を読み、自分の考えをまとめたり深めたりして、目的に応じて筋道を立てて適切に文章を書いている。 ③ 主題的に学習に取り組む態度 現代社会の問題を扱った様々な文章を読み、進んで表現しようと努め、伝え合おうとする。	意見交流やディスカッション中の発言、および小論文の記述	さまざまなテーマにしたがって小論文を記述し、論理的な文章の記述方法について理解し、適切な表現方法を学ぶ。	小論文の記述演習と記述後の小論文をもとにした意見交流およびディスカッション。	英語科、地歴公民科や家庭科と連携し、背景知識について学び記述に役立てる。
11~1 月	論述問題演習	書くこと	30	① 知識・技能 現代社会の問題を扱った様々な文章を読み、表現と理解に役立てるための語彙等を理解し、知識を身につけている。 ② 思考・判断・表現 現代社会の問題を扱った様々な文章を読み、自分の考えをまとめたり深めたりして、目的に応じて筋道を立てて適切に文章を書いている。 ③ 主題的に学習に取り組む態度 現代社会の問題を扱った様々な文章を読み、進んで表現しようと努め、伝え合おうとする。	論述問題およびレポートの記述	論述形式の実践問題に触れ、論理的な論述方法と表現について学ぶ。	論述問題演習、およびレポートの記述。	英語科、地歴公民科や家庭科と連携し、背景知識について学び記述に役立てる。
領域ごとの指導時間数の計	話すこと・聞くこと		0					
	書くこと		50					
	読むこと		20					
	指導時間数の合計			70				

科目名		単位数	課程・学科・学年		使用教科書名(出版社)			
女流日記文学研究		2	全日制・普通科・3年次		『和泉式部日記』(角川学芸出版)			
科目的目標		1 さまざまな女流日記文学を読み味わうことによって、古典を読む力を養う。 2 さまざまな女流日記文学を生み出した当時の社会の高度な文化的蓄積や伝統について理解する。 3 さまざまな女流日記文学についての理解や関心を深めることによって、古典に親しみ人生を豊かにする態度を育てる。						
時期	単元名	領域	指導時数	単元で育成する資質・能力 <単元の評価規準>	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	教材及び教科等横断的な視点等
4月 ~ 9月	和泉式部日記を学ぶ	B読むこと	40	① 知識・技能 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙をゆたかにしている。 ((1)ア)	記述の点検 (ノート)	○作品に描かれる平安時代の社会情勢について調べ、発表する。 ○和歌に着目しながら全35段を通読し、文章の構成や展開、表現の特色などについて考えたことをまとめること。 ○作品の特徴や考えられる書き手の意図などについて考え、発表する。 (関連:【思考力、判断力、表現力等】A(2)ア)	『和泉式部日記』を通して読み、その内容や形式などについて興味をもったことや疑問に感じたことについて、調べて発表したり議論したりする活動。	「和泉式部日記」(和泉式部)
10月 ~ 1月	日記作品を比べ読みする	B読むこと	30	① 知識・技能 古典を読むことを通して、我が国の文化の特質などについて理解を深めている ((2)ア)	記述の点検 (ノート)	○時代や作者の違う日記文学作品について概要を調べ、発表する。 ○一つの作品を選び、その成立背景や他の作品などとの関係を踏まえながら通読し、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。	日記文学作品を複数読み比べ、作品の特徴などについて発表したり報告書にまとめたりする活動。 (関連:【思考力、判断力、表現力等】A(2)オ)	「更級日記」(菅原孝標女) 「蜻蛉日記」(右大将道綱母) 「十六夜日記」(阿仏尼)ほか
領域ごとの指導時間数の計	話すこと・聞くこと		0					
	書くこと		0					
	読むこと		70					
	指導時間数の合計		70					

科目名		単位数	課程・学科・学年		使用教科書名(出版社)			
論語研究		2	全日制・普通科・3年次		『論語』(ワイド版岩波文庫)			
科目的目標		1 東アジア漢字文化圏において、その文化的基層を広く支えてきた儒家の思想を伝える儒家の経典である『論語』を読み、我々のものの考え方や感じ方がどのように土台の上に立つものかを理解する。 2 『論語』の文章に広く触れ、言語によって伝承され続けてきた普遍的な人間性の追究について理解する。 3 『論語』についての理解や関心を深めることによって、古典に親しみ人生を豊かにする態度を育てる。						
時期 月 週	単元名	領域	指導 時数	単元で育成する資質・能力 <単元の評価規準>	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	教材及び教科 等横断的な視 点等
4月～ 9月	論語における複数の文章を 読み比べ、ものの見方・考 え方について考え方 によつて考え方	B読 むこと	40	① 知識・技能 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙をゆたかにしている。 ((1)ア) ② 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 (A(1)ア) ③ 主体的に学習に取り組む態度 複数の文章の読み比べを通して、積極的に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ中で、自らの学習を調整しようとしている。	記述の点検 (ノート) 記述の点検 (プレゼンテーションシート) 記述の分析 (ペーパーテ スト) 記述の確認 (振り返り シート)	○作品から伺える当時の社会情勢について調べまとめる。 ○共通するテーマの文章を複数読み比べ、文章の構成や展開について考えたことをまとめる。 ○論語におけるものの見方・考え方の特徴について考え、発表する。	論語を通して読み、その内容や形式などに関して興味をもったことや疑問に感じたことについて、調べて発表したり議論したりする活動。 (関連：【思考力、判断力、表現力等】A(2)ア)	「論語」 地理歴史、公民
10月～ 1月	論語にものの見方・考え方と 現代の諸問題について考察 しよう	B読 むこと	30	① 知識・技能 古典を読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国などの外国の文化との関係について理解を深めている ((2)ア) ② 思考・判断・表現 「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 (A(1)ア) ③ 主体的に学習に取り組む態度 全章段の読み比べを通して、積極的に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ中で、自らの学習を調整しようとしている。	記述の点検 (ノート) 記述の点検 (プレゼンテーションシート・報告書) 記述の分析 (ペーパーテ スト) 記述の確認 (振り返り シート)	○儒家の思想が日本文化にどのような影響を与える、人々に受容されてきたかを調べ、まとめる。 ○論語における複数のテーマから一つ選び、それに準ずる複数の文章と現代の諸問題との関連をまとめ、考察したものを発表する。	論語における文章を複数読み比べ、作品の特徴などについて発表したり報告書にまとめたりする活動。 (関連：【思考力、判断力、表現力等】A(2)オ)	「論語」 地理歴史、公民
領域ごとの 指導時間 数の 計	話すこと・聞くこと							
	書くこと							
読むこと		70						
指導時間数の合計			70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名（出版社）				
歴史総合	2	全日制・普通科・1年	『現代の歴史総合 みる・読みとく・考える』(山川出版社)				
科目的目標	<p>(何を学ぶか) 現代的な諸課題に関わる近現代の歴史を理解する。諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>(どのように学ぶか) 近現代の歴史を多面的・多角的に考察する。歴史に見られる課題の解決に向けて構想する。考察・構想したことについて説明したり、議論したりする。</p> <p>(何ができるようになるか) よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>						
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動 各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連	
4月 1週 1日	第I部 近代化と私たち 第1章 結びつく世界と日本の開国 1 18世紀の東アジアにおける社会と経済	1	<p>①学びに向かう力、人間性等 18世紀の中国経済や、日本の社会や経済とその変容について、興味・関心をもったこと、疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。</p> <p>②思考力・判断力・表現力 18世紀の中国経済や、日本の社会や経済とその変容について、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。</p> <p>③知識・技能 18世紀の中国経済や、日本の社会や経済とその変容について理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。</p>	<p>・授業内プリント ・討論や発表</p> <p>・授業内プリント ・定期テスト</p> <p>・授業内プリント ・定期テスト</p>	<p>◎ 18世紀の中国と日本では商品生産と流通網はどのように発達したのだろうか。</p> <p>○ 18世紀の中国経済の発展に、どのような商品やモノが影響を与えたのだろうか。</p> <p>○ 繁栄する18世紀の東アジアのなかで、中国と日本の共通点と相違点はどこにあったのだろうか。</p> <p>○ 德川幕府の仕組みは、経済の発展にどのような影響を与えたのだろうか。</p> <p>諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。</p>	<p>・討論や発表</p>	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
4月 2週 1日	第1章 結びつく世界と日本の開国 2 貿易が結んだ世界と日本	1	<p>①学びに向かう力、人間性等 アジア域内における貿易とヨーロッパの進出や18世紀のアジア貿易と日本の関係について、興味・関心をもったこと、疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。</p> <p>②思考力・判断力・表現力 アジア域内における貿易とヨーロッパの進出や18世紀のアジア貿易と日本の関係について、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。</p> <p>③知識・技能 アジア域内における貿易とヨーロッパの進出や18世紀のアジア貿易と日本の関係について理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。</p>	<p>・授業内プリント ・討論や発表</p> <p>・授業内プリント ・定期テスト</p> <p>・授業内プリント ・定期テスト</p>	<p>◎ 18世紀の世界と日本は、どのように結びついていたのだろうか。</p> <p>○ アジア域内の貿易はだれによって担われていたのだろうか。</p> <p>○ 欧米諸国が中国やインドや東南アジアに求めたものはそれぞれ何だろうか。</p> <p>○ どのような商品を通して世界とアジア、日本は結びついていたのだろうか。</p> <p>諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。</p>	<p>・討論や発表</p>	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
4月 3週 2日	第1章 結びつく世界と日本の開国 3 産業革命	2	<p>①学びに向かう力、人間性等 産業革命による技術革新や社会の変化、他国への産業革命の普及や交通と情報の様子について興味・関心をもったこと、疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。</p> <p>②思考力・判断力・表現力 産業革命による技術革新や社会の変化、他国への産業革命の普及や交通と情報の様子について教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。</p> <p>③知識・技能 産業革命による技術革新や社会の変化、他国への産業革命の普及や交通と情報の様子について理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。</p>	<p>・授業内プリント ・討論や発表</p> <p>・授業内プリント ・定期テスト</p> <p>・授業内プリント ・定期テスト</p>	<p>◎ 18世紀から始まる技術革新の波は、世界をどのように変えたのだろうか。</p> <p>○ 産業革命は、なぜイギリスで始まったのだろうか。</p> <p>○ 産業革命は世界の結びつきをどのように強めたのだろうか。</p> <p>○ 産業革命によって人々は豊かになったのだろうか。</p> <p>諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。</p>	<p>・討論や発表</p>	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
4月 4週 2日	第1章 結びつく世界と日本の開国 4 中国の開港と日本の開国	2	<p>①学びに向かう力、人間性等 アヘン戦争が中国に与えた影響や日本の開国の様子、そして世界経済における東アジアの役割について興味・関心をもったこと、疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。</p> <p>②思考力・判断力・表現力 アヘン戦争が中国に与えた影響や日本の開国の様子、そして世界経済における東アジアの役割について、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。</p>	<p>・授業内プリント ・討論や発表</p> <p>・授業内プリント ・定期テスト</p>	<p>◎ 清の開港と日本の開国によって、東アジアはどのように変わったのだろうか。</p> <p>○ 欧米諸国が清の開港を求める理由と日本の開国を求める理由は、どのように異なるのだろうか。</p> <p>○ 清の開港と日本の開国ではその内容はどのように異なるのだろうか。</p> <p>○ 欧米諸国の進出に対して日本や清はどのように対応したのだろうか。</p>	<p>・討論や発表</p>	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。

		<p>③知識・技能 アヘン戦争が中国に与えた影響や日本の開国の様子、そして世界経済における東アジアの役割について、理解することができる。また、それに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。</p>	・授業内プリント 定期テスト	諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。	
5月 1週 1日	第2章 国民国家と明治維新 1 市民革命	<p>①学びに向かう力、人間性等 アメリカ独立革命やフランス革命の展開、その後に登場したナポレオンの帝国、そして市民革命が世界に与えた衝撃について、興味・関心をもつたこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いただしている。</p>	・授業内プリント ・討論や発表	<p>◎市民革命は、社会をいかに変えたのだろうか。 ○市民革命が実現しようとした社会は、どのようなものだろうか。 ○市民革命はどのように展開したのだろうか。 ○なぜこの時期に、大西洋の両側で革命や革命的な動きが広がったのだろうか。</p>	・討論や発表 史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
		<p>②思考力・判断力・表現力 アメリカ独立革命やフランス革命の展開、その後に登場したナポレオンの帝国、そして市民革命が世界に与えた衝撃について、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。</p>	・授業内プリント 定期テスト	諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。	
		<p>③知識・技能 アメリカ独立革命やフランス革命の展開、その後に登場したナポレオンの帝国、そして市民革命が世界に与えた衝撃について、理解することができる。また、それに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。</p>	・授業内プリント 定期テスト	諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。	
5月 2週 1日	第2章 国民国家と明治維新 1 国民国家とナショナリズム	<p>①学びに向かう力、人間性等 国家の統一や国民、国家、ナショナリズムの概念、ナショナリズムがアメリカやオスマン帝国にもたらした変化について、興味・関心をもつたこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いただしている。</p>	・授業内プリント ・討論や発表	<p>◎国民国家とは何だろうか。 ○国民を統合するためには何が必要なのだろうか。 ○国民国家を形成しようとする動きが、19世紀になって広まったのはなぜだろうか。</p>	・討論や発表 史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
		<p>②思考力・判断力・表現力 国家の統一や国民、国家、ナショナリズムの概念、ナショナリズムがアメリカやオスマン帝国にもたらした変化について、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。</p>	・授業内プリント 定期テスト	<p>○国民国家は、どのような影響や課題をもたらしたのだろうか。</p>	
		<p>③知識・技能 国家の統一や国民、国家、ナショナリズムの概念、ナショナリズムがアメリカやオスマン帝国にもたらした変化について理解することができる。また、それに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。</p>	・授業内プリント 定期テスト	諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。	
5月 3週 2日	第2章 国民国家と明治維新 3 明治維新	<p>①学びに向かう力、人間性等 幕末の政治変動や新政府による変革、それによって成立した立憲国家の性質や文明開化の状況について、興味・関心をもつたこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いただしている。</p>	・授業内プリント ・討論や発表	<p>◎日本はどのようにして国民政治に参加する国になったのだろうか。 ○開国以後、幕府の支配はなぜ動搖したのだろうか。</p>	・討論や発表 史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
		<p>②思考力・判断力・表現力 幕末の政治変動や新政府による変革、それによって成立した立憲国家の性質や文明開化の状況について、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。</p>	・授業内プリント 定期テスト	<p>○政治参加を求める動きの担い手は、この期間を通してどのように変化したのだろうか。 ○日本で成立した立憲政治には、どのような可能性と限界があったのだろうか。</p>	
		<p>③知識・技能 幕末の政治変動や新政府による変革、それによって成立した立憲国家の性質や文明開化の状況について理解することができる。また、それに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。</p>	・授業内プリント 定期テスト	諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。	
5月 4週 2日	第2章 国民国家と明治維新 4 日本の産業革命	<p>①学びに向かう力、人間性等 19世紀後半の国際環境と在来産業の様子を踏まえ、近代産業の基盤の形成や産業革命の展開の状況について、興味・関心をもつたこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いただしている。</p>	・授業内プリント ・討論や発表	<p>◎日本の産業革命が、イギリスの産業革命に比べてきわめて短期間で達成されたのはなぜだろうか。</p>	・討論や発表 史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
		<p>②思考力・判断力・表現力 19世紀後半の国際環境と在来産業の様子を踏まえ、近代産業の基盤の形成や産業革命の展開の状況について、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。</p>	・授業内プリント 定期テスト	<p>○自由貿易にもとづく国際経済の枠組みは、日本の産業革命にどのような影響を与えたのだろうか。 ○日本の産業革命の中心となつた紡績業と製糸業にはどのような違いがあるのだろうか。</p>	
		<p>③知識・技能 19世紀後半の国際環境と在来産業の様子を踏まえ、近代産業の基盤の形成や産業革命の展開の状況について、理解することができる。また、それに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。</p>	・授業内プリント 定期テスト	<p>○産業革命前後では、機械の動力、生産量、労働者に求められる技術、原料の調達方法はどのように変化したのだろうか。</p>	

6月 1週 2日	第2章 国民国家と明治維新 5 帝国主義	①学びに向かう力・人間性等 帝国主義の概念や、列強による西アジア・中央アジアの侵食、南・東南アジアの植民地化と、それとともに社会の変容について、興味・関心をもったこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。 ②思考力・判断力・表現力 帝国主義の概念や、列強による西アジア・中央アジアの侵食、南・東南アジアの植民地化と、それとともに社会の変容について、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせ表現している。 ③知識・技能 帝国主義の概念や、列強による西アジア・中央アジアの侵食、南・東南アジアの植民地化と、それとともに社会の変容について理解することができる。また、それに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。	・授業内プリント ・討論や発表 ・授業内プリント ・定期テスト ・授業内プリント ・定期テスト	◎ 帝国主義の出現は、世界をどのように変えたのだろうか。 ○ 欧米諸国はなぜ植民地化を進めたのだろうか。 ○ 植民地化はどこで、どのように進んだのだろうか。 ○ 植民地とされた地域の社会は、どのように変わったのだろうか。 諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせ考察したり表現したりする。	・討論や発表 ・討論や発表	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
6月 2週 2日	第2章 国民国家と明治維新 6 変容する東アジアの国際秩序	①学びに向かう力・人間性等 条約による日本の国境画定の様子や、朝鮮に対する権益をめぐる日清の対抗、そして日清戦争の推移について、興味・関心をもったこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。 ②思考力・判断力・表現力 条約による日本の国境画定の様子や、朝鮮に対する権益をめぐる日清の対抗、そして日清戦争の推移について、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせ表現している。 ③知識・技能 条約による日本の国境画定の様子や、朝鮮に対する権益をめぐる日清の対抗、そして日清戦争の推移について、理解することができる。また、それに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。	・授業内プリント ・討論や発表 ・授業内プリント ・定期テスト ・授業内プリント ・定期テスト	◎ 日清戦争はどのようにしておこり、その後の東アジアにどのような影響を与えたのだろうか。 ○ 明治維新後の日本は、どのようにして主権国家をめざしたのだろうか。 ○ 朝鮮の近代化は、どのような国際関係のなかで模索されたのだろうか。 ○ 日清戦争により、東アジアをめぐる国際関係はどのように変わったのだろうか。 諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせ考察したり表現したりする。	・討論や発表 ・討論や発表	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
6月 3週 2日	第2章 国民国家と明治維新 7 日露戦争と東アジアの変動	①学びに向かう力・人間性等 国の立て直しを模索する清の状況や辛亥革命の発生、日露戦争の推移について、興味・関心をもったこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。 ②思考力・判断力・表現力 国の立て直しを模索する清の状況や辛亥革命の発生、日露戦争の推移について、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせ表現している。 ③知識・技能 国の立て直しを模索する清の状況や辛亥革命の発生、日露戦争の推移について、理解することができる。また、それに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。	・授業内プリント ・討論や発表 ・授業内プリント ・定期テスト ・授業内プリント ・定期テスト	◎ 列強の対立が激しくなるなか、東アジアはどのように変わったのだろうか。 ○ 欧米列強や日本の中国進出は、どのようにして進んだのだろうか。 ○ 日露戦争により、東アジアをめぐる国際関係のなかで模索されたのだろうか。 ○ 清を倒す辛亥革命はなぜ始まり、その結果、中国はどのように変わったのだろうか。 諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせ考察したり表現したりする。	・討論や発表 ・討論や発表	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
6月 4週 2日	第Ⅱ部 あ 国際秩序の変化や 大衆化と私たち 第3章 総力戦と社会運動 1 第一次世界大戦の展開	①学びに向かう力・人間性等 第一次世界大戦の勃発と展開や、それに関わるアメリカの参戦、秘密外交の動揺とドイツの敗戦、そして第一次世界大戦が世界に与えた影響や、日本にとっての第一次世界大戦の性質について、興味・関心をもったこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。 ②思考力・判断力・表現力 第一次世界大戦の勃発と展開や、それに関わるアメリカの参戦、秘密外交の動揺とドイツの敗戦、そして第一次世界大戦が世界に与えた影響や、日本にとっての第一次世界大戦の性質について、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせ表現している。 ③知識・技能 第一次世界大戦の勃発と展開や、それに関わるアメリカの参戦、秘密外交の動揺とドイツの敗戦、そして第一次世界大戦が世界に与えた影響や、日本にとっての第一次世界大戦の性質について、理解することができる。また、それに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。	・授業内プリント ・討論や発表 ・授業内プリント ・定期テスト ・授業内プリント ・定期テスト	◎ 第一次世界大戦は、その後の世界にどのような影響を与えたのだろうか。 ○ 第一次世界は、なぜ「大戦」となったのだろうか。 ○ 日第一次世界大戦は、それまでの戦争とどのような点で異なっていたのだろうか。 ○ 第一次世界大戦は、各地の人々や社会に、どのような影響をおよぼしたのだろうか。 諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせ考察したり表現したりする。	・討論や発表 ・討論や発表	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
6月 5週 2日	第3章 総力戦と社会運動 2 ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭	①学びに向かう力・人間性等 ロシア革命やその後のスターリン体制への移行とそれに対する諸外国の反応、そして対するアメリカの国際的地位の向上や繁栄とその弊害について興味・関心をもったこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。	・授業内プリント ・討論や発表	◎ 第一次世界大戦後の世界において、ソ連とアメリカはどのような影響力をもったのだろうか。 ○ ロシア革命はそれまでの革命とどのような違いがあったのだろうか。	・討論や発表 ・討論や発表	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。

7月 1週 1日	1	<p>②思考力・判断力・表現力 ロシア革命やその後のスターリン体制への移行とそれに対する諸外国の反応、そして対するアメリカの国際的地位の向上や繁栄とその弊害について教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。</p> <p>③知識・技能 ロシア革命やその後のスターリン体制への移行とそれに対する諸外国の反応、そして対するアメリカの国際地位の向上や繁栄とその弊害について理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。</p>	<p>授業内プリント 定期テスト</p> <p>授業内プリント 定期テスト</p>	<p>○ 欧米諸国や日本は、なぜロシア革命を脅威に感じたのだろうか。</p> <p>○ 第一次世界大戦は、アメリカの国際的地位にどのような影響を与えたのだろうか。</p> <p>○ 諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。</p>		
7月 2週 1日	1	<p>①学びに向かう力、人間性等 ヴェルサイユ体制とワシントン体制によって世界的な軍縮と協調外交が展開されたこと、そしてアメリカの国際主義と孤立主義の特徴について、興味・関心をもったこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。</p> <p>②思考力・判断力・表現力 ヴェルサイユ体制とワシントン体制によって世界的な軍縮と協調外交が展開されたこと、そしてアメリカの国際主義と孤立主義の特徴について、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。</p> <p>③知識・技能 ヴェルサイユ体制とワシントン体制によって世界的な軍縮と協調外交が展開されたこと、そしてアメリカの国際主義と孤立主義の特徴について、理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。</p>	<p>授業内プリント 討論や発表</p> <p>授業内プリント 定期テスト</p> <p>授業内プリント 定期テスト</p>	<p>○ 第一次世界大戦後、新たにどのような国際体制が築かれたのだろうか。</p> <p>○ ヴェルサイユ体制とワシントン体制の成果と課題は何だろうか。</p> <p>○ 第一次世界大戦後、国際的地位を高めたアメリカはどのように行動したのだろうか。</p> <p>○ 1920年代前半、日本が協調外交を展開した国際的理由と国内的理由は、何だろうか。</p> <p>○ 諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。</p>	<p>討論や発表</p>	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
7月 3週 1日	1	<p>①学びに向かう力、人間性等 第一次世界大戦前後の日本経済の様子や、第一次世界大戦による世界経済の変容について、興味・関心をもったこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。</p> <p>②思考力・判断力・表現力 第一次世界大戦前後の日本経済の様子や、第一次世界大戦による世界経済の変容について教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。</p> <p>③知識・技能 第一次世界大戦前後の日本経済の様子や、第一次世界大戦による世界経済の変容について、理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。</p>	<p>授業内プリント 討論や発表</p> <p>授業内プリント 定期テスト</p> <p>授業内プリント 定期テスト</p>	<p>○ 第一次世界大戦は世界経済の構造をどのように変えて、日本経済にどのような影響を与えたのだろうか。</p> <p>○ 第一次世界大戦によって世界経済の中心はどのように変化したのだろうか。</p> <p>○ 第一次世界大戦の影響はどのような形で日本におよんだのだろうか。</p> <p>○ 1920年代の日本において不況が長期化し、金融システムが不安定化した理由は何だろうか。</p> <p>○ 諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。</p>	<p>討論や発表</p>	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
7月 4週 1日	1	<p>①学びに向かう力、人間性等 朝鮮や中国、インド、西アジアにおけるナショナリズムの展開について、興味・関心をもったこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。</p> <p>②思考力・判断力・表現力 朝鮮や中国、インド、西アジアにおけるナショナリズムの展開について、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。</p> <p>③知識・技能 朝鮮や中国、インド、西アジアにおけるナショナリズムの展開について、理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。</p>	<p>授業内プリント 討論や発表</p> <p>授業内プリント 定期テスト</p> <p>授業内プリント 定期テスト</p>	<p>○ 第一次世界大戦後、アジアのナショナリズムはなぜ高まったのだろうか。</p> <p>○ 朝鮮半島と中国のナショナリズムのあり方には、それぞれ国のおかれた状況によってどのような違いがあるのだろうか。</p> <p>○ 中国やインドのナショナリズムの高まりの背景には、何があったのだろうか。</p> <p>○ インドと西アジアのナショナリズムは、どのように展開したのだろうか。</p> <p>○ 諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。</p>	<p>討論や発表</p>	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
8月 4週 1日	1	<p>①学びに向かう力、人間性等 あ欧米諸国における参政権の拡大や、日本における大衆政治運動・社会運動の展開について、興味・関心をもったこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。</p> <p>②思考力・判断力・表現力 あ欧米諸国における参政権の拡大や、日本における大衆政治運動・社会運動の展開について教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。</p>	<p>授業内プリント 討論や発表</p> <p>授業内プリント 定期テスト</p>	<p>○ 権利を求める声はだれが発し、どのように社会へ広がったのだろうか。</p> <p>○ 欧米諸国での政治参加の拡大は、社会がどのように変化するなかで進んだのだろうか。</p> <p>○ 1925年に日本で男性普通選挙が実現した背景にはどのような社会の変化や世界情勢があったのだろうか。</p> <p>○ 社会運動に参加した人々は社会の何を変えようとしたのだろうか。</p>	<p>討論や発表</p>	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。

		<p>③知識・技能 あ欧米諸国における参政権の拡大や、日本における大衆政治運動・社会運動の展開について、理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。</p>	・授業内プリント 定期テスト	諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめる技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。		
9月 1週 2日	第3章 総力戦と社会運動 7 消費社会と大衆文化	<p>①学びに向かう力、人間性等 大衆消費社会の到来とマスメディアの関係や、日本における都市化と大衆文化の出現について、興味・関心をもったこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。</p> <p>②思考力・判断力・表現力 大衆消費社会の到来とマスメディアの関係や、日本における都市化と大衆文化の出現について、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。</p> <p>③知識・技能 大衆消費社会の到来とマスメディアの関係や、日本における都市化と大衆文化の出現について、理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。</p>	・授業内プリント ・討論や発表 定期テスト	<p>◎ 1920年代には、どのような文化や生活習慣が広がったのだろうか。 ○ アメリカで生まれた大衆消費社会は、人々の暮らしをどのように変えたのだろうか。</p> <p>○ 都市化の進行により、人々の暮らしはどのように変わったのだろうか。 ○ 教育機関や交通機関、マスメディアの発達は、大衆文化の発展にどのような影響を与えたのだろうか。</p> <p>諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめる技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。</p>	・討論や発表	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
9月 2週 2日	第4章 経済危機と第二次世界大戦 1 世界恐慌の時代	<p>①学びに向かう力、人間性等 アメリカで発生した大恐慌が世界に波及する様子や、ニューディール政策の展開、アメリカの孤立主義と国際情勢の対比、そして日本における昭和恐慌の発生とそこからの脱出について、興味・関心をもったこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。</p> <p>②思考力・判断力・表現力 アメリカで発生した大恐慌が世界に波及する様子や、ニューディール政策の展開、アメリカの孤立主義と国際情勢の対比、そして日本における昭和恐慌の発生とそこからの脱出について、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。</p> <p>③知識・技能 アメリカで発生した大恐慌が世界に波及する様子や、ニューディール政策の展開、アメリカの孤立主義と国際情勢の対比、そして日本における昭和恐慌の発生とそこからの脱出について、理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。</p>	・授業内プリント ・討論や発表 定期テスト	<p>◎ 世界恐慌はなぜ波及し、それに各国はどのように対応したのだろうか。 ○ 世界恐慌が発生した原因と悪化の要因は何だろうか。 ○ 世界各国の恐慌からの脱出方法の特徴は、何だろうか。 ○ 日本が世界に先がけて恐慌から脱出できた要因とその課題は何だろうか。</p> <p>諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめる技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。</p>	・討論や発表	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
9月 3週 2日	第4章 経済危機と第二次世界大戦 2 フاشィズムの伸長と共産主義	<p>①学びに向かう力、人間性等 ファシズムの出現とヴェルサイユ体制の崩壊、ソ連におけるコミニテルンの役割、スペイン内戦による枢軸国の結束の強まりと独ソの連携について、興味・関心をもったこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。</p> <p>②思考力・判断力・表現力 ファシズムの出現とヴェルサイユ体制の崩壊、ソ連におけるコミニテルンの役割、スペイン内戦による枢軸国の結束の強まりと独ソの連携について、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。</p> <p>③知識・技能 ファシズムの出現とヴェルサイユ体制の崩壊、ソ連におけるコミニテルンの役割、スペイン内戦による枢軸国の結束の強まりと独ソの連携について、理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。</p>	・授業内プリント ・討論や発表 定期テスト	<p>◎ なぜファシズムは勢力を伸長し、ヴェルサイユ体制が崩壊したのだろうか。 ○ イタリアとドイツでは、なぜ独裁的な指導者が登場したのだろうか。 ○ ヒトラー政権が誕生した経緯は、選挙や民主主義について、何を教えてくれているのだろうか。 ○ ドイツがイタリア・日本・そしてソ連とも連携するようになったのはなぜだろうか。</p> <p>諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめる技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。</p>	・討論や発表	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
9月 4週 1日	第4章 経済危機と第二次世界大戦 3 日中戦争への道	<p>①学びに向かう力、人間性等 南京国民政府の成立、満洲事変と日本軍部の台頭、日中戦争の展開について、興味・関心をもったこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。</p> <p>②思考力・判断力・表現力 南京国民政府の成立、満洲事変と日本軍部の台頭、日中戦争の展開について、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。</p> <p>③知識・技能 南京国民政府の成立、満洲事変と日本軍部の台頭、日中戦争の展開について、理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。</p>	・授業内プリント ・討論や発表 定期テスト	<p>◎ 日本はどのようにして中国との戦争に向かったのだろうか。 ○ 国民政府による中国の統一は、どのような意味をもったのだろうか。 ○ 满洲事変を経て、日本の政治や外交はどのように変わったのだろうか。 ○ 日中戦争は、なぜ長期戦となったのだろうか。</p> <p>諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめる技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。</p>	・討論や発表	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。

10月 1週 2日	第4章 経済危機と第二次世界大戦 4 第二次世界大戦の展開	①学びに向かう力・人間性等 第二次世界大戦の勃発と日本・アメリカの関与の様子、太平洋戦争の開始や連合国への形成、第二次世界大戦の終結について、興味・関心をもつたこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。 ②思考力・判断力・表現力 第二次世界大戦の勃発と日本・アメリカの関与の様子、太平洋戦争の開始や連合国への形成、第二次世界大戦の終結について、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせ表現している。 ③知識・技能 第二次世界大戦の勃発と日本・アメリカの関与の様子、太平洋戦争の開始や連合国への形成、第二次世界大戦の終結について、理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。	・授業内プリント ・討論や発表	◎第二次世界大戦はどのようにして多くの国々を巻き込み、長期化したのだろうか。 ○第二次世界大戦はどのようにして始まったのだろうか。 ○ヨーロッパで始まった第二次世界大戦に、アメリカと日本はどのように関与していったのだろうか。 ○連合国とその戦後構想はどのようにして形成されたのだろうか。 諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせ考察したり表現したりする。	・討論や発表	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
10月 2週 2日	第4章 経済危機と第二次世界大戦 5 第二次世界大戦下の社会	①学びに向かう力・人間性等 第二次世界大戦による計画経済の台頭と戦時統制や、それによる国民生活の変化、第二次世界大戦の惨劇や、第二次世界大戦がもたらしたものについて、興味・関心をもつたこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。 ②思考力・判断力・表現力 第二次世界大戦による計画経済の台頭と戦時統制や、それによる国民生活の変化、第二次世界大戦の惨劇や、第二次世界大戦がもたらしたものについて教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせ表現している。 ③知識・技能 第二次世界大戦による計画経済の台頭と戦時統制や、それによる国民生活の変化、第二次世界大戦の惨劇や、第二次世界大戦がもたらしたものについて理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。	・授業内プリント ・定期テスト	◎第二次世界大戦は人々にとってどのような経験だったのだろうか。 ○人々はどのようにして戦争に組み込まれていったのだろうか。 ○戦争の経験は戦後の社会にどのような影響を与えたのだろうか。 ○第二次世界大戦は、政治や経済の仕組みをどのように変容させたのだろうか。 諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせ考察したり表現したりする。	・討論や発表	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
10月 3週 2日	第4章 経済危機と第二次世界大戦 6 國際連合と国際経済体制	①学びに向かう力・人間性等 国際連合の形成や国際経済秩序の形成、日本の安全保障政策への影響について、興味・関心をもつたこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。 ②思考力・判断力・表現力 国際連合の形成や国際経済秩序の形成、日本の安全保障政策への影響について、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせ表現している。 ③知識・技能 国際連合の形成や国際経済秩序の形成、日本の安全保障政策への影響について、理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。	・授業内プリント ・討論や発表	◎新たな国際体制はどのように形成されたのだろうか。 ○国際連合設立にあたっては国際連盟からどのような教訓を得ていたのだろうか。 ○第二次世界大戦後の世界経済秩序には、どのような特徴があるのだろうか。 ○新たな国際体制においてアメリカはどのような役割を果たしたのだろうか。 諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせ考察したり表現したりする。	・討論や発表	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
10月 4週 2日	第4章 経済危機と第二次世界大戦 7 占領と戦後改革	①学びに向かう力・人間性等 国際連合の形成や国際経済秩序の形成、日本の安全保障政策への影響について、興味・関心をもつたこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。 ②思考力・判断力・表現力 国際連合の形成や国際経済秩序の形成、日本の安全保障政策への影響について、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせ表現している。 ③知識・技能 国際連合の形成や国際経済秩序の形成、日本の安全保障政策への影響について、理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。	・授業内プリント ・定期テスト	◎占領は日本をどのように変えたのだろうか。 ○ドイツと日本の戦後改革には、どのような共通点と相違点があったのだろうか。 ○日本国憲法の制定には、どのような目的や理想があったのだろうか。 ○敗戦の前後で、日本の政治社会において変化した点としなかった点は何だろうか。 諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせ考察したり表現したりする。	・討論や発表	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
第4章 経済危機と第二次世界大戦 8 冷戦の始まりと東アジア諸国の動向	・授業内プリント ・討論や発表	◎世界の分断はどのように表面化し、進んだのだろうか。 ○冷戦を特徴づけるものは何だろうか。 ○冷戦は、国際社会にどのような影響を与えたのだろうか。	・討論や発表	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。		

10月 5週 1日	1	②思考力・判断力・表現力 アメリカ・イギリス・ソ連の3国関係の変容や世界の二極化、冷戦から代理戦争の勃発への移行について、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。	・授業内プリント 定期テスト	○ 冷戦は1940年代後半から50年代初頭にかけて、ヨーロッパやアジアにおいてどのような形で表面化したのだろうか。 諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。	・討論や発表	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
		③知識・技能 アメリカ・イギリス・ソ連の3国関係の変容や世界の二極化、冷戦から代理戦争の勃発への移行について、理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。	・授業内プリント 定期テスト			
11月 1週 2日	2	①学びに向かう力・人間性等 冷戦と日本の占領政策の転換や、講和への道、独立後の日本とアメリカの関係、沖縄について興味・関心をもったこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。	・授業内プリント 討論や発表	○ 日本は、どのようにして国際社会に復帰したのだろうか。 ○ この時期にアメリカが日本の独立を急いだのはなぜだろうか。	・討論や発表	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
		②思考力・判断力・表現力 冷戦と日本の占領政策の転換や、講和への道、独立後の日本とアメリカの関係、沖縄について教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。	・授業内プリント 定期テスト	○ 日本の独立後、アメリカと日本はどのような関係になったのだろうか。 ○ 独立後の日本には、どのような課題が残ったのだろうか。		
		③知識・技能 冷戦と日本の占領政策の転換や、講和への道、独立後の日本とアメリカの関係、沖縄について理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。	・授業内プリント 定期テスト	諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。		
11月 2週 2日	2	①学びに向かう力・人間性等 冷戦下で発生した地域紛争、朝鮮戦争と東アジア情勢、アラブ諸国と中東戦争、アジア諸国の独立とインドニア戦争、ベトナム戦争などの戦争、また第三勢力の結集やアフリカの独立について、興味・関心をもったこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。	・授業内プリント 討論や発表	○ 冷戦下で、アジアやアフリカ諸国はそれぞれどのような動きをみせたのだろうか。 ○ 冷戦は、第二次世界大戦後に独立・建国した国々にどのような影響をおよぼしたのだろうか。	・討論や発表	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
		②思考力・判断力・表現力 冷戦下で発生した地域紛争、朝鮮戦争と東アジア情勢、アラブ諸国と中東戦争、アジア諸国の独立とインドニア戦争、ベトナム戦争などの戦争、また第三勢力の結集やアフリカの独立について、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。	・授業内プリント 定期テスト	○ アメリカや韓国は、なぜベトナム戦争を戦ったのだろうか。日本政府はどのような立場をとったのだろうか。 ○ 独新たに独立した国々を中心とする第三世界は、冷戦戦や旧支配国にどのような反応を示したのだろうか。		
		③知識・技能 冷戦下で発生した地域紛争、朝鮮戦争と東アジア情勢、アラブ諸国と中東戦争、アジア諸国の独立とインドニア戦争、ベトナム戦争などの戦争、また第三勢力の結集やアフリカの独立について、理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。	・授業内プリント 定期テスト	諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。		
11月 3週 2日	2	①学びに向かう力・人間性等 冷戦に対するアメリカ合衆国の動向と西ヨーロッパ諸国、ソ連の動向と東ヨーロッパ諸国、そして運動としての差別反対運動やベトナム反戦運動について興味・関心をもったこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。	・授業内プリント 討論や発表	○ 東西両陣営の社会は、どのように替わったのだろうか。 ○ アメリカ合衆国および西ヨーロッパ諸国との関係は、どのような変化をみせたのだろうか。	・討論や発表	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
		②思考力・判断力・表現力 冷戦に対するアメリカ合衆国の動向と西ヨーロッパ諸国、ソ連の動向と東ヨーロッパ諸国、そして運動としての差別反対運動やベトナム反戦運動について教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。	・授業内プリント 定期テスト	○ ソ連の東ヨーロッパ諸国に対する影響力は、1950年代・1960年代でどのように変化したのだろうか。 ○ 1960年代、人々は何をめざしてどのような運動を展開したのだろうか。		
		③知識・技能 冷戦に対するアメリカ合衆国の動向と西ヨーロッパ諸国、ソ連の動向と東ヨーロッパ諸国、そして運動としての差別反対運動やベトナム反戦運動について理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。	・授業内プリント 定期テスト	諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。		
	第5章 冷戦と世界経済 3 軍拡競争から緊張緩和へ	①学びに向かう力・人間性等 核軍拡の展開と反核・平和運動の攻防、デタント政策と核拡散防止条約の成立、そしてデタントの崩壊について、興味・関心をもったこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。	・授業内プリント 討論や発表	○ 核兵器の開発とその抑制は、どのように試みられてきたのだろうか。 ○ キューバ危機によって世界はどのように変化したのだろうか。 ○ なぜ米ソは1970年代前半に	・討論や発表	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。

11月 4週 2日	2	<p>② 思考力・判断力・表現力 核軍拡の展開と反核・平和運動の攻防、デタント政策と核拡散防止条約の成立、そしてデタントの崩壊について、教科書の記述や資料から情報を読みとつたりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。</p> <p>③ 知識・技能 核軍拡の展開と反核・平和運動の攻防、デタント政策と核拡散防止条約の成立、そしてデタントの崩壊について、理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとつたり、まとめたりする技能を身につけている。</p>	<p>授業内プリント 定期テスト</p> <p>授業内プリント 定期テスト</p>	<p>デタント（緊張緩和）政策を選択したのだろうか。</p> <p>○ 核不拡散体制誕生の背景と、その成果と課題は何だろうか。</p> <p>諸資料や教科書の記述から情報を読みとつたりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。</p>		
12月 1週 2日	2	<p>① 学びに向かう力・人間性等 西ヨーロッパの統合や東南アジア諸国の連携、その他アラブ・アフリカ・南北アメリカの統合や連携について、興味・関心をもつたこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。</p> <p>② 思考力・判断力・表現力 西ヨーロッパの統合や東南アジア諸国の連携、その他アラブ・アフリカ・南北アメリカの統合や連携について、教科書の記述や資料から情報を読みとつたりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。</p> <p>③ 知識・技能 西ヨーロッパの統合や東南アジア諸国の連携、その他アラブ・アフリカ・南北アメリカの統合や連携について理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとつたり、まとめたりする技能を身につけている。</p>	<p>授業内プリント 討論や発表</p> <p>授業内プリント 定期テスト</p> <p>授業内プリント 定期テスト</p>	<p>○ ヨーロッパの統合と東南アジアやアフリカなどの統合の特徴は何だろうか。</p> <p>○ ヨーロッパ統合にはどのような背景と歴史的な過程や困難があったのだろうか。</p> <p>○ ASEANはどのような背景で成立し、どのように性格を変化させたのだろうか。</p> <p>○ アフリカ統一機構が果たした役割や残された課題はどのようなものだったのだろうか。</p> <p>諸資料や教科書の記述から情報を読みとつたりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。</p>	<p>討論や発表</p>	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
12月 2週 2日	2	<p>① 学びに向かう力・人間性等 第三世界の視点から見たアメリカとソ連、計画経済の広がり、ソ連の不安定化と中国社会主義体制の形成、そして中国の転変について、興味・関心をもつたこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。</p> <p>② 思考力・判断力・表現力 第三世界の視点から見たアメリカとソ連、計画経済の広がり、ソ連の不安定化と中国社会主義体制の形成、そして中国の転変について、教科書の記述や資料から情報を読みとつたりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。</p> <p>③ 知識・技能 第三世界の視点から見たアメリカとソ連、計画経済の広がり、ソ連の不安定化と中国社会主義体制の形成、そして中国の転変について、理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとつたり、まとめたりする技能を身につけている。</p>	<p>授業内プリント 討論や発表</p> <p>授業内プリント 定期テスト</p> <p>授業内プリント 定期テスト</p>	<p>○ 社会主義とその計画経済が20世紀後半の世界に与えた影響は何だろうか。</p> <p>○ 第三世界にとって、社会主義の魅力はどこにあったのだろうか。</p> <p>○ ソ連の社会主義経済において、1970年代から表面化する欠点とは何だろうか。</p> <p>○ 中華人民共和国の大躍進運動やプロレタリア文化大革命の背景には、何があったのだろうか。</p> <p>諸資料や教科書の記述から情報を読みとつたりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。</p>	<p>討論や発表</p>	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
12月 3週 1日	1	<p>① 学びに向かう力・人間性等 日本における経済復興と国際経済秩序への参入や自民党と社会党、高度経済成長の成果と課題について、興味・関心をもつたこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。</p> <p>② 思考力・判断力・表現力 日本における経済復興と国際経済秩序への参入や自民党と社会党、高度経済成長の成果と課題について、教科書の記述や資料から情報を読みとつたりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。</p> <p>③ 知識・技能 日本における経済復興と国際経済秩序への参入や自民党と社会党、高度経済成長の成果と課題について、理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとつたり、まとめたりする技能を身につけている。</p>	<p>授業内プリント 討論や発表</p> <p>授業内プリント 定期テスト</p> <p>授業内プリント 定期テスト</p>	<p>○ 高度経済成長をもたらしたものとその影響は何だろうか。</p> <p>○ 日本の高度経済成長の要因は何だろうか。</p> <p>○ 自民党政権が経済成長を重視するようになったのはなぜだろうか。</p> <p>○ 高度経済成長の負の側面とは何だろうか。</p> <p>諸資料や教科書の記述から情報を読みとつたりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。</p>	<p>討論や発表</p>	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
	7	<p>① 学びに向かう力・人間性等 日華平和条約と東南アジア諸国への賠償、韓国・中国との関係改善、沖縄の本土復帰について、興味・関心をもつたこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。</p>	<p>授業内プリント 討論や発表</p>	<p>○ 戦後処理を通じて、日本とアジアの国々はどのような関係を結んだのだろうか。</p> <p>○ 日本から東南アジア諸国への賠償は、戦後の国際関係において、どのような役割を果たしたのだろうか。</p>	<p>討論や発表</p>	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。

1月 2週 1日	1	<p>②思考力・判断力・表現力 日華平和条約と東南アジア諸国への賠償、韓国・中国との関係改善、沖縄の本土復帰について、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせ表現している。</p> <p>③知識・技能 日華平和条約と東南アジア諸国への賠償、韓国・中国との関係改善、沖縄の本土復帰について、理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。</p>	<p>・授業内プリント ・定期テスト</p>	<p>○日本と韓国・中国との国交正常化には、なぜ長い時間がかかったのだろうか。</p> <p>○日本とアメリカはどのようにして、沖縄返還に合意したのだろうか。</p> <p>諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせ考察したり表現したりする。</p>		
1月 3週 1日	1	<p>①学びに向かう力、人間性等 ドル=ショックや産油国における「石油景気」の現出、大きな政府路線の行き詰まり、日本の高度経済成長の終焉と安定成長への転換について、興味・関心をもったこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いただしている。</p> <p>②思考力・判断力・表現力 ドル=ショックや産油国における「石油景気」の現出、大きな政府路線の行き詰まり、日本の高度経済成長の終焉と安定成長への転換について、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせ表現している。</p> <p>③知識・技能 ドル=ショックや産油国における「石油景気」の現出、大きな政府路線の行き詰まり、日本の高度経済成長の終焉と安定成長への転換について、理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。</p>	<p>・授業内プリント ・討論や発表</p> <p>・授業内プリント ・定期テスト</p> <p>・授業内プリント ・定期テスト</p>	<p>○石油危機は世界や日本の社会・経済にどのような影響を与えたのだろうか。</p> <p>○2度にわたる石油危機はそのそれぞれなぜおこったのだろうか。</p> <p>○なぜこの時期に日本の高度経済成長は終焉を迎えたのだろうか。</p> <p>○世界や日本は、どのようにして石油危機に対応したのだろうか。</p> <p>諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせ考察したり表現したりする。</p>	<p>・討論や発表</p>	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
1月 4週 2日	2	<p>①学びに向かう力、人間性等 アジアNIESとASEAN、東南アジアにおける開発独裁政治、インドの台頭、西アジアの石油資源と資源ナショナリズムについて、興味・関心をもったこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いただしている。</p> <p>②思考力・判断力・表現力 アジアNIESとASEAN、東南アジアにおける開発独裁政治、インドの台頭、西アジアの石油資源と資源ナショナリズムについて、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせ表現している。</p> <p>③知識・技能 アジアNIESとASEAN、東南アジアにおける開発独裁政治、インドの台頭、西アジアの石油資源と資源ナショナリズムについて、理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。</p>	<p>・授業内プリント ・討論や発表</p> <p>・授業内プリント ・定期テスト</p> <p>・授業内プリント ・定期テスト</p>	<p>○20世紀後半のアジアの経済発展を可能にしたものは何だろうか。</p> <p>○NIESやASEAN諸国はどのように発展したのだろうか。</p> <p>○日本がアジア経済の発展に果たした役割は、何だろうか。</p> <p>○西アジア（中東）の経済発展の歩みは、ほかのアジア諸国とどのように異なっていたのだろうか。</p> <p>諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせ考察したり表現したりする。</p>	<p>・討論や発表</p>	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
1月 5週 1日	1	<p>①学びに向かう力、人間性等 新自由主義の登場、プラザ合意から冷戦後の貿易自由化、環境問題について、興味・関心をもったこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いただしている。</p> <p>②思考力・判断力・表現力 新自由主義の登場、プラザ合意から冷戦後の貿易自由化、環境問題について、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせ表現している。</p> <p>③知識・技能 新自由主義の登場、プラザ合意から冷戦後の貿易自由化、環境問題について、理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。</p>	<p>・授業内プリント ・討論や発表</p> <p>・授業内プリント ・定期テスト</p> <p>・授業内プリント ・定期テスト</p>	<p>○経済のグローバル化は世界と日本にどのような影響を与えたのだろうか。</p> <p>○新自由主義とはどのような政策なのだろうか。</p> <p>○1990年代以降に経済のグローバル化はどのように進んだのだろうか。</p> <p>○地球を取り巻く環境問題には、どのような課題があるのだろうか。</p> <p>諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせ考察したり表現したりする。</p>	<p>・討論や発表</p>	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
1月 6週 1日	2	<p>①学びに向かう力、人間性等 グローバリゼーションや情報技術の発展による情報技術革命（IT革命）、グローバル経済の深化と情報化社会の形成について、興味・関心をもったこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いただしている。</p>	<p>・授業内プリント ・討論や発表</p>	<p>○1990年代後半に本格化した情報技術革命は、世界をどのように変えたのだろうか。</p> <p>○情報通信技術は、グローバル化とどのような関係があるのだろうか。</p> <p>○情報技術革命（IT革命）は</p>	<p>・討論や発表</p>	史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。

2月 1週 2日	2	<p>② 思考力・判断力・表現力 グローバリゼーションや情報技術の発展による情報技術革命（IT革命）、グローバル経済の深化と情報化社会の形成について、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。</p> <p>③ 知識・技能 グローバリゼーションや情報技術の発展による情報技術革命（IT革命）、グローバル経済の深化と情報化社会の形成について、理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけていく。</p>	<p>・授業内プリント ・定期テスト</p> <p>・授業内プリント ・定期テスト</p>	<p>世界経済にどのような影響を与えたのだろうか。</p> <p>○ 情報化社会の到来は、どのような課題を生み出したのだろうか。</p> <p>諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。</p>		
2月 2週 2日	5 6 7	<p>第6章 世界秩序の変容と日本 5 冷戦の終結とソ連の崩壊</p> <p>① 学びに向かう力、人間性等 ソ連の改革と冷戦の終結、東ヨーロッパでの激変とソ連の崩壊について、興味・関心をもったこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。</p> <p>② 思考力・判断力・表現力 ソ連の改革と冷戦の終結、東ヨーロッパでの激変とソ連の崩壊について、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。</p> <p>③ 知識・技能 ソ連の改革と冷戦の終結、東ヨーロッパでの激変とソ連の崩壊について、理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけていく。</p>	<p>・授業内プリント ・討論や発表</p> <p>・授業内プリント ・定期テスト</p> <p>・授業内プリント ・定期テスト</p>	<p>○ 冷戦の終結はどのような背景のもとで進み、どのような影響を与えたのだろうか。</p> <p>○ ソ連の改革が始まった背景と、冷戦への影響はどのようなものだったのだろうか。</p> <p>○ ソ連の変化は東ヨーロッパ諸国にどのような影響をおよぼしたのだろうか。</p> <p>○ 冷戦の終結により、ソ連はどのように崩壊したのだろうか。</p> <p>諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。</p>	<p>・討論や発表</p> <p>史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。</p>	
2月 3週 2日	6 7 8	<p>第6章 世界秩序の変容と日本 6 現代の東アジア</p> <p>① 学びに向かう力、人間性等 中国の経済成長と大國化、台湾・中国・北朝鮮の動向、苦悩する「経済大国」日本の状況について興味・関心をもったこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。</p> <p>② 思考力・判断力・表現力 中国の経済成長と大國化、台湾・中国・北朝鮮の動向、苦悩する「経済大国」日本の状況について教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。</p> <p>③ 知識・技能 中国の経済成長と大國化、台湾・中国・北朝鮮の動向、苦悩する「経済大国」日本の状況について理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけていく。</p>	<p>・授業内プリント ・討論や発表</p> <p>・授業内プリント ・定期テスト</p> <p>・授業内プリント ・定期テスト</p>	<p>○ 今日の東アジアの国々にはどのような課題があるのだろうか。</p> <p>○ 中国はどのようにして経済大國化したのだろうか。</p> <p>○ 東アジア諸国の民主化のあり方と国際関係は、どのような関係にあるのだろうか。</p> <p>○ 高度経済成長を終えたのち日本はどのような課題を抱えてきたのだろうか。</p> <p>諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。</p>	<p>・討論や発表</p> <p>史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。</p>	
2月 4週 1日	7 8	<p>第6章 世界秩序の変容と日本 7 東南アジア・アフリカ・ラテンアメリカの民主化</p> <p>① 学びに向かう力、人間性等 東南アジア、南アフリカ、ラテンアメリカの民主化について、興味・関心をもったこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。</p> <p>② 思考力・判断力・表現力 東南アジア、南アフリカ、ラテンアメリカの民主化について、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。</p> <p>③ 知識・技能 東南アジア、南アフリカ、ラテンアメリカの民主化について、理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけていく。</p>	<p>・授業内プリント ・討論や発表</p> <p>・授業内プリント ・定期テスト</p> <p>・授業内プリント ・定期テスト</p>	<p>○ 各国の民主化にはどのような成果と課題があるのだろうか。</p> <p>○ 東南アジアの民主化は、どのような背景のもとで進んだのだろうか。</p> <p>○ ラテンアメリカ諸国にとってアメリカ合衆国はどのような存在なのだろうか。</p> <p>○ 開発途上国の民主化において、国際世論はどのような役割を果たしているのだろうか。</p> <p>諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。</p>	<p>・討論や発表</p> <p>史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。</p>	
	8	第6章 世界秩序の変容と日本 8 地域統合の拡大と変容	<p>① 学びに向かう力、人間性等 様々な地域統合と国家の関係、ヨーロッパの統合やアジアでの動き、NAFTAやWTOといった枠組みについて、興味・関心をもったこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだしている。</p>	<p>・授業内プリント ・討論や発表</p>	<p>○ 地域統合は、人々や社会にどのような影響をおよぼすのだろうか。</p> <p>○ 地域統合にはどのような種類があるのだろうか。</p> <p>○ それぞれの国で、どのような人々が地域統合を推進した</p>	<p>・討論や発表</p> <p>史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。</p>

3月 1週 1日	1	<p>②思考力・判断力・表現力 様々な地域統合と国家の関係、ヨーロッパの統合やアジアでの動き、NAFTAやWTOといった枠組みについて、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。</p> <p>③知識・技能 様々な地域統合と国家の関係、ヨーロッパの統合やアジアでの動き、NAFTAやWTOといった枠組みについて、理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。</p>	<p>・授業内プリント ・定期テスト</p> <p>・授業内プリント ・定期テスト</p>	<p>り、反対したりするのだろうか。 ○ それぞれの地域統合が直面している新たな問題は何だろうか。</p> <p>諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。</p>	
3月 2週 2日	2	<p>①学びに向かう力、人間性等 イラン・イラク戦争や湾岸戦争といった地域紛争の拡大、アフリカの危機やイスラーム主義の台頭とアラブ世界の変容、日本の安全保障について、興味・関心をもつたこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いただしている。</p> <p>②思考力・判断力・表現力 イラン・イラク戦争や湾岸戦争といった地域紛争の拡大、アフリカの危機やイスラーム主義の台頭とアラブ世界の変容、日本の安全保障について、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。</p> <p>③知識・技能 イラン・イラク戦争や湾岸戦争といった地域紛争の拡大、アフリカの危機やイスラーム主義の台頭とアラブ世界の変容、日本の安全保障について、理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。</p>	<p>・授業内プリント ・討論や発表</p> <p>・授業内プリント ・定期テスト</p> <p>・授業内プリント ・定期テスト</p>	<p>◎ 冷戦の終結は、協調と平和をもたらしたのだろうか。 ○ 冷戦終結後に各地でおきた紛争に、世界はどう対処したのだろうか。</p> <p>○これまでの安全保障のあり方が見直されるようになったのはなぜだろうか。</p> <p>○ 地域紛争や冷戦後の国際情勢の変化に、日本はどのように対応してきたのだろうか。</p> <p>諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。</p>	<p>・討論や発表</p> <p>史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。</p>
3月 3週 1日	1	<p>①学びに向かう力、人間性等 日本・世界の人口と少子高齢化、日本社会のなかの外国人労働者、防災・エネルギー、保護主義の高まり、環境問題と国際協力の課題、軍縮と国際協調、ITの進歩とAIの開発など、現代的な諸課題について、興味・関心をもつたこと疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いただしている。</p> <p>②思考力・判断力・表現力 日本・世界の人口と少子高齢化、日本社会のなかの外国人労働者、防災・エネルギー、保護主義の高まり、環境問題と国際協力の課題、軍縮と国際協調、ITの進歩とAIの開発など、現代的な諸課題について、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問い合わせを表現している。</p>	<p>・授業内プリント ・討論や発表</p> <p>・授業内プリント ・定期テスト</p>	<p>◎ 私たちは歴史から何を学び課題の解決に挑むべきだろうか。</p> <p>諸資料や教科書の記述から情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、複数の資料を比較したり関連付けたりして問い合わせを考察したり表現したりする。</p>	<p>・討論や発表</p> <p>史資料を読解する際に、国語で育成した資質・能力を活用する。</p>

		<p>③ 知識・技能 日本・世界の人口と少子高齢化、日本社会のなかの外国人労働者、防災・エネルギー、保護主義の高まり、環境問題と国際協力の課題、軍縮と国際協調、ITの進歩とAIの開発など、現代的な諸課題について、理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。</p>	<p>・授業内プリント ・定期テスト</p>		
指導時間数の計	70				

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
地理総合	2	全日制・普通科・2年次	『高等学校 新地理総合』(帝国書院)				
科目的目標		○日本と世界の歴史や地理に関する理解を深め、国際化にも対応できる力を身につけている。 ○進路実現のために必要な基礎学力の向上を図るとともに思考力や判断力を養う。 ○政治や社会の諸課題について問題意識をもたせ、自ら課題解決に向かう公民としての資質を養う。					
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	
4月 1週 ~ 4週	第1部 地図でとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム 1節 地球上の位置と時差 2節 地図の役割と種類	7	① 知識・技能 日常生活の中でみられるさまざまな地図の読み方などをもとに、地図や地理情報システムの役割や有効性について理解する。 ② 思考・判断・表現 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	ワークシート 白地図 ワークシート リフレクションシート リフレクションシート	緯度や経度で表すことができる地球上の位置が、私たちの生活にどのような影響を与えているのか理解し、地図や地理情報システムが私たちの生活にどのように役立っているのか考察する。	・地図や地理情報システムを利用し、事実を正確に分析、読み取る。 ・読み取った事実をグループで共有する。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考え方や集団の考え方を発展させる。	
5月 2週 ~ 4週	第2章 結び付きを深める現代世界 1節 現代世界の国家と領域 2節 グローバル化する世界	5	① 知識・技能 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読み方などをもとに、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 ② 思考・判断・表現 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	ワークシート 小テスト・定期考査 ワークシート 小テスト・定期考査 リフレクションシート リフレクションシート	世界にあるさまざまな国家の領域や国境がどのように定まっているのか理解し、グローバル化に伴い、貿易や交通、通信、観光など世界の国々を結びつける要素にどのような変化がみられるのか考察を深める。	・生徒各自が現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。	
5月 5週 ~ 6月 1週	第2部 國際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解 序説 生活文化の多様性 1節 世界の地形と人々の生活	3	① 知識・技能 世界の人々の特色ある生活文化をもとに、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することについて理解する。 ② 思考・判断・表現 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	ワークシート 小テスト ワークシート 小テスト リフレクションシート リフレクションシート	地球上には、高く険しい山脈や広大な平原、深い谷などの多様な地形があることを理解し、人々がこのような地形とどのように関わり合いどのように生活しているのかについて考察を深める。	・生徒各自が生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。	公民 世界史 日本史 理科(地学)
6月 1週 ~ 7月 2週	2節 世界の気候と人々の生活 追及事例 自然1 乾燥した大陸と太平洋の島々での生活 一オセアニア 自然2 モンスーンの影響を受ける地域での生活 一東南アジア	10	① 知識・技能 それぞれの地域の多様な地形や気候といった自然環境が、生活文化や産業にどのような影響を与えていているのかについて理解する。 ② 思考・判断・表現 それぞれの地域の多様な地形や気候といった自然環境を生かして、どのような生活様式や産業が発達してきたのか、主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 世界の気候と人々の生活について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	ワークシート 小テスト・定期考査 ワークシート 小テスト・定期考査 リフレクションシート リフレクションシート	気温や降水、風などの気候要素は場所によって異なることを理解し、人々の生活はそれぞれの気候要素とどのように関わっているのか考察し、表現する。また、世界各地でどのような生活が営まれているのか理解を深める。	・世界の気候と人々の生活に関して、概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考え方を伝え合い、自らの考え方や集団の考え方を発展させる。	理科(地学) 数学 国語(現代文)
7月 3週 ~ 9月 1週	3節 世界の言語・宗教と人々の生活 追及事例 宗教1 イスラームと人々の生活の関わり 一中央アジア・西アジア・北アフリカ 宗教2 ヒンドゥー教と人々の生活の関わり 一インド	6	① 知識・技能 それぞれの地域の多様な言語や宗教が、人々の生活にどのような影響を与えているのかについて理解する。 ② 思考・判断・表現 それぞれの地域の多様な宗教は、国の経済成長によって、人々の生活にどのような影響を与え、変化していったのか、主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 世界の言語・宗教と人々の生活について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	ワークシート 小テスト・定期考査 ワークシート 小テスト・定期考査 リフレクションシート リフレクションシート	世界には、日本とは異なる言語を話す民族が存在し、さまざまな宗教が信仰されていることを理解し、言語や宗教が人々の生活にどのような影響を与えているのか考察する。	・世界の言語・宗教と人々の生活に関して、概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考え方を伝え合い、自らの考え方や集団の考え方を発展させる。	世界史 日本史 公民 国語(現代文)

9月 1週 ~ 10月 1週	4節 歴史的背景と人々の生活 歴史1 移民の歴史と人々の生活の関わり ラテンアメリカ 歴史2 植民地支配の歴史と人々の生活の関わり サハラ以南アフリカ 歴史3 国家体制の変化と人々の生活の関わり ロシア	8	<p>① 知識・技能 世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化は、さまざまな出来事を積み重ねることによって構築されたものであることについて理解する。</p> <p>② 思考・判断・表現 それぞれの地域の多様な歴史的背景は、人々の生活にどのような影響を与え、経済成長に向けてどのような取り組みが行われたのか、主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 世界の歴史的背景と人々の生活について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究し、解決しようとする態度を養う。</p>	ワークシート 小テスト・定期考查	<p>世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化は、さまざまな出来事を積み重ねることによって変化を遂げてきたことを理解し、このような歴史的背景が人々の生活文化にどのような影響を与えてきたのか考察を深める。</p>	<p>・歴史的背景と人々の生活に関して、概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。</p>	世界史 日本史 国語(現代文)
10月 1週 ~ 11月 3週	5節 世界の産業と人々の生活 産業1 産業力が世界の生活文化に与える影響 アメリカ合衆国 産業2 経済成長による人々の生活の変化 東アジア 産業3 地域統合が人々の生活や産業に与える影響 ヨーロッパ	11	<p>① 知識・技能 それぞれの地域の農業や工業といった多様な産業が、地域の自然環境などを生かしてどのような影響を与えていたのかについて理解する。</p> <p>② 思考・判断・表現 産業のグローバル化によって、各地域の人々の生活や社会にどのような影響を与えたのかについて、主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 世界の産業と人々の生活について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究し、解決しようとする態度を養う。</p>	ワークシート 小テスト・定期考查	<p>人々は、地域の自然環境などを生かして産業を発展させてきたことを理解し、産業の発展が人々の生活にどのような影響を与えてきたのかについて考察を深める。また、産業のグローバル化によって、人々の生活がどのように変化してきたのか考察し、表現する。</p>	<p>・世界の産業と人々の生活に関して、概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。</p>	公民 世界史
11月 4週 ~ 1月 4週	第2章 地球的課題と国際協力 1節 複雑に絡み合う地球的課題 2節 地球環境問題 3節 資源・エネルギー問題 4節 人口問題 5節 食糧問題 6節 都市・居住問題	11	<p>① 知識・技能 世界各地で見られる地球環境問題などをもとに、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性について大観し理解する。また、持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。</p> <p>② 思考・判断・表現 世界各地で見られる地球的課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	ワークシート 小テスト・定期考查 レポート	<p>世界各地でみられる地球環境問題、資源エネルギー問題、人口・食糧問題及び居住・都市問題などをもとに、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて理解を深める。また、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であるということへの理解を深める。</p>	<p>・グラフや表などの情報を正確に分析・評価し、レポートにまとめる。 ・課題について、構想を立て実践し、評価・改善する。</p>	家庭科 公民 国語(現代文) 理科
1月 5週 ~ 3月 1週	第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 1節 日本の自然環境 2節 地震・津波と防災 3節 火山災害と防災 4節 気候災害と防災 5節 自然災害への備え	6	<p>① 知識・技能 世界各地域や生徒の生活圏で見られる自然災害をもとに、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。</p> <p>② 思考・判断・表現 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	ワークシート 小テスト・定期考查	<p>世界のや日本の各地で発生する自然災害は、その地域の地形や気候といった自然環境と密接に結びついていることを理解し、自然災害への日頃の備えには、どのようなものがあるのか考察を深める。また、災害発生時の危機管理体制はどう整備されているのか理解する。</p>	<p>・グラフや表などの情報を正確に分析・評価し、レポートにまとめる。 ・課題について、構想を立て実践し、評価・改善する。</p>	理科(地学) 国語(現代文)
3月 2週 ~ 3週	第2章 生活圏の調査と地域の展望 1節 生活圏の調査と地域の展望	3	<p>① 知識・技能 生活圏の調査をもとに、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。</p> <p>② 思考・判断・表現 課題について、生活圏内外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構成し、表現する。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	ワークシート 小テスト プレゼンテーション リフレクションシート	<p>私たちの生活圏には、多岐にわたる地理的な課題がみられることが理解し、生活圏が抱える課題を探究するためには、どのような方法で地域の特徴をとらえ、どのように課題解決のための展望を見いだしていくよう考察を深める。</p>	<p>・課題について、構想を立て実践し、評価・改善する。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。</p>	公民 家庭科 国語(現代文)
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
地理総合	3	全日制・普通科・2年次	『高等学校 新地理総合』(帝国書院)				
科目的目標		○日本と世界の歴史や地理に関する理解を深め、国際化にも対応できる力を身につけている。 ○進路実現のために必要な基礎学力の向上を図るとともに思考力や判断力を養う。 ○政治や社会の諸課題について問題意識をもたせ、自ら課題解決に向かう公民としての資質を養う。					
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動 各教科等横断的な資質・ 能力の育成に関わる他教 科等との関連	
4月 1週 ~ 4週	第1部 地図でとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム 1節 地球上の位置と時差 2節 地図の役割と種類	11	① 知識・技能 日常生活の中でみられるさまざまな地図の読み方などをもとに、地図や地理情報システムの役割や有効性について理解する。 ② 思考・判断・表現 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	ワークシート 白地図 ワークシート リフレクションシート リフレクションシート	緯度や経度で表すことができる地球上の位置が、私たちの生活にどのような影響を与えているのか理解し、地図や地理情報システムが私たちの生活にどのように役立っているのか考察する。	・地図や地理情報システムを利用し、事実を正確に分析、読み取る。 ・読み取った事実をグループで共有する。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。	美術 数学 国語(現代文) 世界史
5月 2週 ~ 4週	第2章 結び付きを深める現代世界 1節 現代世界の国家と領域 2節 グローバル化する世界	8	① 知識・技能 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読み方などをもとに、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 ② 思考・判断・表現 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	ワークシート 小テスト・定期考査 ワークシート 小テスト・定期考査 リフレクションシート リフレクションシート	世界にあるさまざまな国家の領域や国境がどのように定まっているのか理解し、グローバル化に伴い、貿易や交通、通信、観光など世界の国々を結びつける要素にどのような変化がみられるのか考察を深める。	・生徒各自が現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。	世界史 公民 数学 国語(現代文)
5月 5週 ~ 6月 1週	第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解 序説 生活文化の多様性 1節 世界の地形と人々の生活	6	① 知識・技能 世界の人々の特色ある生活文化をもとに、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えてたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することについて理解する。 ② 思考・判断・表現 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどを着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	ワークシート 小テスト ワークシート 小テスト リフレクションシート リフレクションシート	地球上には、高く険しい山脈や広大な平原、深い谷などの多様な地形があることを理解し、人々がこのような地形とどのように関わり合いどのように生活しているのかについて考察を深める。	・生徒各自が生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。	公民 世界史 日本史 理科(地学)
6月 1週 ~ 7月 2週	2節 世界の気候と人々の生活 追及事例 自然1 乾燥した大陸と太平洋の島々での生活 一オセアニア 自然2 モンスーンの影響を受ける地域での生活 一東南アジア	13	① 知識・技能 それぞれの地域の多様な地形や気候といった自然環境が、生活文化や産業にどのような影響を与えているのかについて理解する。 ② 思考・判断・表現 それぞれの地域の多様な地形や気候といった自然環境を生かして、どのような生活様式や産業が発達してきたのか、主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 世界の気候と人々の生活について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究し、解決しようとする態度を養う。	ワークシート 小テスト・定期考査 ワークシート 小テスト・定期考査 リフレクションシート リフレクションシート	気温や降水、風などの気候要素は場所によって異なることを理解し、人々の生活はそれぞれの気候要素とどのように関わっているのか考察し、表現する。また、世界各地でどのような生活が営まれているのか理解を深める。	・世界の気候と人々の生活に関する概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。	理科(地学) 数学 国語(現代文)
7月 3週 ~ 9月 1週	3節 世界の言語・宗教と人々の生活 追及事例 宗教1 イスラームと人々の生活の関わり 一中央アジア・西アジア・北アフリカ 宗教2 ヒンドゥー教と人々の生活の関わり 一インド	10	① 知識・技能 それぞれの地域の多様な言語や宗教が、人々の生活にどのような影響を与えているのかについて理解する。 ② 思考・判断・表現 それぞれの地域の多様な言語や宗教は、国の経済成長によって、人々の生活にどのような影響を与え、変化していったのか、主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 世界の言語・宗教と人々の生活について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究し、解決しようとする態度を養う。	ワークシート 小テスト・定期考査 ワークシート 小テスト・定期考査 リフレクションシート リフレクションシート	世界には、日本とは異なる言語を話す民族が存在し、さまざまな宗教が信仰されていることを理解し、言語や宗教が人々の生活にどのような影響を与えているのか考察する。	・世界の言語・宗教と人々の生活に関する概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。	世界史 日本史 公民 国語(現代文)
9月 1週 ~ 10月 1週	4節 歴史的背景と人々の生活 歴史1 移民の歴史と人々の生活の関わり 一ラテンアメリカ 歴史2 植民地支配の歴史と人々の生活の関わり 一サハラ以南アフリカ 歴史3 国家体制の変化と人々の生活の関わり 一ロシア	11	① 知識・技能 世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化は、さまざまな出来事を積み重ねることによって構築されたものであることに理解する。 ② 思考・判断・表現 それぞれの地域の多様な歴史的背景は、人々の生活にどのような影響を与え、経済成長に向けてどのような取り組みが行われたのか、主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 世界の歴史的背景と人々の生活について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究し、解決しようとする態度を養う。	ワークシート 小テスト・定期考査 ワークシート 小テスト・定期考査 リフレクションシート リフレクションシート	世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化は、さまざまな出来事を積み重ねることによって変化を遂げてきたことを理解し、このような歴史的背景が人々の生活文化にどのような影響を与えてきたのか考察を深める。	・歴史的背景と人々の生活に関する概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。	世界史 日本史 国語(現代文)
10月 1週 ~ 11月 1週	5節 世界の産業と人々の生活 産業1 産業力が世界の生活文化に与える影響 一アメリカ合衆国 産業2 経済成長による人々の生活の変化 一東アジア 産業3 地域統合が人々の生活や	14	① 知識・技能 それぞれの地域の農業や工業といった多様な産業が、地域の自然環境などを生かしてどのような影響を与えていたのかについて理解する。 ② 思考・判断・表現 産業のグローバル化によって、各地域の人々の生活や社会にどのような影響を与えたのかについて、主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。	ワークシート 小テスト・定期考査 ワークシート 小テスト・定期考査 リフレクションシート	人々は、地域の自然環境などを生かして産業を発展させてきたことを理解し、産業の発展が人々の生活にどのような影響を与えてきたのかについて考察を深める。また、産業のグローバル化によって、人々の生活がどのように変化してきたのか考察し、表現する。	・世界の産業と人々の生活に関する概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。	公民 世界史

3週	生徒への影響 ヨーロッパー		③ 主体的に学習に取り組む態度 世界の産業と人々の生活について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究し、解決しようとする態度を養う。	リフレクションシート				
11月 4週 ~ 1月 4週	第2章 地球的課題と国際協力 1節 複雑に絡み合う地球的課題 2節 地球環境問題 3節 資源・エネルギー問題 4節 人口問題 5節 食糧問題 6節 都市・居住問題	14	① 知識・技能 世界各地で見られる地球環境問題などをもとに、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性について大観し理解する。また、持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。 ② 思考・判断・表現 世界各地で見られる地球的課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究し、解決しようとする態度を養う。	ワークシート 小テスト・定期考查 レポート	ワークシート 小テスト・定期考查 レポート リフレクションシート	世界各地でみられる地球環境問題、資源エネルギー問題、人口・食糧問題及び居住・都市問題などをもとに、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて理解を深める。また、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であるということへの理解を深める。	・グラフや表などの情報を見ることで分析・評価し、レポートにまとめる。 ・課題について、構想を立てて実践し、評価・改善する。	家庭科 公民 国語(現代文) 理科
1月 5週 ~ 3月 1週	第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 1節 日本の自然環境 2節 地震・津波と防災 3節 火山災害と防災 4節 気候災害と防災 5節 自然災害への備え	10	① 知識・技能 世界各地域や生徒の生活圏で見られる自然災害をもとに、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。 ② 思考・判断・表現 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究し、解決しようとする態度を養う。	ワークシート 小テスト・定期考查	ワークシート レポート プレゼンテーション リフレクションシート	世界のや日本の各地で発生する自然災害は、その地域の地形や気候といった自然環境と密接に結びついていることを理解し、自然災害への日頃の備えには、どのようなものがあるのか考察を深める。また、災害発生時の危機管理体制はどういうように整備されているのか理解する。	・グラフや表などの情報を見ることで分析・評価し、レポートにまとめる。 ・課題について、構想を立てて実践し、評価・改善する。	理科(地学) 国語(現代文)
3月 2週 ~ 3週	第2章 生活圏の調査と地域の展望 1節 生活圏の調査と地域の展望	8	① 知識・技能 生活圏の調査をもとに、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。 ② 思考・判断・表現 課題について、生活圏内外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構成し、表現する。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究し、解決しようとする態度を養う。	ワークシート 小テスト	ワークシート プレゼンテーション リフレクションシート	私たちの生活圏には、多岐にわたる地理的な課題がみられることがあります。これらの課題を理解し、生活圏が抱える課題を探究するためには、どのような方法で地域の特徴をとらえ、どのように課題解決のための展望を見いだしていくかを考察を深める。	・課題について、構想を立てて実践し、評価・改善する。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。	公民 家庭科 国語(現代文)
指導時間数の計		105						

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
日本史探究	4	全日制・普通科・2年	『詳説日本史』(山川出版社)				
科目的目標		<p>○(何を学ぶか)我が国の歴史の展開に関する諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようとする。(知識及び技能)</p> <p>○(どのように学ぶのか)我が国の歴史の展開に関する事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。(思考力、表現力、判断力等)</p> <p>○(何ができるようになるのか)我が国の歴史の展開に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。(学びに向かう力、人間性等)</p>					
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な 資質・能力の育成 に関わる他教科等 との関連
4月 2週 3日	第1章 日本文化のあけ ぼの 1 文化の始まり	3	<p>①知識・技能 日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解している。</p> <p>②思考・判断・表現 黒曜石などの考古資料をもとに、集落・風習・食生活の変化などを踏まえて旧石器文化・縄文文化の社会について考察し、表現している。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化や縄文文化の特色を明らかにしようとしている。</p>	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。	理科・情報
4月 3週 4日	第1章 日本文化のあけ ぼの 2 農耕社会の成 立	4	<p>①知識・技能 水稻耕作の開始・金属器の伝来が弥生文化の社会に与えた影響を理解し、弥生土器などの出土品から得られる情報を収集して読み取る技能を身につけている。</p> <p>②思考・判断・表現 小国の形成から邪馬台国などの小国の連合について、環濠集落や武器の出現、「魏志」倭人伝などの文献資料にもとづき、国内外の情勢を踏まえて多角的に考察した結果を、根拠を示して表現している。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 日本列島における農耕社会の特色とともに、国家の形成につながるような社会構造の変化について考察することを通じて、弥生文化の特色を明らかにしようとしている。</p>	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	大陸からの稻作伝播の様子や地域性の顕著な道具の分布を踏まえて、弥生文化の形成を考察する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	理科・情報
4月 4週 4日	歴史資料と原始・ 古代の展望 ①古代社会と海外 との交流	4	<p>①知識・技能 中国の歴史書の記事をもとに、資料から歴史に関する情報を収集して読み取る技能を身につけている。</p> <p>②思考・判断・表現 中国の歴史書の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 日本列島における小国およびヤマト政権と中国・朝鮮半島などの交流について考察することを通じて、古代の対外交流の実態を明らかにしようとしている。</p>	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	中国の歴史書の記事をもとに、日本列島の倭の小国やヤマト政権(倭国)と中国・朝鮮半島の諸国との交流について、多面的・多角的に考察する。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報
5月 1週 4日	歴史資料と原始・ 古代の展望 ②木簡から古代国 家を探る	4	<p>①知識・技能 木簡の記録をもとに、資料から歴史に関する情報を収集して読み取る技能を身につけている。</p> <p>②思考・判断・表現 木簡の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 木簡を資料として活用し、律令国家における文字文化の広がりについて主体的に考察しようとしている。</p>	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	遺跡から出土した木簡の記載内容をもとに、文書主義を特徴とする律令制のもとで人・物・情報がどのように移動していたのか、多面的・多角的に考察する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	国語・情報
5月 2週 4日	第2章 古墳とヤマト政権 1 古墳文化の展 開	4	<p>①知識・技能 国家の形成と古墳文化について、中国大陆・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解している。</p> <p>②思考・判断・表現 中国の歴史書の記事、日本列島内外の金石文、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国大陆・朝鮮半島との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 中国大陆・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成について考察することを通じ、古墳文化の展開とのつながりを見出そうとしている。</p>	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	地域の首長の出現から統一国家に至る過程を、古墳の変容からとらえる。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	国語・情報
5月 3週 4日	第2章 古墳とヤマト政権 2 飛鳥の朝廷	4	<p>①知識・技能 推古天皇・厩戸王・蘇我馬子による政権運営や飛鳥文化の特色について、中国大陆・朝鮮半島との関係などに着目して理解している。</p> <p>②思考・判断・表現 仏教の受容や遣隋使の派遣などの大陸との交流について、資料をもとに考察した結果を、根拠を示して表現している。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 中国大陆・朝鮮半島との関係などに着目して、推古朝の政治や文化の展開についての課題を主体的に追究しようとしている。</p>	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	ヤマト政権の権力争いや大陸文化の攝取に着目して、飛鳥時代を考察する。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。	国語・情報

5月 4週 4日	第3章 律令国家の形成 1 律令国家への道	4	①知識・技能 隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程などを理解している。 ②思考・判断・表現 天智朝・天武朝・持統朝の政治動向に着目して、律令体制整備の過程について考察し、表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響などに着目して、律令体制の成立過程とのつながりを明らかにしようとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	律令国家が成立するまでの政治過程について考察する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	国語・情報
6月 1週 4日	第3章 律令国家の形成 2 平城京の時代	4	①知識・技能 平城京における大宝律令・養老律令による律令体制の整備について、遣唐使の派遣や地方社会との関わりなどに着目して理解している。 ②思考・判断・表現 文献資料をもとに、藤原氏を中核とする政治抗争の進展と墾田永年私財法にみられる土地制度の変容を関連づけて考察し、根拠を示して表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 平城京の造営と奈良時代の政治の動向に着目して、律令体制の展開に関する課題を主体的に追究しようとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	律令体制の完成期としての奈良時代を、律令体制の状況を多角的・多面的にとらえて考察する。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報
6月 2週 4日	第3章 律令国家の形成 3 律令国家の文化	4	①知識・技能 隋・唐など中国王朝との関係と文化への影響などに着目して、律令体制の形成と密接に関連する仏教文化の特色を理解している。 ②思考・判断・表現 盛唐文化の受容を踏まえ、国史などの編纂や仏教美術の展開、仏教の興隆による鎮護国家の思想の誕生などについて考察し、表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 隋・唐などの中国王朝から導入された文化を考察し、政治や社会の動きとのつながりを見出そうとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	律令国家の成立期に当たる白鳳文化の形成過程について考察する。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
6月 3週 4日	第3章 律令国家の形成 4 律令国家の変容	4	①知識・技能 東アジアとの関係の変化や社会の変化と文化との関係などに着目して、平安遷都前後の諸政策や平安初期の文化の変容を理解している。 ②思考・判断・表現 蝦夷や東アジア世界との関係の変化を踏まえて、中央における藤原北家の台頭、地方における土地支配体制の動搖について考察し、根拠を示して表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 東アジアとの関係の変化や社会の変化を考察することを通じて、文化とのつながりを主体的に追究しようとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	平安前期を中心とした古代国家の推移について、東北経営や政治改革、地方統治の変容を踏まえて、律令体制の変質を考察する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	国語・情報・芸術
6月 4週 4日	第4章 貴族政治の展開 1 摂関政治	4	①知識・技能 藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。 ②思考・判断・表現 奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特色について考察し、根拠を示して表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 唐の衰退と東アジア情勢の変化が日本社会に与えた影響を考察することを通じて、摂関政治期の社会の特色を明らかにしようとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察する。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。	国語・情報
7月 1週 4日	第4章 貴族政治の展開 2 国風文化	4	①知識・技能 大陸からの文物の定着を前提として、平安時代にはより日本の風土にあった文化が形成されたことを理解している。 ②思考・判断・表現 国際関係の変化や遣唐使の廃止などを踏まえ、浄土教の出現による浄土の信仰の変容、かな文学の成立による国文学の発達などに着目して、貴族の生活・文化の特色を考察し、表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 平安時代の政治の在り方と文化との関係を考察することを通じて、そのつながりを見出そうとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	大陸文化の消化と末法思想を前提とした新しい貴族文化として、国風文化が展開されたことを理解する。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
7月 2週 4日	第4章 貴族政治の展開 3 地方政治の展開と武士	4	①知識・技能 地方の諸勢力の成長と影響などに着目して、律令制度の実態や地方における開発、治安の維持、荘園の発達などについて、その特色や変容を理解している。 ②思考・判断・表現 文献資料を活用して、国司の支配の変容と公領の変質、荘園の発達を踏まえて地方支配の状況を考察し、根拠を示して表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 国司の在り方や徵税方式の変化、武士の出現など、地方の豪族や武力をもった勢力の動向が政治・社会に与えた影響を明らかにしようとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	律令制にもとづく地方統治体制の崩れへの対応が、公領支配の変質、荘園の拡大をもたらした経過を考察する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	国語・情報
9月 1週 4日	第5章 院政と武士の躍進 1 院政の始まり	4	①知識・技能 貴族政治や土地制度の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。 ②思考・判断・表現 武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。	国語・情報

9月 2週 4日	第5章 院政と武士の躍進 2 院政と平氏政 權	4	①知識・技能 平氏政權の台頭とその背景、宋との交易などについて、諸資料から様々な情報を読み取り、武士の政治進出について理解している。 ②思考・判断・表現 武家政權の権力基盤となる武士の土地所有に至る変化を考察し、歴史における土地の支配や所有がもつ意味について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的な力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究しようとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	政治の動向、国際関係・経済・文化への対応を踏まえて、平氏政權の特性について考察する。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報
9月 3週 4日	歴史資料と中世の 展望 絵画から中世社会 を探る	4	①知識・技能 『年中行事絵巻』『一遍上人絵伝』『洛中洛外図屏風』を比較して、様々な情報を適切かつ効果的に調べてまとめている。 ②思考・判断・表現 複数の絵画資料に描かれている中世の都大路の様子を比較した結果について、時代を通観する問い合わせを踏まえて考察し、仮説を表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 中世の京都を描いた絵画資料から得られる情報をもとに、中世社会の特色について主体的に課題を見出そうとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	政治や文化の中心であった中世の京都を描いた絵画作品から、情報を収集して読み取る技能を身につける。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	国語・情報・芸術
9月 4週 4日	第6章 武家政權の成立 1 鎌倉幕府の成 立	4	①知識・技能 諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造・封建制度の成立などについて理解している。 ②思考・判断・表現 幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成に関する課題を主体的に追究し、前の時代とのつながりを見出そうとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	鎌倉幕府が東国の地方政權から全国的な武家政權に成長していく過程を理解する。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報
10月 1週 4日	第6章 武家政權の成立 2 武士の社会	4	①知識・技能 承久の乱が幕府と朝廷との関係に与えた影響について、諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。 ②思考・判断・表現 武家と公家の関係の変化が土地の支配に及ぼした影響を考察し、根拠を明確にして表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 公武関係の変化による武家政權の展開に着目し、鎌倉時代を通じた武家の支配の特質について主体的に追究しようとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	承久の乱にともなう公武関係の変化に着目して、将軍独裁体制から執権政治の確立に至る過程を理解する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	国語・情報
10月 2週 4日	第6章 武家政權の成立 3 モンゴル襲来と 幕府の衰退	4	①知識・技能 宋・元などユーラシアとの交流に着目して、モンゴル襲来の国際的な背景や国内政治への影響について理解している。 ②思考・判断・表現 鎌倉時代の生産の発達と商品の流通、東アジア情勢や国内での貨幣経済の発達とその意義について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響について、主体的に追究しようとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	モンゴル襲来による政治・経済・文化への影響が、幕府の衰退につながっていくことを理解する。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。	国語・情報
10月 3週 4日	第6章 武家政權の成立 4 鎌倉文化	4	①知識・技能 公武関係の変化やユーラシアとの交流などに着目し、鎌倉時代の宗教や文化の特徴について、諸資料から情報を収集して読み取る技能を身につけている。 ②思考・判断・表現 宋・元との交流の窓口や貿易の扱い手などを視野に入れて、ユーラシアとの交流を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 鎌倉時代の宗教や文化にみられる平安時代からの特徴の継承や差異について、主体的に追究しようとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	庶民や武士の活動が活発化し、鎌倉仏教が成立するなど、文化の新しい気運が生まれたことを理解する。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
10月 4週 4日	第7章 武家社会の成長 1 室町幕府の成 立	4	①知識・技能 鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解している。 ②思考・判断・表現 南北朝の動乱などにみられる地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 武家政權の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを見出そうとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報
11月 1週 4日	第7章 武家社会の成長 2 幕府の衰退と 庶民の台頭	4	①知識・技能 諸産業や流通、地域経済が成長したことに着目し、諸資料から情報を読み取り、庶民が台頭して村などの自治的な単位が成立したことを理解している。 ②思考・判断・表現 自治的な村の単位や一揆の組織が成立した要因と背景について、地理的な条件や流通など経済活動との関わりを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 室町時代に成立した村の自治的な運営が現代社会における自治とどのように異なるかなど、自身との関わりにおいて課題を主体的に追究しようとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	庶民の活動が社会秩序の変革の原動力として成長していくことを踏まえて、幕府の動揺や下剋上の風潮を考察する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	国語・情報

11月 2週 4日	第7章 武家社会の成長 3 室町文化	4	①知識・技能 経済の進展や各地の都市や村の発達、東アジアとの交流などに着目して、室町時代における多様な文化の形成や融合について理解している。 ②思考・判断・表現 室町時代の文化の特徴と、当時の政治や経済の動向との関係を多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 室町時代の宗教や文化の特徴について、鎌倉時代との比較を通じて類似点や差異を見出そうとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 ／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	武家政権の支配の進展や東アジア世界との交流に着目して、武家文化と公家文化および、大陸文化と伝統文化の関わりについて理解する。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報
11月 3週 4日	第7章 武家社会の成長 4 戦国大名の登場	4	①知識・技能 守護大名と戦国大名の権力の相違点などについて諸資料から情報を読み取り、戦国時代の大名による領国経営の特徴を理解している。 ②思考・判断・表現 戦国大名による富国強兵策に着目して領国統治の特色を諸資料から考察し、堺や博多など都市の発展にみられる戦国時代の社会の多様性を表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 15世紀から16世紀にかけて争乱が多発した理由など、戦国時代を中心とする歴史の展開に關わる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 ／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	応仁の乱以降、地方権力として登場した戦国大名や各地に展開した都市について、諸地域の地理的条件と関連づけて考察する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	国語・情報
11月 4週 4日	第8章 近世の幕開け 1 織豊政権	4	①知識・技能 村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。 ②思考・判断・表現 織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する眼を表現しようとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 ／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	大航海時代と呼ばれる世界史的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察する。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。	国語・情報・理科
12月 1週 4日	第8章 近世の幕開け 2 桃山文化	4	①知識・技能 桃山文化が幅広い国際性をもちつつ、生活文化の中にとけ込んでいったことについて、諸資料から情報を読み取り、理解している。 ②思考・判断・表現 豊臣政権による朝鮮出兵やヨーロッパ勢力との接触による南蛮文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 桃山文化の特色について、中世文化の特色との比較を通じて、その類似と差異を見出そうとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 ／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	新興の大名や都市の豪商の精神を反映した桃山文化について、町衆の生活にも着目し、時代的背景を踏まえて考察する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	国語・情報・芸術
12月 2週 4日	歴史資料と近世の展望 生類憐みの令からみる江戸時代の社会の変化	4	①知識・技能 法令の内容を適切に読み取り、生類憐みの令が出された当時の社会の雰囲気について、文芸作品との関わりも踏まえて理解している。 ②思考・判断・表現 生類憐みの令が出された時期の諸政策や国際的な環境の変化をもとに、江戸時代の特徴を多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 戦国時代までの社会の在りかたと比較し、近世がどのような社会に変わったのかについて課題を主体的に追究しようとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 ／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	生類憐みの令として知られる一連の法令から、情報を収集して読み取る技能を身につける。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報
1月 2週 4日	第9章 幕藩体制の成立と展開 1 幕藩体制の成立	4	①知識・技能 織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などに着目して、諸資料をもとに江戸幕府の法や制度の確立や対外政策の推移について理解している。 ②思考・判断・表現 織豊政権と幕府の支配の構造の相違点や、江戸幕府による貿易統制の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 幕藩体制が確立する過程における様々な画期について考察し、主体的に追究しようとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 ／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を理解する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	国語・情報
1月 3週 4日	第9章 幕藩体制の成立と展開 2 幕藩社会の構造	4	①知識・技能 幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成に関する諸資料から適切に情報を取り、江戸時代の社会の構造を理解している。 ②思考・判断・表現 新たな支配制度のものにおける人々の生活の具体相について、根拠を示して表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 織豊政権下における社会の仕組みと幕藩体制下とを比較・考察し、そのつながりを見出そうとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 ／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	幕藩体制の確立期の経済・社会を、兵農分離や村落・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察する。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報
1月 4週 4日	第9章 幕藩体制の成立と展開 3 幕政の安定	4	①知識・技能 諸資料から情報を適切に読み取り、文治政治への転換から元禄時代・正徳期に至る政治の推移について理解している。 ②思考・判断・表現 戦乱のない時代が創出されたことの意義を踏まえ、人々の生活や意識がどのように変化したのかを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 幕藩体制が安定していく中で、江戸幕府の諸政策がもたらした人々の暮らしへの影響について、主体的に追究しようとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 ／発表・レポート提出 定期考查／提出課題／発問評価 ／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	7世紀後半から8世紀前半までの江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	国語・情報

2月 2週 1日	第9章 幕藩体制の成立と 展開 4 経済の発展	1	①知識・技能 産業の発達、交通の整備や貨幣・金融制度の確立による商品経済・流通の発達、三都に関わる諸資料から情報を読み取り、技術の向上と開発の進展について理解している。 ②思考・判断・表現 陸上・水上における交通や流通の発達と、農業・工業・商業などの発達との関連を多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 近世前期における交通・流通の発達や産業の発達などの様相について、その推移や展開を明らかにしようとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	幕藩体制の安定期の農業・商工業などの発展について、諸産業相互の関係やその社会的役割を踏まえて考察する。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報
2月 3週 4日	第9章 幕藩体制の成立と 展開 5 元禄文化	4	①知識・技能 都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、17世紀の文化の特徴などについて、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。 ②思考・判断・表現 近世前期における幕府の統治政策や藩財政の推移と文化との関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 幕藩体制が安定していく中での経済の動向と上方の豪商との関係性を踏まえ、17世紀の文化の特色を明らかにしようとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	経済の発展と関連して町人文化が形成されたことについて、町人の社会的台頭や幕藩体制の安定と関連させて理解する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	国語・情報・芸術
2月 4週 4日	第10章 幕藩体制の動搖 1 幕政の改革	4	①知識・技能 幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆・打ちこわしの頻発などに関する諸資料から情報を読み取り、享保の改革や田沼時代の諸政策の意義について理解している。 ②思考・判断・表現 商品作物の栽培や貨幣経済の浸透により、米作を基盤とする幕藩体制が動搖する過程を踏まえ、飢饉や一揆の発生が幕藩体制に与えた影響を考察し、表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 幕藩体制下の社会・経済の仕組みの変化や、幕府・諸藩の政策の変化について課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	農村や都市の変容により幕藩体制が動搖する中、幕府や諸藩がおこなった諸改革の意義とその影響を考察する。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。	国語・情報
3月 1週 4日	第10章 幕藩体制の動搖 2 宝暦・天明期の文化	4	①知識・技能 幕藩体制下の社会の変容に着目して、宝暦・天明期における新たな学問の確立、各地に設立された教育機関の展開を理解している。 ②思考・判断・表現 幕藩体制の動搖と文化の展開との関連性について、諸資料から読み取れる情報をもとに多面的・多角的に考察し、表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 政治・経済と文化の関係に着目して、宝暦・天明期における文化の展開について課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	江戸中期に確立した洋学や国学、新たなかたちで展開する文学・芸能・美術について、社会の変容にともなう幕藩体制の動搖と関連づけて考察する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	国語・情報・数学・理科・芸術
3月 2週 4日	第10章 幕藩体制の動搖 3 幕府の衰退と 近代への道	4	①知識・技能 列強の接近にともなう事件や幕政改革に関する諸資料から情報を読み取り、幕府権力が衰退する一方で工場制手工業など近代の萌芽がみられ、雄藩が出現する過程を理解している。 ②思考・判断・表現 国際情勢の変化と影響などに着目して、幕府政治の動搖と諸藩の動向について多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 飢饉や一揆への対応、外交政策の転換などについて、幕府や諸藩の課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	欧米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕政の対処を踏まえて幕府が衰退していく過程を理解する。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報
3月 3週 4日	第10章 幕藩体制の動搖 4 化政文化	4	①知識・技能 政治・経済と文化の関係などに着目して、19世紀初期の経済の動向や江戸を中心とする庶民文化の形成について理解している。 ②思考・判断・表現 近世の前半と後半を比較し、文化への影響力をもつ地域や担い手の変化をもたらした原因について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 近世後期に形成された文化と近代以降の文化との関係性について、学問・教育・出版文化や庶民文化を事例としてつながりを見出そうとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	化政文化について、学問・思想・教育・文学・美術・生活文化の新たな展開に着目し、江戸と地方の文化的交流にも留意して考察する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	国語・情報・理科・芸術
指導時間数の計		140					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
世界史探究	4	全日制・普通科・第2年次	『詳説世界史』(山川出版社)				
科目的目標	○(何を学ぶか)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。(知識及び技能) ○(どのように学ぶのか)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ○(何ができるようになるのか)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。						
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	
4月 2週 3日	世界史へのまなざし1・2	3	①知識・技能 自然環境と人類の関わり、および人類の進化の過程の概要を理解している。 ②思考・判断・表現 日常生活のなかに世界史とつながっているモノを見出し、自分自身と世界のつながりを多面的・多角的に考察し表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 日常生活と世界史のつながりについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	人類の誕生を地球46億年の歴史のなかに位置づけて考察する。自然環境と人類の関わりの概要を理解する。人類の進化の過程の概要を理解する。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連 理科・情報・国語
4月 3週 4日	第1章 文明の成立と古代文明の特質 1 文明の誕生 2 古代オリエント文明とその周辺	4	①知識・技能 オリエントの大半が乾燥地帯であること、そのなかで大河流域のメソポタミアとエジプトで灌溉農業をもとにいち早く文明化したことを理解している。 ②思考・判断・表現 資料をもとに、当時の社会の特徴や世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 オリエント文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	オリエントの風土と文明・都市国家の富と権力・メソポタミア文明・エジプト王国・シリア・パレスチナ地方の民族・クレタ文明とミケーネ文明・アッシリアのオリエント統一の背景を多面的・多角的に考察し表現する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	理科・情報・国語
4月 4週 4日	第1章 文明の成立と古代文明の特質 3 南アジアの古代文明	4	①知識・技能 南アジアが南北に大きく二分されること、それぞれの風土に適合した生活が古くから営まれていたことを理解している。 ②思考・判断・表現 ヴァルナ制やジャーティ集団の成立をもとに、アーリヤ人社会に富や地位の差が生まれていった背景や原因を考察し表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 南アジアの古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	南アジアの地理的環境、インダス文明が栄えた場所の特徴を理解する。アーリヤ人の進入が南アジアにもたらした変化について多面的・多角的に考察し表現する。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報
5月 1週 4日	第1章 文明の成立と古代文明の特質 4 中国の古代文明 5 南北アメリカ文明	4	①知識・技能 東アジア各地の風土が、それぞれの地で多様な生業とそれに基づく先史文化を生み出したこと、各地で人々の移動や交流がおこなわれたこと・南北に長く広がるアメリカ大陸の各地で、それぞれの地域の環境に適応した文化・文明が発展したことを理解している。 ②思考・判断・表現 資料をもとに、当時の政治や支配のあり方を多面的・多角的に考察し表現している。南北アメリカ文明に共通する特徴、とくにユーラシアやアフリカの古代文明とは異なるものを多面的・多角的に考察し表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 中国の古代文明・南北アメリカ文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	東アジアの気候・殷と周の支配関係を理解する。春秋時代と戦国時代を比較し違いを見出す。戦国時代の社会において、鉄器の普及がおよぼした影響・北米と中南米の先住民社会での支配の在り方を多面的・多角的に考察し表現する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	国語・情報
5月 2週 4日	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 1 中央ユーラシア草原とオアシスの世界 2 秦・漢帝国	4	①知識・技能 中央ユーラシアの厳しい環境に適応した遊牧民やオアシス民の生活のありさまや、彼らの周辺の諸勢力との関係を理解している。秦・漢といった統一国家の支配体制について、それまでの春秋・戦国時代と比較したうえで理解している。 ②思考・判断・表現 資料をもとに、中央ユーラシアの人々の動向が、世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。資料をもとに、秦・漢の時代に生じた地域間の結びつきの変化や、統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出	中央ユーラシアの人々の生活、騎馬遊牧民国家を多面的・多角的に考察する。ユーラシア大陸の変動を理解する。オアシス民と遊牧民の関係を多面的・多角的に考察し表現する。「皇帝」の特質について、それまでの「王」と比較しながら理解する。漢の支配体制の	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	国語・情報

		③主体的に学習に取り組む態度 中央ユーラシアの動向・秦・漢帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	提出課題／授業態度／発表・レポート提出	変遷を理解する。		
5月 3週 4日	第2章 中央 ユーラシアと東 アジア世界 3 中国の動乱と 変容 4 東アジア文化 圏の形成	①知識・技能 魏晋南北朝の動乱がどのように展開したのかについて、遊牧民族との関わりもふまえたうえで理解している。隋・唐の社会や制度、支配体制について、それまでの時代や他の地域との違いや、時期ごとの変化をふまえたうえで理解している。 ②思考・判断・表現 資料をもとに、魏晋南北朝時代の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。資料をもとに、隋・唐の社会の特徴や近隣諸国への影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 魏晋南北朝の動乱・東アジア文化圏の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	遊牧民族の動きと魏晋南北朝の動乱との関係について理解する。唐の勢力圏の広がり、唐代初期の社会の特徴を多面的・多角的に考察する。唐の制度や文化が近隣諸国に与えた影響について理解する。安史の乱前後の唐の制度や社会の変化を多面的・多角的に考察し表現する。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。	国語・情報
5月 4週 4日	第3章 南アジア 世界と東南アジ ア世界の展開 1 仏教の成立と 南アジアの統一 国家 2 インド古典文 化とヒンドゥー教 の定着	①知識・技能 南アジアで生まれたさまざまな宗教が、南アジアの社会や周辺諸地域へ与えた影響・インド古典文化の黄金期とされるグプタ朝において、文化がどのように展開したのかを理解している。 ②思考・判断・表現 資料をもとに、インド洋交易の広がり・それまで仏教やジャイナ教が盛んだったことをふまえたうえで、ヒンドゥー教が社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 南アジアで生まれた諸宗教・インド古典文化とヒンドゥー教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	仏教やジャイナ教などの新たな宗教・南アジアでの仏教の発展について理解する。南インドの役割を多面的・多角的に考察する。グプタ朝における宗教や文化の展開・各地の政権の政策を理解する。ヒンドゥー教が南アジアの社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	国語・情報
6月 1週 4日	第3章 南アジア 世界と東南アジ ア世界の展開 3 東南アジア世 界の形成と展開	①知識・技能 東南アジアの大陸部と諸島部において、どのように国家が形成されたのかを理解している。 ②思考・判断・表現 東南アジアの風土や地形をふまえたうえで、南アジアや中国との関係およびその変遷を多面的・多角的に考察し表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 東南アジアの諸国家について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	東南アジアの風土について他のアジアや日本と比較したうえで理解する。東南アジアと南アジア・中国との関係・東南アジアにおける国家形成の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報
6月 2週 4日	第4章 西アジア と地中海周辺の 国家形成 1 イラン諸国家 の興亡とイラン 文明	①知識・技能 アケメネス朝、パルティア、ササン朝といったイラン諸国家がそれぞれどのように興亡したのかを理解している。 ②思考・判断・表現 ササン朝と法隆寺の「獅子狩」図案などの資料をもとに、イラン文明が世界の諸地域に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 イラン文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	アケメネス朝が広大な領域に中央集権的支配を築くことができた背景や要因、パルティアとササン朝の繁栄の背景や要因を理解する。また東西の文明の間で担った役割を多面的・多角的に考察し表現する。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
6月 3週 4日	第4章 西アジア と地中海周辺の 国家形成 2 ギリシア人の 都市国家	①知識・技能 アテネにおいてどのような経緯で民主政が出現したのか、またギリシア文化にはどのような特徴があるのかを理解している。 ②思考・判断・表現 オストラコンなどの考古学的資料や「ペリクレスの演説」などの資料をもとに、ギリシア人の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 古代ギリシアについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	ボリスの特徴およびそこでの人々の生活について、理解する。スパルタの軍国主義アテネ民主政発達の経緯を理解する。ヘレニズム時代の歴史的意義やギリシア文明を多面的・多角的に考察し表現する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	国語・情報・芸術
6月 4週 4日	第4章 西アジア と地中海周辺の 国家形成 3 ローマと地中 海支配	①知識・技能 ローマがどのような経緯で都市国家から帝国にいたったのか、またローマ人の文化にはどのような特徴があるのかを理解している。 ②思考・判断・表現 モザイク画などの図像資料や資料をもとに、ローマが地中海世界を統一し、それを維持できた理由を多面的・多角的に考察し表現している。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出	ローマ共和政の特徴・地中海における領土拡大がローマ共和政に与えた影響を理解する。ローマの内乱・「ローマの平和」について理解する。ローマ帝国が危機を迎	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。	国語・情報・芸術

		③主体的に学習に取り組む態度 古代ローマについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	提出課題／授業態度／発表・レポート提出	えた要因・ローマ帝国の文化的意義を多面的・多角的に考察し表現する。		
7月 1週 4日	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 4 キリスト教の成立と発展	①知識・技能 勢力を拡大させていたキリスト教をローマ帝国がどのように利用しようとしたのかを理解している。 ②思考・判断・表現 当時の地中海世界の状況をふまえたうえで、キリスト教が急速に広がった理由を多面的・多角的に考察し表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 キリスト教の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	キリスト教の成立の経緯を理解している。ローマ帝国によるキリスト教への対応を多面的・多角的に考察し表現する。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
7月 2週 4日	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 1 アラブの大征服とイスラーム政権の成立	①知識・技能 イスラーム教がどのように成立し、短期間で勢力を拡大していったのかを理解している。 ②思考・判断・表現 イスラーム政権の拡大を示す地図やアラベスクなどの図像資料などをもとに、イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 イスラーム教の成立と拡大について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見いだして、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	アラブ軍による大征服の展開・ウマイア朝の特徴・アッバース朝成立の背景とその統治の特徴を理解する。イスラーム文化の成立の経緯を理解し、またその特徴やイスラーム政権の多極化を多面的・多角的に考察し表現する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	国語・情報
9月 1週 4日	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 2 ヨーロッパ世界の形成	①知識・技能 西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形づくっていったのかを理解している。 ②思考・判断・表現 莊園の構造を示す概念図や資料をもとに、西ヨーロッパに成立した封建社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 ヨーロッパ世界の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	ヨーロッパの自然条件と大規模な人の移動との関係・ビザンツ帝国の繁栄・ローマ教会とフランク王国の関係・カールの戴冠の意義・ノルマン人の歴史的役割・西ヨーロッパの封建社会の仕組みを多面的・多角的に考察し表現する。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。	国語・情報
9月 2週 4日	第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 1 イスラーム教の諸地域への伝播	①知識・技能 中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカの各地でどのようにイスラーム化が進んだのかを理解している。 ②思考・判断・表現 『トルコ語・アラビア語辞典』序文などの資料をもとに、イスラーム教の伝播・拡大においてトルコ人の果たした役割を多面的・多角的に考察し表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 イスラーム教の各地への伝播について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	イスラーム化が中央アジアにもたらした変化・南アジアにおいてイスラーム教が受け入れられていった経緯を理解している。 東南アジアにおいてイスラーム化が進んだ背景・アフリカにおいてイスラーム化が進んだ要因を考察し表現している。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報
9月 3週 4日	第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 2 西アジアの動向	①知識・技能 アッバース朝衰退後の西アジアにおいて、政治的統一は失われたが、経済・文化の交流を通じてイスラーム教徒の連帯が維持されたことを理解している。 ②思考・判断・表現 トルコ人の進出・十字軍遠征・モンゴル勢力の襲来といった外圧が、西アジアの社会へおよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 変動する西アジアの情勢について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	トルコ人の進出が西アジアにもたらした変化・十字軍やモンゴルの進出が西アジアにもたらした影響について考察し表現している。マムルーク朝のもとでのカイロの繁栄がどのように実現したのか・イベリア半島におけるイスラーム勢力の興亡について理解している。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	国語・情報
9月 4週 4日	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 1 西ヨーロッパの封建社会との展開	①知識・技能 中世の西ヨーロッパで発達した商業の活動状況とその特徴について、従来との比較をふまえて理解している。 ②思考・判断・表現 中世都市の景観を示す図像資料や当時の交通路を示す地図をもとに、十字軍が西ヨーロッパに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 中世の西ヨーロッパについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	中世の西ヨーロッパにおいてローマ＝カトリック教会が普遍的な権威を持つにいたった背景を理解する。十字軍の遠征の経緯を理解し、それが社会に与えた影響・西ヨーロッパで商業が盛んになった理由を多面的・多角的に考察し表現する。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報

10月 1週 4日	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 2 東ヨーロッパ世界の展開	4	①知識・技能 ビザンツ帝国の衰退の過程と、その周辺のスラヴ人および非スラヴ人の動向について理解している。	定期考查／提出課題／発問評価	ビザンツ帝国の衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現する。ビザンツ文化が果たした世界史的な意義について理解する。スラヴ人が各地域で自立していった経緯を理解する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	国語・情報
			②思考・判断・表現 西ヨーロッパやイスラーム勢力との関係をふまえたうえで、ビザンツ帝国の衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現している。	定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出			
			③主体的に学習に取り組む態度 東ヨーロッパ世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	提出課題／授業態度／発表・レポート提出			
10月 2週 4日	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 3 西ヨーロッパ世界の変容	4	①知識・技能 封建社会の衰退と教皇権の衰退の過程および中央集権国家に向けた西ヨーロッパ各国の動きを理解している。	定期考查／提出課題／発問評価	封建社会が解体に向かった背景を多面的・多角的に考察し表現する。教皇権の衰退と王権の伸張の関係・各国における、身分制議会の成立と王権の伸張の関係を理解する。百年戦争によるイギリスとフランスの変容を多面的・多角的に考察し表現する。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。	国語・情報
			②思考・判断・表現 大憲章や金印勅書などの資料をもとに、中央集権国家の形成に向けた各の動きの共通点と相違点を多面的・多角的に考察し表現している。	定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出			
			③主体的に学習に取り組む態度 西ヨーロッパ世界の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	提出課題／授業態度／発表・レポート提出			
10月 3週 4日	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 4 西ヨーロッパの中世文化	4	①知識・技能 中世の西ヨーロッパの文化について、キリスト教の影響が大きかったことを理解している。	定期考查／提出課題／発問評価	中世の西ヨーロッパにおいてキリスト教が果たした文化的役割を理解する。西ヨーロッパにおける大学の成立過程を理解する。中世の西ヨーロッパの美術や文学と、その時代の社会との関係を多面的・多角的に考察し表現する。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
			②思考・判断・表現 大聖堂の写真や大学の講義風景を描いた図像資料などをもとに、中世の西ヨーロッパの文化的な特徴を多面的・多角的に考察し表現している。	定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出			
			③主体的に学習に取り組む態度 中世の西ヨーロッパの文化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	提出課題／授業態度／発表・レポート提出			
10月 4週 4日	第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 1 アジア諸地域の自立化と宋	4	①知識・技能 10～12世紀の東アジアの情勢について、東アジア内の交流と再編を中心に理解している。	定期考查／提出課題／発問評価	10世紀前半に東アジアで政権の交替があいつた背景や、そこで成立した諸国の共通点を理解する。宋の対外関係の特徴・宋代の文化の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。宋における社会や経済の発展の様子を理解する。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報
			②思考・判断・表現 「清明上河図」などの図像資料や荘紹『鶏肋編』などの資料をもとに、宋代の経済発展が社会に引きおこした変化を多面的・多角的に考察し表現している。	定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出			
			③主体的に学習に取り組む態度 10～12世紀の東アジアについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	提出課題／授業態度／発表・レポート提出			
11月 1週 4日	第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 2 モンゴルの大帝国	4	①知識・技能 モンゴル帝国がどのように成立し、解体したのか、そして帝国の支配は社会にどのような影響を与えたのかを理解している。	定期考查／提出課題／発問評価	モンゴル帝国が成立した背景・モンゴル帝国時代の東西交流の新しさ・ティムール朝がモンゴル帝国から受け継いだものを多面的・多角的に考察し表現する。モンゴル帝国による支配が東アジアにおよぼした影響・モンゴル帝国解体の要因を理解する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	国語・情報
			②思考・判断・表現 モンゴル帝国の最大領域を示す地図や「混一疆理歴代国都之図」などの図像資料をもとに、モンゴル帝国の成立世界史的な意義を多面的・多角的に考察し表現している。	定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出			
			③主体的に学習に取り組む態度 モンゴル帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	提出課題／授業態度／発表・レポート提出			
11月 2週 4日	第9章 大交易・大交流の時代 1 アジア交易世界の興隆	4	①知識・技能 「世界の一体化」が始まった時期のアジアにおいて、どのような動きがあったのかを理解している。	定期考查／提出課題／発問評価	明朝初期の国内統治の特徴・明との朝貢関係が諸地域にもたらした影響・明代後期の中国の社会・経済・文化と世界の商業の活発化との関係を多面的・多角的に考察し表現する。モンゴル帝国解体後のアジア各地の状況・世界的な商業の発展が明の朝貢体制におよぼした影響を理解する。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報
			②思考・判断・表現 「南蛮屏風」などの図像資料や鄭曉『今言』などの資料をもとに、この時期のアジア内およびアジアと世界の交流を多面的・多角的に考察し表現している。	定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出			
			③主体的に学習に取り組む態度 アジア交易世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	提出課題／授業態度／発表・レポート提出			

11月 3週 4日	第9章 大交易・ 大交流の時代 2 ヨーロッパの 海洋進出とアメ リカ大陸の変容	①知識・技能 ヨーロッパの海洋進出について、その動機や背景、経緯を理解している。 ②思考・判断・表現 ヨーロッパ人による航海と探検を示す地図や資料をもとに、ヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	ヨーロッパの人々が遠洋に乗り出していった動機や背景・16世紀に一体化が始まった「世界」の性格を多面的・多角的に考察し表現する。ヨーロッパの人々の進出がアジアにもたらした影響や変化を理解する。中南米の先住民が短期間でスペイン人に征服された要因を理解する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	国語・情報
11月 4週 4日	第10章 アジア 諸帝国の繁栄 1 オスマン帝国 とサファヴィー朝	①知識・技能 オスマン帝国とサファヴィー朝がどのように支配を確立し、統治をおこなっていたのかを理解している。 ②思考・判断・表現 オスマン帝国とサファヴィー朝を比較したうえで、それぞれの特徴や両者の関係を多面的・多角的に考察し表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 オスマン帝国とサファヴィー朝について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見いだして、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	オスマン帝国の基礎が築かれた経緯・オスマン帝国の勢力拡大の経緯を理解する。オスマン帝国の統治が当時の人々に与えた影響・サファヴィー朝の支配がイラン社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。	国語・情報
12月 1週 4日	第10章 アジア 諸帝国の繁栄 2 ムガル帝国 の興隆	①知識・技能 ムガル帝国において非イスラーム教徒に対する施策がどのように変化したのかを理解している。 ②思考・判断・表現 ムガル帝国時代の細密画などの図像資料や領域を示す地図などをもとに、ムガル帝国の興隆と衰退が南アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 ムガル帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	ムガル帝国の基礎が築かれた経緯を理解する。ムガル帝国におけるヒンドゥー教徒とイスラーム教徒の関係を多面的・多角的に考察し表現する。ムガル帝国の衰退の背景や要因を多面的・多角的に考察し表現する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	国語・情報
12月 2週 4日	第10章 アジア 諸帝国の繁栄 3 清代の中国と 隣接諸地域	①知識・技能 清朝の基礎が築かれた経緯や清代の政治と社会の特徴および周辺諸国との関係について理解している。 ②思考・判断・表現 皇帝を描いた図像資料や『康熙帝伝』などの資料をもとに、清代の皇帝と從来の中国王朝の皇帝との違いを多面的・多角的に考察し表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 清代の中国と隣接諸地域について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	清朝の領土に組み込まれた民族と、彼らがどのように統治されていたかを理解する。清代における周辺諸国と中国との関係について、明代と比較したうえで多面的・多角的に考察し表現する。漢人の社会や文化に対する清朝の態度を理解する。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報
1月 2週 4日	第11章 近世 ヨーロッパ世界 の動向 1 ルネサンス	①知識・技能 ルネサンスの特徴や広がり、それが後世に与えた影響を理解している。 ②思考・判断・表現 美術作品の図像などの資料をもとに、ルネサンスの新しさと古さを多面的・多角的に考察し表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 ルネサンスについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	ルネサンスの担い手や彼らの動機について理解する。ルネサンスを支えた精神の特徴を理解し、それが後世に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。多方面におよぶルネサンスの成果が後世に与えた影響を理解する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	国語・情報
1月 3週 4日	第11章 近世 ヨーロッパ世界 の動向 2 宗教改革	①知識・技能 新しい宗派の成立過程やその後のヨーロッパの宗教分布を理解している。 ②思考・判断・表現 「九十五条の論題」や『キリスト者の自由』などの資料をもとに、宗教改革の動きが広まった要因を多面的・多角的に考察し表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 宗教改革について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	それまでの教会改革の試みと16世紀の宗教改革の違いを多面的・多角的に考察し表現する。カトリック改革が持つ世界史的な意義を多面的・多角的に考察し表現する。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報

1月 4週 4日	第11章 近世ヨーロッパ世界の動向 3 主権国家体制の成立	4	①知識・技能 主権国家および主権国家体制の成立について、それまでのヨーロッパの状況と比較したうえで理解している。	定期考查／提出課題／発問評価	主権国家体制の成立の経緯を多面的・多角的に考察し表現する。16世紀後半のスペイン・イギリス・フランスの関係を理解する。アウクスブルクの和議とウェストファリア条約の異なる点を理解する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	国語・情報
			②思考・判断・表現 ウェストファリア条約の内容や当時の戦争の様子を示す図像資料をもとに、主権国家体制の成立と戦争の関係を多面的・多角的に考察し表現している。	定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出			
			③主体的に学習に取り組む態度 主権国家体制の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	提出課題／授業態度／発表・レポート提出			
2月 2週 1日	第11章 近世ヨーロッパ世界の動向 4 オランダ・イギリス・フランスの台頭	1	①知識・技能 オランダ・イギリス・フランスがそれぞれ持つた有利な点や課題を理解している。	定期考查／提出課題／発問評価	17世紀におけるオランダの経済的な霸権獲得および衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現する。17世紀の2つのイギリスの革命について、国際的な状況もふまえて理解する。イギリスとフランスの霸権争いがグローバルな戦いになった背景を理解する。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報
			②思考・判断・表現 霸権争いの経過や「権利の章典」などの資料をもとに、イギリスが霸権を握るに至った要因を多面的・多角的に考察し表現している。	定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出			
			③主体的に学習に取り組む態度 オランダ・イギリス・フランスの霸権争いについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	提出課題／授業態度／発表・レポート提出			
2月 3週 4日	第11章 近世ヨーロッパ世界の動向 5 北欧・東欧の動向 6 科学革命と啓蒙思想	4	①知識・技能 北欧・東欧の各国の関係の推移や、それにおける改革の内容を理解している。科学革命と呼ばれる一連の変化がどのような背景で起こったのかを理解している。	定期考查／提出課題／発問評価	主権国家体制においてポーランドとスウェーデンが占めた位置を理解する。プロイセンとオーストリアの関係の推移を多面的・多角的に考察し表現する。啓蒙専制主義の特徴を理解する。科学革命の成果について、自然法科学革命がヨーロッパ人に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	国語・情報・理科・数学・芸術
			②思考・判断・表現 ロシア・プロイセン・オーストリアの状況を比較したうえで、啓蒙専制主義による改革が各国におよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現している。ルネサンスとの比較をふまえて、科学革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。	定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出			
			③主体的に学習に取り組む態度 北欧・東欧の動向・科学革命と啓蒙思想について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	提出課題／授業態度／発表・レポート提出			
2月 4週 4日	第12章 産業革命と環大西洋革命 1 産業革命	4	①知識・技能 産業革命が18世紀後半のイギリスから始まった背景や技術革新の展開を理解している。	定期考查／提出課題／発問評価	海外貿易が近世ヨーロッパ経済の動向に与えた影響を理解する。イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。16世紀に始まった「世界の一体化」とイギリス産業革命との関係について理解する。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。	国語・情報・理科
			②思考・判断・表現 当時の工場の様子を描いた図像資料や都市の人口を示す統計をもとに、産業革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。	定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出			
			③主体的に学習に取り組む態度 イギリス産業革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	提出課題／授業態度／発表・レポート提出			
3月 1週 4日	第12章 産業革命と環大西洋革命 2 アメリカ合衆国の独立と発展	4	①知識・技能 アメリカ合衆国がどのような歴史的経緯をたどって独立したのかを理解している。	定期考查／提出課題／発問評価	北米大陸に建設されたヨーロッパ諸国の植民地の地理的分布とその推移を理解する。独立直後と今日のアメリカ合衆国を比較し、共通点と相違点を理解する。アメリカ合衆国の独立がヨーロッパ諸国に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	国語・情報・芸術
			②思考・判断・表現 アメリカ独立宣言や「権利の章典」(第11章4節)などの資料をもとに、アメリカ合衆国独立の独自性を多面的・多角的に考察し表現している。	定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出			
			③主体的に学習に取り組む態度 アメリカ合衆国の独立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	提出課題／授業態度／発表・レポート提出			
3月 2週 4日	第12章 産業革命と環大西洋革命 3 フランス革命とナポレオンの支配	4	①知識・技能 フランス革命が起こった要因やナポレオンが台頭した背景を理解している。	定期考查／提出課題／発問評価	革命中のフランス国家体制の変遷や革命が諸外国に与えた影響を理解する。人権宣言とアメリカ独立宣言を比較し、共通点と相違点を理解する。ナポレオンの支配に対する人々の反応を多面的・多角的に考察し表現する。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報
			②思考・判断・表現 「旧体制」の風刺画などの図像資料や人権宣言などの資料をもとに、フランス革命において「国民」を主役とする社会が創出されたことについて、多面的・多角的に考察し表現している。	定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出			
			③主体的に学習に取り組む態度 フランス革命とナポレオンについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	提出課題／授業態度／発表・レポート提出			

3月 3週 4日	第12章 産業革命と環大西洋革命 4 中南米諸国の独立	4	①知識・技能 中南米諸国の独立がどのような経緯をたどって実現したのかを理解している。	定期考查／提出課題／発問評価	ハイチ革命の特殊性について、環大西洋革命の他の事例と比較したうえで理解する。中南米諸国の独立運動に共通する点を理解する。中南米諸国の独立運動とヨーロッパ情勢との関係を多面的・多角的に考察し表現する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	国語・情報・芸術
			②思考・判断・表現 中南米諸国の独立年を示す地図などをもとに、ヨーロッパ情勢をふまえたうえで、短期間に多くの独立が達成された要因を多面的・多角的に考察し表現している。	定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出			
指導時間数の計		140					

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
地理探究		4	全日制・普通科・3年次	「新詳地理探究」(帝国書院)			
科目の目標		○日本と世界の歴史や地理に関する理解を深め、国際化にも対応できる力を身につけています。 ○進路実現のために必要な基礎学力の向上を図るとともに思考力や判断力を養う。 ○政治や社会の諸課題について問題意識をもたせ、自ら課題解決に向かう公民としての資質を養う。					
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月	第1章 自然環境 序節 地球環境と人間 1節 地形 1 地形の成因と地球表面の起伏 2 地球規模の大地形 3 河川流域と海岸にみられる小地形 4 そのほかの特徴的な小地形	8	① 知識・技能 地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているかについて理解している。 ② 思考・判断・表現 地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 地形について、よりよい社会の実現を視野にそこでもみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート 白地図 単元テスト・定期試験	地球上には、高く険しい山脈や広大な平原、深い谷などの多様な地形があることを理解し、人々がこのような地形とどのように関わり合いどのように生活しているのかについて考察を深める。	・世界の地形に関して、概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。	美術 国語(現代文) 世界史 理科(地学)
5月 1・2週	2節 気候 1 気候の成り立ち 2 気候と生態系 3 世界の気候区分 4 さまざまな気候帯 5 気候変動と異常気象	7	① 知識・技能 気温や降水量、風などを要素とする気候の違いは、どのような要因で生まれ、人々の生活にどのような影響を与えていているかについて理解している。 ② 思考・判断・表現 気温や降水量、風などを要素とする気候の違いは、どのような要因で生まれ、人々の生活にどのような影響を与えていているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 気候について、よりよい社会の実現を視野にそこでもみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート 単元テスト・定期試験 リフレクションシート・ロイロノート	気温や降水、風などの気候要素は場所によって異なることを理解し、人々の生活はそれぞれの気候要素とどのように関わっているのか考察し、表現する。また、世界各地でどのような生活が営まれているのか理解を深める。	・世界の気候に関して、概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。	公民 数学 国語(現代文) 理科(地学)
5月 3・4週 日	3節 日本の自然環境 1 日本の地形 2 日本の気候 3 開発に伴う災害と防災・減災の取り組み 4節 地球環境問題 1 地球環境問題とは 2 さまざまな地球環境問題 3 地球環境問題の解決に向けた取り組み	5	① 知識・技能 日本列島の地形や気候など多様な自然環境にはどのような特徴があり、自然災害とどのように関係しているかについて理解している。 ② 思考・判断・表現 日本列島の地形や気候など多様な自然環境にはどのような特徴があり、自然災害とどのように関係しているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日本の自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでもみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート 単元テスト・定期試験 リフレクションシート・ロイロノート	日本の、山脈や広大な平原、深い谷など多様な地形を理解し、日本の各地で発生する自然災害は、その地域の地形や気候といった自然環境と密接に結びついていることを理解し、自然災害への日頃の備えには、どのようなものがあるのか考察を深める。	・日本の気候に関して、概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。	公民 世界史 日本史 理科(地学)
6月 1・2週	第2章 資源と産業 1節 農林水産業 1 農業の発達と分布 2 農業の地域区分 3 現代世界の農業の現状と課題 4 日本の農業の現状と課題 5 世界と日本の林業 6 世界と日本の水産業	5	① 知識・技能 さまざまな地球環境問題を解決して、地球と人類が共存できる持続可能な社会をつくり出すためには、どのような考え方で、どのような取り組みをすればよいかについて理解している。 ② 思考・判断・表現 さまざまな地球環境問題を解決して、地球と人類が共存できる持続可能な社会をつくり出すためには、どのような考え方で、どのような取り組みをすればよいかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 地球環境問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでもみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート 単元テスト・定期試験 リフレクションシート・ロイロノート	世界各地でみられる地球環境問題、資源エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などをもとに、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて理解を深める。また、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であるということへの理解を深める。	・生徒各自が現代の地球における環境問題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。	理科(地学) 国語(現代文) 公民
6月 2・3週	2節 食料問題 1 世界の食料問題 2 日本の食料問題	3	① 知識・技能 自然条件の影響を受けるとともに、社会条件の変化に伴って変容してきた農林水産業の分布や発達には、どのような傾向や規則性がみられるかについて理解している。 ② 思考・判断・表現 自然条件の影響を受けるとともに、社会条件の変化に伴って変容してきた農林水産業の分布や発達には、どのような傾向や規則性がみられるかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 農林水産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでもみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート 単元テスト・定期試験 リフレクションシート・ロイロノート	人々は、地域の自然環境などを生かして産業を発展させてきたことを理解し、産業の発展が人々の生活にどのような影響を与えてきたのかについて考察を深める。また、産業のグローバル化によって、人々の生活がどのように変化してきたのか考察し、表現する。	・生徒各自が現代の産業の課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。	世界史 日本史 公民 国語(現代文)
6月 4週	3節 エネルギー・鉱産資源 1 エネルギー資源の種類と利用 2 化石燃料の分布と利用 3 電力の利用 4 鉱産資源の種類と利用	4	① 知識・技能 食料の分配の世界的な偏りや、飽食や飢餓がみられる地域とその原因は何かについて理解している。 ② 思考・判断・表現 食料の分配の世界的な偏りや、飽食や飢餓がみられる地域とその原因は何かについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 食料問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでもみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート 単元テスト・定期試験 リフレクションシート・ロイロノート	世界各地でみられる地球環境問題、資源エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などをもとに、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて理解を深める。また、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であるということへの理解を深める。	・生徒各自が現代の食料の課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。	世界史 日本史 国語(現代文) 英語
			① 知識・技能 世界のエネルギー・鉱産資源の分布の偏りや、エネルギー・鉱産資源がどのように生活や産業に利用されているか、生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているかについて理解している。	ワークシート 単元テスト・定期試験	世界各地でみられる地球環境問題、資源エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などをもとに、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性について考察する。	・生徒各自が現代のエネルギー課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。	公民 世界史 国語(現代文) 理科

7月 1週	4節 資源・エネルギー問題 1 資源・エネルギーをめぐる課題 2 日本の資源・エネルギー問題	3	② 思考・判断・表現 世界のエネルギー・鉱産資源の分布の偏りや、エネルギー・鉱産資源がどのように生活や産業に利用されているか、生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	ワークシート 単元テスト・定期試験 リフレクションシート・ロイロノート	世界に於ける資源・エネルギー問題について理解を深める。また、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であるということへの理解を深める。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。	
			③ 主体的に学習に取り組む態度 エネルギー・鉱産資源について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	リフレクションシート・ロイロノート		
			① 知識・技能 これまでの資源・エネルギー問題の考え方に対し、今後、資源・エネルギー問題を解決し、持続可能な社会を実現するためには、どのような考え方が必要かについて理解している。	ワークシート 単元テスト・定期試験 レポート	世界各地でみられる地球環境問題、資源エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などをもとに、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて理解を深める。また、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であるということへの理解を深める。	家庭科 公民 国語（現代文） 理科
7月 2週	4節 資源・エネルギー問題 1 資源・エネルギーをめぐる課題 2 日本の資源・エネルギー問題	3	② 思考・判断・表現 これまでの資源・エネルギー問題の考え方に対し、今後、資源・エネルギー問題を解決し、持続可能な社会を実現するためには、どのような考え方が必要かについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	ワークシート 単元テスト・定期試験 レポート リフレクションシート・ロイロノート	世界各地でみられる地球環境問題、資源エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などをもとに、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて理解を深める。また、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であるということへの理解を深める。	・生徒各自が現代のエネルギー課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。
			③ 主体的に学習に取り組む態度 資源・エネルギー問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	リフレクションシート・ロイロノート		
			① 知識・技能 これまでの資源・エネルギー問題の考え方に対し、今後、資源・エネルギー問題を解決し、持続可能な社会を実現するためには、どのような考え方が必要かについて理解している。	ワークシート 単元テスト・定期試験	世界各地でみられる地球環境問題、資源エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などをもとに、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて理解を深める。また、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であるということへの理解を深める。	理科（地学） 国語（現代文） 公民 英語
7月 3週	5節 工業 1 工業の発達と種類 2 工業の立地 3 世界の工業地域 4 現代世界の工業の現状と課題 5 工業の知識産業化とスタートアップ企業 6 日本の工業	5	② 思考・判断・表現 これまでの資源・エネルギー問題の考え方に対し、今後、資源・エネルギー問題を解決し、持続可能な社会を実現するためには、どのような考え方が必要かについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	ワークシート レポート・定期試験 プレゼンテーション リフレクションシート・ロイロノート	世界各地でみられる地球環境問題、資源エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などをもとに、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて理解を深める。また、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であるということへの理解を深める。	・生徒各自が現代のエネルギー課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。
			③ 主体的に学習に取り組む態度 資源・エネルギー問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	プレゼンテーション リフレクションシート・ロイロノート		
			① 知識・技能 さまざまな製品を生み出し、人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はどのように発展し、現在はどのような工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしているかについて理解している。	ワークシート 単元テスト・定期試験	人々は、地域の自然環境などを生かして産業を発展させてきたことを理解し、産業の発展が人々の生活にどのような影響を与えてきたのかについて考察を深める。また、産業のグローバル化によって、人々の生活がどのように変化してきたのか考察し、表現する。	・生徒各自が現代の工業の現状と課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。
7月 4週	6節 第3次産業 1 経済発展と第3次産業 2 商業の現状と変化 3 商業以外のさまざまな第3次産業	3	② 思考・判断・表現 さまざまな製品を生み出し、人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はどのように発展し、現在はどのような工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	ワークシート 定期試験 プレゼンテーション リフレクションシート・ロイロノート	人々は、地域の自然環境などを生かして産業を発展させてきたことを理解し、産業の発展が人々の生活にどのような影響を与えてきたのかについて考察を深める。また、産業のグローバル化によって、人々の生活がどのように変化してきたのか考察し、表現する。	・生徒各自が現代の工業の現状と課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。
			③ 主体的に学習に取り組む態度 工業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	プレゼンテーション リフレクションシート・ロイロノート		
			① 知識・技能 経済が発展し、物やサービスへの需要が高まったため、主力の産業となった第3次産業の現状はどのようにになっているかについて理解している。	ワークシート 単元テスト・定期試験	人々は、地域の自然環境などを生かして産業を発展させてきたことを理解し、産業の発展が人々の生活にどのような影響を与えてきたのかについて考察を深める。また、産業のグローバル化によって、人々の生活がどのように変化してきたのか考察し、表現する。	・生徒各自が現代の経済の現状と課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。
9月 1週	第3章 交通・通信と観光、貿易 1節 交通・通信 1 世界を結ぶ交通 2 日本の交通の特徴 3 情報通信の発達	3	② 思考・判断・表現 経済が発展し、物やサービスへの需要が高まったため、主力の産業となった第3次産業の現状はどのようにになっているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	ワークシート 定期試験 プレゼンテーション リフレクションシート・ロイロノート	人々は、地域の自然環境などを生かして産業を発展させてきたことを理解し、産業の発展が人々の生活にどのような影響を与えてきたのかについて考察を深める。また、産業のグローバル化によって、人々の生活がどのように変化してきたのか考察し、表現する。	・生徒各自が現代の経済の現状と課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。
			③ 主体的に学習に取り組む態度 第3次産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	プレゼンテーション リフレクションシート・ロイロノート		
			① 知識・技能 社会や経済を大きく変化させた交通網や通信網の発達には、なぜ傾向や地域性、地域間格差が現れているかについて理解している。	ワークシート 単元テスト・定期試験	世界にあるさまざまな国家の領域や国境がどのように定まっているのか理解し、グローバル化に伴い、貿易や交通、通信、観光など世界の国々を結びつける要素にどのような変化がみられるのか考察を深める。	・生徒各自が現代の交通・通信の現状と課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。
9月 2週	2節 観光 1 余暇の拡大と観光産業 2 日本の観光とその変化	3	② 思考・判断・表現 社会や経済を大きく変化させた交通網や通信網の発達には、なぜ傾向や地域性、地域間格差が現れているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	ワークシート 定期試験 プレゼンテーション リフレクションシート・ロイロノート	世界にあるさまざまな国家の領域や国境がどのように定まっているのか理解し、グローバル化に伴い、貿易や交通、通信、観光など世界の国々を結びつける要素にどのような変化がみられるのか考察を深める。	・生徒各自が現代の交通・通信の現状と課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。
			③ 主体的に学習に取り組む態度 交通・通信について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	プレゼンテーション リフレクションシート・ロイロノート		
			① 知識・技能 日本の訪日外国人数を増やして観光産業などを盛んにしようとする取り組みや、観光の特徴や利点、課題について理解している。	ワークシート 単元テスト・定期試験	世界にあるさまざまな国家の領域や国境がどのように定まっているのか理解し、グローバル化に伴い、貿易や交通、通信、観光など世界の国々を結びつける要素にどのような変化がみられるのか考察を深める。	・生徒各自が現代の観光の現状と課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。
9月 3週	3節 貿易と経済圏 1 世界の貿易と地域間格差 2 貿易の自由化と経済連携 3 日本の貿易	3	② 思考・判断・表現 日本の訪日外国人数を増やして観光産業などを盛んにしようとする取り組みや、観光の特徴や利点、課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。	ワークシート 定期試験 プレゼンテーション リフレクションシート・ロイロノート	世界にあるさまざまな国家の領域や国境がどのように定まっているのか理解し、グローバル化に伴い、貿易や交通、通信、観光など世界の国々を結びつける要素にどのような変化がみられるのか考察を深める。	・生徒各自が現代の観光の現状と課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。
			③ 主体的に学習に取り組む態度 観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	プレゼンテーション リフレクションシート・ロイロノート		
			① 知識・技能 拡大を続けている世界の貿易では、地域性や地域間格差が現れているのはなぜかについて理解している。	ワークシート 単元テスト・定期試験	世界にあるさまざまな国家の領域や国境がどのように定まっているのか理解し、グローバル化に伴い、貿易や交通、通信、観光など世界の国々を結びつける要素にどのような変化がみられるのか考察を深める。	・生徒各自が現代の貿易の現状と課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。
9月 4週	第4章 人口、村落・都市 1節 人口 1 世界の人口 2 人口の移動	3	② 思考・判断・表現 拡大を続けている世界の貿易では、地域性や地域間格差が現れているのはなぜかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	ワークシート 定期試験 プレゼンテーション リフレクションシート・ロイロノート	世界にあるさまざまな国家の領域や国境がどのように定まっているのか理解し、グローバル化に伴い、貿易や交通、通信、観光など世界の国々を結びつける要素にどのような変化がみられるのか考察を深める。	・生徒各自が現代の貿易の現状と課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。
			③ 主体的に学習に取り組む態度 貿易と経済圏について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	プレゼンテーション リフレクションシート・ロイロノート		

9月 5週	2節 人口問題 1 世界の人口問題 2 日本の人口問題	3	<p>① 知識・技能 増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布、年齢別構成、移動には、どのような特徴がみられるかについて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布、年齢別構成、移動には、どのような特徴がみられるかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 人口について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	ワークシート 単元テスト・定期試験	人口、都市・村落などに関する諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解し、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。	・生徒各自が現代の人口の現状と課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。	公民 家庭科 保健 国語（現代文）
10月 1週	3節 村落と都市 1 集落の成り立ち 2 村落の形態と機能 3 都市の成立と形態・機能 4 都市圏の拡大と都市の構造	3	<p>① 知識・技能 社会情勢や文化などのさまざまな要因によって異なる世界各国・各地域の人口規模・分布や、先進国と発展途上国の出生率の高低や高齢化の進行の違いについて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 社会情勢や文化などのさまざまな要因によって異なる世界各国・各地域の人口規模・分布や、先進国と発展途上国の出生率の高低や高齢化の進行の違いについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 人口問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	ワークシート 単元テスト・定期試験	人口、都市・村落などに関する諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解し、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。	・生徒各自が現代の人口の現状と課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。	公民 世界史 日本史 家庭科 保健
10月 2週	4節 都市・居住問題 1 発展途上国の都市・居住問題 2 先進国の都市・居住問題 3 日本の都市・居住問題	4	<p>① 知識・技能 村落や都市の立地や発達、形態、変容のしかたにみられる傾向や規則性、国や地域によって異なる地域性について理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 村落や都市の立地や発達、形態、変容のしかたにみられる傾向や規則性、国や地域によって異なる地域性について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 村落と都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	ワークシート 単元テスト・定期試験	人口、都市・村落などに関する諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解し、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。	・生徒各自が現代の集落の現状と課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。	公民 日本史 家庭科 英語
10月 3週	第5章 生活文化、民族・宗教 1節 衣食住 1 世界の衣服と食生活 2 世界の住居と衣食住の画一化	3	<p>① 知識・技能 世界の都市が持続的に発展していくための課題、日本の都市の課題と解決するための取り組みについて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 世界の都市が持続的に発展していくための課題、日本の都市の課題と解決するための取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 都市・居住問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	ワークシート 単元テスト・定期試験	人口、都市・村落などに関する諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解し、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。	・生徒各自が現代の都市の現状と課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。	世界史 公民 国語（現代文）
10月 4週	2節 民族・宗教と民族問題 1 世界の民族・言語 2 世界の宗教 3 さまざまな民族問題 4 多文化の共生に向けた取り組み	4	<p>① 知識・技能 自然環境や社会環境などを反映して形成されてきた伝統的な衣食住の生活文化にはどのような傾向があり、世界的な画一化の動きとどのように関わっているかについて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 自然環境や社会環境などを反映して形成されてきた伝統的な衣食住の生活文化にはどのような傾向があり、世界的な画一化の動きとどのように関わっているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 衣食住について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	ワークシート 単元テスト・定期試験	世界には、日本とは異なる生活をしている民族が存在し、さまざまな衣食住が見られることを理解し、伝統的な衣食住の生活文化にはどのような傾向があるのかについて考察する。	・生徒各自が生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。	家庭科 公民 国語（現代文） 世界史
10月 5週	3節 国家の領域と領土問題 1 現代世界と国家 2 領土問題と解決への取り組み 3 日本の領域と領土をめぐる問題	4	<p>① 知識・技能 世界のさまざまな民族の言語や宗教の独自性、各地にみられる民族問題の背景との関わりについて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 世界のさまざまな民族の言語や宗教の独自性、各地にみられる民族問題の背景との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 民族・宗教と民族問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	ワークシート 小テスト	世界には、日本とは異なる言語を話す民族が存在し、さまざまな宗教が信仰されていることを理解し、言語や宗教が人々の生活にどのような影響を与えているのか考察する。	・世界の言語・宗教と人々の生活に関する、概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。	公民 英語 世界史
11月 1・2週	第2部 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 1節 地域区分 1 地域区分の意義と指標 第2章 現代世界の諸地域 序節 地域の考察方法 1 地誌的な考察方法 1節 中国 -項目ごとに整理して考察 1 中国の政治体制と多様な民族 2 中国の食生活と農業・水産業 3 中国の工業化と海外進出 4 経済発展に伴うさまざまな課題	6	<p>① 知識・技能 国家の領域はさまざまな境界線で区分されていること、領域が定められたり領域が変更されたり国家が誕生したりすることで問題が起こっていることについて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 国家の領域はさまざまな境界線で区分されていること、領域が定められたり領域が変更されたり国家が誕生したりすることで問題が起こっていることについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 国家の領域と領土問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	ワークシート 小テスト	国家の領域がさまざまな境界線で区分されていることや領域が定められたり領域が変更されたり国家が誕生したりすることで問題が起こっていることについて理解し、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	・生徒各自が現代の国家の現状と課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。	英語 世界史
11月 2週	2節 韓国 -項目ごとに整理して考察 1 韓国の歴史と生活文化 2 産業の発展と生活の変化	3	<p>① 知識・技能 工業化や経済発展が著しく、世界経済に大きな影響を与えていた中国について、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 工業化や経済発展が著しく、世界経済に大きな影響を与えていた中国について、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	ワークシート 小テスト	世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化は、さまざまな出来事を積み重ねることによって変化を遂げてきたことを理解し、このような歴史的背景が人々の生活文化にどのような影響を与えてきたのか考察を深める。	・各地域の歴史的背景と人々の生活に関する、概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。	世界史 日本史 家庭科 国語（現代文）

			③ 主体的に学習に取り組む態度 中国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	プレゼンテーション リフレクションシート・ロイロノート			
11月 3・4週	3節 ASEAN諸国 -項目ごとに整理して 考察 1 ASEAN諸国の歴史と文 化・民族 2 ASEAN諸国の農業とその 変化 3 ASEAN諸国の工業とその 発展 4 ASEANの変化と課題	4	① 知識・技能 日本と地理的な距離が近く、急速な経済成長を遂げている韓国について、自然環境や歴史と生活文化、産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。 ② 思考・判断・表現 日本と地理的な距離が近く、急速な経済成長を遂げている韓国について、自然環境や歴史と生活文化、産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 韓国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート 小テスト	世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化は、さまざまな出来事を積み重ねることによって変化を遂げてきたことを理解し、このような歴史的背景が人々の生活文化にどのような影響を与えてきたのか考察を深める。	・各地域の歴史的背景と人々の生活に関する、概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。	世界史 日本史 家庭科 国語（現代文）
12月 1週	4節 インド -経済成長に関連づけ て考察 1 急速な経済成長を支えた 産業の発展 2 増加する人口と農村の変 化 3 インド社会の変化と経済 格差の拡大	4	① 知識・技能 古くから農業が盛んで、近年急速に工業化が進んでいるASEAN諸国について、文化・民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。 ② 思考・判断・表現 古くから農業が盛んで、近年急速に工業化が進んでいるASEAN諸国について、文化・民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ASEAN諸国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート 小テスト	世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化は、さまざまな出来事を積み重ねることによって変化を遂げてきたことを理解し、このような歴史的背景が人々の生活文化にどのような影響を与えてきたのか考察を深める。	・各地域の歴史的背景と人々の生活に関する、概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。	世界史 日本史 家庭科 国語（現代文）
12月 2週	5節 西アジアと中央アジア -地域を比較して考 察 1 イスラームと人々の生活 文化 2 交易の歴史と乾燥地域の 農業 3 豊富な資源を生かして進 められる開発	4	① 知識・技能 近年急速に経済が成長しているインドについて、産業の発展や農村・社会の変化、国内の経済格差をはじめとする課題を、経済成長に関連づけて理解している。 ② 思考・判断・表現 近年急速に経済が成長しているインドについて、産業の発展や農村・社会の変化、国内の経済格差をはじめとする課題を、経済成長に関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 インドについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート 小テスト	世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化は、さまざまな出来事を積み重ねることによって変化を遂げてきたことを理解し、このような歴史的背景が人々の生活文化にどのような影響を与えてきたのか考察を深める。	・各地域の歴史的背景と人々の生活に関する、概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。	世界史 日本史 英語 国語（現代文）
12月 4週	6節 北アフリカとサハラ以南 アフリカ -地域を比較して考 察 1 歴史的な背景によって形 成された多様な文化 2 他地域との結びつきと 人々の生活の変化 3 一次産品への依存とそれ がもたらす課題	4	① 知識・技能 自然環境や生活文化で共通点が多くみられるが、異なる歴史的経緯や地域ごとの特殊性もある西アジアと中央アジアについて、二つの地域を比較し、一般性や地域の特殊性を理解している。 ② 思考・判断・表現 自然環境や生活文化で共通点が多くみられるが、異なる歴史的経緯や地域ごとの特殊性もある西アジアと中央アジアについて、二つの地域を比較し、一般性や地域の特殊性を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 西アジアと中央アジアについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート 小テスト	世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化は、さまざまな出来事を積み重ねることによって変化を遂げてきたことを理解し、このような歴史的背景が人々の生活文化にどのような影響を与えてきたのか考察を深める。	・各地域の歴史的背景と人々の生活に関する、概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。	世界史 日本史 英語 国語（現代文）
1月 1・2週	7節 EU諸国 -項目ごとに 整理して考 察 1 EUの成り立ちと結びつき 2 ヨーロッパの多様な農業 と政策 3 移り変わるEUの工業 4 EU拡大による影響と課題	5	① 知識・技能 アフリカとしてのまとまりをもっている一方で、大きく異なる点も多々ある北アフリカとサハラ以南アフリカについて、二つの地域を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を理解している。 ② 思考・判断・表現 アフリカとしてのまとまりをもっている一方で、大きく異なる点も多々ある北アフリカとサハラ以南アフリカについて、二つの地域を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 北アフリカとサハラ以南アフリカについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート 小テスト	世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化は、さまざまな出来事を積み重ねることによって変化を遂げてきたことを理解し、このような歴史的背景が人々の生活文化にどのような影響を与えてきたのか考察を深める。	・各地域の歴史的背景と人々の生活に関する、概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。	世界史 日本史 英語 国語（現代文）
1月 2週	8節 ロシア -国家体制の変 化に関連づけて考 察 1 ロシアの成り立ちと体制 変化 2 体制変化が産業にもたら した影響と課題	3	① 知識・技能 二度の世界大戦を機にEUを中心とした政治・経済の統合を進めているヨーロッパについて、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。 ② 思考・判断・表現 二度の世界大戦を機にEUを中心とした政治・経済の統合を進めているヨーロッパについて、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 EU諸国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート 小テスト	世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化は、さまざまな出来事を積み重ねることによって変化を遂げてきたことを理解し、このような歴史的背景が人々の生活文化にどのような影響を与えてきたのか考察を深める。	・各地域の歴史的背景と人々の生活に関する、概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。	世界史 日本史 英語 国語（現代文）
1月 3・4週	9節 アメリカ合衆国 -項目ごとに整理して考 察 1 移民国家としてのアメリカ 合衆国の発展 2 世界の食料生産の鍵を握 るアメリカ合衆国 3 進展する科学技術と産業 4 多民族社会と移民增加に 伴う課題	5	① 知識・技能 かつて社会主義国だったが、1990年代に国家体制が変化し、現在は新しい国づくりを進めているロシアについて、農業や工業を国家体制の変化に関連づけて理解している。 ② 思考・判断・表現 かつて社会主義国だったが、1990年代に国家体制が変化し、現在は新しい国づくりを進めているロシアについて、農業や工業を国家体制の変化に関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ロシアについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート 小テスト	世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化は、さまざまな出来事を積み重ねることによって変化を遂げてきたことを理解し、このような歴史的背景が人々の生活文化にどのような影響を与えてきたのか考察を深める。	・各地域の歴史的背景と人々の生活に関する、概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。	世界史 日本史 英語 国語（現代文）

2月 1・2週	9節 アメリカ合衆国 -項目ごとに整理して考察 1 移民国家としてのアメリカ合衆国の発展 2 世界の食料生産の鍵を握るアメリカ合衆国 3 進展する科学技術と産業 4 多民族社会と移民増加に伴う課題	5	<p>① 知識・技能 移民国家としての多様性をもち、世界有数の農業国であり、先端技術産業でも世界をリードしているアメリカ合衆国について、地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 移民国家としての多様性をもち、世界有数の農業国であり、先端技術産業でも世界をリードしているアメリカ合衆国について、地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 アメリカ合衆国について、よりよい社会の実現を視野にそこでもみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	ワークシート 小テスト	<p>世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化は、さまざまな出来事を積み重ねることによって変化を遂げてきたことを理解し、このような歴史的背景が人々の生活文化にどのような影響を与えてきたのか考察を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各地域の歴史的背景と人々の生活に関する、概念・法則・意図などを解釈し、説明したりする。 互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。 	世界史 日本史 英語 国語（現代文）
2月 3週	10節 ラテンアメリカ -歴史的背景と関連づけて考察 1 ヨーロッパの影響が強い社会 2 大土地所有制と農業の変化 3 工業化の進展と経済発展	4	<p>① 知識・技能 かつてヨーロッパ諸国の植民地であった歴史的背景があり、それが人々の生活や現在の産業にも深く関わっているラテンアメリカについて、文化や農業・工業をヨーロッパの影響と関連づけて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 かつてヨーロッパ諸国の植民地であった歴史的背景があり、それが人々の生活や現在の産業にも深く関わっているラテンアメリカについて、文化や農業・工業をヨーロッパの影響と関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ラテンアメリカについて、よりよい社会の実現を視野にそこでもみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	ワークシート 小テスト	<p>世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化は、さまざまな出来事を積み重ねることによって変化を遂げてきたことを理解し、このような歴史的背景が人々の生活文化にどのような影響を与えてきたのか考察を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各地域の歴史的背景と人々の生活に関する、概念・法則・意図などを解釈し、説明したりする。 互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。 	世界史 日本史 英語 国語（現代文）
2月 3・4週	11節 オーストラリアとニュージーランド -国を比較して考察 1 移民の歴史と多文化社会 2 自然の恵みを生かして発達した産業 3 強まるアジア・太平洋圏との結びつき	5	<p>① 知識・技能 南半球にある地理的位置や移民の国という共通点があるが、自然環境や産業で違いもみられるオーストラリアとニュージーランドについて、二つの国を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 南半球にある地理的位置や移民の国という共通点があるが、自然環境や産業で違いもみられるオーストラリアとニュージーランドについて、二つの国を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 オーストラリアとニュージーランドについて、よりよい社会の実現を視野にそこでもみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	ワークシート 小テスト	<p>世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化は、さまざまな出来事を積み重ねることによって変化を遂げてきたことを理解し、このような歴史的背景が人々の生活文化にどのような影響を与えてきたのか考察を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各地域の歴史的背景と人々の生活に関する、概念・法則・意図などを解釈し、説明したりする。 互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。 	世界史 日本史 英語 国語（現代文）
3月 1週	第3部 現代世界におけるこれからの日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の探究 1節 将来の国土の在り方 1 日本の強みと地理的な課題	3	<p>① 知識・技能 日本の強みをより生かせる将来について考え、持続可能な社会を構築していくには、どのようなことに取り組めばよいかについて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 日本の強みをより生かせる将来について考え、持続可能な社会を構築していくには、どのようなことに取り組めばよいかについて、多面的・多角的に探究し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 将来の国土の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこでもみられる課題を主体的に探究しようとしている。</p>	ワークシート 小テスト	<p>私たちの生活圏には、多岐にわたる地理的な課題がみられることを理解し、生活圏が抱える課題を探究するためには、どのような方法で地域の特徴をとらえ、どのように課題解決のための展望を見いだしていくよう考察を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 課題について、構想を立て実践し、評価・改善する。 互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。 	公民 英語 国語（現代文）
3月 2~4週	2節 持続可能な日本の国土像の探究 1 課題の把握 2 課題の追究 3 課題の解決	6	<p>① 知識・技能 現代の日本の社会が抱える地理的な諸課題を解決し、持続可能な社会を目指すためには、どのような国土の在り方が望ましいかについて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 現代の日本の社会が抱える地理的な諸課題を解決し、持続可能な社会を目指すためには、どのような国土の在り方が望ましいかについて、多面的・多角的に探究し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 持続可能な日本の国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでもみられる課題を主体的に探究しようとしている。</p>	ワークシート 小テスト	<p>私たちの生活圏には、多岐にわたる地理的な課題がみられることを理解し、生活圏が抱える課題を探究するためには、どのような方法で地域の特徴をとらえ、どのように課題解決のための展望を見いだしていくよう考察を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 課題について、構想を立て実践し、評価・改善する。 グラフや表などの情報を正確に分析・評価し、レポートにまとめる。 課題について、構想を立てて実践し、評価・改善する。 互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。 	公民 国語（現代文）
指導時間数の計		140					

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
地理探究		3	全日制・普通科・3年次	「新詳地理探究」(帝国書院)			
科目的目標		○日本と世界の歴史や地理に関する理解を深め、国際化にも対応できる力を身につけている。 ○進路実現のために必要な基礎学力の向上を図るとともに思考力や判断力を養う。 ○政治や社会の諸課題について問題意識をもたせ、自ら課題解決に向かう公民としての資質を養う。					
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月	第1章 自然環境 序節 地球環境と人間 1節 地形 1 地形の成因と地球表面の起伏 2 地球規模の大地形 3 河川流域と海岸にみられる小地形 4 そのほかの特徴的な小地形	7	① 知識・技能 地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているかについて理解している。 ② 思考・判断・表現 地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 地形について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート ロイロノート 白地図・単元テスト・定期試験	地球上には、高く険しい山脈や広大な平原、深い谷などの多様な地形があることを理解し、人々がこのような地形とどのように関わり合いつのうに生活しているのかについて考察を深める。	・世界の地形について、概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。	美術 国語(現代文) 世界史 理科(地学)
5月 1・2週	2節 気候 1 気候の成り立ち 2 気候と生態系 3 世界の気候区分 4 さまざまな気候帯 5 気候変動と異常気象	6	① 知識・技能 気温や降水量、風などを要素とする気候の違いは、どのような要因で生まれ、人々の生活にどのような影響を与えているかについて理解している。 ② 思考・判断・表現 気温や降水量、風などを要素とする気候の違いは、どのような要因で生まれ、人々の生活にどのような影響を与えているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 気候について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート ロイロノート 単元テスト・定期試験	気温や降水、風などの気候要素は場所によって異なることを理解し、人々の生活はそれそれの気候要素とどのように関わっているのか考察し、表現する。また、世界各地でどのような生活が営まれているのか理解を深める。	・世界の気候について、概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。	公民 数学 国語(現代文) 理科(地学)
5月 3週	3節 日本の自然環境 1 日本の地形 2 日本の気候 3 開発に伴う災害と防災・減災の取り組み	2	① 知識・技能 日本列島の地形や気候など多様な自然環境にはどのような特徴があり、自然災害とどのように関係しているかについて理解している。 ② 思考・判断・表現 日本列島の地形や気候など多様な自然環境にはどのような特徴があり、自然災害とどのように関係しているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日本の自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート ロイロノート 単元テスト・定期試験	日本の、山脈や広大な平原、深い谷など多様な地形を理解し、日本の各地で発生する自然災害は、その地域の地形や気候といった自然環境と密接に結びついていることを理解し、自然災害への日頃の備えには、どのようなものがあるのか考察を深める。	・日本の気候について、概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。	公民 世界史 日本史 理科(地学)
5月 4週	4節 地球環境問題 1 地球環境問題とは 2 さまざまな地球環境問題 3 地球環境問題の解決に向けた取り組み	2	① 知識・技能 さまざまな地球環境問題を解決して、地球と人類が共存できる持続可能な社会をつくり出すためには、どのような考え方で、どのような取り組みをすればよいかについて理解している。 ② 思考・判断・表現 さまざまな地球環境問題を解決して、地球と人類が共存できる持続可能な社会をつくり出すためには、どのような考え方で、どのような取り組みをすればよいかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 地球環境問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート ロイロノート 単元テスト・定期試験	世界各地でみられる地球環境問題、資源エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などをもとに、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて理解を深める。また、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各の取り組みや国際協力が必要であるということへの理解を深める。	・生徒各自が現代の地球における環境問題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。	理科(地学) 国語(現代文) 公民
6月 1・2週	第2章 資源と産業 1節 農林水産業 1 農業の発達と分布 2 農業の地域区分 3 現代世界の農業の現状と課題 4 日本の農業の現状と課題 5 世界と日本の林業 6 世界と日本の水産業	4	① 知識・技能 自然条件の影響を受けるとともに、社会条件の変化に伴って変容してきた農林水産業の分布や発達には、どのような傾向や規則性がみられるかについて理解している。 ② 思考・判断・表現 自然条件の影響を受けるとともに、社会条件の変化に伴って変容してきた農林水産業の分布や発達には、どのような傾向や規則性がみられるかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 農林水産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート ロイロノート 単元テスト・定期試験	人々は、地域の自然環境などを生かして産業を発展させしてきたことを理解し、産業の発展が人々の生活にどのような影響を与えてきたのかについて考察を深める。また、産業のグローバル化によって、人々の生活がどのように変化してきたのか考察し、表現する。	・生徒各自が現代の産業の課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。	世界史 日本史 公民 国語(現代文)
6月 3週	2節 食料問題 1 世界の食料問題 2 日本の食料問題	2	① 知識・技能 食料の分配の世界的な偏りや、飢餓がみられる地域とその原因は何かについて理解している。 ② 思考・判断・表現 食料の分配の世界的な偏りや、飢餓がみられる地域とその原因は何かについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 食料問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート ロイロノート 単元テスト・定期試験	世界各地でみられる地球環境問題、資源エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などをもとに、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて理解を深める。また、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各の取り組みや国際協力が必要であるということへの理解を深める。	・生徒各自が現代の食料の課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。	世界史 日本史 国語(現代文) 英語
6月 4週	3節 エネルギー・鉱産資源 1 エネルギー資源の種類と利用 2 化石燃料の分布と利用 3 電力の利用 4 鉱産資源の種類と利用	3	① 知識・技能 世界のエネルギー・鉱産資源の分布の偏りや、エネルギー・鉱産資源がどのように生活や産業に利用されているか、生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているかについて理解している。 ② 思考・判断・表現 世界のエネルギー・鉱産資源がどのように生活や産業に利用されているか、生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	ワークシート ロイロノート 単元テスト・定期試験	世界各地でみられる地球環境問題、資源エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などをもとに、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて理解を深める。また、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各の取り組みや国際協力が必要であるということへの理解を深める。	・生徒各自が現代のエネルギー課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。	公民 世界史 国語(現代文) 理科

			③ 主体的に学習に取り組む態度 エネルギー・鉱産資源について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	リフレクションシート ロイノート		「ふくらはぎ」。		
7月 1週	4節 資源・エネルギー問題 1 資源・エネルギーをめぐる課題 2 日本の資源・エネルギー問題	2	① 知識・技能 これまでの資源・エネルギー問題の考え方に対し、今後、資源・エネルギー問題を解決し、持続可能な社会を実現するためには、どのような考え方が必要かについて理解している。 ② 思考・判断・表現 これまでの資源・エネルギー問題の考え方に対し、今後、資源・エネルギー問題を解決し、持続可能な社会を実現するためには、どのような考え方が必要かについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 資源・エネルギー問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート ロイノート 単元テスト・定期試験	ワークシート ロイノート 単元テスト・定期試験 リフレクションシート	世界各地でみられる地球環境問題、資源エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などをもとに、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて理解を深める。また、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各の取り組みや国際協力が必要であるということへの理解を深める。	・生徒各自が現代のエネルギー課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。	家庭科 公民 国語（現代文） 理科
7月 2週	4節 資源・エネルギー問題 1 資源・エネルギーをめぐる課題 2 日本の資源・エネルギー問題	2	① 知識・技能 これまでの資源・エネルギー問題の考え方に対し、今後、資源・エネルギー問題を解決し、持続可能な社会を実現するためには、どのような考え方が必要かについて理解している。 ② 思考・判断・表現 これまでの資源・エネルギー問題の考え方に対し、今後、資源・エネルギー問題を解決し、持続可能な社会を実現するためには、どのような考え方が必要かについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 資源・エネルギー問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート ロイノート 単元テスト・定期試験	ワークシート ロイノート 単元テスト・定期試験 リフレクションシート	世界各地でみられる地球環境問題、資源エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などをもとに、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて理解を深める。また、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各の取り組みや国際協力が必要であるということへの理解を深める。	・生徒各自が現代のエネルギー課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。	理科（地学） 国語（現代文） 公民 英語
7月 3週	5節 工業 1 工業の発達と種類 2 工業の立地 3 世界の工業地域 4 現代世界の工業の現状と課題 5 工業の知識産業化とスタートアップ企業 6 日本の工業	4	① 知識・技能 さまざまな製品を生み出し、人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はどのように発展し、現在はどのような工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしているかについて理解している。 ② 思考・判断・表現 さまざまな製品を生み出し、人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はどのように発展し、現在はどのような工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 工業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート ロイノート 単元テスト・定期試験	ワークシート ロイノート 単元テスト・定期試験 リフレクションシート	人々は、地域の自然環境などを生かして産業を発展させてきたことを理解し、産業の発展が人々の生活にどのような影響を与えてきたのかについて考察を深める。また、産業のグローバル化によって、人々の生活がどのように変化してきたのか考察し、表現する。	・生徒各自が現代の工業の現状と課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。	公民 家庭科 国語（現代文） 日本史
7月 4週	6節 第3次産業 1 経済発展と第3次産業 2 商業の現状と変化 3 商業以外のさまざまな第3次産業	2	① 知識・技能 経済が発展し、物やサービスへの需要が高まつたため、主力の産業となった第3次産業の現状はどのようにになっているかについて理解している。 ② 思考・判断・表現 経済が発展し、物やサービスへの需要が高まつたため、主力の産業となった第3次産業の現状はどのようにになっているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 第3次産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート ロイノート 単元テスト・定期試験	ワークシート ロイノート 単元テスト・定期試験 リフレクションシート	人々は、地域の自然環境などを生かして産業を発展させてきたことを理解し、産業の発展が人々の生活にどのような影響を与えてきたのかについて考察を深める。また、産業のグローバル化によって、人々の生活がどのように変化してきたのか考察し、表現する。	・生徒各自が現代の経済の現状と課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。	公民 日本史 家庭科
9月 1週	第3章 交通・通信と観光、貿易 1節 交通・通信 1 世界を結ぶ交通 2 日本の交通の特徴 3 情報通信の発達	2	① 知識・技能 社会や経済を大きく変化させた交通網や通信網の発達には、なぜ傾向や地域性、地域間格差が現れているかについて理解している。 ② 思考・判断・表現 社会や経済を大きく変化させた交通網や通信網の発達には、なぜ傾向や地域性、地域間格差が現れているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 交通・通信について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート ロイノート 単元テスト・定期試験	ワークシート ロイノート 単元テスト・定期試験 リフレクションシート	世界にあるさまざまな国家の領域や国境がどのように定まっているのか理解し、グローバル化に伴い、貿易や交通、通信、観光など世界の国々を結びつける要素にどのような変化がみられるのか考察を深める。	・生徒各自が現代の交通・通信の現状と課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。	公民 世界史 日本史 情報
9月 1週	2節 観光 1 余暇の拡大と観光産業 2 日本の観光とその変化	2	① 知識・技能 日本での訪日外国人数を増やして観光産業などを盛んにしようとする取り組みや、観光の特徴や利点、課題について理解している。 ② 思考・判断・表現 日本での訪日外国人数を増やして観光産業などを盛んにしようとする取り組みや、観光の特徴や利点、課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート ロイノート 単元テスト・定期試験	ワークシート ロイノート 単元テスト・定期試験 リフレクションシート	世界にあるさまざまな国家の領域や国境がどのように定まっているのか理解し、グローバル化に伴い、貿易や交通、通信、観光など世界の国々を結びつける要素にどのような変化がみられるのか考察を深める。	・生徒各自が現代の観光の現状と課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。	情報 日本史 世界史
9月 2週	3節 貿易と経済圏 1 世界の貿易と地域間格差 2 貿易の自由化と経済連携 3 日本の貿易	2	① 知識・技能 拡大を続けている世界の貿易では、地域性や地域間格差が現れてきているのはなぜかについて理解している。 ② 思考・判断・表現 拡大を続けている世界の貿易では、地域性や地域間格差が現れてきているのはなぜかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 貿易と経済圏について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート ロイノート 単元テスト・定期試験	ワークシート ロイノート 単元テスト・定期試験 リフレクションシート	世界にあるさまざまな国家の領域や国境がどのように定まっているのか理解し、グローバル化に伴い、貿易や交通、通信、観光など世界の国々を結びつける要素にどのような変化がみられるのか考察を深める。	・生徒各自が現代の貿易の現状と課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。	公民 日本史 世界史
			① 知識・技能 増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布、年齢別構成、移動には、どのような特徴がみられるかについて理解している。	ワークシート ロイノート 単元テスト・定期試験		人口、都市・村落などに関する諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口・居住・都市問題の現状や要因、解決に向けて、各自の考察を深める。	・生徒各自が現代の人口の現状と課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。	公民 家庭科 保健 国語（現代文）

9月 3週	第4章 人口、村落・都市 1節 人口 1 世界の人口 2 人口の移動	2	<p>② 思考・判断・表現 増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布、年齢別構成・移動には、どのような特徴がみられるかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 人口について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	ワークシート ロイロノート 単元テスト・定期試験 リフレクションシート	に取組みながら、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	<p>宋へいしょする。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。</p>	
9月 4週	2節 人口問題 1 世界の人口問題 2 日本の人口問題	2	<p>① 知識・技能 社会情勢や文化などのさまざまな要因によって異なる世界各国・各地域の人口規模・分布や、先進国と発展途上国の出生率の高低や高齢化の進行の違いについて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 社会情勢や文化などのさまざまな要因によって異なる世界各国・各地域の人口規模・分布や、先進国と発展途上国の出生率の高低や高齢化の進行の違いについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 人口問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	ワークシート ロイロノート 単元テスト・定期試験 リフレクションシート	人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口・居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解し、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	<p>・生徒各自が現代の人口の現状と課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。</p>	公民 世界史 日本史 家庭科 保健
10月 1週	3節 村落と都市 1 集落の成り立ち 2 村落の形態と機能 3 都市の成立と形態・機能 4 都市圏の拡大と都市の構造	2	<p>① 知識・技能 村落や都市の立地や発達、形態、変容のしかたにみられる傾向や規則性、国や地域によって異なる地域性について理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 村落や都市の立地や発達、形態、変容のしかたにみられる傾向や規則性、国や地域によって異なる地域性について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 村落と都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	ワークシート ロイロノート 単元テスト・定期試験	人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口・居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解し、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	<p>・生徒各自が現代の集落の現状と課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。</p>	公民 日本史 家庭科 英語
10月 2週	4節 都市・居住問題 1 発展途上国の都市・居住問題 2 先進国の都市・居住問題 3 日本の都市・居住問題	3	<p>① 知識・技能 世界の都市が持続的に発展していくための課題、日本の都市の課題と解決するための取り組みについて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 世界の都市が持続的に発展していくための課題、日本の都市の課題と解決するための取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 都市・居住問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	ワークシート ロイロノート 単元テスト・定期試験 リフレクションシート	人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口・居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解し、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	<p>・生徒各自が現代の都市の現状と課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。</p>	世界史 公民 国語（現代文）
10月 3週	第5章 生活文化、民族・宗教 1節 衣食住 1 世界の衣服と食生活 2 世界の住居と衣食住の画一化	2	<p>① 知識・技能 自然環境や社会環境などを反映して形成されてきた伝統的な衣食住の生活文化にはどのような傾向があり、世界的な画一化の動きとどのように関わっているかについて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 自然環境や社会環境などを反映して形成されてきた伝統的な衣食住の生活文化にはどのような傾向があり、世界的な画一化の動きとどのように関わっているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 衣食住について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	ワークシート ロイロノート 単元テスト・定期試験 リフレクションシート	世界には、日本とは異なる生活をしている民族が存在し、さまざまな衣食住が見られることを理解し、伝統的な衣食住の生活文化にはどのような傾向があるのかについて考察する。	<p>・生徒各自が生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。</p>	家庭科 公民 国語（現代文） 世界史
10月 4週	2節 民族・宗教と民族問題 1 世界の民族・言語 2 世界の宗教 3 さまざまな民族問題 4 多文化の共生に向けた取り組み	3	<p>① 知識・技能 世界のさまざまな民族の言語や宗教の独自性、各地にみられる民族問題の背景との関わりについて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 世界のさまざまな民族の言語や宗教の独自性、各地にみられる民族問題の背景との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 民族・宗教と民族問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	ワークシート ロイロノート 単元テスト・定期試験 リフレクションシート	世界には、日本とは異なる言語を話す民族が存在し、さまざまな宗教が信仰されていることを理解し、言語や宗教が人々の生活にどのような影響を与えていているのか考察する。	<p>・世界の言語・宗教と人々の生活に関して、概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。</p>	公民 英語 世界史
11月 1・2週 日	3節 國家の領域と領土問題 1 現代世界と國家 2 領土問題と解決への取り組み 3 日本の領域と領土をめぐる問題	4	<p>① 知識・技能 國家の領域はさまざまな境界線で区分されていること、領域が定められたり領域が変更されたり国家が誕生したりすることで問題が起こっていることについて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 國家の領域はさまざまな境界線で区分されていること、領域が定められたり領域が変更されたり国家が誕生したりすることで問題が起こっていることについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 國家の領域と領土問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	ワークシート ロイロノート 単元テスト・定期試験 リフレクションシート	國家の領域がさまざまな境界線で区分されていることや領域が定められたり領域が変更されたり国家が誕生したりすることで問題が起こっていることについて理解し、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	<p>・生徒各自が現代の國家の現状と課題について、よりよい社会の実現を視野に原因や解決策について考察する。 ・グループに分かれ考察内容を発表し合い、他生徒の内容と比較・検討を通して、各自の考察を深める。</p>	英語 世界史
11月 2・3週	第2部 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 1節 地域区分 1 地域区分の意義と指標 第2章 現代世界の諸地域 序節 地域の考察方法 1 地誌的な考察方法 1節 中国 -項目ごとに整理して考察 1 中国の政体制と多様な民族	5	<p>① 知識・技能 工業化や経済発展が著しく、世界経済に大きな影響を与える中国について、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 工業化や経済発展が著しく、世界経済に大きな影響を与える中国について、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	ワークシート ロイロノート 単元テスト・定期試験 リフレクションシート	世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化は、さまざまな出来事を積み重ねることによって変化を遂げてきたことを理解し、このような歴史的背景が人々の生活文化にどのような影響を与えてきたのか考察を深める。	<p>・各地域の歴史的背景と人々の生活に關して、概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。</p>	世界史 日本史 家庭科 国語（現代文）

2 中国の食生活と農業・水産業 3 中国の工業化と海外進出 4 経済発展に伴うさまざまな課題	③ 主題的に学習に取り組む態度 中国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	リフレクションシート ロイロノート					
11月 3・4週	2節 韓国 一項目ごとに整理して考察 1 韓国の歴史と生活文化 2 産業の発展と生活の変化	① 知識・技能 日本と地理的な距離が近く、急速な経済成長を遂げている韓国について、自然環境や歴史と生活文化、産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。 ② 思考・判断・表現 日本と地理的な距離が近く、急速な経済成長を遂げている韓国について、自然環境や歴史と生活文化、産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主題的に学習に取り組む態度 韓国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート ロイロノート 単元テスト・定期試験	ワークシート ロイロノート 単元テスト・定期試験 リフレクションシート	世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化は、さまざまな出来事を積み重ねることによって変化を遂げてきたことを理解し、このような歴史的背景が人々の生活文化にどのような影響を与えてきたのか考察を深める。	・各地域の歴史的背景と人々の生活に関して、概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。	世界史 日本史 家庭科 国語（現代文）
12月 1週	3節 ASEAN諸国 -項目ごとに整理して考察 1 ASEAN諸国の歴史と文化・民族 2 ASEAN諸国の農業とその変化 3 ASEAN諸国の工業とその発展 4 ASEANの変化と課題	① 知識・技能 古くから農業が盛んで、近年急速に工業化が進んでいるASEAN諸国について、文化・民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。 ② 思考・判断・表現 古くから農業が盛んで、近年急速に工業化が進んでいるASEAN諸国について、文化・民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主題的に学習に取り組む態度 ASEAN諸国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート ロイロノート 単元テスト・定期試験	ワークシート ロイロノート 単元テスト・定期試験 リフレクションシート	世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化は、さまざまな出来事を積み重ねることによって変化を遂げてきたことを理解し、このような歴史的背景が人々の生活文化にどのような影響を与えてきたのか考察を深める。	・各地域の歴史的背景と人々の生活に関して、概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。	世界史 日本史 家庭科 国語（現代文）
12月 2週	4節 インド -経済成長に関連づけて考察 1 急速な経済成長を支えた産業の発展 2 増加する人口と農村の変化 3 インド社会の変化と経済格差の拡大	① 知識・技能 近年急速に経済が成長しているインドについて、産業の発展や農村・社会の変化、国内の経済格差をはじめとする課題を、経済成長に関連づけて理解している。 ② 思考・判断・表現 近年急速に経済が成長しているインドについて、産業の発展や農村・社会の変化、国内の経済格差をはじめとする課題を、経済成長に関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主題的に学習に取り組む態度 インドについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート ロイロノート 単元テスト・定期試験	ワークシート ロイロノート 単元テスト・定期試験 リフレクションシート	世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化は、さまざまな出来事を積み重ねることによって変化を遂げてきたことを理解し、このような歴史的背景が人々の生活文化にどのような影響を与えてきたのか考察を深める。	・各地域の歴史的背景と人々の生活に関して、概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。	世界史 日本史 英語 国語（現代文）
12月 2週	5節 西アジアと中央アジア -地域を比較して考察 1 イスラームと人々の生活文化 2 交易の歴史と乾燥地域の農業 3 豊富な資源を生かして進められる開発	① 知識・技能 自然環境や生活文化で共通点が多くみられるが、異なる歴史的経緯や地域ごとの特殊性もある西アジアと中央アジアについて、二つの地域を比較し、一般性や地域の特殊性を理解している。 ② 思考・判断・表現 自然環境や生活文化で共通点が多くみられるが、異なる歴史的経緯や地域ごとの特殊性もある西アジアと中央アジアについて、二つの地域を比較し、一般性や地域の特殊性を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主題的に学習に取り組む態度 西アジアと中央アジアについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート ロイロノート 単元テスト・定期試験	ワークシート ロイロノート 単元テスト・定期試験 リフレクションシート	世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化は、さまざまな出来事を積み重ねることによって変化を遂げてきたことを理解し、このような歴史的背景が人々の生活文化にどのような影響を与えてきたのか考察を深める。	・各地域の歴史的背景と人々の生活に関して、概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。	世界史 日本史 英語 国語（現代文）
12月 3週	6節 北アフリカとサハラ以南アフリカ -地域を比較して考察 1 歴史的な背景によって形成された多様な文化 2 他地域との結びつきと人々の生活の変化 3 一次産品への依存とそれがもたらす課題	① 知識・技能 アフリカとしてのまとまりをもっている一方で、大きく異なる点も多々ある北アフリカとサハラ以南アフリカについて、二つの地域を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を理解している。 ② 思考・判断・表現 アフリカとしてのまとまりをもっている一方で、大きく異なる点も多々ある北アフリカとサハラ以南アフリカについて、二つの地域を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主題的に学習に取り組む態度 北アフリカとサハラ以南アフリカについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート ロイロノート 単元テスト・定期試験	ワークシート ロイロノート 単元テスト・定期試験 リフレクションシート	世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化は、さまざまな出来事を積み重ねることによって変化を遂げてきたことを理解し、このような歴史的背景が人々の生活文化にどのような影響を与えてきたのか考察を深める。	・各地域の歴史的背景と人々の生活に関して、概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。	世界史 日本史 英語 国語（現代文）
1月 2週	7節 EU諸国 一項目ごとに整理して考察 1 EUの成り立ちと結びつき 2 ヨーロッパの多様な農業と政策 3 移り変わるEUの工業 4 EU拡大による影響と課題	① 知識・技能 二度の世界大戦を機にEUを中心とした政治・経済の統合を進めているヨーロッパについて、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。 ② 思考・判断・表現 二度の世界大戦を機にEUを中心とした政治・経済の統合を進めているヨーロッパについて、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主題的に学習に取り組む態度 EU諸国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート ロイロノート 単元テスト・定期試験	ワークシート ロイロノート 単元テスト・定期試験 リフレクションシート	世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化は、さまざまな出来事を積み重ねることによって変化を遂げてきたことを理解し、このような歴史的背景が人々の生活文化にどのような影響を与えてきたのか考察を深める。	・各地域の歴史的背景と人々の生活に関して、概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。	世界史 日本史 英語 国語（現代文）
1月 3週	8節 ロシア -国家体制の変化に関連づけて考察 1 ロシアの成り立ちと体制変化 2 体制変化が産業にもたらした影響と課題	① 知識・技能 かつて社会主义国だったが、1990年代に国家体制が変化し、現在は新しい国づくりを進めているロシアについて、農業や工業を国家体制の変化に関連づけて理解している。 ② 思考・判断・表現 かつて社会主义国だったが、1990年代に国家体制が変化し、現在は新しい国づくりを進めているロシアについて、農業や工業を国家体制の変化に関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。	ワークシート 単元テスト	ワークシート ロイロノート プレゼンテーション リフレクションシート	世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化は、さまざまな出来事を積み重ねることによって変化を遂げてきたことを理解し、このような歴史的背景が人々の生活文化にどのような影響を与えてきたのか考察を深める。	・各地域の歴史的背景と人々の生活に関して、概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。 ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。	世界史 日本史 英語 国語（現代文）

			③ 主題的に学習に取り組む態度 ロシアについて、よりよい社会の実現を視野にそこ でみられる課題を主体的に追究しようとしている。	プレゼンテーション ロイノート リフレクションシート			
1月 3・4週	9節 アメリカ合衆国 -項目ごとに整理して考 察 1 移民国家としてのアメリカ 合衆国の発展 2 世界の食料生産の鍵を握 るアメリカ合衆国 3 進展する科学技術と産業 4 多民族社会と移民増加に 伴う課題	4	① 知識・技能 移民国家としての多様性をもち、世界有数の農業国 であり、先端技術産業でも世界をリードしているアメリ カ合衆国について、地域を構成するさまざまな事象 を項目ごとに整理して理解している。 ② 思考・判断・表現 移民国家としての多様性をもち、世界有数の農業国 であり、先端技術産業でも世界をリードしているアメリ カ合衆国について、地域を構成するさまざまな事象 を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表 現している。 ③ 主題的に学習に取り組む態度 アメリカ合衆国について、よりよい社会の実現を視 野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとして いる。	ワークシート 単元テスト ワークシート ロイノート プレゼンテーション リフレクションシート プレゼンテーション ロイノート リフレクションシート	世界各地の多様な環境の下 で育まれてきた生活文化は、 さまざまな出来事を積み重ね ることによって変化を遂げて きたことを理解し、このよう な歴史的背景が人々の生活文 化にどのような影響を与えて きたのか考察を深める。	・各地域の歴史的 背景と人々の生活 に関して、概念・ 法則・意図などを 解釈し、説明した り活用したりす る。 ・互いの考えを伝 え合い、自らの考 えや集団の考えを 発展させる。	世界史 日本史 英語 国語（現代文）
2月 1・2週	10節 ラテンアメリカ -歴史的背景と関連 づけて考察 1 ヨーロッパの影響が強い 社会 2 大土地所有制と農業の変 化 3 工業化の進展と経済発展	3	① 知識・技能 かつてヨーロッパ諸国の植民地であった歴史的背景 があり、それが人々の生活や現在の産業にも深く関 わっているラテンアメリカについて、文化や農業・工 業をヨーロッパの影響と関連づけて理解している。 ② 思考・判断・表現 かつてヨーロッパ諸国の植民地であった歴史的背景 があり、それが人々の生活や現在の産業にも深く関 わっているラテンアメリカについて、文化や農業・工 業をヨーロッパの影響と関連づけて、多面的・多角的 に考察し、表現している。 ③ 主題的に学習に取り組む態度 ラテンアメリカについて、よりよい社会の実現を視 野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとして いる。	ワークシート 単元テスト ワークシート ロイノート プレゼンテーション リフレクションシート プレゼンテーション ロイノート リフレクションシート	世界各地の多様な環境の下 で育まれてきた生活文化は、 さまざまな出来事を積み重ね ることによって変化を遂げて きたことを理解し、このよう な歴史的背景が人々の生活文 化にどのような影響を与えて きたのか考察を深める。	・各地域の歴史的 背景と人々の生活 に関して、概念・ 法則・意図などを 解釈し、説明した り活用したりす る。 ・互いの考えを伝 え合い、自らの考 えや集団の考えを 発展させる。	世界史 日本史 英語 国語（現代文）
2月 3・4週	11節 オーストラリアとニュ ージーランド -国を比較して考 察 1 移民の歴史と多文化社会 2 自然の恵みを生かして発 達した産業 3 強まるアジア・太平洋圏と の結びつき	4	① 知識・技能 南半球にある地理的位置や移民の国という共通点が あるが、自然環境や産業で違いもみられるオーストラ リアとニュージーランドについて、二つの国を比較 し、類似する一般性や地域の特殊性を理解している。 ② 思考・判断・表現 南半球にある地理的位置や移民の国という共通点が あるが、自然環境や産業で違いもみられるオーストラ リアとニュージーランドについて、二つの国を比較 し、類似する一般性や地域の特殊性を、多面的・多角 的に考察し、表現している。 ③ 主題的に学習に取り組む態度 オーストラリアとニュージーランドについて、より よい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的 に追究しようとしている。	ワークシート 単元テスト ワークシート ロイノート プレゼンテーション リフレクションシート プレゼンテーション ロイノート リフレクションシート	世界各地の多様な環境の下 で育まれてきた生活文化は、 さまざまな出来事を積み重ね ることによって変化を遂げて きたことを理解し、このよう な歴史的背景が人々の生活文 化にどのような影響を与えて きたのか考察を深める。	・各地域の歴史的 背景と人々の生活 に関して、概念・ 法則・意図などを 解釈し、説明した り活用したりす る。 ・互いの考えを伝 え合い、自らの考 えや集団の考えを 発展させる。	世界史 日本史 英語 国語（現代文）
3月 1・2週	第3部 現代世界におけるこ れからの日本の国土像 第1章 持続可能な国土像 の探究 1節 将来の国土の在り方 1 日本の強みと地理的な課 題	3	① 知識・技能 日本の強みをより生かせる将来について考え、持続 可能な社会を構築していくには、どのようにことに取 り組めばよいかについて理解している。 ② 思考・判断・表現 日本の強みをより生かせる将来について考え、持続 可能な社会を構築していくには、どのようにことに取 り組めばよいかについて、多面的・多角的に探究し、 表現している。 ③ 主題的に学習に取り組む態度 将来の国土の在り方について、よりよい社会の実現 を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようと している。	ワークシート 単元テスト ワークシート ロイノート プレゼンテーション リフレクションシート プレゼンテーション ロイノート リフレクションシート	私たちの生活圏には、多岐 にわたる地理的な課題がみら れることを理解し、生活圏が 抱える課題を探究するためには、 どのような方法で地域の 特徴をとらえ、どのように課 題解決のための展望を見いだ していくよう考察を深め る。	・課題について、 構想を立て実践 し、評価・改善す る。 ・互いの考えを伝 え合い、自らの考 えや集団の考えを 発展させる。	公民 英語 国語（現代文）
3月 3・4週	2節 持続可能な日本の国土 像の探究 1 課題の把握 2 課題の追究 3 課題の解決	5	① 知識・技能 現代の日本の社会が抱える地理的な諸課題を解決 し、持続可能な社会を目指すためには、どのような國 土の在り方が望ましいかについて理解している。 ② 思考・判断・表現 現代の日本の社会が抱える地理的な諸課題を解決 し、持続可能な社会を目指すためには、どのような國 土の在り方が望ましいかについて、多面的・多角的に 探究し、表現している。 ③ 主題的に学習に取り組む態度 持続可能な日本の国土像の探究について、よりよい 社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探 究しようとしている。	ワークシート 単元テスト ワークシート ロイノート プレゼンテーション リフレクションシート プレゼンテーション ロイノート リフレクションシート	私たちの生活圏には、多岐 にわたる地理的な課題がみら れることを理解し、生活圏が 抱える課題を探究するためには、 どのような方法で地域の 特徴をとらえ、どのように課 題解決のための展望を見いだ していくよう考察を深め る。	・課題について、 構想を立て実践 し、評価・改善す る。 ・グラフや表など の情報を正確に分 析・評価し、レ ポートにまとめる。 ・課題について、 構想を立て実践 し、評価・改善す る。 ・互いの考えを伝 え合い、自らの考 えや集団の考えを 発展させる。	公民 国語（現代文）
指導時間数の計		105					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
日本史探究	2	全日制・普通科・3年次	『詳説日本史』(山川出版社)				
科目的目標		<p>○(何を学ぶか)我が国の歴史の展開に關わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解とともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。(知識及び技能)</p> <p>○(どのように学ぶのか)我が国の歴史の展開に關わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。(思考力・表現力・判断力等)</p> <p>○(何ができるようになるのか)我が国の歴史の展開に關わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。(学びに向かう力・人間性等)</p>					
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に關わる他教科等との関連
4月 2週 2日	第11章 近世から近代へ 1 開国と幕末の動乱	2	<p>① 知識・技能 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 日本の開国に關わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。</p>	定期考查／提出課題／発問評価	国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。江戸幕府の威信低下と雄藩の台頭について、政治情勢の変化と列強の動向を関連させて理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
4月 3週 2日	第11章 近世から近代へ 1 開国と幕末の動乱	2	<p>① 知識・技能 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 日本の開国に關わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。</p>	定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出	国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。江戸幕府の威信低下と雄藩の台頭について、政治情勢の変化と列強の動向を関連させて理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
4月 4週 2日	第11章 近世から近代へ 1 開国と幕末の動乱	2	<p>① 知識・技能 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 日本の開国に關わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。</p>	定期考查／提出課題／発問評価	国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。江戸幕府の威信低下と雄藩の台頭について、政治情勢の変化と列強の動向を関連させて理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
5月 2週 2日	第11章 近世から近代へ 1 開国と幕末の動乱	2	<p>① 知識・技能 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 日本の開国に關わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。</p>	定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出	国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。江戸幕府の威信低下と雄藩の台頭について、政治情勢の変化と列強の動向を関連させて理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
5月 3週 2日	第11章 近世から近代へ 2 幕府の滅亡と新政府の発足	2	<p>① 知識・技能 政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 日本がどのような契機によって近代的な社会の形成に向かっていくことになるのか、近代の特色を探究するための時代を通観する問いを表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出そうとしている。</p>	定期考查／提出課題／発問評価	幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の一掃に至るまでの経過を理解する。近世から近代への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
5月 4週 2日	第11章 近世から近代へ 2 幕府の滅亡と新政府の発足	2	<p>① 知識・技能 政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 日本がどのような契機によって近代的な社会の形成に向かっていくことになるのか、近代の特色を探究するための時代を通観する問いを表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出そうとしている。</p>	定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出	幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の一掃に至るまでの経過を理解する。近世から近代への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術

5月 5週 2日	第11章 近世から近代へ 2 幕府の滅亡と新政府の発足	2	<p>① 知識・技能 政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 日本がどのような契機によって近代的な社会の形成に向かっていくことになるのか、近代の特色を探求するための時代を通観する問いを表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出そうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の一掃に至るまでの経過を理解する。近世から近代への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
6月 2週 2日	第11章 近世から近代へ 2 幕府の滅亡と新政府の発足	2	<p>① 知識・技能 政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 日本がどのような契機によって近代的な社会の形成に向かっていくことになるのか、近代の特色を探求するための時代を通観する問いを表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出そうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の一掃に至るまでの経過を理解する。近世から近代への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
6月 3週 2日	第13章 近代国家の展開 1 日清・日露戦争と国際関係	2	<p>① 知識・技能 日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 議会が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究しようとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	東アジアをめぐる国際環境が変容する中、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について理解する。開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
6月 4週 2日	第13章 近代国家の展開 1 日清・日露戦争と国際関係	2	<p>① 知識・技能 日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 議会が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究しようとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	東アジアをめぐる国際環境が変容する中、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について理解する。開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
6月 5週 2日	第13章 近代国家の展開 1 日清・日露戦争と国際関係	2	<p>① 知識・技能 日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 議会が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究しようとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	東アジアをめぐる国際環境が変容する中、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について理解する。開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
7月 1週 2日	第13章 近代国家の展開 2 第一次世界大戦と日本	2	<p>① 知識・技能 第一次世界大戦が日本に及ぼした影響に着目して、大戦後の国際的な協調体制における日本の立場や対外政策の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 大戦中の日本の動向を踏まえ、中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのかを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	第一次世界大戦前後の政治の動向および対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて理解する。第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関係や政党内閣の成立などと関連させて考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
7月 2週 2日	第13章 近代国家の展開 2 第一次世界大戦と日本	2	<p>① 知識・技能 第一次世界大戦が日本に及ぼした影響に着目して、大戦後の国際的な協調体制における日本の立場や対外政策の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 大戦中の日本の動向を踏まえ、中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのかを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	第一次世界大戦前後の政治の動向および対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて理解する。第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関係や政党内閣の成立などと関連させて考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術

7月 3週 2日	第13章 近代国家の展開 2 第一次世界大戦と日本	2	<p>① 知識・技能 第一次世界大戦が日本に及ぼした影響に着目して、大戦後の国際的な協調体制における日本の立場や対外政策の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 大戦中の日本の動向を踏まえ、中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのかを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。</p>	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	<p>第一次世界大戦前後の政治の動向および対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて理解する。第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関係や政党内閣の成立などと関連させて考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
9月 1週 2日	第13章 近代国家の展開 3 ワシントン体制	2	<p>① 知識・技能 ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過や中国・朝鮮における民族運動の高揚に着目し、国内で様々な社会運動が起こった背景と政党政治の成立について理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 大戦後に国民の権利の拡大がもたらされたことを踏まえ、国際的な反戦意識や国際的な民族運動の高揚について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 東アジア・太平洋地域における国際協調体制の特質を考察することを通じて、当時の日本外交に与えた影響やその課題を主体的に追究しようとしている。</p>	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	<p>ワシントン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して理解する。民主主義的風潮による社会運動の動向を理解するとともに、普選運動など政党政治の発展から二大政党による政党内閣制成立に至るまでの意義について考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
9月 2週 2日	第13章 近代国家の展開 3 ワシントン体制	2	<p>① 知識・技能 ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過や中国・朝鮮における民族運動の高揚に着目し、国内で様々な社会運動が起こった背景と政党政治の成立について理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 大戦後に国民の権利の拡大がもたらされたことを踏まえ、国際的な反戦意識や国際的な民族運動の高揚について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 東アジア・太平洋地域における国際協調体制の特質を考察することを通じて、当時の日本外交に与えた影響やその課題を主体的に追究しようとしている。</p>	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	<p>ワシントン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して理解する。民主主義的風潮による社会運動の動向を理解するとともに、普選運動など政党政治の発展から二大政党による政党内閣制成立に至るまでの意義について考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
9月 3週 2日	第13章 近代国家の展開 3 ワシントン体制	2	<p>① 知識・技能 ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過や中国・朝鮮における民族運動の高揚に着目し、国内で様々な社会運動が起こった背景と政党政治の成立について理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 大戦後に国民の権利の拡大がもたらされたことを踏まえ、国際的な反戦意識や国際的な民族運動の高揚について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 東アジア・太平洋地域における国際協調体制の特質を考察することを通じて、当時の日本外交に与えた影響やその課題を主体的に追究しようとしている。</p>	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	<p>ワシントン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して理解する。民主主義的風潮による社会運動の動向を理解するとともに、普選運動など政党政治の発展から二大政党による政党内閣制成立に至るまでの意義について考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
9月 4週 2日	第15章 恐慌と第二次世界大戦 1 恐慌の時代	2	<p>① 知識・技能 国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連續した恐慌と政府の対応などに関わる諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ワシントン体制下の協調外交が、中国における民族運動の進展や日本の経済の動向によって次第に緊張が高まることについて考察し、根拠を明確にして表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究しようとしている。</p>	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	<p>戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。社会主义運動の高揚と国家主義の台頭による軍部の政治的進出を踏まえて、協調外交が挫折していく過程を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
10月 1週 2日	第15章 恐慌と第二次世界大戦 1 恐慌の時代	2	<p>① 知識・技能 国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連續した恐慌と政府の対応などに関わる諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ワシントン体制下の協調外交が、中国における民族運動の進展や日本の経済の動向によって次第に緊張が高まることについて考察し、根拠を明確にして表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究しようとしている。</p>	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	<p>戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。社会主义運動の高揚と国家主義の台頭による軍部の政治的進出を踏まえて、協調外交が挫折していく過程を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
10月 2週 2日	第15章 恐慌と第二次世界大戦 1 恐慌の時代	2	<p>① 知識・技能 国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連續した恐慌と政府の対応などに関わる諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ワシントン体制下の協調外交が、中国における民族運動の進展や日本の経済の動向によって次第に緊張が高まることについて考察し、根拠を明確にして表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究しようとしている。</p>	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	<p>戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。社会主义運動の高揚と国家主義の台頭による軍部の政治的進出を踏まえて、協調外交が挫折していく過程を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術

10月 3週 2日	第15章 恐慌と第二次世界大戦 2 軍部の台頭	2	① 知識・技能 政治・経済体制の変化に着目して、満洲事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と対外政策について理解している。 ② 思考・判断・表現 当時の社会が抱えた矛盾と満洲事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 満洲事変や国内の国家改造運動の展開を考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価	日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解する。恐慌から脱出し、国家主義が高揚する中で、五・一五事件から二・二六事件にかけて、軍部の影響力が増大していく過程を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
10月 4週 2日	第15章 恐慌と第二次世界大戦 2 軍部の台頭	2	① 知識・技能 政治・経済体制の変化に着目して、満洲事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と対外政策について理解している。 ② 思考・判断・表現 当時の社会が抱えた矛盾と満洲事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 満洲事変や国内の国家改造運動の展開を考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価	日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解する。恐慌から脱出し、国家主義が高揚する中で、五・一五事件から二・二六事件にかけて、軍部の影響力が増大していく過程を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
10月 5週 2日	第15章 恐慌と第二次世界大戦 2 軍部の台頭	2	① 知識・技能 政治・経済体制の変化に着目して、満洲事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と対外政策について理解している。 ② 思考・判断・表現 当時の社会が抱えた矛盾と満洲事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 満洲事変や国内の国家改造運動の展開を考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価	日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解する。恐慌から脱出し、国家主義が高揚する中で、五・一五事件から二・二六事件にかけて、軍部の影響力が増大していく過程を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
11月 2週 2日	第15章 恐慌と第二次世界大戦 2 軍部の台頭	2	① 知識・技能 政治・経済体制の変化に着目して、満洲事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と対外政策について理解している。 ② 思考・判断・表現 当時の社会が抱えた矛盾と満洲事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 満洲事変や国内の国家改造運動の展開を考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価	日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解する。恐慌から脱出し、国家主義が高揚する中で、五・一五事件から二・二六事件にかけて、軍部の影響力が増大していく過程を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
11月 3週 2日	第15章 恐慌と第二次世界大戦 3 第二次世界大戦	2	① 知識・技能 戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。 ② 思考・判断・表現 戦争がアメリカやイギリスなどとの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価	日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要な性を認識する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
11月 4週 2日	第15章 恐慌と第二次世界大戦 3 第二次世界大戦	2	① 知識・技能 戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。 ② 思考・判断・表現 戦争がアメリカやイギリスなどとの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価	日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要な性を認識する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
11月 5週 2日	第15章 恐慌と第二次世界大戦 3 第二次世界大戦	2	① 知識・技能 戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。 ② 思考・判断・表現 戦争がアメリカやイギリスなどとの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。	定期考査／提出課題／発問評価	日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要な性を認識する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術

			<p>③ 主体的に学習に取り組む態度 日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。</p>	提出課題／授業態度／発表・レポート提出			
12月 1週 2日	第15章 恐慌と第二次世界大戦 3 第二次世界大戦	2	<p>① 知識・技能 戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 戦争がアメリカやイギリスなどとの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。</p>	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	<p>日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。第二次世界大戦について、国家間の相違や絶力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
12月 2週 2日	第15章 恐慌と第二次世界大戦 3 第二次世界大戦	2	<p>① 知識・技能 戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 戦争がアメリカやイギリスなどとの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。</p>	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	<p>日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。第二次世界大戦について、国家間の相違や絶力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
12月 3週 2日	第17章 高度成長の時代 1 55年体制	2	<p>① 知識・技能 保守合意による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟・新安保条約・L T貿易・日韓基本条約・沖縄返還問題などの外交事案がもたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 55年体制の歴史的意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとしている。</p>	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	<p>独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解する。冷戦構造の中で日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
12月 4週 2日	第17章 高度成長の時代 1 55年体制	2	<p>① 知識・技能 保守合意による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟・新安保条約・L T貿易・日韓基本条約・沖縄返還問題などの外交事案がもたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 55年体制の歴史的意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとしている。</p>	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	<p>独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解する。冷戦構造の中で日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
1月 2週 2日	第17章 高度成長の時代 1 55年体制	2	<p>① 知識・技能 保守合意による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟・新安保条約・L T貿易・日韓基本条約・沖縄返還問題などの外交事案がもたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 55年体制の歴史的意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとしている。</p>	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	<p>独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解する。冷戦構造の中で日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
1月 3週 2日	第17章 高度成長の時代 1 55年体制	2	<p>① 知識・技能 保守合意による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟・新安保条約・L T貿易・日韓基本条約・沖縄返還問題などの外交事案がもたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 55年体制の歴史的意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとしている。</p>	定期考查／提出課題／発問評価 定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	<p>独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解する。冷戦構造の中で日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術

1月 4週 2日	第17章 高度成長の時代 2 経済復興から高度経済成長へ	2	<p>① 知識・技能 冷戦やグローバル化の進展の影響などに着目して、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活や地域社会の変化に關わる諸資料から情報を読み取っている。</p> <p>② 思考・判断・表現 日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけたり、様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察したりして、その結果を表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 高度経済成長がもたらした国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。</p>	<p>定期考査／提出課題／発問評価</p> <p>定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度／発表・レポート提出</p>	<p>朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。消費革命による社会の変貌と、経済成長がもたらしたひずみである社会問題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせ成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
1月 3週 2日	第17章 高度成長の時代 2 経済復興から高度経済成長へ	2	<p>① 知識・技能 冷戦やグローバル化の進展の影響などに着目して、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活や地域社会の変化に關わる諸資料から情報を読み取っている。</p> <p>② 思考・判断・表現 日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけたり、様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察したりして、その結果を表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 高度経済成長がもたらした国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。</p>	<p>定期考査／提出課題／発問評価</p> <p>定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度／発表・レポート提出</p>	<p>朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。消費革命による社会の変貌と、経済成長がもたらしたひずみである社会問題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせ成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
1月 5週 2日	第17章 高度成長の時代 2 経済復興から高度経済成長へ	2	<p>① 知識・技能 冷戦やグローバル化の進展の影響などに着目して、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活や地域社会の変化に關わる諸資料から情報を読み取っている。</p> <p>② 思考・判断・表現 日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけたり、様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察したりして、その結果を表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 高度経済成長がもたらした国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。</p>	<p>定期考査／提出課題／発問評価</p> <p>定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度／発表・レポート提出</p>	<p>朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。消費革命による社会の変貌と、経済成長がもたらしたひずみである社会問題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせ成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
世界史探究	2	全日制・普通科・3年次	『詳説世界史』(山川出版社)				
科目的目標		<p>○(何を学ぶか)世界の歴史の大きな枠組みと展開に關わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。(知識及び技能)</p> <p>○(どのように学ぶのか)世界の歴史の大きな枠組みと展開に關わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し、解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それを基に議論したりする力を養う。</p> <p>○(何ができるようになるのか)世界の歴史の大きな枠組みと展開に關わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>					
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価標準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	
4月 2週 2日	第13章 イギリスの優位と 欧米国民国家の形成 1 ウィーン体制とヨーロッパ の政治・社会の変動	2	<p>① 知識・技能 19世紀前半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、ウィーン体制や1848年革命、さまざまな主義主張の特徴とあわせて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ウィーン会議後のヨーロッパを示す地図や会議を風刺した図像資料などをもとに、ウィーン会議がヨーロッパ各地の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ウィーン体制について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>定期考査／提出課題 ／発問評価</p> <p>定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出</p>	<p>ウィーン会議の参加者たちが目指したヨーロッパの新しい国際秩序はどのようなものだったのか、またウィーン体制を動搖させた政治・経済・社会的要因について考察する。また19世紀イギリスの政治変革の特徴や、1848年革命の展開や影響について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
4月 3週 2日	第13章 イギリスの優位と 欧米国民国家の形成 1 ウィーン体制とヨーロッパ の政治・社会の変動	2	<p>① 知識・技能 19世紀前半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、ウィーン体制や1848年革命、さまざまな主義主張の特徴とあわせて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ウィーン会議後のヨーロッパを示す地図や会議を風刺した図像資料などをもとに、ウィーン会議がヨーロッパ各地の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ウィーン体制について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>定期考査／提出課題 ／発問評価</p> <p>定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出</p>	<p>ウィーン会議の参加者たちが目指したヨーロッパの新しい国際秩序はどのようなものだったのか、またウィーン体制を動搖させた政治・経済・社会的要因について考察する。また19世紀イギリスの政治変革の特徴や、1848年革命の展開や影響について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
4月 4週 2日	第13章 イギリスの優位と 欧米国民国家の形成 1 ウィーン体制とヨーロッパ の政治・社会の変動	2	<p>① 知識・技能 19世紀前半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、ウィーン体制や1848年革命、さまざまな主義主張の特徴とあわせて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ウィーン会議後のヨーロッパを示す地図や会議を風刺した図像資料などをもとに、ウィーン会議がヨーロッパ各地の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ウィーン体制について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>定期考査／提出課題 ／発問評価</p> <p>定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出</p>	<p>ウィーン会議の参加者たちが目指したヨーロッパの新しい国際秩序はどのようなものだったのか、またウィーン体制を動搖させた政治・経済・社会的要因について考察する。また19世紀イギリスの政治変革の特徴や、1848年革命の展開や影響について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
5月 2週 2日	第13章 イギリスの優位と 欧米国民国家の形成 2 列強体制の動搖とヨーロッパの再編成	2	<p>① 知識・技能 19世紀後半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、時代的な背景や各国の共通点・相違点もふまえて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 鉄道距離の推移を示す統計やイタリアとドイツの統一を示す地図などをもとに、19世紀後半にヨーロッパの再編成が進んだ背景を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 19世紀後半のヨーロッパの再編成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>定期考査／提出課題 ／発問評価</p> <p>定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出</p>	<p>クリミア戦争におけるロシア・イギリス・フランスのそれぞれの思惑、また19世紀後半における各国の諸改革の相違点を理解する。さらにドイツとイタリアの国民国家成立を比較し、共通点と相違点を理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
5月 3週 2日	第13章 イギリスの優位と 欧米国民国家の形成 2 列強体制の動搖とヨーロッパの再編成	2	<p>① 知識・技能 19世紀後半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、時代的な背景や各国の共通点・相違点もふまえて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 鉄道距離の推移を示す統計やイタリアとドイツの統一を示す地図などをもとに、19世紀後半にヨーロッパの再編成が進んだ背景を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 19世紀後半のヨーロッパの再編成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>定期考査／提出課題 ／発問評価</p> <p>定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出</p>	<p>クリミア戦争におけるロシア・イギリス・フランスのそれぞれの思惑、また19世紀後半における各国の諸改革の相違点を理解する。さらにドイツとイタリアの国民国家成立を比較し、共通点と相違点を理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術

5月 4週 2日	第13章 イギリスの優位と 欧米国民国家の形成 2 列強体制の動搖とヨーロッパの再編成	2	① 知識・技能 19世紀後半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、時代的な背景や各国の共通点・相違点もふまえて理解している。	定期考查／提出課題／発問評価	クリミア戦争におけるロシア・イギリス・フランスのそれぞれの思惑、また19世紀後半における各国の諸改革の相違点を理解する。さらにドイツ・イタリアの国民国家成立を比較し、共通点と相違点を理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
			② 思考・判断・表現 鉄道距離の推移を示す統計やイタリアとドイツの統一を示す地図などをもとに、19世紀後半にヨーロッパの再編成が進んだ背景を多面的・多角的に考察し表現している。	定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 19世紀後半のヨーロッパの再編成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	提出課題／授業態度／発表・レポート提出			
5月 5週 2日	第13章 イギリスの優位と 欧米国民国家の形成 3 アメリカ合衆国の発展	2	① 知識・技能 南北戦争につながったアメリカ合衆国内の対立構造やその後の展開を理解している。	定期考查／提出課題／発問評価	領土拡大がアメリカ社会に与えた影響、さらにアメリカ合衆国の歴史において移民が持つ意味を考察する。南北戦争において北部が勝利した要因を理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
			② 思考・判断・表現 アメリカ合衆国の領土拡大を示す地図や大陸横断鉄道開通の写真などの図像資料をもとに、アメリカ合衆国の急速な発展の要因を多面的・多角的に考察し表現している。	定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 アメリカ合衆国の発展について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	提出課題／授業態度／発表・レポート提出			
6月 2週 2日	第13章 イギリスの優位と 欧米国民国家の形成 3 アメリカ合衆国の発展	2	① 知識・技能 南北戦争につながったアメリカ合衆国内の対立構造やその後の展開を理解している。	定期考查／提出課題／発問評価	領土拡大がアメリカ社会に与えた影響、さらにアメリカ合衆国の歴史において移民が持つ意味を考察する。南北戦争において北部が勝利した要因を理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
			② 思考・判断・表現 アメリカ合衆国の領土拡大を示す地図や大陸横断鉄道開通の写真などの図像資料をもとに、アメリカ合衆国の急速な発展の要因を多面的・多角的に考察し表現している。	定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 アメリカ合衆国の発展について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	提出課題／授業態度／発表・レポート提出			
6月 3週 2日	第13章 イギリスの優位と 欧米国民国家の形成 3 アメリカ合衆国の発展	2	① 知識・技能 南北戦争につながったアメリカ合衆国内の対立構造やその後の展開を理解している。	定期考查／提出課題／発問評価	領土拡大がアメリカ社会に与えた影響、さらにアメリカ合衆国の歴史において移民が持つ意味を考察する。南北戦争において北部が勝利した要因を理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
			② 思考・判断・表現 アメリカ合衆国の領土拡大を示す地図や大陸横断鉄道開通の写真などの図像資料をもとに、アメリカ合衆国の急速な発展の要因を多面的・多角的に考察し表現している。	定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 アメリカ合衆国の発展について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	提出課題／授業態度／発表・レポート提出			
6月 4週 2日	第13章 イギリスの優位と 欧米国民国家の形成 4 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	2	① 知識・技能 19世紀欧米文化の展開と近代諸科学の発展の経緯を理解している。	定期考查／提出課題／発問評価	19世紀欧米文化における担い手や展開された場（空間）の推移、近代諸科学の発展の要因とその成果が広まった背景を理解する。国民文化と国民国家形成との関係、大都市文化が都市の景観に与えた影響を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
			② 思考・判断・表現 19世紀欧米文化のさまざまな事例をもとに、この時期の文化と現代の文化とのつながりを多面的・多角的に考察し表現している。	定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 19世紀欧米の文化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	提出課題／授業態度／発表・レポート提出			
6月 5週 2日	第13章 イギリスの優位と 欧米国民国家の形成 4 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	2	① 知識・技能 19世紀欧米文化の展開と近代諸科学の発展の経緯を理解している。	定期考查／提出課題／発問評価	19世紀欧米文化における担い手や展開された場（空間）の推移、近代諸科学の発展の要因とその成果が広まった背景を理解する。国民文化と国民国家形成との関係、大都市文化が都市の景観に与えた影響を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
			② 思考・判断・表現 19世紀欧米文化のさまざまな事例をもとに、この時期の文化と現代の文化とのつながりを多面的・多角的に考察し表現している。	定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 19世紀欧米の文化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	提出課題／授業態度／発表・レポート提出			
7月 1週 2日	第13章 イギリスの優位と 欧米国民国家の形成 4 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	2	① 知識・技能 19世紀欧米文化の展開と近代諸科学の発展の経緯を理解している。	定期考查／提出課題／発問評価	19世紀欧米文化における担い手や展開された場（空間）の推移、近代諸科学の発展の要因とその成果が広まった背景を理解する。国民文化と国民国家形成との関係、大都市文化が都市の景観に与えた影響を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
			② 思考・判断・表現 19世紀欧米文化のさまざまな事例をもとに、この時期の文化と現代の文化とのつながりを多面的・多角的に考察し表現している。	定期考查／提出課題／発問評価／発表・レポート提出			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 19世紀欧米の文化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	提出課題／授業態度／発表・レポート提出			

7月 2週 2日	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 1 第2次産業革命と帝国主義	2	<p>① 知識・技能 第2次産業革命が社会に与えた影響や帝国主義時代の欧米列強の国内情勢および植民地拡大の経緯を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 国際情勢を風刺した図像資料や「白人の責務」などの資料をもとに、欧米列強が植民地や勢力圏の拡大を争った背景を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 第2次産業革命と帝国主義について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	<p>新しく生まれた電気・化学製品が人々の日常生活に与えた影響や、各列強が抱えていた国内事情とその課題を理解する。また、帝国主義の支配を受けた地域における社会や文化の変化を考察する。</p> <p>そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
7月 3週 2日	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 1 第2次産業革命と帝国主義	2	<p>① 知識・技能 第2次産業革命が社会に与えた影響や帝国主義時代の欧米列強の国内情勢および植民地拡大の経緯を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 国際情勢を風刺した図像資料や「白人の責務」などの資料をもとに、欧米列強が植民地や勢力圏の拡大を争った背景を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 第2次産業革命と帝国主義について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	<p>新しく生まれた電気・化学製品が人々の日常生活に与えた影響や、各列強が抱えていた国内事情とその課題を理解する。また、帝国主義の支配を受けた地域における社会や文化の変化を考察する。</p> <p>そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
9月 1週 2日	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 1 第2次産業革命と帝国主義	2	<p>① 知識・技能 第2次産業革命が社会に与えた影響や帝国主義時代の欧米列強の国内情勢および植民地拡大の経緯を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 国際情勢を風刺した図像資料や「白人の責務」などの資料をもとに、欧米列強が植民地や勢力圏の拡大を争った背景を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 第2次産業革命と帝国主義について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	<p>新しく生まれた電気・化学製品が人々の日常生活に与えた影響や、各列強が抱えていた国内事情とその課題を理解する。また、帝国主義の支配を受けた地域における社会や文化の変化を考察する。</p> <p>そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
9月 2週 2日	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 2 列強の世界分割と列強体制の二分化	2	<p>① 知識・技能 列強による世界分割がどのように進められたかや列強体制の変化について理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 列強の植民地・勢力圏を示した地図や帝国主義を風刺した図像資料をもとに、列強による世界分割が各地に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 列強の世界分割について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	<p>列強による太平洋地域の植民地化の経緯を理解する。列強の植民地化によるアフリカの社会や文化の変容、20世紀初頭における列強体制の枠組みの変化を考察する。</p> <p>そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
9月 3週 2日	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 2 列強の世界分割と列強体制の二分化	2	<p>① 知識・技能 列強による世界分割がどのように進められたかや列強体制の変化について理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 列強の植民地・勢力圏を示した地図や帝国主義を風刺した図像資料をもとに、列強による世界分割が各地に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 列強の世界分割について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	<p>列強による太平洋地域の植民地化の経緯を理解する。列強の植民地化によるアフリカの社会や文化の変容、20世紀初頭における列強体制の枠組みの変化を考察する。</p> <p>そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
9月 4週 2日	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 2 列強の世界分割と列強体制の二分化	2	<p>① 知識・技能 列強による世界分割がどのように進められたかや列強体制の変化について理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 列強の植民地・勢力圏を示した地図や帝国主義を風刺した図像資料をもとに、列強による世界分割が各地に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 列強の世界分割について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	<p>列強による太平洋地域の植民地化の経緯を理解する。列強の植民地化によるアフリカの社会や文化の変容、20世紀初頭における列強体制の枠組みの変化を考察する。</p> <p>そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術

10月 1週 2日	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 3 アジア諸国の変革と民族運動	2	<p>① 知識・技能 アジア各地における改革や民族運動がどのように展開し、いかなる結果をもたらしたのかを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 アジア各地の情勢や梁啓超「中国積弱の根源について」などの資料をもとに、アジア各地の変革や民族運動の背景を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 アジア諸国の変革と民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	改革をおこなったにもかかわらず清朝が倒れた原因、東南アジアや西アジア各地の民族運動に共通する傾向を理解する。日清戦争と日露戦争が中国および東アジアに与えた影響を考察する。 そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
10月 2週 2日	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 3 アジア諸国の変革と民族運動	2	<p>① 知識・技能 アジア各地における改革や民族運動がどのように展開し、いかなる結果をもたらしたのかを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 アジア各地の情勢や梁啓超「中国積弱の根源について」などの資料をもとに、アジア各地の変革や民族運動の背景を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 アジア諸国の変革と民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	改革をおこなったにもかかわらず清朝が倒れた原因、東南アジアや西アジア各地の民族運動に共通する傾向を理解する。日清戦争と日露戦争が中国および東アジアに与えた影響を考察する。 そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
10月 3週 2日	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 3 アジア諸国の変革と民族運動	2	<p>① 知識・技能 アジア各地における改革や民族運動がどのように展開し、いかなる結果をもたらしたのかを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 アジア各地の情勢や梁啓超「中国積弱の根源について」などの資料をもとに、アジア各地の変革や民族運動の背景を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 アジア諸国の変革と民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	改革をおこなったにもかかわらず清朝が倒れた原因、東南アジアや西アジア各地の民族運動に共通する傾向を理解する。日清戦争と日露戦争が中国および東アジアに与えた影響を考察する。 そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
10月 4週 2日	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 1 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊	2	<p>① 知識・技能 世界恐慌が国際関係に与えた影響や各国の対応策、およびヴェルサイユ体制の崩壊にいたる経緯やファシズム諸国・日本の動きについて理解する。</p> <p>② 思考・判断・表現 政治的なポスターなどの図像資料や経済的な変化を示す統計資料をもとに世界恐慌下の各国における変容を、またナチ党の全国党大会の図像資料や蒋介石「盧溝橋事件に関する廬山談話」の文字資料などをもとにファシズム諸国や日本の動きについて、多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 世界恐慌やヴェルサイユ体制の崩壊について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	世界恐慌が起こった背景やその影響、日本と中国が全面戦争へいたった背景を考察する。ニューディール政策およびブロック経済の特徴や世界経済への影響、ナチス＝ドイツの体制が成立する経緯とその政策内容、ファシズム諸国への攻勢が国際政治に与えた影響を理解する。 そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
10月 5週 2日	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 1 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊	2	<p>① 知識・技能 世界恐慌が国際関係に与えた影響や各国の対応策、およびヴェルサイユ体制の崩壊にいたる経緯やファシズム諸国・日本の動きについて理解する。</p> <p>② 思考・判断・表現 政治的なポスターなどの図像資料や経済的な変化を示す統計資料をもとに世界恐慌下の各国における変容を、またナチ党の全国党大会の図像資料や蒋介石「盧溝橋事件に関する廬山談話」の文字資料などをもとにファシズム諸国や日本の動きについて、多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 世界恐慌やヴェルサイユ体制の崩壊について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	世界恐慌が起こった背景やその影響、日本と中国が全面戦争へいたった背景を考察する。ニューディール政策およびブロック経済の特徴や世界経済への影響、ナチス＝ドイツの体制が成立する経緯とその政策内容、ファシズム諸国への攻勢が国際政治に与えた影響を理解する。 そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
11月 2週 2日	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 2 第二次世界大戦	2	<p>① 知識・技能 第二次世界大戦の対立の構図と勃発から終戦までの経緯を理解する。</p> <p>② 思考・判断・表現 戦場を写した図像資料や「大西洋憲章」などの資料をもとに、第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し表現している</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 第二次世界大戦について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	開戦直前ににおける各国のナチス＝ドイツへの対応、独ソ戦および太平洋戦争の開戦が第二次世界大戦にもたらした影響を考察する。ヨーロッパにおける第二次世界大戦の展開、終戦までの経緯を理解する。 そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術

11月 3週 2日	第17章 第二次世界大戦と 新しい国際秩序の形成 2 第二次世界大戦	2	<p>① 知識・技能 第二次世界大戦の対立の構図と勃発から終戦までの経緯を理解する。</p> <p>② 思考・判断・表現 戦場を写した図像資料や「大西洋憲章」などの資料をもとに、第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 第二次世界大戦について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	開戦直前における各国のナチス＝ドイツへの対応、独ソ戦および太平洋戦争の開戦が第二次世界大戦にもたらした影響を考察する。ヨーロッパにおける第二次世界大戦の展開、終戦までの経緯を理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
11月 4週 2日	第17章 第二次世界大戦と 新しい国際秩序の形成 3 新しい国際秩序の形成	2	<p>① 知識・技能 第二次世界大戦後に形成された国際秩序の特徴を、それ以前との相違点をふまえて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 各国の様子を写した図像資料や「中華人民政治協商会議共同綱領」などの資料をもとに、戦後国際秩序下の各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 第二次世界大戦後の国際秩序について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	戦後国際秩序がいかなる構想のもとで形成されたのか、冷戦開始および東西ヨーロッパ分割の進展について、それぞれの経緯を理解する。朝鮮戦争が東アジアの国際情勢に与えた影響、現代の中東問題の要因を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
11月 5週 2日	第17章 第二次世界大戦と 新しい国際秩序の形成 3 新しい国際秩序の形成	2	<p>① 知識・技能 第二次世界大戦後に形成された国際秩序の特徴を、それ以前との相違点をふまえて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 各国の様子を写した図像資料や「中華人民政治協商会議共同綱領」などの資料をもとに、戦後国際秩序下の各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 第二次世界大戦後の国際秩序について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	戦後国際秩序がいかなる構想のもとで形成されたのか、冷戦開始および東西ヨーロッパ分割の進展について、それぞれの経緯を理解する。朝鮮戦争が東アジアの国際情勢に与えた影響、現代の中東問題の要因を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
12月 1週 2日	第19章 冷戦の終結と今日 の世界 1 産業構造の変容	2	<p>① 知識・技能 1960～1980年代の各国の経済や社会の状況を、経済構造の変化をふまえて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 原油価格の推移や経済成長率の推移などの統計資料をもとに、オイル＝ショックが世界の社会と経済に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 オイル＝ショックとその影響について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	経済成長にともなう先進諸国の政策・社会の変化、オイル＝ショックが各国の社会と経済に与えた影響を考察する。1970年代初頭に世界経済がいかなる転換を迎えたのか、1970～1980年代に進んだ開発途上国の工業化の経緯を理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
12月 2週 2日	第19章 冷戦の終結と今日 の世界 1 産業構造の変容	2	<p>① 知識・技能 1960～1980年代の各国の経済や社会の状況を、経済構造の変化をふまえて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 原油価格の推移や経済成長率の推移などの統計資料をもとに、オイル＝ショックが世界の社会と経済に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 オイル＝ショックとその影響について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	経済成長にともなう先進諸国の政策・社会の変化、オイル＝ショックが各国の社会と経済に与えた影響を考察する。1970年代初頭に世界経済がいかなる転換を迎えたのか、1970～1980年代に進んだ開発途上国の工業化の経緯を理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
12月 3週 2日	第19章 冷戦の終結と今日 の世界 2 冷戦の終結	2	<p>① 知識・技能 冷戦がどのような過程をたどって終結したのかを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 1990年前後の各地の様子を写した図像資料などをもとに、さまざまなかれ事と東西対立緩和の関係を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 冷戦の終結について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	1970年代後半から80年代前半において米ソがそれぞれ追求した对外政策の内容、東西対立の緩和が東アジアやアフリカなど諸地域にもたらした影響を理解する。ソ連で始まつた改革と東欧革命との関係を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術

12月 4週 2日	第19章 冷戦の終結と今日 の世界 2 冷戦の終結	2	<p>① 知識・技能 冷戦がどのような過程をたどって終結したのかを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 1990年前後の各地の様子を写した図像資料などをもとに、さまざまに出来事と東西対立緩和の関係を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 冷戦の終結について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>定期考査／提出課題／発問評価</p> <p>定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度／発表・レポート提出</p>	<p>1970年代後半から80年代前半において米ソがそれぞれ追求した対外政策の内容、東西対立の緩和が東アジアやアフリカなど諸地域にもたらした影響を理解する。ソ連で始まった改革と東欧革命との関係を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
1月 2週 2日	第19章 冷戦の終結と今日 の世界 3 今日の世界	2	<p>① 知識・技能 冷戦終結後の各地の状況や地域・民族紛争、経済における世界の一体化について、国際情勢をふまえたうえで理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 各地の状況を写した図像資料などをもとに、今日の世界が抱えている課題の特徴や傾向を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 今日の世界が抱えている課題について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>定期考査／提出課題／発問評価</p> <p>定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度／発表・レポート提出</p>	<p>旧社会主義国で起こった民族運動や民族対立の特徴を理解する。冷戦終結後の東アジア諸国の変化、今日の国際関係の特徴と、必要とされている協力の内容を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
1月 3週 2日	第19章 冷戦の終結と今日 の世界 3 今日の世界	2	<p>① 知識・技能 冷戦終結後の各地の状況や地域・民族紛争、経済における世界の一体化について、国際情勢をふまえたうえで理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 各地の状況を写した図像資料などをもとに、今日の世界が抱えている課題の特徴や傾向を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 今日の世界が抱えている課題について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>定期考査／提出課題／発問評価</p> <p>定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度／発表・レポート提出</p>	<p>旧社会主義国で起こった民族運動や民族対立の特徴を理解する。冷戦終結後の東アジア諸国の変化、今日の国際関係の特徴と、必要とされている協力の内容を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
1月 4週 2日	第19章 冷戦の終結と今日 の世界 4 現代文明の諸相	2	<p>① 知識・技能 現代思想・文化の特徴をそれまでの文化・思想と比較したうえで理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 芸術作品を示した図像資料やジェンダー＝ギャップ指数を示した統計資料などをもとに、人々の世界観や生活のありようの変化を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 現代文明の諸相について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>定期考査／提出課題／発問評価</p> <p>定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度／発表・レポート提出</p>	<p>20世紀以降の科学技術の革新が人々の生活に与えた影響を考察する。現代思想・文化における新しい潮流の内容、両性の同権化の進展について、その経緯と残されている課題を理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
1月 5週 2日	第19章 冷戦の終結と今日 の世界 4 現代文明の諸相	2	<p>① 知識・技能 現代思想・文化の特徴をそれまでの文化・思想と比較したうえで理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 芸術作品を示した図像資料やジェンダー＝ギャップ指数を示した統計資料などをもとに、人々の世界観や生活のありようの変化を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 現代文明の諸相について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>定期考査／提出課題／発問評価</p> <p>定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度／発表・レポート提出</p>	<p>20世紀以降の科学技術の革新が人々の生活に与えた影響を考察する。現代思想・文化における新しい潮流の内容、両性の同権化の進展について、その経緯と残されている課題を理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
地理研究A	2	全日制・普通科・3年次	新詳地理資料集COMPLETE(帝国書院)			
科目的目標		現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動
4~5月	現代世界の系統地理的考察 自然環境 地形、気候、植生・土壤	10	① 知識・技能 地形や気候などの地理的諸事象を基に、規則性、傾向性や課題について理解できる。 ② 思考・判断・表現 地形や気候などの地理的諸事象について、人びとの生活との関わりに着目し、主題設定を行い、その課題に対して多面的・多角的に考察し、表現できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 地形や気候など地理的事象に対して、興味関心をもち、生活における課題意識を高めることができる。	確認小テスト ワークシート ワークシート 授業での発表等 授業への取り組み ワークシート	○地形や気候などと言った以前環境が人々の生活にどのように関わっているのかを考察する。 ○考察したものをグループに分かれ発表し、意見交流をする。	○グループに分かれて考察内容を発表し、互いの意見を比較していき学習を深化させていく。
5~6月	現代世界の系統地理的考察 資源と産業 世界の農林水産業 食糧問題	8	① 知識・技能 資源・エネルギーや農林水産業に関わる諸事象の規則性や傾向を捉え、食糧問題の現状、要因への解決に向けた取り組みを理解できる。 ② 思考・判断・表現 資源・エネルギーや農業の諸地域における特徴などの要因から主題設定を行い、関連する現代世界の課題における要因等を多面的・多角的に考察し、表現できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 現代世界の諸地域の資源・エネルギーや農業、食糧問題などについて興味関心をもち、課題意識を高めることができる。	確認小テスト ワークシート ワークシート 授業での発表等 授業への取り組み ワークシート	○資源・エネルギーと人々の生活のつながりについて理解する。 ○世界の諸地域の農林水産業について考察し、食糧問題の解決にはどのような働きかけが必要なのか考察し、発表する。	○資料をもとに発表資料を作成し、話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。
6~7月	現代世界の系統地理的考察 世界のエネルギー・鉱産資源 資源・エネルギー問題	8	① 知識・技能 エネルギー・資源に関する諸事象に関わる諸問題について、現状や要因、そして解決に向けた取り組みについて理解している。 ② 思考・判断・表現 エネルギー・資源に関する諸問題について、要因から主題設定を行い、関連する現代世界の課題における要因等を多面的・多角的に考察し、表現できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 現代世界の諸地域の資源・エネルギー問題などについて興味関心をもち、課題意識を高めることができる。	確認小テスト ワークシート ワークシート 授業での発表等 授業への取り組み ワークシート	○資源・エネルギーにおける問題について理解する。 ○世界のエネルギー・鉱産資源について考察し、そこで生じる問題の解決にはどのような働きかけが必要なのか考察し、発表する。	○グループに分かれて考察内容を発表し、互いの意見を比較していき学習を深化させていく。
9月	現代世界の系統地理的考察 世界の工業 世界の貿易	6	① 知識・技能 世界の工業や貿易に関する諸事象に関する諸問題について、現状や要因、そして解決に向けた取り組みについて理解している。 ② 思考・判断・表現 世界の工業や貿易に関する諸問題について、要因から主題設定を行い、関連する現代世界の課題における要因等を多面的・多角的に考察し、表現できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 現代世界の諸地域の工業や貿易問題などについて興味関心をもち、課題意識を高めることができる。	確認小テスト ワークシート ワークシート 授業での発表等 授業への取り組み ワークシート	○世界の工業と貿易と人々の生活のつながりについて理解する。 ○世界の諸地域の工業・貿易の課題について考察し、解決にはどのような働きかけが必要なのか考察し、発表する。	○グループに分かれて意見発表を行い、相互評価を通して考察を深めていく。
10月	現代世界の系統地理的考察 村落・都市・世界の都市問題	8	① 知識・技能 世界の村落・集落、都市問題に関する諸事象に関する諸問題について、現状や要因、そして解決に向けた取り組みについて理解している。 ② 思考・判断・表現 世界の村落・集落、都市に関する諸問題について場所の特徴、結びつきに着目し、課題における要因等を多面的・多角的に考察し、表現できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 現代世界の諸地域の村落・集落、都市問題などについて興味関心をもち、課題意識を高めることができる。	確認小テスト ワークシート ワークシート 授業での発表等 授業への取り組み ワークシート	○村落と都市がどのように構成され、人々の生活とどうかかわりあっているのかについて理解する。 ○世界の都市で起こっている都市問題について考察し、その解決にはどのような働きかけが必要なのか考察し、発表する。	○資料をもとに発表資料を作成し、話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。
11月	現代世界の系統地理的考察 生活文化・民族問題	8	① 知識・技能 世界の生活文化、民族に関する諸事象に関する諸問題について、民族や宗教からくる問題の現状や要因、そして解決に向けた取り組みについて理解している。 ② 思考・判断・表現 世界の生活文化、民族に関する諸問題について場所の特徴や夢ズ美月に着目し、課題における要因等を多面的・多角的に考察し、表現できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 現代世界の諸地域の生活文化、民族問題などについて興味関心をもち、課題意識を高めることができる。	確認小テスト ワークシート ワークシート 授業での発表等 授業への取り組み ワークシート	○生活文化や民族の地域性や特徴、そして人々の生活とのつながりについて理解する。 ○生活文化や民族下での差異などから生じている問題について考察し、その解決にはどのような働きかけが必要なのか考察し、発表する。	○グループに分かれて考察内容を発表し、互いの意見を比較していき学習を深化させていく。
			① 知識・技能 世界の人口問題、国家間の結びつきに関する諸事象に関する諸問題について、現状や要因、そして解決に向けた取り組みについて理解している。	確認小テスト ワークシート	○世界の人口の特徴や地域性などについて理解する。 ○国家間の結びつきやその特徴や傾向などについて理解する。	○資料をもとに発表資料を作成し、話し合い活動を通して自分の意見を説明せる。

12月	現代世界の系統地理的考察 世界の人口、人口問題、 国家の結びつき	6	<p>② 思考・判断・表現 世界の人口問題、国家間の結びつきに関する諸問題について場所の特徴などに着目し、課題における要因等を多面的・多角的に考察し、表現できる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 現代世界の諸地域の人口問題や国家間の結びつきの様相などについて興味関心をもち、課題意識を高めることができる。</p>	<p>ワークシート 授業での発表等</p> <p>授業への取り組み ワークシート</p>	<p>○世界の人口問題や国家間での結びつきで生じる課題について考察し、解決にはどのような働きかけが必要なのか考察し、発表する。</p>	<p>○国家の結びつきについて学習する際に、公民で学習した資質・能力を活用する。</p>	
1月 ～ 3月	現代世界と日本 日本が抱える地理的諸課題	16	<p>① 知識・技能 日本が抱える地理的諸課題について、現状や要因、そして解決に向けた取り組みについて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 日本が抱えている地理的諸課題について場所の特徴などに着目し、課題における要因等を多面的・多角的に考察し、表現できる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 日本が抱えている地理的諸課題について興味関心をもち、課題意識を高めることができる。</p>	<p>確認小テスト ワークシート</p> <p>ワークシート 授業での発表等</p> <p>授業への取り組み ワークシート</p>	<p>○日本における地理的諸事象について、特徴やそこに見られる課題について理解する。</p> <p>○日本で起こる地理的課題について考察し、解決にはどのような働きかけが必要なのか考察し、発表する。</p>	<p>○グループに分かれて考察内容を発表し、互いの意見を比較していき学習を深化させていく。</p> <p>○発表などの資料作成の際に、国語で身につけた資質・能力を活用する。</p>	
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)
日本史研究A	2	全日制・普通科・3年次	史料で探る茨城の歴史(山川出版社)
科目の目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。		

時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価標準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月 前半 8日	(1) 原始・古代の日本と東アジア イ 日本文化の黎明と古代国家の形成	4	①知識・技能 日本文化の黎明を理解することができる。 日本文化の黎明に関する諸資料を収集することができる。	日本文化の黎明のレポート作成とおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。 日本文化の黎明のレポート作成とおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につけている。	○原始の社会の概容とその変化にも触れ、小国の形成や互いの抗争と邪馬台国によるそれらの連合等について、東アジア世界との交流によってもたらされた文物・制度の影響にも着目しながら考察する。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。	○中国の歴史書の読解の際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
4月 後半 8日	(1) 原始・古代の日本と東アジア イ 日本文化の黎明と古代国家の形成	4	①知識・技能 古代国家の形成を理解することができる。 古代国家の形成に関する諸資料を収集することができる。	古代国家の形成の説明・発表をとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。 古代国家の形成の説明・発表をとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につけている。	○東アジア世界との交流の諸相を踏まえ、畿内など各地に残る文化財の特色に着目して、仏教文化が時代とともにどのように移り変わったかを考察する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明せざる。	○絵画資料を扱う際に、美術で育成した資質・能力を活用する。
5月 前半 8日	(1) 原始・古代の日本と東アジア ウ 古代国家の推移と社会の変化	4	①知識・技能 古代の社会の変化を理解することができる。 古代の社会の変化に関する諸資料を収集することができる。	古代の社会の変化の単元末テストとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。 古代の社会の変化の単元末テストとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につけている。	○密教や浄土教の変容、仮名文字の成立による和歌や女流文学の発達について、当時の貴族の生活と関連させながら考察する。	○グループに分かれ考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	○絵画資料を扱う際に、美術で育成した資質・能力を活用する。
5月 後半 8日	(2) 中世の日本と東アジア イ 中世国家の形成	4	①知識・技能 中世国家の形成を理解することができる。 中世国家の形成に関する諸資料を収集することができる。	中世国家の形成の説明・発表をとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。 中世国家の形成の説明・発表をとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につけている。	○鎌倉幕府の性格を、領主層による土地支配や公武関係の実態に着目して、多面的・多角的に考察する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明せざる。	○中国の歴史書の読解の際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
6月 前半 8日	(2) 中世の日本と東アジア ウ 中世社会の展開	4	①知識・技能 中世社会の展開を理解することができる。 中世社会の展開に関する諸資料を収集することができる。	中世社会の展開の説明・発表をとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。 中世社会の展開の説明・発表をとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につけている。	○中世社会がどのように展開・変貌し、今日とのつながりが深い近世社会の特色が現れてきたかを、南北朝の動乱や応仁の乱後の戦国大名による領国経営などに留意して考察する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明せざる。	○史料読解の際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
6月 後半 8日	(3) 近世の日本と世界 イ 近世国家の形成	4	①知識・技能 近世国家の形成を理解することができる。 近世国家の形成に関する諸資料を収集することができる。	近世国家の形成のレポート作成とおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。 近世国家の形成のレポート作成とおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につけている。	○織豊政権や江戸幕府によって、中世とは異なる近世国家が成立していく過程や近世社会の特質について、世界の動向と関連させて考察する。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。	○農業や工業の技術発達について学習する際に、中学校で学んだ技術で育成した資質・能力を活用する。

			③主体的に取り組む態度 近世国家の形成について、関心をもち課題意識を高めることができる。	近世国家の形成について、関心と課題意識を高めている。			
7月 前半 8日	(3) 近世の日本と世界 イ 近世国家の形成	4	①知識・技能 近世国家の形成を理解することができる。 近世国家の形成に関する諸資料を収集することができる。	近世国家の形成の単元末テストをとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。 近世国家の形成の単元末テストをとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につけている。	○織豊政権期と江戸時代初期の文化の特色を、対外交流の動向や各地の都市の成長などと関連付けて考察する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明せよ。	○史料読解の際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
7月 後半 8日	(3) 近世の日本と世界 ウ 産業経済の発展と幕藩体制の変容	4	①知識・技能 幕藩体制の変容を理解することができる。 幕藩体制の変容に関する諸資料を収集することができる。	幕藩体制の変容の単元末テストをとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。 幕藩体制の変容の単元末テストをとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につけている。	○農村工業の発達などにみられる近代工業の芽生え、洋学や国学など新たな学問・思想の発展とその社会的な影響、寺子屋など庶民教育機関の普及や出版文化の発達に着目させ、近代を準備する新しい要素の形成について考察する。	○グループに分かれ考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	○史料読解の際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
9月 前半 8日	(4) 近代日本の形成と世界 ア 明治維新と立憲体制の成立	4	①知識・技能 立憲体制の成立を理解することができる。 立憲体制の成立に関する諸資料を収集することができる。	立憲体制の成立の単元末テストをとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。 立憲体制の成立の単元末テストをとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につけている。	○我が国の領土がロシアなどの間で国際的に画定されたことを考察させるとともに、我が国が国際法上正当な根拠に基づき竹島、尖閣諸島を正式に領土に編入した経緯も取り上げる。	○グループに分かれ考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	○農業や工業の技術発達について学習する際に、中学校で学んだ技術で育成した資質・能力を活用する。
9月 後半 8日	(4) 近代日本の形成と世界 イ 國際関係の推移と立憲国家の展開	4	①知識・技能 近代日本の国際関係の推移を理解することができる。 近代日本の国際関係の推移に関する諸資料を収集することができる。	近代日本の国際関係の推移の説明・発表をとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。 近代日本の国際関係の推移の説明・発表をとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につけている。	○条約改正の経緯に着目して、諸法典の整備など国内体制の確立が図られたことを考察する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明せよ。	○絵画資料を扱う際に、美術で育成した資質・能力を活用する。
10月 前半 8日	(4) 近代日本の形成と世界 ウ 近代産業の発展と近代文化	4	①知識・技能 近代産業の発展を理解することができる。 近代産業の発展に関する諸資料を収集することができる。	近代産業の発展のレポート作成をとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。 近代産業の発展のレポート作成をとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につけている。	○殖産興業政策を基礎に、金融や交通・通信など産業基盤の整備が進められ、松方財政を契機に資本の蓄積が進み、織維工業、軍需工業を中心とした産業の急速な発展によって我が国の資本主義が確立したことを考察する。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。	○農業や工業の技術発達について学習する際に、中学校で学んだ技術で育成した資質・能力を活用する。
10月 後半 8日	(5) 両世界大戦期の日本と世界 ア 政党政治の発展と大衆社会の形成	4	①知識・技能 政党政治の発展を理解することができる。 政党政治の発展に関する諸資料を収集することができる。	政党政治の発展の説明・発表をとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。 政党政治の発展の説明・発表をとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につけている。	○デモクラシーの思潮など国内外の政治思想や、都市化の進展など経済・文化の新たな状況に着目して、日露戦争頃からの国民各層の政治意識の変化、第一次護憲運動や米騒動、原敬内閣の成立、普選運動や護憲三派内閣の成立などについて考察する。	○グループに分かれ考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	○政党内閣の成立に関する政治・経済の内容を活用する。
11月 前半 8日	(5) 両世界大戦期の日本と世界 イ 第一次世界大戦と日本の経済・社会	4	①知識・技能 第一次世界大戦を理解することができる。 第一次世界大戦に関する諸資料を収集することができる。	第一次世界大戦の説明・発表をとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。 第一次世界大戦の説明・発表をとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につけている。	○第一次世界大戦以前の国際関係、その戦禍や影響、ヴェルサイユ体制・ワシントン体制など国際的な協調体制、中国・朝鮮ほか世界的な民族運動の高揚、ロシア革命とその影響などに着目して、国際社会における日本の立場や対外政策の変化について考察する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明せよ。	○史料読解の際に、国語で育成した資質・能力を活用する。

11月 後半 8日	(5) 両世界大戦期の日本と世界 イ 第一次世界大戦と日本の経済・社会	4	<p>①知識・技能 1910年代の経済・社会を理解することができる。</p> <p>1910年代の経済・社会に関する諸資料を収集することができる。</p> <p>②思考・判断・表現 1910年代の経済・社会について、比較・関連させながら表現することができる。</p> <p>③主体的に取り組む態度 1910年代の経済・社会について、関心をもち課題意識を高めることができる。</p>	<p>1910年代の経済・社会の単元末テストをとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。</p> <p>1910年代の経済・社会の単元末テストをとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につける。</p> <p>1910年代の経済・社会の単元末テストをとおして課題について、比較・関連を考えている。</p> <p>1910年代の経済・社会について、関心と課題意識を高めている。</p>	<p>○この時期の急激な経済上の変化が日本の社会にどのような影響をもたらし、それが大戦の終結や関東大震災に伴ってどのように顕在化したかについて考察する。</p>	<p>○グループに分かれ考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	○農業や工業の技術発達について学習する際に、中学校で学んだ技術で育成した資質・能力を活用する。
12月 前半 8日	(5) 両世界大戦期の日本と世界 ウ 第二次世界大戦と日本	4	<p>①知識・技能 第二次世界大戦と日本を理解することができる。</p> <p>第二次世界大戦と日本に関する諸資料を収集することができる。</p> <p>②思考・判断・表現 第二次世界大戦と日本について、比較・関連させながら表現することができる。</p> <p>③主体的に取り組む態度 第二次世界大戦と日本について、関心をもち課題意識を高めることができる。</p>	<p>第二次世界大戦と日本の単元末テストをとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。</p> <p>第二次世界大戦と日本の単元末テストをとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につける。</p> <p>第二次世界大戦と日本の単元末テストをとおして課題について、比較・関連を考えている。</p> <p>第二次世界大戦と日本について、関心と課題意識を高めている。</p>	<p>○中国との戦争の勃発とその長期化、それがもたらした欧米諸国との外交関係の変化、国内経済や国民生活への影響、学問・思想・教育などの分野における統制などに着目して、我が国で全体主義的な国家体制が進展し、やがて米英等の諸国との戦争に拡大していった過程について考察する。</p>	<p>○グループに分かれ考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	○冷戦体制の形成につながる状況を理解する際に、政治・経済の学習内容を活用する。
1月 前半 4日	(6) 現代の日本と世界 ア 現代日本の政治と国際社会	2	<p>①知識・技能 現代日本と国際社会を理解することができる。</p> <p>現代日本と国際社会に関する諸資料を収集することができる。</p> <p>②思考・判断・表現 現代日本と国際社会について、比較・関連させながら表現することができる。</p> <p>③主体的に取り組む態度 現代日本と国際社会について、関心をもち課題意識を高めることができる。</p>	<p>現代日本と国際社会の単元末テストをとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。</p> <p>現代日本と国際社会の単元末テストをとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につける。</p> <p>現代日本と国際社会の単元末テストをとおして課題について、比較・関連を考えている。</p> <p>現代日本と国際社会について、関心と課題意識を高めている。</p>	<p>○東西関係を軸とする世界の動向の中で国連に加盟し国際社会への復帰を果たしたこと、経済・文化を含む国際交流やODA、冷戦の終結を契機としたPKOなどの国際貢献も含めて、我が国が国際社会において重要な役割を果たしてきていることを考察する。</p>	<p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p>	○日本の国際貢献について理解を深める際に、政治・経済の学習内容を活用する。
1月 ～ 3月	(6) 現代の日本と世界 イ 経済の発展と国民生活の変化	8	<p>①知識・技能 現代日本の国民生活の変化を理解することができる。</p> <p>現代日本の国民生活の変化に関する諸資料を収集することができる。</p> <p>②思考・判断・表現 現代日本の国民生活の変化について、比較・関連させながら表現することができる。</p> <p>③主体的に取り組む態度 現代日本の国民生活の変化について、関心をもち課題意識を高めることができる。</p>	<p>現代日本の国民生活の変化の単元末テストをとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。</p> <p>現代日本の国民生活の変化の単元末テストをとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につける。</p> <p>現代日本の国民生活の変化の単元末テストをとおして課題について、比較・関連を考えている。</p> <p>現代日本の国民生活の変化について、関心と課題意識を高めている。</p>	<p>○経済の国際化が進む中で、先進国としての国際的地位の確立、人々の行動範囲の海外への拡大、国際交流の活発化などが国民生活に与えた影響を考察する。</p>	<p>○グループに分かれ考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	○情報化社会の広がりについて、情報の能力を活用する。
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
世界史研究A	2	全日制・普通科・3年次	『資料に学ぶ世界の歴史』(山川出版社)				
科目的目標		世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。					
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価標準>	評価方法	学習活動	主な言語活動 各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連	
4月 4週 8日	古代オリエント史・古代イラン史	8	<p>① 知識・技能 西アジアがさまざまな遊牧民、農耕民、交易民により形成され、拡大したことに関する資料を収集して適切に活用し、かつ古代オリエント世界についての基本的知識を身につけている。</p> <p>② 思考・判断・表現 西アジアがさまざまな遊牧民、農耕民、交易民により形成され、拡大したことに関する資料を収集して適切に活用し、かつ古代オリエント世界についての基本的知識を身につけている。</p> <p>③ 主体的に取り組む態度 西アジアがさまざまな遊牧民、農耕民、交易民により形成され、拡大したことについて関心を高め、意欲的に追求するとともに西アジアの特質について考えようとしている。</p>	古代オリエント世界の特質について理解している。	古代オリエント文明の歴史的特質を理解する。 古代オリエント文明に關わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現する。	グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をして考察を深める。 資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明する。 レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。	資料の読解の際に、国語・美術等で育成した資質・能力を活用する。
5月 4週 8日	古代ギリシア史・古代ローマ史	8	<p>① 知識・技能 ギリシア・ローマ文明の伝統とキリスト教によって一つの文明を形成したヨーロッパに関する資料を収集して適切に活用し、かつ古代ギリシア・ローマについての基本的知識を身につけている。</p> <p>② 思考・判断・表現 ギリシア・ローマ文明の伝統とキリスト教によって一つの文明を形成したヨーロッパの特質について考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③ 主体的に取り組む態度 ヨーロッパの風土・生活・文化などについて関心を高め、意欲的に追求するとともに、ギリシア・ローマ文明の伝統とキリスト教によって一つの文明を形成したヨーロッパの特質について考えようとしている。</p>	古代ギリシア・ローマ文明の特質について理解している。	古代ギリシア・ローマ文明の歴史的特質を理解する。 古代ギリシア・ローマ文明に關わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現する。	グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をして考察を深める。 資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明する。 レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。	資料の読解の際に、国語・美術等で育成した資質・能力を活用する。
6月 4週 8日	古代インド史・中国史①(黄河文明～後漢帝国)	8	<p>① 知識・技能 南アジア・東アジアが宗教と社会制度を共通の基盤として一つの社会が形づくられたことに関する資料を収集して適切に活用し、かつ南インド・東アジアについての基本的知識を身につけている。</p> <p>② 思考・判断・表現 南アジア・東アジアが宗教と社会制度を共通の基盤として一つの社会が形づくられたことについて考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③ 主体的に取り組む態度 南アジア・東アジアが宗教と社会制度を共通の基盤として一つの社会が形づくられたことについて関心を高め、意欲的に追求するとともに南アジア・東アジアの特質について考えようとしている。</p>	古代インドや古代中国世界の特質について理解している。	仏教の成立とヒンドゥー教、南アジアと東南アジアの諸国家、秦・漢帝国と遊牧国家などを基に、南アジアと東アジアの歴史的特質を理解する。 南アジアと東アジアの歴史に關わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、南アジアと東南アジアにおける宗教や文化の特色、周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。	グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をして考察を深める。 資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明する。 レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。	資料の読解の際に、国語・美術等で育成した資質・能力を活用する。
7月 4週 8日	中国史②(魏晋南北朝・隋唐帝国)	8	<p>① 知識・技能 東アジアの風土・生活・言語・思想などに関する資料を収集して適切に活用し、かつ中世前半の東アジア世界についての基本的知識を身につけている。</p> <p>② 思考・判断・表現 東アジアの風土・生活・言語・思想などについて考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③ 主体的に取り組む態度 東アジアの風土・生活・言語・思想などについて関心を高め、意欲的に追求するとともに中世前半の東アジア世界の特質について考えようとしている。</p>	中世前半の東アジア・中央ユーラシア世界の特質について理解している。	魏晋南北朝・隋唐帝国の統治体制と社会や文化の特色、唐と近隣諸国との関係などを基に、中世前半の東アジア世界の歴史的特質を理解する。 東アジア世界と中央ユーラシアの歴史に關わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、唐の政治体制と社会・文化の特色、東南アジアと周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。	グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をして考察を深める。 資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明する。 レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。	資料の読解の際に、国語・美術等で育成した資質・能力を活用する。
9月 4週 8日	中国史③(五代十国～明清帝国)	8	<p>① 知識・技能 東アジアの風土・生活・言語・思想などに関する資料を収集して適切に活用し、かつ中世後半の東アジア世界についての基本的知識を身につけている。</p> <p>② 思考・判断・表現 東アジアの風土・生活・言語・思想などについて考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③ 主体的に取り組む態度 東アジアの風土・生活・言語・思想などについて関心を高め、意欲的に追求するとともに東アジア世界の特質について考えようとしている。</p>	中世後半の東アジア・中央ユーラシア世界の特質について理解している。	東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解する。 中世後半の東アジアと中央ユーラシアの歴史に關わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、宋の政治体制と社会・文化の特色、東南アジアと周辺諸地域との関係、遊牧民の社会の特徴と影響力を多面的・多角的に考察し、表現する。	グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をして考察を深める。 資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明する。 レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。	資料の読解の際に、国語・美術等で育成した資質・能力を活用する。
10月 4週 8日	イスラム史(ムハンマド～オスマン帝国まで)	8	<p>① 知識・技能 イスラム世界がさまざまな遊牧民、農耕民、交易民により形成され、拡大したことに関する資料を収集して適切に活用し、かつイスラム世界についての基本的知識を身につけている。</p> <p>② 思考・判断・表現 イスラム世界がさまざまな遊牧民、農耕民、交易民により形成され、拡大したことについて考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③ 主体的に取り組む態度 イスラム世界がさまざまな遊牧民、農耕民、交易民により形成され、拡大したことについて関心を高め、意欲的に追求するとともにイスラム世界の特質について考えようとしている。</p>	イスラム世界の特質について理解している。	西アジアの諸国家、イスラム教の成立とそれを基盤とした国家の形成などを基に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解する。 西アジアの歴史に關わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、西アジアの諸国家の社会や文化の特色、イスラム教を基盤とした国家の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。	グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をして考察を深める。 資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明する。 レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。	資料の読解の際に、国語・美術等で育成した資質・能力を活用する。

11月 4週 8日	中世ヨーロッパ史	8	<p>① 知識・技能 ギリシア・ローマ文明の伝統とキリスト教によって一つの文明を形成したヨーロッパに関する資料を収集して適切に活用し、かつ古代ギリシア・ローマについての基本的知識を身につけている。</p> <p>② 思考・判断・表現 ギリシア・ローマ文明の伝統とキリスト教によって一つの文明を形成したヨーロッパの特質について考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③ 主題的に取り組む態度 ヨーロッパの風土・生活・文化などについて関心を高め、意欲的に追究するとともに、ギリシア・ローマ文明の伝統とキリスト教によって一つの文明を形成したヨーロッパの特質について考えようとしている。</p>	<p>中世のヨーロッパ世界の特質について理解している。</p> <p>資料を収集、活用し、内容をわかりやすく表現している。</p> <p>興味・関心をもって、積極的に学習に取り組んでいる。</p>	<p>地中海周辺の諸国家、キリスト教の成立とそれらを基盤とした国家の形成、ヨーロッパ封建社会とその展開などを基に、地中海周辺の歴史的特質を理解する。</p> <p>中世ヨーロッパ文明に關わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、諸国家の社会や文化の特色、キリスト教を基盤とした国家の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p>	<p>グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p> <p>資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明する。</p> <p>レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p>	資料の読解の際に、国語・美術等で育成した資質・能力を活用する。
12月 4週 8日	近代ヨーロッパ史① (ルネサンス・宗教改革・大航海時代)	8	<p>① 知識・技能 16-18世紀にかけてのヨーロッパ世界の動向、社会・文化的特質、アメリカ・アフリカに関する資料を収集して適切に活用し、かつルネサンス・宗教改革・大航海時代についての基本的知識を身につけている。</p> <p>② 思考・判断・表現 16-18世紀にかけてのヨーロッパ世界の動向、社会・文化的特質、アメリカ・アフリカとの関係について考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③ 主題的に取り組む態度 16-18世紀にかけてのヨーロッパ世界の動向、社会・文化的特質、アメリカ・アフリカについて関心を高め、意欲的に追究し、考察しようとしている。</p>	<p>近代西欧世界の特質について理解している。</p> <p>資料を収集、活用し、内容をわかりやすく表現している。</p> <p>興味・関心をもって、積極的に学習に取り組んでいる。</p>	<p>ルネサンス・宗教改革・大航海時代の動向などを基に、ヨーロッパの社会や文化の特色、諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解する。</p> <p>近代西欧世界の成立に關わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、大航海時代・ルネサンス・宗教改革の意義、大西洋両岸諸地域の経済的連関の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p>	<p>グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p> <p>資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明する。</p> <p>レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p>	資料の読解の際に、国語・美術等で育成した資質・能力を活用する。
1月 3週 6日	近代ヨーロッパ史②(絶対主義)	6	<p>① 知識・技能 16-18世紀にかけてのヨーロッパ世界の動向、社会・文化的特質、主権国家体制の成立に関する資料を収集して適切に活用し、かつルネサンス・宗教改革・大航海時代についての基本的知識を身につけている。</p> <p>② 思考・判断・表現 16-18世紀にかけてのヨーロッパ世界の動向、社会・文化的特質、主権国家体制の成立について考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③ 主題的に取り組む態度 16-18世紀にかけてのヨーロッパ世界の動向、社会・文化的特質、主権国家体制の成立について関心を高め、意欲的に追究し、考察しようとしている。</p>	<p>近代ヨーロッパの主権国家体制の特質について理解している。</p> <p>資料を収集、活用し、内容をわかりやすく表現している。</p> <p>興味・関心をもって、積極的に学習に取り組んでいる。</p>	<p>近代西欧の主権国家体制の成立、ヨーロッパ諸国の抗争などを基に、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解する。</p> <p>ヨーロッパ諸地域の動向に關わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、主権国家の特徴と経済活動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p>	<p>グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p> <p>資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明する。</p> <p>レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p>	資料の読解の際に、国語・美術等で育成した資質・能力を活用する。
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
日本史研究B	2	全日制・普通科・3年次	『詳説日本史』(山川出版社)				
科目的目標		○(何を学ぶか)我が国の歴史の展開に關わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。(知識及び技能) ○(どのように学ぶのか)我が国の歴史の展開に關わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。(思考力、表現力、判断力等) ○(何ができるようになるのか)我が国の歴史の展開に關わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国に対する愛情、他国や他国文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。(学びに向かう力、人間性等)					
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	
4月 2週 2日	第12章 近代国家の成立 1 明治維新と富国強兵	2	① 知識・技能 明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。 ② 思考・判断・表現 諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価	廃藩置県や四民平等、地租改正、殖産興業、文明開化など、明治時代初期の急進的な社会制度の変化に着目しつつ、明治初期の对外関係や政府への反抗など、明治時代の国内外の社会情勢について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
4月 3週 2日	第12章 近代国家の成立 1 明治維新と富国強兵	2	① 知識・技能 明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。 ② 思考・判断・表現 諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 ／発表・レポート提出	廃藩置県や四民平等、地租改正、殖産興業、文明開化など、明治時代初期の急進的な社会制度の変化に着目しつつ、明治初期の对外関係や政府への反抗など、明治時代の国内外の社会情勢について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
4月 4週 2日	第12章 近代国家の成立 1 明治維新と富国強兵	2	① 知識・技能 明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。 ② 思考・判断・表現 諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 ／発表・レポート提出	廃藩置県や四民平等、地租改正、殖産興業、文明開化など、明治時代初期の急進的な社会制度の変化に着目しつつ、明治初期の对外関係や政府への反抗など、明治時代の国内外の社会情勢について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
5月 2週 2日	第12章 近代国家の成立 1 明治維新と富国強兵	2	① 知識・技能 明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。 ② 思考・判断・表現 諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 ／発表・レポート提出	廃藩置県や四民平等、地租改正、殖産興業、文明開化など、明治時代初期の急進的な社会制度の変化に着目しつつ、明治初期の对外関係や政府への反抗など、明治時代の国内外の社会情勢について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
5月 3週 2日	第12章 近代国家の成立 2 立憲国家の成立	2	① 知識・技能 諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。 ② 思考・判断・表現 国内体制を欧米の水準に合わせることが改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 ／発表・レポート提出	自由民権運動の展開や憲法の制定、諸法典の編纂など、基本的な法治国家の仕組みが整う過程や、初期議会の状況など、立憲国家の成立過程について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
5月 4週 2日	第12章 近代国家の成立 2 立憲国家の成立	2	① 知識・技能 諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。 ② 思考・判断・表現 国内体制を欧米の水準に合わせることが改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 ／発表・レポート提出	自由民権運動の展開や憲法の制定、諸法典の編纂など、基本的な法治国家の仕組みが整う過程や、初期議会の状況など、立憲国家の成立過程について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術

5月 5週 2日	第12章 近代国家の成立 2 立憲国家の成立	2	<p>① 知識・技能 諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 国内体制を欧米の水準に合わせることが改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	自由民権運動の展開や憲法の制定、諸法典の編纂など、基本的な法治国家の仕組みが整う過程や、初期議会の状況など、立憲国家の成立過程について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
6月 2週 2日	第12章 近代国家の成立 2 立憲国家の成立	2	<p>① 知識・技能 諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 国内体制を欧米の水準に合わせることが改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	自由民権運動の展開や憲法の制定、諸法典の編纂など、基本的な法治国家の仕組みが整う過程や、初期議会の状況など、立憲国家の成立過程について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
6月 3週 2日	第14章 近代の産業と生活 1 近代産業の発展	2	<p>① 知識・技能 産業の発達の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に追究しようとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	通貨と銀行の整備や産業革命の開始、紡績と製糸の発達、鉄道や海運の発達、重工業の出現など、近代産業が発達する過程や、農業と農民との格差、労働運動の発生など、産業革命に付随する社会問題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
6月 4週 2日	第14章 近代の産業と生活 1 近代産業の発展	2	<p>① 知識・技能 産業の発達の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に追究しようとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	通貨と銀行の整備や産業革命の開始、紡績と製糸の発達、鉄道や海運の発達、重工業の出現など、近代産業が発達する過程や、農業と農民との格差、労働運動の発生など、産業革命に付随する社会問題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
6月 5週 2日	第14章 近代の産業と生活 1 近代産業の発展	2	<p>① 知識・技能 産業の発達の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に追究しようとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	通貨と銀行の整備や産業革命の開始、紡績と製糸の発達、鉄道や海運の発達、重工業の出現など、近代産業が発達する過程や、農業と農民との格差、労働運動の発生など、産業革命に付随する社会問題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
7月 1週 2日	第14章 近代の産業と生活 2 近代文化の発達	2	<p>① 知識・技能 国家主義的な思想の形成、実証的な学問研究、欧米の科学技術の導入、教育の普及・拡充について、諸資料から情報を読み取る技能を身につけていく。</p> <p>② 思考・判断・表現 学校教育の必要性の説かれ方や、学校教育の内容と地域社会の変容、国民意識との関係について、近代文化の形成を踏まえて考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 明治期の文化に関わる政府と国民の動向を考察することを通じて、明治文化の特色を主体的に追究しようとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	明治の文化と宗教の状況や教育の普及、科学の発達、近代文学や明治の美術、生活様式の近代化など、近代文化の発達状況について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
7月 2週 2日	第14章 近代の産業と生活 2 近代文化の発達	2	<p>① 知識・技能 国家主義的な思想の形成、実証的な学問研究、欧米の科学技術の導入、教育の普及・拡充について、諸資料から情報を読み取る技能を身につけていく。</p> <p>② 思考・判断・表現 学校教育の必要性の説かれ方や、学校教育の内容と地域社会の変容、国民意識との関係について、近代文化の形成を踏まえて考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 明治期の文化に関わる政府と国民の動向を考察することを通じて、明治文化の特色を主体的に追究しようとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	明治の文化と宗教の状況や教育の普及、科学の発達、近代文学や明治の美術、生活様式の近代化など、近代文化の発達状況について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
7月 3週 2日	第14章 近代の産業と生活 2 近代文化の発達	2	<p>① 知識・技能 国家主義的な思想の形成、実証的な学問研究、欧米の科学技術の導入、教育の普及・拡充について、諸資料から情報を読み取る技能を身につけていく。</p> <p>② 思考・判断・表現 学校教育の必要性の説かれ方や、学校教育の内容と地域社会の変容、国民意識との関係について、近代文化の形成を踏まえて考察し、表現している。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	明治の文化と宗教の状況や教育の普及、科学の発達、近代文学や明治の美術、生活様式の近代化など、近代文化の発達状況について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術

			③ 主体的に学習に取り組む態度 明治期の文化に関わる政府と国民の動向を考察することを通じて、明治文化の特色を主体的に追究しようとしている。	提出課題／授業態度／発表・レポート提出		表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	
9月 1週 2日	第14章 近代の産業と生活 3 市民生活の変化と大衆文化	2	① 知識・技能 学問・芸術・出版・マスメディアの発展について諸資料から情報を読み取り、欧米文化との関わりとその浸透度、社会風潮との関連を理解している。 ② 思考・判断・表現 都市の発達、鉄道・駅の設置やその影響、工場の増加や生活の変化など、地域社会の変容について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 マスメディアや出版の発達によって誕生した大衆社会が生み出す課題について、自ら主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	大戦景気の出現や都市化の進展、市民生活の変化、大衆文化の誕生、学問と芸術の発達について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
9月 2週 2日	第14章 近代の産業と生活 4 市民生活の変化と大衆文化	2	① 知識・技能 学問・芸術・出版・マスメディアの発展について諸資料から情報を読み取り、欧米文化との関わりとその浸透度、社会風潮との関連を理解している。 ② 思考・判断・表現 都市の発達、鉄道・駅の設置やその影響、工場の増加や生活の変化など、地域社会の変容について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 マスメディアや出版の発達によって誕生した大衆社会が生み出す課題について、自ら主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	大戦景気の出現や都市化の進展、市民生活の変化、大衆文化の誕生、学問と芸術の発達について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
9月 3週 2日	第16章 占領下の日本 1 占領と改革	2	① 知識・技能 第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。 ② 思考・判断・表現 戦後の諸改革が連合国対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	戦後世界秩序の形成や初期の占領政策、民主化政策や政党政治の復活、日本国憲法の制定など、戦後の民主化の進展や、生活の混乱と大衆運動の高揚といった社会の動きについて理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
9月 4週 2日	第16章 占領下の日本 1 占領と改革	2	① 知識・技能 第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。 ② 思考・判断・表現 戦後の諸改革が連合国対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	戦後世界秩序の形成や初期の占領政策、民主化政策や政党政治の復活、日本国憲法の制定など、戦後の民主化の進展や、生活の混乱と大衆運動の高揚といった社会の動きについて理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
10月 1週 2日	第16章 占領下の日本 1 占領と改革	2	① 知識・技能 第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。 ② 思考・判断・表現 戦後の諸改革が連合国対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	戦後世界秩序の形成や初期の占領政策、民主化政策や政党政治の復活、日本国憲法の制定など、戦後の民主化の進展や、生活の混乱と大衆運動の高揚といった社会の動きについて理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
10月 2週 2日	第16章 占領下の日本 1 占領と改革	2	① 知識・技能 第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。 ② 思考・判断・表現 戦後の諸改革が連合国対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	戦後世界秩序の形成や初期の占領政策、民主化政策や政党政治の復活、日本国憲法の制定など、戦後の民主化の進展や、生活の混乱と大衆運動の高揚といった社会の動きについて理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
10月 3週 2日	第16章 占領下の日本 2 冷戦の開始と講和	2	① 知識・技能 占領政策の転換による日本の政治や経済の変化に関わる諸資料から情報を読み取り、サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義について理解している。 ② 思考・判断・表現 地域社会の変容にも留意しながら、占領の前後の社会や思想・文化などを比較・考察し、その結果を根拠として表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 連合国による日本占領機構の特色やその目的を考察することを通じて、戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、主体的に課題を追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	冷戦体制の形成と東アジアの状況による占領政策の転換、朝鮮戦争による日本の景気変動、講和と安保条約の締結、そして占領期の文化について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
			① 知識・技能 占領政策の転換による日本の政治や経済の変化に関わる諸資料から情報を読み取り、サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義について理解している。	定期考査／提出課題／発問評価	冷戦体制の形成と東アジアの状況による占領政策の転換、朝鮮戦争による日本の景気変動、講和と安保条約の締結、そして占領期の文化について理解する。そのうえで、諸資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明する。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。	国語・情報・芸術

10月 4週 2日	第16章 占領下の日本 2 冷戦の開始と講和	2	<p>② 思考・判断・表現 地域社会の変容にも留意しながら、占領の前後の社会や思想・文化などを比較・考察し、その結果を根拠を明確にして表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 連合国による日本占領機構の特色やその目的を考察することを通じて、戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、主体的に課題を追究しようとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出	<p>資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	
10月 5週 2日	第16章 占領下の日本 2 冷戦の開始と講和	2	<p>① 知識・技能 占領政策の転換による日本の政治や経済の変化に関する諸資料から情報を読み取り、サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義について理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 地域社会の変容にも留意しながら、占領の前後の社会や思想・文化などを比較・考察し、その結果を根拠を明確にして表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 連合国による日本占領機構の特色やその目的を考察することを通じて、戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、主体的に課題を追究しようとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出	<p>冷戦体制の形成と東アジアの状況による占領政策の転換、朝鮮戦争による日本の景気変動、講和と安保条約の締結、そして占領期の文化について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
11月 2週 2日	第16章 占領下の日本 2 冷戦の開始と講和	2	<p>① 知識・技能 占領政策の転換による日本の政治や経済の変化に関する諸資料から情報を読み取り、サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義について理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 地域社会の変容にも留意しながら、占領の前後の社会や思想・文化などを比較・考察し、その結果を根拠を明確にして表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 連合国による日本占領機構の特色やその目的を考察することを通じて、戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、主体的に課題を追究しようとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出	<p>冷戦体制の形成と東アジアの状況による占領政策の転換、朝鮮戦争による日本の景気変動、講和と安保条約の締結、そして占領期の文化について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
11月 3週 2日	第18章 激動する世界と日本 1 経済大国への道	2	<p>① 知識・技能 ドル=ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究しようとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出	<p>ドル危機と石油危機による高度経済成長の終焉や、それを乗り越えた経済大国の実現、バブル経済の表出と市民生活の変化について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
11月 4週 2日	第18章 激動する世界と日本 1 経済大国への道	2	<p>① 知識・技能 ドル=ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究しようとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出	<p>ドル危機と石油危機による高度経済成長の終焉や、それを乗り越えた経済大国の実現、バブル経済の表出と市民生活の変化について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
11月 5週 2日	第18章 激動する世界と日本 1 経済大国への道	2	<p>① 知識・技能 ドル=ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究しようとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出	<p>ドル危機と石油危機による高度経済成長の終焉や、それを乗り越えた経済大国の実現、バブル経済の表出と市民生活の変化について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
12月 1週 2日	第18章 激動する世界と日本 1 経済大国への道	2	<p>① 知識・技能 ドル=ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究しようとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出	<p>ドル危機と石油危機による高度経済成長の終焉や、それを乗り越えた経済大国の実現、バブル経済の表出と市民生活の変化について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
12月 2週 2日	第18章 激動する世界と日本 1 経済大国への道	2	<p>① 知識・技能 ドル=ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究しようとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出	<p>ドル危機と石油危機による高度経済成長の終焉や、それを乗り越えた経済大国の実現、バブル経済の表出と市民生活の変化について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術

12月 3週 2日	第18章 激動する世界と日本 1 経済大国への道	2	① 知識・技能 ドルニショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。 ② 思考・判断・表現 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価	ドル危機と石油危機による高度経済成長の終焉や、それを乗り越えた経済大国の実現、バブル経済の表出と市民生活の変化について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
12月 4週 2日	第18章 激動する世界と日本 2 冷戦の終結と日本社会の変容	2	① 知識・技能 冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 ② 思考・判断・表現 国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果してきたのか、自ら課題を見出して主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価	冷戦の変化と地域紛争の増加、55年体制の崩壊、平成不況下の日本経済の低迷、そして現代の諸課題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
1月 2週 2日	第18章 激動する世界と日本 2 冷戦の終結と日本社会の変容	2	① 知識・技能 冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 ② 思考・判断・表現 国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果してきたのか、自ら課題を見出して主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価	冷戦の変化と地域紛争の増加、55年体制の崩壊、平成不況下の日本経済の低迷、そして現代の諸課題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
1月 3週 2日	第18章 激動する世界と日本 2 冷戦の終結と日本社会の変容	2	① 知識・技能 冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 ② 思考・判断・表現 国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果してきたのか、自ら課題を見出して主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価	冷戦の変化と地域紛争の増加、55年体制の崩壊、平成不況下の日本経済の低迷、そして現代の諸課題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
1月 4週 2日	第18章 激動する世界と日本 2 冷戦の終結と日本社会の変容	2	① 知識・技能 冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 ② 思考・判断・表現 国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果してきたのか、自ら課題を見出して主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価	冷戦の変化と地域紛争の増加、55年体制の崩壊、平成不況下の日本経済の低迷、そして現代の諸課題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
1月 3週 2日	第18章 激動する世界と日本 2 冷戦の終結と日本社会の変容	2	① 知識・技能 冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 ② 思考・判断・表現 国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果してきたのか、自ら課題を見出して主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価	冷戦の変化と地域紛争の増加、55年体制の崩壊、平成不況下の日本経済の低迷、そして現代の諸課題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
1月 5週 2日	第18章 激動する世界と日本 2 冷戦の終結と日本社会の変容	2	① 知識・技能 冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 ② 思考・判断・表現 国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果してきたのか、自ら課題を見出して主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価	冷戦の変化と地域紛争の増加、55年体制の崩壊、平成不況下の日本経済の低迷、そして現代の諸課題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせとその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
世界史研究B	2	全日制・普通科・3年次	『詳説世界史』(山川出版社)				
科目の目標		<p>○(何を学ぶか)世界の歴史の大きな枠組みと展開に關わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。(知識及び技能)</p> <p>○(どのように学ぶのか)世界の歴史の大きな枠組みと展開に關わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>○(何ができるようになるか)世界の歴史の大きな枠組みと展開に關わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大ささについての自覚などを深める。</p>					
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動 各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連	
4月 2週 2日	第12章 産業革命と環大西洋革命 1 産業革命	2	<p>① 知識・技能 産業革命が18世紀後半のイギリスから始まった背景や技術革新の展開を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 当時の工場の様子を描いた図像資料や都市の人口を示す統計をもとに、産業革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 イギリス産業革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出していく、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	海外貿易が近世ヨーロッパ経済の動向に与えた影響、16世紀に始まった「世界の一体化」とイギリス産業革命との関係についてを理解する。 イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
4月 3週 2日	第12章 産業革命と環大西洋革命 1 産業革命	2	<p>① 知識・技能 産業革命が18世紀後半のイギリスから始まった背景や技術革新の展開を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 当時の工場の様子を描いた図像資料や都市の人口を示す統計をもとに、産業革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 イギリス産業革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出していく、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出	海外貿易が近世ヨーロッパ経済の動向に与えた影響、16世紀に始まった「世界の一体化」とイギリス産業革命との関係についてを理解する。 イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
4月 4週 2日	第12章 産業革命と環大西洋革命 1 産業革命	2	<p>① 知識・技能 産業革命が18世紀後半のイギリスから始まった背景や技術革新の展開を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 当時の工場の様子を描いた図像資料や都市の人口を示す統計をもとに、産業革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 イギリス産業革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出していく、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	海外貿易が近世ヨーロッパ経済の動向に与えた影響、16世紀に始まった「世界の一体化」とイギリス産業革命との関係についてを理解する。 イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
5月 2週 2日	第12章 産業革命と環大西洋革命 2 アメリカ合衆国の独立と発展	2	<p>① 知識・技能 アメリカ合衆国がどのような歴史的経緯をたどって独立したのかを理解している</p> <p>② 思考・判断・表現 アメリカ独立宣言や「権利の章典」(第11章4節)などの資料をもとに、アメリカ合衆国独立の独自性を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 アメリカ合衆国の独立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出していく、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	北米大陸に建設されたヨーロッパ諸国の植民地の地理的分布とその推移、独立直後と今日のアメリカ合衆国を比較し、共通点と相違点を理解する。アメリカ合衆国の独立がヨーロッパ諸国に与えた影響を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
5月 3週 2日	第12章 産業革命と環大西洋革命 2 アメリカ合衆国の独立と発展	2	<p>① 知識・技能 アメリカ合衆国がどのような歴史的経緯をたどって独立したのかを理解している</p> <p>② 思考・判断・表現 アメリカ独立宣言や「権利の章典」(第11章4節)などの資料をもとに、アメリカ合衆国独立の独自性を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 アメリカ合衆国の独立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出していく、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	北米大陸に建設されたヨーロッパ諸国の植民地の地理的分布とその推移、独立直後と今日のアメリカ合衆国を比較し、共通点と相違点を理解する。アメリカ合衆国の独立がヨーロッパ諸国に与えた影響を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
5月 4週 2日	第12章 産業革命と環大西洋革命 2 アメリカ合衆国の独立と発展	2	<p>① 知識・技能 アメリカ合衆国がどのような歴史的経緯をたどって独立したのかを理解している</p> <p>② 思考・判断・表現 アメリカ独立宣言や「権利の章典」(第11章4節)などの資料をもとに、アメリカ合衆国独立の独自性を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 アメリカ合衆国の独立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出していく、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	北米大陸に建設されたヨーロッパ諸国の植民地の地理的分布とその推移、独立直後と今日のアメリカ合衆国を比較し、共通点と相違点を理解する。アメリカ合衆国の独立がヨーロッパ諸国に与えた影響を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術

5月 5週 2日	第12章 産業革命と環大西洋革命 3 フランス革命とナポレオンの支配	2	<p>① 知識・技能 フランス革命が起こった要因やナポレオンが台頭した背景を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 「旧体制」の風刺画などの図像資料や人権宣言などの資料をもとに、フランス革命において「国民」を主役とする社会が創出されたことについて、多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 フランス革命とナポレオンについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	革命中のフランス国家体制の変遷や革命が諸外国に与えた影響、人権宣言とアメリカ独立宣言を比較し、共通点と相違点を理解する。ナポレオンの支配に対する人々の反応を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
6月 2週 2日	第12章 産業革命と環大西洋革命 3 フランス革命とナポレオンの支配	2	<p>① 知識・技能 フランス革命が起こった要因やナポレオンが台頭した背景を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 「旧体制」の風刺画などの図像資料や人権宣言などの資料をもとに、フランス革命において「国民」を主役とする社会が創出されたことについて、多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 フランス革命とナポレオンについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	革命中のフランス国家体制の変遷や革命が諸外国に与えた影響、人権宣言とアメリカ独立宣言を比較し、共通点と相違点を理解する。ナポレオンの支配に対する人々の反応を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
6月 3週 2日	第12章 産業革命と環大西洋革命 3 フランス革命とナポレオンの支配	2	<p>① 知識・技能 フランス革命が起こった要因やナポレオンが台頭した背景を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 「旧体制」の風刺画などの図像資料や人権宣言などの資料をもとに、フランス革命において「国民」を主役とする社会が創出されたことについて、多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 フランス革命とナポレオンについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	革命中のフランス国家体制の変遷や革命が諸外国に与えた影響、人権宣言とアメリカ独立宣言を比較し、共通点と相違点を理解する。ナポレオンの支配に対する人々の反応を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
6月 4週 2日	第12章 産業革命と環大西洋革命 4 中南米諸国の独立	2	<p>① 知識・技能 中南米諸国の独立がどのような経緯をたどって実現したのかを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 中南米諸国の独立年を示す地図などをもとに、ヨーロッパ情勢をふまえたうえで、短期間に多くの独立が達成された要因を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 中南米諸国の独立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	ハイチ革命の特殊性について、環大西洋革命の他の事例と比較したうえで理解し、中南米諸国の独立運動に共通する点を理解する。中南米諸国の独立運動とヨーロッパ情勢との関係考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
6月 5週 2日	第12章 産業革命と環大西洋革命 4 中南米諸国の独立	2	<p>① 知識・技能 中南米諸国の独立がどのような経緯をたどって実現したのかを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 中南米諸国の独立年を示す地図などをもとに、ヨーロッパ情勢をふまえたうえで、短期間に多くの独立が達成された要因を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 中南米諸国の独立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	ハイチ革命の特殊性について、環大西洋革命の他の事例と比較したうえで理解し、中南米諸国の独立運動とヨーロッパ情勢との関係考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
7月 1週 2日	第12章 産業革命と環大西洋革命 4 中南米諸国の独立	2	<p>① 知識・技能 中南米諸国の独立がどのような経緯をたどって実現したのかを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 中南米諸国の独立年を示す地図などをもとに、ヨーロッパ情勢をふまえたうえで、短期間に多くの独立が達成された要因を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 中南米諸国の独立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	ハイチ革命の特殊性について、環大西洋革命の他の事例と比較したうえで理解し、中南米諸国の独立運動に共通する点を理解する。中南米諸国の独立運動とヨーロッパ情勢との関係考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
7月 2週 2日	第14章 アジア諸地域の動揺 1 西アジア地域の変容	2	<p>① 知識・技能 オスマン帝国・イラン・アフガニスタンにおける動揺や改革の推移を、ヨーロッパ列強との関係ともあわせて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 マムルークの一掃を表した図像資料やオスマン帝国憲法などの資料をもとに、この時期のアジア各地での変化や改革について多面的・多角的に考察し表現している。</p>	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出	オスマン帝国の動揺の要因、ロシアとイギリスの競合関係が西アジアに与えた影響を考察する。オスマン帝国の列強への経済的な従属化の経緯、改革の成果と課題を理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術

			<p>③ 主体的に学習に取り組む態度 西アジアの変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	提出課題／授業態度／発表・レポート提出	つ。	検討をとおして考察を深める。	
7月 3週 2日	第14章 アジア諸地域の動 搖 1 西アジア地域の変容	2	<p>① 知識・技能 オスマン帝国・イラン・アフガニスタンにおける動搖や改革の推移を、ヨーロッパ列強との関係ともあわせて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 マムルークの一掃を表した図像資料やオスマン帝国憲法などの資料をもとに、この時期のアジア各地での変化や改革について多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 西アジアの変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	オスマン帝国の動搖の要因、ロシアとイギリスの競合関係が西アジアに与えた影響を考察する。オスマン帝国の列強への経済的な従属化の経緯、改革の成果と課題を理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
9月 1週 2日	第14章 アジア諸地域の動 搖 1 西アジア地域の変容	2	<p>① 知識・技能 オスマン帝国・イラン・アフガニスタンにおける動搖や改革の推移を、ヨーロッパ列強との関係ともあわせて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 マムルークの一掃を表した図像資料やオスマン帝国憲法などの資料をもとに、この時期のアジア各地での変化や改革について多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 西アジアの変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	オスマン帝国の動搖の要因、ロシアとイギリスの競合関係が西アジアに与えた影響を考察する。オスマン帝国の列強への経済的な従属化の経緯、改革の成果と課題を理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
9月 2週 2日	第14章 アジア諸地域の動 搖 2 南アジア・東南アジアの植 民地化	2	<p>① 知識・技能 ヨーロッパ各国による南アジアと東南アジアの植民地化の経緯を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 東南アジアの植民地化の地図やゴムのプランテーションを示した図像資料をもとに、ヨーロッパ各国の進出の経緯をふまえ、南アジアと東南アジアにおける植民地化と世界経済の関係を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 南アジア・東南アジアの植民地化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	ヨーロッパ各国の東インド会社が南アジアでおこなった活動の状況、東南アジアの植民地化の経緯を理解する。イギリス東インド会社の機能の変化、タイが植民地化されなかつた要因を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
9月 3週 2日	第14章 アジア諸地域の動 搖 2 南アジア・東南アジアの植 民地化	2	<p>① 知識・技能 ヨーロッパ各国による南アジアと東南アジアの植民地化の経緯を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 東南アジアの植民地化の地図やゴムのプランテーションを示した図像資料をもとに、ヨーロッパ各国の進出の経緯をふまえ、南アジアと東南アジアにおける植民地化と世界経済の関係を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 南アジア・東南アジアの植民地化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	ヨーロッパ各国の東インド会社が南アジアでおこなった活動の状況、東南アジアの植民地化の経緯を理解する。イギリス東インド会社の機能の変化、タイが植民地化されなかつた要因を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
9月 4週 2日	第14章 アジア諸地域の動 搖 2 南アジア・東南アジアの植 民地化	2	<p>① 知識・技能 ヨーロッパ各国による南アジアと東南アジアの植民地化の経緯を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 東南アジアの植民地化の地図やゴムのプランテーションを示した図像資料をもとに、ヨーロッパ各国の進出の経緯をふまえ、南アジアと東南アジアにおける植民地化と世界経済の関係を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 南アジア・東南アジアの植民地化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	ヨーロッパ各国の東インド会社が南アジアでおこなった活動の状況、東南アジアの植民地化の経緯を理解する。イギリス東インド会社の機能の変化、タイが植民地化されなかつた要因を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
10月 1週 2日	第14章 アジア諸地域の動 搖 3 東アジアの激動	2	<p>① 知識・技能 欧米諸国の進出の経緯と東アジア諸国の改革の試みの成果や課題を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 文字資料「マカートニーの1794年1月の日記」やアヘン戦争を描いた図像資料、東アジアの開港場を示した地図などをもとに、この時期の東アジア国際秩序の変容について多面的・多角的に考察し表現している。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	清朝の危機の要因、欧米諸国の進出と日本の台頭が東アジア諸国間の関係に与えた影響考察する。中国の開港の背景および開港の進展の経緯、清朝による国内秩序の再建の試みについて、その成果と課題を理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術

			③ 主体的に学習に取り組む態度 東アジアの激動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	提出課題／授業態度／発表・レポート提出			
10月 2週 2日	第14章 アジア諸地域の動 揺 3 東アジアの激動	2	① 知識・技能 欧米諸国の進出の経緯と東アジア諸国の改革の試みの成果や課題を理解している。 ② 思考・判断・表現 文字資料「マカートニーの1794年1月の日記」やアヘン戦争を描いた図像資料、東アジアの開港場を示した地図などをもとに、この時期の東アジア国際秩序の変容について多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 東アジアの激動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	清朝の危機の要因、欧米諸国の進出と日本の台頭が東アジア諸国間の関係に与えた影響考察する。中国の開港の背景および開港の進展の経緯、清朝による国内秩序の再建の試みについて、その成果と課題を理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
10月 3週 2日	第14章 アジア諸地域の動 揺 3 東アジアの激動	2	① 知識・技能 欧米諸国の進出の経緯と東アジア諸国の改革の試みの成果や課題を理解している。 ② 思考・判断・表現 文字資料「マカートニーの1794年1月の日記」やアヘン戦争を描いた図像資料、東アジアの開港場を示した地図などをもとに、この時期の東アジア国際秩序の変容について多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 東アジアの激動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	清朝の危機の要因、欧米諸国の進出と日本の台頭が東アジア諸国間の関係に与えた影響考察する。中国の開港の背景および開港の進展の経緯、清朝による国内秩序の再建の試みについて、その成果と課題を理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
10月 4週 2日	第16章 第一次世界大戦と 世界の変容 1 第一次世界大戦とロシア 革命	2	① 知識・技能 第一次世界大戦とロシア革命がどのように展開したのかを、戦時外交や総力戦の特徴、大戦のもたらした結果などとあわせて理解している。 ② 思考・判断・表現 塹壕戦やさまざまな新兵器、軍需工場で働く女性の図などの第一次世界大戦に関する図像資料および「平和に関する布告」などの資料をもとに、第一次世界大戦とロシア革命が世界にもたらした変容を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 第一次世界大戦とロシア革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	バルカン半島で緊張が高まった背景、戦時外交および総力戦の特徴を理解する。歴史上はじめての世界大戦が勃発した原因、第一次世界大戦がもたらした影響、ロシア革命の経緯や歴史的意義を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
10月 5週 2日	第16章 第一次世界大戦と 世界の変容 1 第一次世界大戦とロシア 革命	2	① 知識・技能 第一次世界大戦とロシア革命がどのように展開したのかを、戦時外交や総力戦の特徴、大戦のもたらした結果などとあわせて理解している。 ② 思考・判断・表現 塹壕戦やさまざまな新兵器、軍需工場で働く女性の図などの第一次世界大戦に関する図像資料および「平和に関する布告」などの資料をもとに、第一次世界大戦とロシア革命が世界にもたらした変容を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 第一次世界大戦とロシア革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	バルカン半島で緊張が高まった背景、戦時外交および総力戦の特徴を理解する。歴史上はじめての世界大戦が勃発した原因、第一次世界大戦がもたらした影響、ロシア革命の経緯や歴史的意義を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
11月 2週 2日	第16章 第一次世界大戦と 世界の変容 1 第一次世界大戦とロシア 革命	2	① 知識・技能 第一次世界大戦とロシア革命がどのように展開したのかを、戦時外交や総力戦の特徴、大戦のもたらした結果などとあわせて理解している。 ② 思考・判断・表現 塹壕戦やさまざまな新兵器、軍需工場で働く女性の図などの第一次世界大戦に関する図像資料および「平和に関する布告」などの資料をもとに、第一次世界大戦とロシア革命が世界にもたらした変容を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 第一次世界大戦とロシア革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	バルカン半島で緊張が高まった背景、戦時外交および総力戦の特徴を理解する。歴史上はじめての世界大戦が勃発した原因、第一次世界大戦がもたらした影響、ロシア革命の経緯や歴史的意義を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
11月 3週 2日	第16章 第一次世界大戦と 世界の変容 2 ヴェルサイユ体制下の欧 米諸国	2	① 知識・技能 第一次世界大戦後に形成された国際秩序の内容やその特徴、その後の国際関係の変化について理解している。 ② 思考・判断・表現 各国の国内情勢を写した図像資料や「十四か条」などの資料をもとに、1920年代の欧米各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出	第一次世界大戦後の新たな国際秩序が形成された経緯、国際協調をめぐる1920年代の前半と後半の変化、1920年代のソ連とアメリカのそれぞれの国内情勢を理解する。西欧諸国における第一次世界大戦後の展開、イタリアにおけるファシズム体制成立の背景を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術

			<p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	提出課題／授業態度／発表・レポート提出	といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	検討をとおして考察を深める。	
11月 4週 2日	第16章 第一次世界大戦と世界の変容 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国	2	<p>① 知識・技能 第一次世界大戦後に形成された国際秩序の内容やその特徴、その後の国際関係の変化について理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 各国の国内情勢を写した図像資料や「十四力条」などの資料をもとに、1920年代の欧米各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	第一次世界大戦後の新たな国際秩序が形成された経緯、国際協調をめぐる1920年代の前半と後半の変化、1920年代のソ連とアメリカのそれぞれの国内情勢を理解する。西欧諸国における第一次世界大戦後の展開、イタリアにおけるファシズム体制成立の背景を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
11月 5週 2日	第16章 第一次世界大戦と世界の変容 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国	2	<p>① 知識・技能 第一次世界大戦後に形成された国際秩序の内容やその特徴、その後の国際関係の変化について理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 各国の国内情勢を写した図像資料や「十四力条」などの資料をもとに、1920年代の欧米各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	第一次世界大戦後の新たな国際秩序が形成された経緯、国際協調をめぐる1920年代の前半と後半の変化、1920年代のソ連とアメリカのそれぞれの国内情勢を理解する。西欧諸国における第一次世界大戦後の展開、イタリアにおけるファシズム体制成立の背景を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
12月 1週 2日	第16章 第一次世界大戦と世界の変容 3 アジア・アフリカ地域の民族運動	2	<p>① 知識・技能 第一次世界大戦がアジア・アフリカの各地に与えた影響を理解する。</p> <p>② 思考・判断・表現 民族運動の様子を写した図像資料や胡適「文学革命についての書簡」などの資料をもとに、アジア・アフリカ各地の民族運動の特徴や共通性を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 アジア・アフリカ地域の民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	第一次世界大戦が東アジアの政治・経済・文化に与えた影響、日本の勢力拡大に対する中国・朝鮮の人々の対応を考察する。南京国民政府による中国統一達成までの経緯、第一次世界大戦後のインド・東南アジア・アフリカにおける民族運動の経緯を理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
12月 2週 2日	第16章 第一次世界大戦と世界の変容 3 アジア・アフリカ地域の民族運動	2	<p>① 知識・技能 第一次世界大戦がアジア・アフリカの各地に与えた影響を理解する。</p> <p>② 思考・判断・表現 民族運動の様子を写した図像資料や胡適「文学革命についての書簡」などの資料をもとに、アジア・アフリカ各地の民族運動の特徴や共通性を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 アジア・アフリカ地域の民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	第一次世界大戦が東アジアの政治・経済・文化に与えた影響、日本の勢力拡大に対する中国・朝鮮の人々の対応を考察する。南京国民政府による中国統一達成までの経緯、第一次世界大戦後のインド・東南アジア・アフリカにおける民族運動の経緯を理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
12月 3週 2日	第18章 冷戦と第三世界の台頭 1 冷戦の展開	2	<p>① 知識・技能 冷戦がどのように進展したのかを、各の社会に与えた影響や核開発の動きなどとあわせて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 先進国の平均経済成長率を示した統計資料や「スターリン批判」などの資料をもとに、冷戦下における東西両陣営の社会の変容を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 冷戦の展開について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	米ソそれぞれの同盟網の広がりや核開発競争の経緯、西欧と日本の経済復興の背景をそれぞれ理解する。冷戦の進展がアメリカ社会に与えた影響、スターリン死後のソ連と東欧における変化を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
12月 4週 2日	第18章 冷戦と第三世界の台頭 1 冷戦の展開	2	<p>① 知識・技能 冷戦がどのように進展したのかを、各の社会に与えた影響や核開発の動きなどとあわせて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 先進国の平均経済成長率を示した統計資料や「スターリン批判」などの資料をもとに、冷戦下における東西両陣営の社会の変容を多面的・多角的に考察し表現している。</p>	定期考査／提出課題／発問評価	米ソそれぞれの同盟網の広がりや核開発競争の経緯、西欧と日本の経済復興の背景をそれぞれ理解する。冷戦の進展がアメリカ社会に与えた影響、スターリン死後のソ連と東欧における変化を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術

			<p>③ 主体的に学習に取り組む態度 冷戦の展開について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	提出課題／授業態度／発表・レポート提出	つ。 祭を深めむ。		
1月 2週 2日	第18章 冷戦と第三世界の台頭 2 第三世界の台頭とキューバ危機	2	<p>① 知識・技能 冷戦のもとで第三世界の台頭がどのように進んだのかや、キューバ危機を経て国際社会が核兵器の制限にどのように取り組んだのかを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 当時の世界情勢をふまえたうえで「カストロによる第2次ハバナ宣言」などの資料をもとに、キューバ革命が国際社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 第三世界の台頭とキューバ危機について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	<p>自立化を追求するアジア・アフリカの新興諸国がいかなる行動をとったのか、アフリカなどの新興国が直面した困難の内容とその原因を理解する。キューバ革命の背景および影響、国際社会が核兵器の制限に取り組むようになった経緯を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
1月 3週 2日	第18章 冷戦と第三世界の台頭 2 第三世界の台頭とキューバ危機	2	<p>① 知識・技能 冷戦のもとで第三世界の台頭がどのように進んだのかや、キューバ危機を経て国際社会が核兵器の制限にどのように取り組んだのかを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 当時の世界情勢をふまえたうえで「カストロによる第2次ハバナ宣言」などの資料をもとに、キューバ革命が国際社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 第三世界の台頭とキューバ危機について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	<p>自立化を追求するアジア・アフリカの新興諸国がいかなる行動をとったのか、アフリカなどの新興国が直面した困難の内容とその原因を理解する。キューバ革命の背景および影響、国際社会が核兵器の制限に取り組むようになった経緯を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
1月 4週 2日	第18章 冷戦と第三世界の台頭 3 冷戦体制の動搖	2	<p>① 知識・技能 ベトナム戦争をはじめとする1960年代以降の冷戦体制の動搖やその推移を、米ソの代理戦争としての視点や各国における変化をふまえて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 1960年代の各地の様子を書いた図像資料や「チエコスロバキア共産党行動綱領」などの資料をもとに、冷戦の動搖が各地にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 冷戦体制の動搖について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	<p>国際情勢との関係をふまえたうえで、米ソ代理戦争としてのベトナム戦争の性格、またヨーロッパにおいて緊張緩和が進展した経緯を理解する。1960年代におけるアメリカ合衆国とソ連のそれぞれの変容、第三世界における開発独裁の特徴を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
1月 3週 2日	第18章 冷戦と第三世界の台頭 3 冷戦体制の動搖	2	<p>① 知識・技能 ベトナム戦争をはじめとする1960年代以降の冷戦体制の動搖やその推移を、米ソの代理戦争としての視点や各国における変化をふまえて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 1960年代の各地の様子を書いた図像資料や「チエコスロバキア共産党行動綱領」などの資料をもとに、冷戦の動搖が各地にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 冷戦体制の動搖について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	<p>国際情勢との関係をふまえたうえで、米ソ代理戦争としてのベトナム戦争の性格、またヨーロッパにおいて緊張緩和が進展した経緯を理解する。1960年代におけるアメリカ合衆国とソ連のそれぞれの変容、第三世界における開発独裁の特徴を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問い合わせの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
公共	2	全日制・普通科・第1年次	『高等学校 公共』(第一学習社)				
科目的目標		<ul style="list-style-type: none"> 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するため必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自國を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各國が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。 					
月	単元・題材名	指導時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関する他教科等との関連
4月	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち Ⅰ 公共的な空間と人間とのかかわり Ⅱ 社会に参画する自立した主体として	6	<p>a 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 人生における青年期の意味を体験的に振り返り、人間としてのあり方・生き方を理解している。 人間は個人としての相互尊重と対話による相互理解による高めあいが可能な社会的存在であることを理解している。 <p>b 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。 孤立して生きるのではなく、地域社会などのさまざまな集団の一員として生きるとともに、異文化などの他者との協働により、人間としてのあり方・生き方を多面的・多角的に考察、表現している。 <p>c 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	<p>以下の活動に熱心に取り組み、充分な成果をあげているかを評価する。</p> <p>・自己の考察のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者の発表の傾聴 グループでの話し合いへの積極的参加 小レポートの作成 授業態度 発問評価 ワークブック 提出課題 ノート提出 定期考査 	<p>自立した主体は、集団の一員として他者との協働により当事者として国家・社会など公共的な空間を作る存在であることを学ぶ。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書各図説の読み取りと考察 個人による思考と考察 グループ活動（個人体験発表と話し合い） 全体発表、まとめ 小レポート作成（体験的振り返り） 	<ul style="list-style-type: none"> 文章記述（自己の思考と考察、振り返り） グループによる話し合いと発表 小レポート作成 	・家庭科、保健の類似分野も参考するように指導する。
5月	第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 Ⅰ 人間としてのあり方生き方についての探求 Ⅱ 選択・判断の手がかりとなる倫理的価値	4	<p>a 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、選択・判断の手掛かりとしての二つの考え方をもとに、行為者自身の人間としてのあり方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることを理解している。 <p>b 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことについて、思考実験などを通して、多面的・多角的に考察、表現している。 <p>c 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共的な空間でどのように生きるかについて、先哲の生き方などを参考に、人間としてのあり方生き方について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	<p>以下の活動に熱心に取り組み、充分な成果をあげているかを評価する。</p> <p>・選択・判断の手がかりとなる倫理的価値を理解する。</p> <p>・対立意見をどう調和させるか考察する</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 ワークブック 提出課題 ノート提出 定期考査 	<p>古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解する。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 先哲の思想とその影響について思考・考察 対立する主張を明確にする試み グループ活動（対立の解決と調和への話し合い） 全体発表、まとめ 小レポート作成（どのような視点で自らは判断したか） 	<ul style="list-style-type: none"> 文章記述（意見の相違の明確化、自己の判断の手がかりとなった思想） グループによる話し合いと発表 小レポート作成 	・身近な問題や事象に関連づけて考えると共に、「探求」活動にも配慮して学習するように促す。
6月	第3章 公共的な空間における基本的原理 Ⅰ 自立した主体となることについて Ⅱ より良い公共的な空間作りを目指して	4	<p>a 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共的な空間における意見や利害の調整が重要なことを理解している。 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 <p>b 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 幸福、正義、公正などに着目して考えている。 公共的な空間における基本的原理について、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 個人と国家・社会との関係から、世界のおもな政治体制について、比較・考察しようとしている。 <p>c 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共的な空間における基本的原理と日本国憲法の基本的原則を関連させながら、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	<p>以下の活動に熱心に取り組み、充分な成果をあげているかを評価する。</p> <p>・歴史的背景をふまえながら、民主政治の基本的原理と思想を理解する。</p> <p>・民主社会における自由・権利・責任・義務の重要性を考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 ワークブック 提出課題 ノート提出 定期考査 	<p>古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、公共的な空間における基本的原理を理解する。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人の尊重と法の支配の関係について考察する。 民主政治の基本的原理について、順を追って発展する様子を理解する。 国民主権と政治参加の意義について考える。 小レポート作成（民主政治への参加と選挙の重要性について） 	<ul style="list-style-type: none"> 文章記述（各思想の違いと自分の意見、政治参加とポピュリズムについて等） ネットや文献等の活用 小レポート作成（民主政治への参加と選挙の重要性について） 	・身近な場での利害調整や問題解決の例を考察する。その際、既習の「道徳」との関連も考慮する。
6月	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち 主題1 法や規範の意義と役割	8	<p>a 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 公法や私法の定義と、国民の行為を規制し社会の秩序を維持及び国民の活動を積極的に促進し紛争を解決するという法の両面の役割を理解している。 <p>b 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な紛争や課題をどのようにすれば公平・公正に調整できるのか、主体的なルールを作成・利用することで考察、構想、表現している。 自由権、社会権の意味・意義と新しい人権とは何かをさまざまな立場に立って考察している。 <p>c 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	<p>以下の活動に熱心に取り組み、充分な成果をあげているかを評価する。</p> <p>・身近な生活と法の関わりについて考察しまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 法、法規範と人権保障との関わりについて理解する。 現代の諸課題と法改正について話し合う。 授業態度 発問評価 ワークブック 提出課題 ノート提出 定期考査 	<p>憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書各図説の読み取りと考察 個人による思考と考察 グループ活動（個人体験発表と話し合い） 全体発表、まとめ 小レポート作成（体験的振り返り） 	<ul style="list-style-type: none"> 文章記述（身近な課題と法との関わり、人権と法の意義） グループによる話し合い 小レポート作成 	・中学校「公民」や法教育との関連を考慮する。
	主題2 契約と消費者の権利・責任		<p>a 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 成年年齢（18歳）の意味と責任について理解している。 契約と消費者の権利・責任に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 現実社会の諸課題についての情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付いている。 	<p>以下の活動に熱心に取り組み、充分な成果をあげているかを評価する。</p> <p>・身近な生活と法の関わりについて考察しまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 法、法規範と人権保障との関わりについて理解する。 現代の諸課題と法改正について話し合う。 授業態度 発問評価 ワークブック 提出課題 ノート提出 定期考査 	<p>契約が対等な当事者間の合意といえるための条件を理解する。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書掲載のものや身近な例を基に契約の意味や責任について考察する。 違法な契約内容があり得る 	<ul style="list-style-type: none"> 文章記述（契約の自由、違法な契約、消費者保護） グループによる話し合い 小レポート作成 	・家庭科（消費者分野）との関連を考慮する。

7月	2	<p>b 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他教科で学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正に着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 <p>c 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約と消費者の権利・責任について、現代の諸課題を具体的な例をもとに、主体的に解決しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法、法規範と人権保障との関わりについて理解する。 ・現代の諸課題と法改正について話し合う。 ・授業態度 ・発問評価 ・ワークブック ・提出課題 ・ノート提出 ・定期考查 	<p>・ごく一見のところ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者の権利と、その保護について理解する。 ・小レポート作成（体験的振り返り） 	
		<p>主題3 司法参加の意義</p> <p>a 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民の権利を守り、社会秩序を維持するために、公正な裁判が保障され、法律家が重要な役割を果たしていることを理解している。 ・自立した主体として活動するためには必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けています。 <p>b 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な主題を設定し、追究・解決するために考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ・具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 <p>c 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司法参加の意義について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	<p>以下の活動に熱心に取り組み、充分な成果をあげているかを評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司法の独立と裁判を受ける権利を正しく理解する。 ・司法のしくみと司法参加の意義について理解する。 ・授業態度 ・発問評価 ・ワークブック ・提出課題 ・ノート提出 ・定期考查 	<p>個人や社会の紛争を法に基づいて公正に解決するためには必要なしくみと、国民が果たすべき責任を理解する。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校公民の既習内容振り返り（司法権の独立、違憲法令審査権、裁判員制度） ・冤罪と再審制度を正しく理解する。 ・小レポート作成（もし裁判員に選ばれたら） 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章記述（裁判員制度、冤罪と再審） ・グループによる話し合い ・小レポート作成 <p>・法務省Webページや法テラスWebページを有効に活用する。</p>
9月 (1)	4	<p>主題4 政治参加と公正な世論の形成</p> <p>a 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現実社会の事柄や課題と、選挙の意義、政治的無関心の危険性などについて理解している。 ・国会の地位と構成・権限、議院内閣制のしくみ、内閣総理大臣の権限、行政の民主化について、理解している。 <p>b 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選挙のしくみ、政党の役割、世論の形成について、さまざまな情報手段を活用して、考察、構想し、表現している。 ・地方自治には、直接民主制の考え方に基づくしくみが国政よりも多く取り入れられていることや、様々な課題があることについて考察、構想し、表現している。 <p>c 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	<p>以下の活動に熱心に取り組み、充分な成果をあげているかを評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活と法の関わりについて考察しまどめる。 ・法、法規範と人権保障との関わりについて理解する。 ・現代の諸課題と法改正について話し合う。 ・授業態度 ・発問評価 ・ワークブック ・提出課題 ・ノート提出 ・定期考查 	<p>民主政治を推進するためには、私たちが果たすべき責任を理解する。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民主政治における選挙の重要性に気づく。 ・選挙制度の現状と課題について考察する。 ・政党や世論の役割や重要性について理解する。 ・国会や内閣の地位や役割について正しく理解する。 ・小レポート作成（マニフェストを読んで） 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章記述（正しい選挙と選挙運動、政治的無関心と投票行動） ・グループによる話し合い ・小レポート作成 <p>・国会、総務省、中央選挙管理委員会の各Webページを有効に活用する。</p>

9月 (2)	4	a 知識・技能 ・国際社会と国家主権に関する現実社会の事柄や課題を理解している。 ・国際社会の諸課題に関する諸資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けています。	以下の活動に熱心に取り組み、充分な成果をあげているかを評価する。	主権国家が並び立つ国際社会は、どのように成り立っているのかを理解する。 【活動内容】 ・国際法の観点から国際社会のあるべき姿を展望する。 ・我が国と世界の領土・領域をめぐる問題を、国家主権を念頭に国際的視野からとらえ、考察する。 ・国際連合の地位・しくみ・役割について理解する。 ・小レポート作成（我が国の領土・領域に関する現状について）	・文章記述（国際法の歴史、国際司法裁判所、SDGs） ・グループによる話し合い ・小レポート作成	・国際連合、外務省各Webページを有効に活用する。
		b 思考・判断・表現 ・国際法の意義と役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ・国際社会と国家主権について、国境や領土をめぐる諸課題を主体的に解決するために、必要な情報を収集し、考察、構想している。	・国際法の意義を正しく理解する。 ・国家主権と領土・領域をめぐる問題を世界的視点から認識し、解決策を展望する。 ・国際連合の役割を確認する。	・授業態度 ・発問評価 ・ワークブック ・提出課題 ・ノート提出 ・定期考査		
		c 主体的に学習に取り組む態度 ・国際社会と国家主権について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。				
10月	4	a 知識・技能 ・日本国憲法の平和主義について、現実社会の諸課題に関する諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けています。	以下の活動に熱心に取り組み、充分な成果をあげているかを評価する。	日本国憲法の平和主義の下、私たちが果たすべき責任を理解する。 【活動内容】 ・敗戦から平和憲法制定、冷戦とその終結、テロ・地域紛争の激化等の時代的変化を、我が国の立場や対応を踏まえながら振り返る。 ・宇宙・サイバースペースなど新たな防衛領域への対応や課題に理解を深める。 ・小レポート作成（変容する国際社会と日本の防衛）	・文章記述（米中対立と日本、平和主義と集団的自衛権、沖縄の基地移転問題、核軍縮と日本） ・グループによる話し合い ・小レポート作成	・内閣、外務省、防衛省の各Webページを有効に活用する。
		b 思考・判断・表現 ・日本国憲法の平和主義をふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・核兵器を廃絶するためには何が必要かを考え、軍縮の意義や効果について、さまざまな観点から考察している。	・身近な生活と法の関わりについて考察しまどめる。 ・法、法規範と人権保障との関わりについて理解する。 ・現代の諸課題と法改正について話し合う。	・授業態度 ・発問評価 ・ワークブック ・提出課題 ・ノート提出 ・定期考査		
		c 主体的に学習に取り組む態度 ・日本の安全保障と防衛について、憲法の平和主義や国連憲章、日米安全保障条約等をふまえ、現代の諸課題の解決に向けて、主体的に取り組もうとしている。				
11月	4	a 知識・技能 ・国際社会の変化と日本の役割に関する現実社会の事柄や課題を理解している。 ・人種・民族問題と地域紛争の実態、難民問題に関する資料を適切な手段で収集・分析し、課題解決に向けた国際社会の取り組みを理解している。	以下の活動に熱心に取り組み、充分な成果をあげているかを評価する。	主権国家が並び立つ国際社会は、どのように成り立っているのかを理解する。 【活動内容】 ・超大国（陣営）の対立や軍縮の歩みを国際平和の観点から展望する。	・文章記述（SDGs、地域紛争、民族紛争、難民問題） ・グループによる話し合い ・小レポート作成	・国際連合、外務省各Webページを有効に活用する。
		b 思考・判断・表現 ・変化する国際情勢の中で、日本の安全が世界の平和の維持といかに関連しているか、広い視点に立って理解し、さまざまな観点から考察している。 ・持続可能な開発（SDGs）の観点から、国際社会の安定について、様々な視点から考察し、論拠をもって表現している。	・冷戦後のグローバル化の影響とは何か考察する。 ・国際社会の脅威とは何か、考察する。 ・国際社会の対立・分断はなぜ進むのか考察する。 ・日本の果たすべき役割を考察する。	・授業態度 ・発問評価 ・ワークブック ・提出課題 ・ノート提出 ・定期考査		
		c 主体的に学習に取り組む態度 ・国際社会の変化と日本の役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。				
11月	4	a 知識・技能 ・ワークライフバランスの観点から、雇用と労働問題に関する現実社会の事柄や課題を理解している。 ・三つの経済主体（企業・家計・政府）の中で、私たちは、どのように経済活動に参加しているのか、理解している。	以下の活動に熱心に取り組み、充分な成果をあげているかを評価する。	少子高齢化による労働力不足が問題となる中、活発な経済活動と労働者の働きやすさを共に成り立たせるために必要なことを理解する。 【活動内容】 ・教科書掲載の各種統計資料を分析、確認する。 ・資料集や各Webサイト等のデータにより、特に雇用環境の流動化の現状を確認する。 ・小レポート作成（安心して働くための労働環境とは）	・文章記述（経済主体、労働者の権利、テレワーク、ワークライフバランス） ・グループによる話し合い ・小レポート作成	・厚生労働省、各労働団体、研究機関等の各Webページを有効に活用する。
		b 思考・判断・表現 ・日本の雇用慣行の崩れなど、現代の諸課題を主体的に考察、構想し、論拠をもって表現している。 ・近年の雇用事情の変化とさまざまな労働問題について、具体例をあげて多角的に考察、構想し、論拠をもって表現している。	・雇用環境流動化の現状を最新資料を基に認識する。 ・ワークライフバランスの重要性をふまえながら、一人ひとりが経済活動の主体的扱い手であることを、資料を基に確認する。	・授業態度 ・発問評価 ・ワークブック ・提出課題 ・ノート提出 ・定期考査		
		c 主体的に学習に取り組む態度 ・雇用と労働問題について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。				
11月	4	a 知識・技能 ・社会の変化と職業観について、人工知能の進化の影響など、現代の諸課題を理解している。	以下の活動に熱心に取り組み、充分な成果をあげているかを評価する。	グローバル化・情報化・少子高齢化が進む現代社会において、将来の働き方をどう考えていいか理解する。 【活動内容】 ・雇用の流動化の具体的な内容を列挙してみる。 ・急速な技術革新や高度情報化の進行が、雇用・労働・職業観にどのような変化をもたらすのか、また対応の仕方について考察する。	・文章記述（AI、Society5.0、新しい職業観） ・グループによる話し合い ・小レポート作成	・新聞、雑誌、テレビ等のマスコミや厚生労働省、経済産業省等のWebページを有効に活用する。
		b 思考・判断・表現 ・技術革新の進展による生活の変化、産業構造の変化、経済のサービス化・ソフト化について、身近な問題と関連させて考察、構想し、論拠をもって表現している。 ・企業の役割や種類から、株式会社のしくみや企業の社会的責任について考察、構想し、論拠をもって表現している。 ・農林水産業の現状と今後について、さまざまな情報を基に考察、構想し、論拠をもって表現している。	・授業態度 ・発問評価 ・ワークブック ・提出課題 ・ノート提出 ・定期考査	・新時代における望ましい職業観を展望する。 ・小レポート作成（働き方の変化をどうとらえ、対応してゆくか）		
		c 主体的に学習に取り組む態度 ・社会の変化と職業観について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。				
12月	4	a 知識・技能 ・経済の基本的なしくみと資本主義経済、社会主義経済の特徴を理解している。 ・市場経済の機能と限界に関する現実社会の事柄や課題を理解している。	以下の活動に熱心に取り組み、充分な成果をあげているかを評価する。	公正で自由な経済活動を通して、市場が効率的な資源配分を実現できるしくみを理解する。 【活動内容】 ・市場機能の基本	・文章記述（価格機構、市場の失敗、寡占・独占、外部不経済） ・グループによる話し合い	・中学校「公民」や家庭科での学習成果と連携する。
		b 思考・判断・表現 ・経済の基本的なしくみと資本主義経済、社会主義経済の特徴を理解している。				

12月 ～1月	4	<p>b 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場機能の限界に対する公共財の供給について、政府の役割を多角的に考察、構想し、論拠をもって表現している。 ・経済成長が生活に与える影響を、具体的な事例をあげて考察している。 <p>c 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場経済の機能と限界について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	<p>・市場の歪みや独占・寡占の問題点を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・ワークブック ・提出課題 ・ノート提出 ・定期考査 	<p>・市場の失敗・限界と解決策を具体的に探る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小レポート作成（市場経済の弱点の克服） 	<p>・小レポート作成</p>	
		<p>a 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融のはたらきに関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・資金の流れ、金融機関の役割、日本銀行の役割について理解している。 <p>b 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 <p>c 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融のはたらきについて、現代の諸課題を主体的に取り組もうとしている。 	<p>以下の活動に熱心に取り組み、充分な成果をあげているかを評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融の働きを身近な経済活動と絡めて理解できる。 ・市場経済の根本の幸福、正義、公正の理念に気づく。 ・現実経済の諸課題を解決しようとする。 <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・ワークブック ・提出課題 ・ノート提出 ・定期考査 	<p>経済において、金融市場はどのような役割を果たしているのかを理解する。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資金の流れや中央銀行の役割等について図表で視覚的に捉える。 ・金融政策の内容と効果について理解する。 ・キャッシュレス化やフィンテック、暗号資産（教科書コラム）など、新たな潮流に关心を寄せる。 ・小レポート作成（日銀の金融政策と物価の安定） 	<p>・文章記述（キャッシュレス決済、フィンテック、暗号資産、CBDC）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループによる話し合い ・小レポート作成 	<p>・日本銀行や金融広報中央委員会、日本証券業協会等のWebページを有効に活用する。</p>
1月 ～2月	4	<p>a 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政の役割と社会保障に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 <p>b 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政政策の意義、日本の財政の課題を理解し、財政のしくみ、租税の意義と課題について、事例をあげて考察、構想し、主体的に考えている。 ・社会保障の意義を理解し、現在の社会保障の課題について考察している。 <p>c 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政の役割と社会保障について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	<p>以下の活動に熱心に取り組み、充分な成果をあげているかを評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政や租税のしくみ、課題について理解できる。 ・少子高齢化と社会保障費増大、財政再建について主体的に解決しようとしている。 <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・ワークブック ・提出課題 ・ノート提出 ・定期考査 	<p>少子高齢化が進む中で、財政や社会保障を持続可能なものにするために、政府はどのような役割を果たしていくべきかを理解する。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年の一般会計予算を詳細に分析し、現状を把握する。 ・人口減少社会における社会保障のあり方について、資料を基に実証的に展望する。 ・小レポート作成（これからの年金・医療・介護の制度構築） 	<p>・文章記述（国の借金、プライマリーバランス、ノーマライゼーション、人口減少社会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループによる話し合い ・小レポート作成 	<p>・財務省、厚生労働省、研究機関等の各Webページを有効に活用する。</p>
		<p>a 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済のグローバル化に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 <p>b 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貿易の意義、円高・円安が生じる理由、貿易摩擦などについて、考察、構想し、表現している。 <p>c 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際協力のあり方、国際協調の重要性から、日本の役割について自分自身の問題として、主体的に解決しようとしている。 	<p>以下の活動に熱心に取り組み、充分な成果をあげているかを評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複雑化する国際経済において貿易、金融など多面的角度から現状を把握し、課題解決に向かおうとする。 <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・ワークブック ・提出課題 ・ノート提出 ・定期考査 	<p>経済がグローバル化する中で、貧困や格差などの問題を乗りこえ、すべての人が幸福に暮らすために、国際社会や私たちがどうあるべきかを考える。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大国間の経済紛争や地域経済統合の影響や効果を探る。 ・日本の貿易のあり方を考える。 ・小レポート作成（日銀の金融政策と物価の安定） 	<p>・文章記述（グローバル化、地域間格差、TPP）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループによる話し合い ・小レポート作成 	<p>・外務省、国際連合、研究機関等の各Webページを有効に活用する。</p>
3月	4	<p>a 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここまで学んだ内容を幅広く活用し、今日的課題の解決への主体的取り組みに役立てる。 <p>b 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標しながら、解決策を説明、論述している。 <p>c 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	<p>以下の活動に熱心に取り組み、充分な成果をあげているかを評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の諸課題解決のために幸福、正義、公正や公共的な空間における基本的原理を用いて考察、構想し、論拠をもって表現している。 <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・ワークブック ・提出課題 ・ノート提出 ・定期考査 	<p>公共の精神を持ち自立した主体として幸福、正義、公正を基礎に、現代の諸課題を探究する活動を行う。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各班設定のテーマごとに様々な資料を分析し、成果を話し合う。 ・考察結果を提言してまとめ、発表する。 ・小レポート作成（私たちにできること～自・他班の発表をふまえて） 	<p>・発表資料作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループによる話し合い ・プレゼンテーション ・傾聴、批判、省察 ・小レポート作成 	<p>・情報科、国語科（国語表現）、英語科等での学びを総合化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各公的機関等のWebページを有効に活用する。（客観的事実を適切に得られるように留意する）
		指導時間数の計	70			

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
政治・経済	3	全日制・普通科・第3年次	政治・経済(数研出版)				
科目的目標	<p>・現代の政治・経済に関する諸課題を捉え考察し、解決策を選択・判断するために必要な概念や理論について理解するとともに、諸資料から必要となる情報を適切かつ効果的に見いだし調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>・変化が加速しますます複雑化・多様化する現代において、国民主権を担う公民として、自國を愛し平和と繁栄を企図するとともに、各國が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについてグローバルな視点から自覚を深める。</p>						
月	単元・題材名	指導時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	
4月	第1章 現代の政治 第1節 民主政治の基本原理と 展開 1 政治と法 2 民主政治のあゆみ 3 民主政治の基本原理とその 展開 4 政治体制の比較 第2節 日本国憲法と基本的 人権 第3節 日本の統治機構 第4節 政治参加と民主政 治の課題	7	<p>・日常生活の中で、政治や法との関わりを実感することができる《態度》</p> <p>・市民革命以降の民主政治の歴史的なあゆみを理解できる《知・技》</p> <p>・民主政治の基本原理を、身近な集団生活の中で活用できる《知・技》</p> <p>・現代の社会における民主政治の価値やその必要性を評価できる《思・判・表》</p> <p>・日本と各国の政治体制を比較して、その違いを理解できる《知・技》</p>	<p>以下の活動に熱心に取り組み、充分な成果をあげているかを評価する。</p> <p>・自己の考察のまとめ</p> <p>・他者の発表の傾聴</p> <p>・グループでの話し合いへの積極的参加</p> <p>・小レポートの作成</p> <p>・授業態度・発問評価</p> <p>・ワークブック・提出課題</p> <p>・ノート提出・定期考査</p>	<p>民主政治の基本原理の誕生と現実政治の歩みを歴史的経過を確認しながら確認し、未来を志向しながらこれから展開を考察する。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書各図説の読み取りと考察 ・個人による思考と考察 ・グループ活動(身近な政治への関心について話し合い) ・全体発表、まとめ ・小レポート作成 	<p>・文章記述(民主思想のあゆみと市民革命、戦後の民主主義)</p> <p>・グループによる話し合いと発表</p> <p>・小レポート作成</p>	<p>・地歴科(世界史、日本史、地理)での学習事項も連携される。</p>
5月	第2節 日本国憲法と基本的 人 権 1 日本国憲法の基本的性 格 2 基本人権の保障 3 日本国憲法の平和主義	7	<p>・日本国憲法と明治憲法を比較して、それぞれの特徴を理解できる《知・技》</p> <p>・日本国憲法が、明治憲法よりいかに民主的であるかを考えることができる《思・判・表》</p> <p>・主権者として、どのように政治に関われるかを意識することができる《態度》</p> <p>・日本国憲法にある権利を、身近な事例で示すことができる《思・判・表》</p> <p>・日常生活における事例を、憲法の条文と関連づけて考えることができる《思・判・表》</p> <p>・自衛隊や日米安保のあゆみと現状とを関連づけて理解できる《知・技》</p> <p>・日本国憲法の平和主義を、現在の日本をとりまく国際情勢の中で評価できる《思・判・表》</p>	<p>以下の活動に熱心に取り組み、充分な成果をあげているかを評価する。</p> <p>・社会の変化と憲法の果たす役割について考察</p> <p>・平和主義と我が国の国際貢献のあり方にについて考察</p> <p>・授業態度・発問評価</p> <p>・ワークブック</p> <p>・提出課題</p> <p>・ノート提出</p> <p>・定期考査</p>	<p>明治新政府から現在に至る我が国の政治の流れを振り返りながら、日本国憲法の基本原理と意義を理解し、将来の望ましい民主政治を考察する。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新旧憲法の比較・考察 ・現代に生きる基本原理と解釈改憲、憲法改正の是非を考察 ・グループ活動(主権者として現状を見つめる) ・全体発表、まとめ ・小レポート作成(どのような視点で自らは判断したか) 	<p>・文章記述(憲法の基本理念と私たちの暮らし)</p> <p>・グループによる話し合いと発表</p> <p>・小レポート作成</p>	<p>・身近な問題や事象に関連づけて考えると共に、「探究」活動にも配慮して学習するように促す。</p>
6月	第3節 日本の政治機構 1 国会のしくみと役割 2 内閣と行政機構 3 裁判所のしくみと人権保 障 4 地方自治のしくみと住民 生活	8	<p>・国会・内閣・裁判所のしくみとその役割・関係を理解できる《知・技》</p> <p>・国会での審議や内閣の閣議など、時事問題に関心を持つことができる《態度》</p> <p>・司法権の独立と違憲審査権など司法の特徴を理解できる《知・技》</p> <p>・裁判員制度の導入によって、司法がどう変わったか考えることができる《思・判・表》</p> <p>・地方自治のしくみを理解し《知・技》、実際の地方自治を点検することができる《態度》</p> <p>・近年の地方分権政策によって、地方がどう変わったか考えることができる《思・判・表》</p>	<p>以下の活動に熱心に取り組み、充分な成果をあげているかを評価する。</p> <p>・身近な生活と法の関わりについて考察しまとめる。</p> <p>・授業態度・発問評価</p> <p>・ワークブック</p> <p>・提出課題</p> <p>・ノート提出</p>	<p>憲法の下、三権分立が適正に機能し民主的な権力機構が機能していることを理解する(1~3)。</p> <p>憲法の保障する地方分権のあり方を主権者の意識を持ち理解し、担おうとする意識を涵養する(4)。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書各図説の読み取りと考察 ・個人による思考と考察 ・グループ活動(個人体験発表と話し合い) ・全体発表、まとめ ・小レポート作成(体験的振り返り) 	<p>・文章記述(民主政治と権力分立)</p> <p>・グループによる話し合い</p> <p>・小レポート作成</p>	<p>・中学校「公民」や法教育との関連を考慮する。</p>
7月	第4節 政治参加と民主政 治の 課題 1 戦後政治と政党 2 選挙制度のしくみ 3 世論と情報化社会	5	<p>・現実の選挙に対して、その争点や結果についてコメントできる《態度》</p> <p>・小選挙区、大選挙区、比例代表などの選挙の方法を比較できる《思・判・表》</p> <p>・戦後の日本の政党政治のあゆみと「55年体制」を理解できる《知・技》</p> <p>・望ましい選挙制度について、自分なりの考えを提示できる《思・判・表》</p> <p>・マスコミの報道等が、世論の形成に与える影響を分析できる《思・判・表》</p> <p>・マスコミのあり方とそれに対する個人のあり方について考えることができる《思・判・表》</p>	<p>以下の活動に熱心に取り組み、充分な成果をあげているかを評価する。</p> <p>・身近な生活と法の関わりについて考察しまとめる。</p> <p>・法、法規範と人権保障との関わりについて理解する。</p> <p>・現代の諸課題と法改正について話し合う。</p> <p>・授業態度・発問評価</p> <p>・ワークブック</p> <p>・提出課題・ノート提出</p> <p>・定期考査</p>	<p>現代の政治状況を歴史的過程も踏まえて捉え、主権者としてふさわしい知識や意識を身につける。その際、世論形成や圧力団体等の動きにも注意を払う。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な例を基に政治の働きや選挙のあり方を考察する。 ・最近の世論動向について、情報化的観点から考察する。 ・個人による思考と考察 ・グループ活動(個人体験発表と話し合い) ・全体発表、まとめ ・小レポート作成(体験的振り返り) 	<p>・文章記述(現代政党の動向、選挙をめぐる課題、世論形成とICT)</p> <p>・グループによる話し合い</p> <p>・小レポート作成</p>	<p>・クロームブック等を充分に活用し、幅広く情報を収集する。</p>
9月	第2章 現代の経済 第1節 経済活動の意義と 経済体制 1 資本主義経済の発展と 変容 2 経済活動の主体 第2節 現代経済のしくみ 1 市場経済のしくみ 2 国民所得と経済成長	8	<p>・資本主義経済と社会主義経済のしくみと特徴を比較・理解できる《知・技》</p> <p>・資本主義経済の歴史的発展過程を把握して、現状を認識できる《知・技》</p> <p>・経済活動の主体が、現実にどのような活動をしているか考えることができる《思・判・表》</p> <p>・市場機構を理解して、市場経済に関する基本的知識を理解できる《知・技》</p> <p>・国民所得が経済成長に与える効果について、具体的な例を引いて考察し、表現する。《思・判・表》</p>	<p>以下の活動に熱心に取り組み、充分な成果をあげているかを評価する。</p> <p>・現代経済の形成過程を理解する。</p> <p>・経済主体が市場経済において果たす役割をまとめる。</p> <p>・授業態度・発問評価</p> <p>・ワークブック</p> <p>・提出課題・ノート提出</p> <p>・定期考査</p>	<p>現代資本主義経済の基礎を歴史的過程をふまえながら理解する。その際に各経済主体の果たす役割を意識しながら学習を進める。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な経済主体として家計を取り上げ考察する(収入、貯蓄、支出等)。 ・グループ活動(個人体験発表と話し合い) ・全体発表、まとめ ・小レポート作成(体験的振り返り) 	<p>・文章記述(現代経済の動向についてグローバル化や国内動向等)</p> <p>・グループによる話し合い</p> <p>・小レポート作成</p>	<p>・経済研究機関や財務省、内閣府Webページ等を有効に活用する。</p>

10月	3 金融の仕組みと働き 4 財政のしくみと租税	8	<ul style="list-style-type: none"> ・国民所得や経済成長の理解をベースに《知識》、金融が経済活動の血液の役割を果たしている全体像を理解し、資金の流れと実体経済との関係を考える。《知・技》 ・財政・租税のしくみとその役割について理解できる《知・技》 ・日常の経済生活における、財政や金融の具体的な働きを考え、説明できる《思・判・表》 ・次世代の社会にふさわしい租税のあり方を展望できる《態度》《思・判・表》 	<p>以下の活動に熱心に取り組み、充分な成果をあげているかを評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活と金融・財政・租税とをからめて、経済活動全体の視点から考察しまとめる。 ・法・法規範と人権保障との関わりについて理解する。 ・授業態度・発問評価 ・ワークブック ・提出課題・ノート提出 	<p>民主政治を推進するためには、私たちが果たすべき責任を理解する。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民主政治における選挙の重要性に気づく。 ・選挙制度の現状と課題について考察する。 ・政党や世論の役割や重要性について理解する。 ・国会や内閣の地位や役割について正しく理解する。 ・小レポート作成（マニフェストを読んで） 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章記述（少子高齢化社会における未来志向の課税とは） ・グループによる話し合い ・小レポート作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・国税庁や各種シンクタンク等の各Webページを有効に活用する。 	
11月	第3節 日本経済と福祉の向上 1 戦後日本経済のあゆみ 2 中小企業と農業 3 公害防止と環境保全 4 消費者問題と消費者保護 5 労使関係と労働市場 6 少子高齢化と社会保障	10	<ul style="list-style-type: none"> ・高度経済成長からの産業構造の変化を資料等で確認し《知・技》、その問題点について討論する《思・判・表》《態度》ことができる ・中小企業の活動実態を調べ《知・技》、これからの方を創造的に思考できる《思・判・表》 ・公害問題について、過去の歴史を振り返り、その取り組みを確認することができる《知・技》 ・消費者問題の具体例をあげ《知・技》、消費者のあり方について考え方を発表する《思・判・表》ができる ・日本の労使関係を理解し《知・技》、急速な変化を遂げつつある労働環境と労働問題について考え、展望する《思・判・表》ができる ・持続可能な社会保障のあり方を深く思考し、新たな制度を創造する《思・判・表》 	<p>以下の活動に熱心に取り組み、充分な成果をあげているかを評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦後経済の経過と変化への対応等を理解する。 ・経済活動が生むひずみをめぐる問題を生活者視点から認識し、解決策を展望する。 ・望ましい労使関係を考える。 ・授業態度・発問評価 ・ワークブック ・提出課題・ノート提出 	<p>日本経済の歩みを踏まえて、国際化・複雑化する未来を展望しながら、過去の問題点を明らかにし、将来あるべき姿を未来志向で模索する。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの経過とこれからの方の未来像を各分野での変革をふまえ、未来志向で考察する。 ・世界の潮流を意識しながら、持続可能な制度・しくみ（試案）を創造する。 ・小レポート作成（関係各分野の現状と未来の姿について） 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章記述（起業、6次産業化、環境保全、ネット下の消費者、少子高齢化社会と持続可能な働き・社会保障のあり方等） ・SDGsのかの確認・意識 ・グループによる話し合い ・小レポート作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞・雑誌・ネット等の各メディア報道や関係各省庁Webページを有効に活用して多面的な考察を試みる。 	
《12月・1月は班（原則4人）ごとに以下の学習内容より1テーマを選択し、考察を加え展望した結果を発表する形態とする》								
12月	第3章 現代の国際社会 第1節 國際政治の動向 1 國際社会と國際法 2 國際社会の組織化 3 戦後國際政治の展開 第2節 國際經濟の動向 1 貿易と國際收支 2 國際經濟のしくみ 3 地域主義の動き	6	<ul style="list-style-type: none"> ・近代主権国家の出現と国際社会の形成における国際法の必要性を歴史的過程を元に理解できる。《知・技》 ・国際紛争と国際社会の組織化の試みを振り返りながら、今後の世界平和実現を展望する。《知・技》《思・判・表》 ・冷戦前後と多極化の時代を経た現在までの国際政治の動向を振り返るとともに、中国など新たな超大国台頭の下での国際平和のあり方を展望する。《知・技》《思・判・表》 ・BRICsやASEAN初稿の台頭など新たな状況下での世界経済の発展と日本のとるべき対応について思考する。《知・技》《思・判・表》 	<p>以下の活動に熱心に取り組み、充分な成果をあげているかを評価する。</p> <p>また他班の発表をよく聞き、適切に評価し、自班の学習に効果的に生かしているかを評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦後のグローバル化の影響とは何か考察する。 ・国際社会の脅威とは何か、考察する。 ・国際社会の対立・分断はなぜ進むのか考察する。 ・単に自国優先ではなく、グローバルな視点から世界貿易の発展と繁栄を展望する。 ・依然として続く核拡散や地域紛争の激化をふまえ、日本の果たすべき役割を考察する。 ・授業態度・発問評価 ・ワークブック ・提出課題・ノート提出 ・定期考査 	<p>主権国家が並び立つ国際社会は、どのように成り立っているのかを調べ、理解する。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・超大国（陣営）の対立や軍縮の歩みを国際平和の観点から展望する。 ・テロ、核軍拡や難民問題の拡大など対立と分断が進む現状を認識し、解決策を探る。 ・流動化する国際社会において、日本の果たすべき役割を平和主義を踏まえて考察する。 ・小レポート作成（集団安全保障・核軍縮と日本、難民問題と日本、複雑化する世界経済等） ・プレゼンテーション資料作成（班ごとの話し合い活動を深めながら） 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章記述（SDGs、地域紛争、民族紛争、難民問題、経済覇権主義等） ・グループによる話し合い ・小レポート作成 ・的確でわかりやすい発表資料作り ・適宜メモ等をとりながら他班の発表を聞き、適切な批判を加える 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際連合、外務省、経済産業省、JETRO等の各Webページを有効に活用する。 ・引用時は出所を明らかにする。 	
1月	第3節 國際社会の課題と日本の役割 1 核兵器の廃絶と軍縮問題 2 地域紛争と人種・民族問題 3 地球か鏡と資源・エネルギー問題 4 発展途上国の経済と経済協力 5 日本の国際的地位と役割	4						
指導時間数の計		70						

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)					
公民研究	2	全日制・普通科・第3年次	高等学校 公共(第一学習社)					
科目的目標	現代社会において望ましい公共的空間の創造にあたり、関連する諸課題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としてのあり方について考察する力の基礎を養う。また公共的空間において良識ある公民として必要な能力と主体的に課題を解決する態度を育てる。							
時期	単元・題材名	指導時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価標準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連	
4月	・現代の諸課題を考える(情報社会、メディア)	6	① 知識・技能 ・インターネットの普及がもたらす問題について知る。 ② 思考・判断・表現 ・インターネットの普及がもたらす問題が起こった原因を考え、新たな課題や解決策等をワークシートやノートに書いたり、発表しようとしている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・インターネットや新聞を活用し調べ、解決策を考えたり話し合おうとしている。	・小テスト ・ワークシート ・書く、話すを中心 ・ワークシートを提出させ、取り組みの状況の判断材料として活用する。 ・新聞収集 ・ネット検索 ・発表 ・グループ意見交換や討議	インターネットの普及による情報社会がもたらす諸課題について学び、自分の考えを表現する。		新聞を読んだり、NHK等のニュースやドキュメンタリー番組を視聴して、その内容を理解し、自分の考えを発表したり、書いたり、さらに他人と話し合う活動を行う。	・情報の授業で学習したプライバシーの保護やセキュリティーの知識を活用する。 ・総合的な探究の時間を通して培った思考力・判断力を活用する。 ・国語で培ってきた読解力・発表力を活用する。 ・歴史科目で学習した背景知識を関連づけて理解を深める。
5月	・現代の諸課題を考える(人権、法の支配)	6	① 知識・技能 ・人権侵害に関する最近の問題と人権を守る法律や制度について知る。 ② 思考・判断・表現 ・人権侵害に関する問題が起こった原因を考え、新たな課題や解決策等をワークシートやノートに書いたり、発表しようとしている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・インターネットや新聞を活用し、人権侵害に関する最近の問題と人権を守る法律や制度について調べ、解決策を考えたり話し合おうとしている。	・小テスト ・ワークシート ・書く、話すを中心 ・ワークシートを提出させ、取り組みの状況の判断材料として活用する。 ・新聞収集 ・ネット検索 ・発表 ・グループ意見交換や討議	人権を侵害する諸問題と人権を守る法について学び、その解決策について自分の考えを表現する。		新聞を読んだり、NHK等のニュースやドキュメンタリー番組を視聴して、その内容を理解し、自分の考えを発表したり、書いたり、さらに他人と話し合う活動を行う。	・歴史科目で学習した背景知識を関連づけて理解を深める。 ・総合的な探究の時間を通して培った思考力・判断力を活用する。 ・国語で培ってきた読解力・発表力を活用する。 ・英語で修得したした国際理解と関連づける。
6月	・現代の課題を考える(政治参加、地方自治)	8	① 知識・技能 ・18歳選挙の意義や選挙のしくみについて知る。 ② 思考・判断・表現 ・18歳選挙の意義や選挙のしくみについて、ワークシートやノートに書いたり、発表しようとしている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・インターネットや新聞を活用し、選挙や地方自治について調べ、解決策を考えたり話し合おうとしている。	・小テスト ・ワークシート ・書く、話すを中心 ・ワークシートを提出させ、取り組みの状況の判断材料として活用する。 ・新聞収集 ・ネット検索 ・発表 ・グループ意見交換や討議	18歳選挙を通して、政治参加の意義や身近な地方自治について学び、自分の考えを表現する。		新聞を読んだり、NHK等のニュースやドキュメンタリー番組を視聴して、その内容を理解し、自分の考えを発表したり、書いたり、さらに他人と話し合う活動を行う。	・総合的な探究の時間を通して培った思考力・判断力を活用する。 ・国語で培ってきた読解力・発表力を活用する。 ・歴史科目で学習した背景知識を関連づけて理解を深める。 ・英語で修得したした国際理解と関連づける。
7月	・現代の諸課題を考える(環境、SDGs)	6	① 知識・技能 ・SDGsの具体的な取り組みについて知る。 ② 思考・判断・表現 ・SDGsについて、新たな課題や解決策等をワークシートやノートに書いたり、発表しようとしている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・インターネットや新聞を活用し、SDGsの国・企業・学校・個人等の具体的な取り組みについて調べ、解決策を考えたり話し合おうとしている。	・小テスト ・ワークシート ・定期テスト ・書く、話すを中心 ・ワークシートを提出させ、取り組みの状況の判断材料として活用する。 ・新聞収集 ・ネット検索 ・発表 ・グループ意見交換や討議	SDGsを通して、持続可能な社会づくりについて学び、主体的に解決に取り組む具体策を自分の考えとして表現する。		新聞を読んだり、NHK等のニュースやドキュメンタリー番組を視聴して、その内容を理解し、自分の考えを発表したり、書いたり、さらに他人と話し合う活動を行う。	・総合的な探究の時間を通して培った思考力・判断力を活用する。 ・国語で培ってきた読解力・発表力を活用する。 ・歴史科目や地理で学習した背景知識を関連づけて理解を深める。 ・英語で修得したした国際理解と関連づける。 ・家庭科で学習した消費活動や環境問題と関連づける。
9月	・現代の諸課題を考える(文化と宗教、多様性)	8	① 知識・技能 ・多様性について具体的に知る。 ② 思考・判断・表現 ・多様性について、問題や解決策等をワークシートやノートに書いたり、発表しようとしている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・インターネットや新聞を活用し、多様性について調べ、問題や解決策を考えたり話し合おうとしている。	・小テスト ・ワークシート ・書く、話すを中心 ・ワークシートを提出させ、取り組みの状況の判断材料として活用する。 ・新聞収集 ・発表 ・グループ意見交換や討議	アイヌと沖縄の独自文化を通して文化の多様性について学び、自分の考えを表現する。		新聞を読んだり、NHK等のニュースやドキュメンタリー番組を視聴して、その内容を理解し、自分の考えを発表したり、書いたり、さらに他人と話し合う活動を行う。	・英語で修得したした国際理解と関連づける。 ・歴史科目や地理で学習した背景知識を関連づけて理解を深める。 ・総合的な探究の時間を通して培った思考力・判断力を活用する。 ・国語で培ってきた読解力・発表力を活用する。
			① 知識・技能 ・国際社会における紛争と難民問題について現状を具体的に知る。	・小テスト ・ワークシート ・定期テスト	アフガニスタンの復興に尽力した中村哲也氏の活動等を通して、紛争と難民問題について学び、その解決方法や平和な国際社会づくりの課題について		新聞を読んだり、NHK等のニュースやドキュメンタリー番組を視聴して、その内容を理解する。	・歴史科目と地理で学習した背景知識を関連づけて理解を深める。 ・英語で修得したした国際理解と関連づける。

10月	・現代の諸課題を考える(国際社会、平和)	8	<p>② 思考・判断・表現 ・紛争や難民問題が起こった原因を考え、新たな課題や解決策等をワークシートやノートに書いたり、発表しようとしている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・インターネットや新聞を活用し、紛争や難民問題について調べ、解決策や平和の尊さについて考えたり話し合おうとしている。</p>	<p>・書く、話すを中心 に言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、取り組みの 状況の判断材料として活用する。</p> <p>・新聞収集 ・ネット検索 ・発表 ・グループ意見交換 や討議</p>	<p>自分の考えを表現する</p>	<p>解し、自分の考え を発表したり、書 いたり、さらに他 者と話し合う活動 を行う。</p>	<p>・総合的な探究の時間 を通して培った思考力・判 断力を活用する。 ・国語で培ってきた読解 力・発表力を活用する。</p>
11月	・現代の諸課題を考える(生命倫理、家族)	6	<p>① 知識・技能 ・生命倫理の問題について現状を具体的に知る。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・生命倫理の問題が起こった原因を考え、新たな課題や解決策等をワークシートやノートに書いたり、発表しようとしている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・インターネットや新聞を活用し、生命倫理の問題について調べ、解決策とともに命の尊さや家族関係について考えたり話し合おうとしている。</p>	<p>・小テスト ・ワークシート</p> <p>・書く、話すを中心 に言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、取り組みの 状況の判断材料として活用する。</p> <p>・新聞収集 ・ネット検索 ・発表 ・グループ意見交換 や討議</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の 自宅療養者等の在宅死の問題 やA S L 患者の嘱託殺人等を 通して、生命倫理と家族関係 について学び、自分の考え を表現する。</p>	<p>新聞を読んだり、 NH K等のニュースやドキュメンタ リー番組を視聴し て、その内容を理 解し、自分の考え を発表したり、書 いたり、さらに他 者と話し合う活動 を行う。</p>	<p>・総合的な探究の時間 を通して培った思考力・判 断力を活用する。 ・国語で培ってきた読解 力・発表力を活用する。 ・歴史科目で学習した背 景知識を関連づけて理解 を深める。 ・家庭科で学習した家族 のあり方と関連づける。 ・情報の授業で学習した プライバシーの保護やセ キュリティーの知識を活 用する。</p>
12月	・現代の諸課題を考える(自由設定)	6	<p>① 知識・技能 ・これまで学習してきた内容をふまえ、新たな課題を自ら発見する。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・新たに発見した課題について、自ら問い合わせを立て 考えたり、ワークシートやノートに書いて表現し ようとしている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・新たに発見した課題について調べ、解決策を考 えたり、話し合おうとしている。</p>	<p>・小テスト ・ワークシート</p> <p>・書く、話すを中心 に言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、取り組みの 状況の判断材料として活用する。</p> <p>・新聞収集 ・ネット検索 ・発表 ・グループ意見交換 や討議</p>	<p>自分で課題を発見し、問題提起し、その解決のために必要な具体策を提案する。提案をレポートとしてまとめ、発表する。</p>	<p>新聞を読んだり、 NH K等のニュースやドキュメンタ リー番組を視聴し て、その内容を理 解し、自分の考え を発表したり、書 いたり、さらに他 者と話し合う活動 を行う。</p>	<p>・総合的な探究の時間 を通して培った思考力・判 断力を活用する。 ・国語で培ってきた読解 力・発表力を活用する。 ・歴史科目で学習した背 景知識を関連づけて理解 を深める。 ・英語で修得したした国 際理解と関連づける。 ・情報の授業で学習した プライバシーの保護や著 作権の知識を活用する。</p>
1月 ～ 3月	・現代の諸課題を考える(自由設定)	16	<p>① 知識・技能 ・他者が新たに発見した課題について知る。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・お互いが発見した課題について、新たな問い合わせを立てさらに考えを深めようとしている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・新たに発見した課題の解決策をグループで考 えたり、話し合おうとしている。</p>	<p>・小テスト ・ワークシート</p> <p>・書く、話すを中心 に言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、取り組みの 状況の判断材料として活用する。</p> <p>・新聞収集 ・ネット検索 ・発表 ・グループ意見交換 や討議</p>	<p>12月に発表した課題につい て、グループごとに協働しな がら議論と提案をより深め る。</p>	<p>新聞を読んだり、 NH K等のニュースやドキュメンタ リー番組を視聴し て、その内容を理 解し、自分の考え を発表したり、書 いたり、さらに他 者と話し合う活動 を行う。</p>	<p>・総合的な探究の時間 を通して培った思考力・判 断力を活用する。 ・国語で培ってきた読解 力・発表力を活用する。 ・歴史科目で学習した背 景知識を関連づけて理解 を深める。 ・英語で修得したした国 際理解と関連づける。 ・情報の授業で学習した プライバシーの保護や著 作権の知識を活用する。</p>
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
数学 I	3	単位制・普通科・1年	NEXT 数学 I (数研)			
科目的目標		数学的な見方・考え方を働きかせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)数と式、图形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2)命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、图形の構成要素間の関係に着目し、图形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表す、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 (3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論理に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
時期	単元・題材名	指導時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動
4月 ～ 5月	数と式	18	① 知識・技能 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算ができる。また2次の乗法公式及び因数分解の公式的理解を深め、不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、1次不等式の解を求めることができる。 ② 思考・判断・表現 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。また、不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、四則計算や因数分解、1次不等式を問題解決に活用しようとしている。	提出物 授業への取り組み方 単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて表現し、論理立てで説明する。 単元テスト 定期考査	・考えたことを板書し、論理立てで説明する。 ・班別の話し合い等を通して数学的な考察を深める。
6月	集合と命題	9	① 知識・技能 集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 ② 思考・判断・表現 集合の考え方を用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、集合や命題の考え方を問題解決に活用しようとしている。	提出物 授業への取り組み方 単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて表現し、論理立てで説明する。 単元テスト 定期考査	・考えたことを板書し、論理立てで説明する。 ・ICT機器等を利用してベン図等の式で集合を視覚的に表現する。 単元テスト 定期考査
6月 ～ 9月	2次関数	26	① 知識・技能 2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解し、最大値や最小値を求められる。また、2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められる。 ② 思考・判断・表現 2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察できる。また、2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えられる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 社会の事象を数学的に捉え、2つの数量の関係に着目し問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察しようとしている。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて表現し、論理立てで説明する。 ・ICT機器等を利用して2次関数の式を視覚的に表現する。	・考えたことを板書し、論理立てで説明する。 ・班別の話し合い等を通して数学的な考察を深める。
10月 ～ 1月	图形と計量	22	① 知識・技能 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解する。三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解する。また、正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 ② 思考・判断・表現 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くことができる。また、図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えることができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 社会の事象を数学的に捉え、三角比や正弦定理・余弦定理等を問題解決に活用しようとしている。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて表現し、論理立てで説明する。 ・ICT機器等を利用して三角比等を視覚的に把握する。	・考えたことを板書し、論理立てで説明する。 ・班別の話し合い等を通して数学的な考察を深める。
2月 ～ 3月	データの分析	12	① 知識・技能 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解している。コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。 ② 思考・判断・表現 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができ、目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 社会の事象を数学的に捉え、データの分析の手法を利用して問題解決に活用しようとしている。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて表現し、論理立てで説明する。 ・ICT機器等を利用してデータを視覚的に表現する。	・考えたことを板書し、論理立てで説明する。 ・班別の話し合い等を通して数学的な考察を深める。
指導時間数の計		87				

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
数学A	2	単位制・普通科・1年	NEXT 数学A(数研)			
科目的目標		数学的な見方・考え方を働きかせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようとする。 (2)図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。 (3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論理に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
時期	単元・題材名	指導時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動 各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月 ～ 7月	場合の数と確率	23	① 知識・技能 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求められる。 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求める。 ② 思考・判断・表現 確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察できる。 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、場合の数や確率を問題解決に活用しようとしている。	提出物 授業への取り組み方 単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて表現し、論理立てで説明する。 ・ICT機器等を利用してペン図等の式で集合を視覚的に表現する。	・考えたことを板書し、論理立てで説明する。 ・班別の話し合い等を通して数学的な考察を深める。
9月 ～ 12月	図形の性質	24	① 知識・技能 三角形や円に関する基本的な性質について理解できる。 空間図形に関する基本的な性質について理解できる。 ② 思考・判断・表現 集合の考え方を用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、新しい関係性を見出し、平面図形や空間図形を問題解決に活用しようとしている。	提出物 授業への取り組み方 単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて表現し、論理立てで説明する。 ・ICT機器等を利用して图形を視覚的に表現する。	・考えたことを板書し、論理立てで説明する。 ・班別の話し合い等を通して数学的な考察を深める。
1月 ～ 3月	数学と人間の活動	23	① 知識・技能 数量や图形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解することができる。 数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについての理解を深められる。 ② 思考・判断・表現 数量や图形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察することができる。 パズルなどに数学的な要素を見いだし、目的に応じて数学を活用して考察することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、2つの数量の関係に着目し問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察しようとしている。	提出物 授業への取り組み方 単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて表現し、論理立てで説明する。 ・ICT機器等を利用して視覚的に学習内容を表現する。	・考えたことを板書し、論理立てで説明する。 ・班別の話し合い等を通して数学的な考察を深める。
指導時間数の計		70				

科目名	単位数	課程・学科・学年		使用教科書名（出版社）			
数学II	4	全日制・普通科・2年次		NEXT 数学II（数研出版）			
科目的目標		○いろいろな式、図形と方程式、指數関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。(知識・技能) ○数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。(思考力・表現力・判断力) ○数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。					
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月	第1章 式と証明 1. 3次式の展開と因数分解 2. 二項定理 3. 多項式の割り算	7	① 知識・技能 ・公式を利用して3次式の展開ができる。 ・二項定理を利用して、展開式やその項の係数を求めることができる。割り算で成り立つ等式を理解し、利用することができる。 ② 思考・判断・表現 ・式の形に着目して公式を適用できる形に変形し、多項式を因数分解できる。 ・ $(a+b+c)^n$ について、式を1つのまとまりと見ることで、二項定理を活用して展開式の項の係数を求めることができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・因数分解する方法を複数考え、それらを比較したり、結果が同じになることを確認したりしようとする。 ・多項式の割り算および割り算で成り立つ等式を整数の割り算についてのものと比較して理解し、余りの次数にも注意して積極的に考察し、活用しようとする。	単元テスト 定期試験 提出課題	・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通した課題解決活動 ・単元テストを用いた習熟度確認	・ペアワーク ・グループ活動 ・発表	情報科
5月	第1章 式と証明 4. 分数式とその計算 5. 恒等式 6. 等式の証明 7. 不等式の証明 演習問題 第2章 複素数と方程式 1. 複素数とその計算	15	① 知識・技能 ・恒等式と方程式の違いを理解している。 ・等式、不等式の証明をすることができる。 (実数の性質、相加平均相乗平均等) ・複素数に関する用語の定義を理解している。 ・共役複素数の定義を理解し、それを利用して複素数の除法の計算ができる。	単元テスト 定期試験 提出課題	・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通した課題解決活動 ・単元テストを用いた習熟度確認	・ペアワーク ・グループ活動 ・発表	情報科
6月	2. 2次方程式の解 3. 解と係数の関係 4. 剰余の定理と因数定理 5. 高次方程式 演習問題 第3章 図形と方程式 1. 直線上の点 2. 平面上の点	16	① 知識・技能 ・複素数の範囲で2次方程式を解くことができる。 ・2次方程式の解を利用して、2次式を因数分解できる。 ・因数定理について理解し、それを利用して高次式を因数分解できる。 ・座標平面上の線分の内分点、外分点の座標を求めることができる。	単元テスト 定期試験 提出課題	・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通した課題解決活動 ・単元テストを用いた習熟度確認	・ペアワーク ・グループ活動 ・発表	情報科
7月	3. 直線の方程式 4. 2直線の関係 演習問題	10	① 知識・技能 ・与えられた条件を満たす直線の方程式を求めることができる。 ・2直線の平行・垂直条件を理解し、それを利用できる。 ・点と直線の公式を理解し、それを利用して距離を求めることができる。	単元テスト 定期試験 提出課題	・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通した課題解決活動 ・単元テストを用いた習熟度確認	・ペアワーク ・グループ活動 ・発表	情報科

		<p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・x、yの方程式が座標平面上で图形を表すということの意味を理解しようとして、点の集合が图形を表すことを正しく認識する。 ・直線の方程式の公式を、直線が1つに定まる条件としてとらえようとする。 ・2直線の関係を、傾きに着目して考察しようとする。</p>	単元テスト 定期試験 提出課題				
9月	5. 円の方程式 6. 円と直線 7. 2つの円 8. 軌跡と方程式 9. 不等式の表す領域 問題演習	18	<p>① 知識・技能 ・x、yの2次方程式を変形して、その方程式が表す图形を調べることができる。 ・円外の点から引いた接線の方程式を求めることができる。 ・軌跡の定義を理解し、与えられた条件を満たす点の軌跡を求めることができる。 ・直線、円を境界線とする領域を図示することができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・2点を直径の両端とする円について、中心と半径に着目して、方程式を求めることができる。 ・円と直線の共有点の個数を、2次方程式の実数解の個数から考察することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・3点を通る円が1つに定まるということに興味をもち、三角形の外接円や、2点を通る円の集まりなどを考察することで理解しようとする。 ・線形計画法について、詳しく考察し、理解しようとする。</p>	単元テスト 定期試験 提出課題	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の例題等を用いた問題演習 グループ活動を通した課題解決活動 単元テストを用いた習熟度確認 	ペアワーク グループ活動 発表	情報科
10月	第4章 三角関数 1. 角の拡張 2. 三角関数 3. 三角関数の性質 4. 三角関数のグラフ 5. 三角関数の応用 問題演習問題	15	<p>① 知識・技能 ・一般角について理解し、一般角を表す動径を図示できる。 ・弧度法の定義を理解し、度数法と弧度法の換算ができる。また、動径が表す角について弧度法で考えることができる。 ・三角関数の相互関係を理解し、それらを利用して様々な値を求めたり、式変形をしたりすることができる。 ・周期性や漸近線など、三角関数のグラフの特徴を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・三角関数の性質を、単位円を用いて考察することができる。 ・複数ある三角関数の性質について、適切なものを判断して利用し、三角関数の値を求めることができる。 ・三角関数を含む関数について、$\sin \theta = t$とおいたときのtの範囲にも注意して最大値・最小値を求めることができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・三角比の相互関係について、既習である円の方程式と関連付けて、多面的に考察しようとする。 ・三角関数のグラフについて、コンピュータを用いるなどして積極的に考察しようとする。 ・三角関数を含む関数で$\sin \theta = t$とおいたとき、θの動きとtの動きを関連付けて、関数の値の変化を考察し、理解しようとする。</p>	単元テスト 定期試験 提出課題	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の例題等を用いた問題演習 グループ活動を通した課題解決活動 単元テストを用いた習熟度確認 	ペアワーク グループ活動 発表	情報科
11月	6. 加法定理 7. 加法定理の応用 第5章 指数関数と対数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数 問題演習	16	<p>① 知識・技能 ・公式を利用して、やや複雑な三角関数を含む方程式・不等式を解くことができる。 ・指数が整数の場合の累乗の定義を理解し、累乗の計算や、指数法則を用いた計算をることができます。 ・指数関数のグラフの特徴を理解し、グラフをかくことができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・三角関数の合成を用いて式を変形することで、既習の形に帰着し、関数の最大値・最小値を求めたり、方程式を解いたりすることができる。 ・指数関数の増減によって、数の大小関係を考察することができます。 ・指数方程式・指数不等式を解くことができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・加法定理を利用して、様々な公式を導出・証明しようとする。 ・0乗、負の整数乗、分数乗は、指数法則が成り立つように定義されていることを理解し、その定義について考察しようとする。 ・負の数のn乗根に興味をもち、その値が存在するかどうかを含めて具体的に考察しようとする。</p>	単元テスト 定期試験 提出課題	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の例題等を用いた問題演習 グループ活動を通した課題解決活動 単元テストを用いた習熟度確認 	ペアワーク グループ活動 発表	情報科 生物(細胞分裂) 地学(地震・星の等級)
12月	3. 対数とその性質 4. 対数関数 5. 常用対数 問題演習	11	<p>① 知識・技能 ・対数の定義を理解し、対数の値を求めることができる。 ・対数の性質に基づいて、種々の対数の値の計算ができる。 ・対数関数のグラフの特徴を理解し、グラフをかくことができる。 ・正の数を$a \times 10^n$の形に表して、常用対数表を用いて対数の値を求めることができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・対数関数の増減によって、数の大小関係を考察することができます。 ・対数関数を含む少し複雑な方程式・不等式を解くことができる。 ・おき換えによって既知の問題に帰着することで、対数関数を含む関数の最大値・最小値を求めることができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・対数関数を含む方程式・不等式について、真数が正であるという条件について、その解との関係をもとに考察しようとする。</p>	単元テスト 定期試験 提出課題	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の例題等を用いた問題演習 グループ活動を通した課題解決活動 単元テストを用いた習熟度確認 	ペアワーク グループ活動 発表	情報科 生物(細胞分裂) 地学(地震・星の等級)
	第6章 微分法と積分法		<p>① 知識・技能 ・公式を用いて関数の導関数を求めることができる。 ・導関数の性質を利用して、種々の導関数の計算ができる。 ・導関数を利用して、関数の極値を求めたり、グラフをかいたりすることができる。</p>	単元テスト 定期試験 提出課題	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の例題等を用いた問題演習 グループ活動を通した課題解決活動 単元テストを用いた習熟度確認 	ペアワーク グループ活動 発表	情報科 物理科

1月	1. 微分の応用 2. 導関数とその計算 3. 接線の方程式 4. 関数の増減と極大・極小 演習問題	11	② 思考・判断・表現 ・曲線外の点Cから曲線に接線を引くとき、接点Aにおける接線が点Cを通ると読み替えて、接線の方程式を求めることができる。	単元テスト 定期試験 提出課題	確認		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・図をかいたりコンピュータを利用したりするなどして、微分係数の图形的な意味を積極的に考察しようとする。 ・接線の方程式について、微分係数だけでなく、2次方程式が重解をもつという条件も合わせ、多面的に考察しようとする。	単元テスト 定期試験 提出課題			
2月	5. 関数の増減・グラフの応用 6. 不定積分 7. 定積分 演習問題	11	① 知識・技能 ・導関数を利用して、関数の最大値・最小値を求めることができる。 ・定積分の定義を理解し、定積分を計算することができる。	単元テスト 定期試験 提出課題	・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通した課題解決活動	・ペアワーク ・グループ活動 ・発表	情報科 物理科
			② 思考・判断・表現 ・方程式の実数解の個数を、関数のグラフとx軸の共有点の個数に読み替えて考察できる。 ・不等式 $f(x) \geq 0$ を関数 $y=f(x)$ の最小値が0以上と読み替え、不等式を証明することができる。 ・上端がxである定積分を、xの関数と捉えて問題を解決することができる。	単元テスト 定期試験 提出課題	・単元テストを用いた習熟度確認		
3月	8. 定積分と面積 演習問題	10	③ 主体的に学習に取り組む態度 ・最大値・最小値の条件から定義域を自由に定め、それから一般的な性質を導き出そうとする。 ・数学の事象や日常の事象について、関数を用いて解決しようとする。	単元テスト 定期試験 提出課題			
			① 知識・技能 ・グラフとx軸の間の面積を、定積分で表して求めることができる。 ・2曲線の間の面積を、定積分で表して求めることができる。	単元テスト 定期試験 提出課題	・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通した課題解決活動	・ペアワーク ・グループ活動 ・発表	情報科 物理科
指導時間数の計		140					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
数学B	2	全日制・普通科・2年次	NEXT数学B(数研出版)				
科目的目標		数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようとする。 (2)離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 (3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論理に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。					
時期	単元・題材名	指導時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に關わる他教科等との関連
4月	第1節 等差数列と等比数列 1. 数列と一般項 2. 等差数列 3. 等差数列の和	6	① 知識・技能 数列の一般項の意味を理解し、一般項から各項を求めることができる。また、ある規則で並んだ数列の一般項をnの式で表すことができる。 等差数列を理解し、具体的に求めることができる。 等差数列の和の公式を導出する過程を理解し、公式を用いて等差数列の和を求めることができる。 ② 思考・判断・表現 数列の一般項を表す式を、定義域が自然数であるnの関数と捉え、新しい概念である数列を、既習の関数と関連付けて考察できる。 数列が等差数列であることの証明について、それが正しい理由を式の特徴と関連付けて説明できる。 項の正負と数列の和の増減の関係から、等差数列の和の最大、最小について考察することができる。 数列の和の増減を、関数の増減と捉えて考察し、項の正負を用いた考察との違いや関連を説明することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 数の並び方に興味をもち、その規則性を発見しようとする意欲がある。 数列の特徴を、隣り合う2項の関係に着目して考察しようとする。 数列の一般項の式の形や係数の意味に興味をもち、考察する。ガウスの逸話も含め、等差数列の和を求める過程に興味をもつ。 等差数列の和の公式を用いて、奇数の和について成り立つ等式を証明しようとする。	単元テスト 定期試験 提出課題	・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通じた課題解決活動 ・単元テストを用いた習熟度確認	・ペアワーク ・グループ活動 ・発表	理科 情報科
5月	第1節 等差数列と等比数列 4. 等比数列 5. 等比数列の和	5	① 知識・技能 等比数列の定義と公比について理解し、等比数列の項を求めることができる。 等比数列の一般項の求め方を理解し、具体的に求めることができる。 等比数列の和の公式を導出する過程を理解し、公式を用いて等比数列の和を求めることができる。 ② 思考・判断・表現 条件から等比数列の一般項を決定できる。 等比数列の隣り合う2項の関係から具体的な項を求めることができる。 等比数列の和の条件から初項や公比を求めることができる。またその際、式の特徴を活かして適切に変形したり、式の意味を読み取ったり表現したりできる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 数列の特徴を、隣り合う2項の関係に着目して考察しようとする。また、等比数列を、等差数列と比較しながら考察しようとする。 複利計算について興味をもち、積み立て額や利率を変えたときに、元利合計がどのように変わるのが、その特徴を主体的に調べようとする。	単元テスト 定期試験 提出課題	・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通じた課題解決活動 ・単元テストを用いた習熟度確認	・ペアワーク ・グループ活動 ・発表	理科 情報科
6月	第2節 いろいろな数列 6. 和の記号 Σ 7. 階差数列 8. いろいろな数列の和	8	① 知識・技能 自然数の累乗の和を求めることができる。 和の記号 Σ の意味を理解し、それを用いて和を求めることができる。 階差数列からもとの数列の具体的な項を求めることができる。 階差数列から数列の一般項が求められる仕組みを理解し、具体的に一般項を求めることができる。数列の和と一般項の関係を理解し、和から一般項を求めることができる。 ② 思考・判断・表現 1つの和を、 Σ を用いて様々な方法で表現することができる。 数列の第k項をkの式で表すことで、 Σ を用いて数列の和を求めることができる。 数列の和と一般項の関係を、数列と階差数列の関係と対応させて捉えることができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 自然数の和の公式を用いて自然数の2乗の和の公式が導けることに興味をもち、自然数の3乗の和の公式を導こうとする。また、さらに高い次数の累乗の和の公式についても考察しようとする。	単元テスト 定期試験 提出課題	・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通じた課題解決活動 ・単元テストを用いた習熟度確認	・ペアワーク ・グループ活動 ・発表	生物 情報科
6月 ～ 7月	第3節 漸化式と数学的帰納法 9. 漸化式 10. 数学的帰納法	8	① 知識・技能 初項と漸化式から数列のすべての項が定まることを理解している。 漸化式の意味を理解し、数列の具体的な項を求めることができる。 基本的な漸化式からどのような数列であるか読み取り、一般項を求めることができる。 すべての自然数について命題が成り立つことが、数学的帰納法を用いて証明できる仕組みを理解し、数学的帰納法を用いて証明ができる。 ② 思考・判断・表現 複雑な漸化式を、おき換えなどを用いて既知の漸化式に帰着して考えることができる。 具体的な事象について、漸化式を求めて考察することができる。 命題の証明について、数学的帰納法の仕組みからその方法を考察することができる。 数学的帰納法で証明した命題について、別の方法で証明してそれらを比較するなど、多面的に考察することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 一般項による方法以外にも数列の項を定める方法があることに興味をもち、それらの共通点や相違点などを考察しようとする。 階差数列を用いる方法でも一般項を求めようとし、それらの関係や一般的な性質を考察しようとする。 具体的な事象の考察に、漸化式を積極的に活用しようとする。様々な命題の証明に数学的帰納法を活用しようとする態度がある。	単元テスト 定期試験 提出課題	・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通じた課題解決活動 ・単元テストを用いた習熟度確認	・ペアワーク ・グループ活動 ・発表	理科 情報科

9月 10月	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 1. 確率変数と確率分布 2. 確率変数の期待値と分散 3. 確率変数の和と積	10	① 知識・技能 確率変数や確率分布について、用語の意味を理解している。 簡単な試行について、確率変数の確率分布を求めることができる。 確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる。 また、分散と期待値の公式を用いて求めることができる。 同時分布の意味を理解し、2つの確率変数の同時分布を求めることができる。 確率変数の和の期待値を、公式を用いて求め POSSIBILITY 1 期待値、和の分散を、公式を用いて求め POSSIBILITY 1 ② 思考・判断・表現 確率変数の分散、標準偏差の意味を理解し、分布の特徴について判断することができる。 具体的な事象から確率変数を求め、その期待値について考察する POSSIBILITY 1 ③ 主体的に学習に取り組む態度 確率変数の期待値、分散に関する種々の公式を、その定義や既知の公式を用いて導こうとする。 確率変数の期待値について、公式を用いる方法と用いない方法を比較して検討しようとする。	単元テスト 定期試験 提出課題	・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通じた課題解決活動 ・単元テストを用いた習熟度確認	・ペアワーク ・グループ活動 ・発表	情報科
			① 知識・技能 3つ以上の独立な確率変数の和や積の期待値、分散を、公式を用いて求めることができる。 二項分布に従う確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる。 標準正規分布の期待値、分散について、既知の公式を用いて証明することができる。 連続型確率変数について、離散型確率変数との違いに注目して捉えようとする。 標準正規分布に従う確率変数について、正規分布表を用いて確率を求める POSSIBILITY 1 二項分布を正規分布で近似して、確率を求める POSSIBILITY 1 一般的な連続型確率分布に従う確率変数について、定積分を用いて期待値と分散を求める POSSIBILITY 1	単元テスト 定期試験 提出課題	・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通じた課題解決活動 ・単元テストを用いた習熟度確認	・ペアワーク ・グループ活動 ・発表	情報科
			② 思考・判断・表現 具体的な事象を二項分布として捉え、考察することができる。 標準正規分布の期待値、分散について、既知の公式を用いて証明することができる。 標準正規分布に従う確率変数の確率について、分布曲線の特徴に関連付けて説明できる。 正規分布に従う確率変数の確率についての等式を、言葉で正確に表現することができる。 正規分布を活用して現実のデータについて考察することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 2つの確率変数の確率分布が等しいことに興味をもち、その意味を解釈しようとする。 2つの確率変数の和や積の期待値、分散に関する種々の公式を、確率変数が独立であるかどうかに注意しながら導こうとする。 連続型確率変数について、離散型確率変数との違いに注目して捉えようとする。 現実のデータが正規分布に近い分布になることがあることに興味をもち、様々なデータについて考察しようとする。 二項分布について、試行の回数nを大きくしたときの分布曲線の変化をコンピュータで見るなどして、正規分布に近づいていく様子を自ら確かめようとする。	単元テスト 定期試験 提出課題	・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通じた課題解決活動 ・単元テストを用いた習熟度確認	・ペアワーク ・グループ活動 ・発表	情報科
11月	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 4. 二項分布 5. 正規分布	8	① 知識・技能 全数調査と標本調査について理解している。 無作為標本の抽出ができる。 母集団分布について理解し、母平均や母標準偏差を求めることができる。	単元テスト 定期試験 提出課題	・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通じた課題解決活動 ・単元テストを用いた習熟度確認	・ペアワーク ・グループ活動 ・発表	情報科
			② 思考・判断・表現 適切な無作為抽出の方法について理解し、不適切な抽出方法について、その理由を説明できる。 標本の大きさnを大きくしたとき、標本平均がどのような分布になるか、直感的に理解した上で、標準偏差の式と関連付けて説明することができる。 大数の法則について理解し、標本の大きさnが大きくなるときの標本平均の分布の変化の様子について説明できる。	単元テスト 定期試験 提出課題	・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通じた課題解決活動 ・単元テストを用いた習熟度確認	・ペアワーク ・グループ活動 ・発表	情報科
			③ 主体的に学習に取り組む態度 現実に行われている様々な調査が全数調査か標本調査か、またその方法を採用しているのはなぜかに興味をもち、それぞれの調査の特徴を調べたり考えたりしようとする。 標本比率が二項分布に従う仕組みを理解し、正規分布で近似することで標本比率についての確率を求める POSSIBILITY 1	単元テスト 定期試験 提出課題	・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通じた課題解決活動 ・単元テストを用いた習熟度確認	・ペアワーク ・グループ活動 ・発表	情報科
12月	第2章 統計的な推測 第2節 統計的な推測 6. 母集団と標本 7. 標本平均の分布	6	① 知識・技能 信頼区間の意味を正確に理解している。 母平均、母比率に対する信頼区間を求める POSSIBILITY 1 仮説検定の意味を理解し、正規分布を用いた仮説検定ができる。 棄却域を求める方法で仮説検定ができる。	単元テスト 定期試験 提出課題	・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通じた課題解決活動 ・単元テストを用いた習熟度確認	・ペアワーク ・グループ活動 ・発表	情報科
			② 思考・判断・表現 信頼度95%の信頼区間の求め方やその意味をもとに、信頼度99%の信頼区間を求める POSSIBILITY 1 また、その意味について信頼区間の幅をもとに説明する POSSIBILITY 1 片側検定と両側検定の違いを理解し、どちらの検定をするか正しく判断できる。	単元テスト 定期試験 提出課題	・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通じた課題解決活動 ・単元テストを用いた習熟度確認	・ペアワーク ・グループ活動 ・発表	情報科
			③ 主体的に学習に取り組む態度 母平均や母比率の推定について、信頼区間の幅と標本の大きさや信頼度との関係を考察し、それをもとに実際に適切な推定を行おうとする。 仮説検定によって様々な判断ができることに興味をもち、現実の問題の解決に役立てようとする。	単元テスト 定期試験 提出課題	・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通じた課題解決活動 ・単元テストを用いた習熟度確認	・ペアワーク ・グループ活動 ・発表	情報科
1月 2月	第2章 統計的な推測 第2節 統計的な推測 8. 推定 9. 仮説検定	6	① 知識・技能 信頼区間の意味を正確に理解している。 母平均、母比率に対する信頼区間を求める POSSIBILITY 1 仮説検定の意味を理解し、正規分布を用いた仮説検定ができる。 棄却域を求める方法で仮説検定ができる。	単元テスト 定期試験 提出課題	・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通じた課題解決活動 ・単元テストを用いた習熟度確認	・ペアワーク ・グループ活動 ・発表	情報科

					情報科 地歴公民 体育 理科
2月 3月	第3章 数学と社会生活 1. 数学を活用した問題解決 2. 社会の中にある数学 3. 時系列データと移動平均 4. 回帰分析によるデータの分析	13	<p>① 知識・技能 日常生活における問題や社会問題を数学的に考察するために、問題を単純にするような仮定が必要であることを理解している。 数学的に問題を解決するのに必要な数値や関数は、調査結果を用いて妥当な値を仮定できることを理解している。 トリム平均の特徴から、スポーツの採点競技にトリム平均を用いる理由を考察できる。 変量xと変量y=ax+bの平均値、分散、標準偏差の関係を証明できる。 移動平均を用いると長期的な変化の傾向が調べやすくなることを理解している。 移動平均を求めて折れ線グラフに表すことができる。 散布図について理解し、傾向を読み取ることができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 問題解決の過程や結果の妥当性について批判的に考察し、別の仮定を立てて考察することができる。 問題の解決に関数を活用することができます。 問題を解決するのに、グラフを活用することができます。 1日ごとに変化する量について、漸化式を活用して考察できる。 議席の割り振り方について、議席総数を変更したときの変化に注目し、その特徴を考察できる。 周期的に増減するデータでは、移動平均をとる期間をその周期に一致させるとよいことを、その理由とともに理解している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 社会生活における問題について、学んだ方法を積極的に活用し、主体的かつ対話的に問題を解決しようとする。 議席を割り振る方法に興味をもち、その方法を調べたりそれぞれの特徴を比較したりしようとする。 社会生活で用いられている数学に興味をもち、自らそれを探したり考察したりしようとする姿勢がある。 時系列データを分析するのに、移動平均を、その正しい理解のもとに積極的に活用しようとする。 回帰分析を活用して、積極的にデータを分析したり予測したりしようとする。</p>	<p>単元テスト 定期試験 提出課題</p> <p>単元テスト 定期試験 提出課題</p> <p>単元テスト 定期試験 提出課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアワーク ・グループ活動 ・発表
指導時間数の計	70				

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
数学Ⅱ	3	全日制・普通科・3年次	NEXT数学Ⅱ			
科目的目標	各領域における概念を形成し、原理・法則についての理解をいっそう深め、数学的な表現力や論理的な思考力を高めるとともに、事象の考察における探求的な態度と創造的な能力を養う。					
時期	単元・題材名	指導時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動
4月	式と証明	10	① 知識・技能 二項定理を用いて式の展開や因数分解ができる。多項式の割り算や分数式の計算ができる。恒等式と方程式の違いを理解し、そこにある基本的な概念、原理・法則など基礎的な知識を身につけている。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てで説明する。	考えたことを板書し、論理立てで説明する。
			② 思考・判断・表現 多項定理などを理解し、式の展開について活用することができる。恒等式の性質を理解し、それを用いて問題解決に使用できる。	単元テスト 定期考査		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 学習する定理の有用性を認識し、解法に活用しようとしている。	提出物 授業への取り組み方		
5月	複素数と方程式	10	① 知識・技能 虚数の定義を覚え、規則に沿った計算ができる。剩余の定理や因数定理を理解し、高次方程式が解ける。基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、知識を身につけている。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てで説明する。	考えたことを板書し、論理立てで説明する。
			② 思考・判断・表現 解と係数の関係や組立除法の仕組みを理解し、それらを使って、多くの問題に対して考察し活用することができる。	単元テスト 定期考査		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用すること。	提出物 授業への取り組み方		
6月	図形と方程式	10	① 知識・技能 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すこと。座標平面上の直線や円を方程式で表すこと。不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすること。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てで説明する。	考えたことを板書し、論理立てで説明する。
			② 思考・判断・表現 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。	単元テスト 定期考査		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 数量と図形との関係などに着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、軌跡や不等式の表す領域を座標平面上に表すなどして、問題解決に活用したりすること。	提出物 授業への取り組み方		
7月	三角関数	10	① 知識・技能 三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解すること。三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解すること。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てで説明する。	考えたことを板書し、論理立てで説明する。
			② 思考・判断・表現 三角関数に関する様々な性質について考察するとともに、三角関数の加法定理から新たな性質を導くこと。	単元テスト 定期考査		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	提出物 授業への取り組み方		
9月	指数関数と対数関数	10	① 知識・技能 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすること。対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をするこ。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てで説明する。	考えたことを板書し、論理立てで説明する。
			② 思考・判断・表現 指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察すること。	単元テスト 定期考査		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	提出物 授業への取り組み方		
10月 ～ 11月	微分法	10	① 知識・技能 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求める。導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解すること。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てで説明する。	考えたことを板書し、論理立てで説明する。
			② 思考・判断・表現 関数とその導関数との関係について考察すること。	単元テスト 定期考査		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 関数の局所的な変化に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	提出物 授業への取り組み方		
12月 ～ 1月	微分法・積分法	10	① 知識・技能 不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求める。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てで説明する。	考えたことを板書し、論理立てで説明する。
			② 思考・判断・表現 微分と積分の関係に着目し、積分の考え方を用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察すること。	単元テスト 定期考査		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 微分と積分の意味を理解し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	提出物 授業への取り組み方		

指導時間数の計	70
---------	----

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
数学III	5	全日制・普通科・3年次	NEXT数学III(教研出版)				
科目的目標	極限、微分法及び積分法について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。						
時期	単元・題材名	指導時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動 各教科等横断的な 資質・能力の育成に 関わる他教科等との 関連	
4月～ 5月	第1章 関数 第2章 極限	30	① 知識・技能 数列の極限や関数の値の極限について理解すること。簡単な分数関数と無理関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。合成関数や逆関数の意味を理解し、簡単な場合についてそれらを求める。 ② 思考・判断・表現 式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりして、極限を求める方法を考察すること。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 数列や関数の値の極限に着目し、事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書し、論理立てて説明する。	
6月	第3章 微分法	25	① 知識・技能 微分可能性、関数の積及び商の導関数について理解し、関数の和、差、積及び商の導関数を求める。合成関数の導関数について理解し、それを求めること。三角関数、指数関数及び対数関数の導関数について理解し、それらを求める。 ② 思考・判断・表現 導関数の定義に基づき、三角関数、指数関数及び対数関数の導関数を考察すること。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 関数の連続性と微分可能性、関数とその導関数や第2次導関数の関係について考察すること。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書し、論理立てて説明する。	
7月～ 11月	第4章 微分法の応用	55	① 知識・技能 導関数を用いて、いろいろな曲線の接線の方程式を求めたり、いろいろな関数の値の増減、極大・極小を求められるようにすること。 ② 思考・判断・表現 グラフの凹凸などを調べグラフの概形をかいたりすること。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 関数の局所的な変化や大域的な変化に着目し、事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書し、論理立てて説明する。	
12月 ～ 3月	第5章 積分法とその応用	65	① 知識・技能 不定積分及び定積分の基本的な性質についての理解を深め、それらを用いて不定積分や定積分を求める。 ② 思考・判断・表現 関数の式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりして、いろいろな関数の不定積分や定積分を求める方法について考察すること。極限や定積分の考え方を基に、立体の体積や曲線の長さなどを求める方法について考察すること。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 微分と積分との関係に着目し、事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書し、論理立てて説明する。	
指導時間数の計		175					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
数学C	2	全日本制・普通科・第3年次	NEXT数学C(数研出版)			
科目的目標		ベクトル、平面上の曲線と複素数平面について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動
4月 5月 6月	第1章 平面上のベクトル	17	① 知識・技能 平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示について理解すること。ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解すること。 ② 思考・判断・表現 実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察すること。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルやその内積の考え方を問題解決に活用すること。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てで説明する。	考えたことを板書し、論理立てで説明する。
7月 9月	第2章 空間のベクトル	18	① 知識・技能 座標及びベクトルの考え方が平面から空間に拡張できることを理解すること。 ② 思考・判断・表現 ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、平面図形や空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりすること。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルやその内積の考え方を問題解決に活用すること。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てで説明する。	考えたことを板書し、論理立てで説明する。
10月 11月	第3章 複素数平面	17	① 知識・技能 複素数平面と複素数の極形式、複素数の実数倍、和、差、積及び商の図形的な意味を理解すること。ド・モアブルの定理について理解すること。 ② 思考・判断・表現 複素数平面における図形の移動などと関連付けて、複素数の演算や累乗根などの意味を考察すること。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて複素数平面の考え方を問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てで説明する。	考えたことを板書し、論理立てで説明する。
12月 1月	第4章 式と曲線	18	① 知識・技能 放物線、橢円、双曲線が二次式で表されること及びそれらの二次曲線の基本的な性質について理解すること。曲線の媒介変数表示について理解すること。 ② 思考・判断・表現 放物線、橢円、双曲線を相互に関連付けて捉え、考察すること。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて媒介変数や極座標の考え方を問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てで説明する。	考えたことを板書し、論理立てで説明する。
指導時間数の計		70				

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
数学探究Ⅰ	2	全日制・普通科・3年次(文系)	ニューアクションフロンティア数学Ⅰ・A (東京書籍)			
科目的目標	数学における基本的な概念の形成と原理・法則の系統的な理解を通して、数学的な見方や考え方の良さを認識し、基礎的な知識の習得と技能の習熟をはかるとともに、それらを的確に活用する能力を伸ばす。					
時期	単元・題材名	指導時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動 各教科等横断的な資質・能力の育成に関する他教科等との関連
4月 ～ 5月	方程式と不等式	14	① 知識・技能 数学的活動を通して、方程式と不等式における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけています。式の展開や因数分解をすることや、不等式の解を求めることができる。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。 考えたことを論理立てて記述する。	
			② 思考・判断・表現 式の展開や因数分解、数の体系、不等式を考察したり、その過程を振り返ったりして、事象の考察に活用することができる。	単元テスト 定期考査		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 式の計算や不等式などに関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。	提出物 授業への取り組み方		
6月	集合と論証	7	① 知識・技能 いろいろな集合や命題を表現したり、命題を証明したりすることができます。集合と論証に関する基本的な概念を理解し、知識を身につけています。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。 考えたことを論理立てて記述する。	論理国語
			② 思考・判断・表現 いろいろな集合や命題を考察したり、その過程を振り返ったりして、事象の考察に活用することができる。	単元テスト 定期考査		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 集合と論証に関心をもつとともにその有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。	提出物 授業への取り組み方		
6月 ～ 9月	2次関数	21	① 知識・技能 2次関数を用いて事象を表現・処理する技能を身につけています。2次関数に関する基本的な概念を理解し、知識を身につけています。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。 考えたことを論理立てて記述する。	物理
			② 思考・判断・表現 2次関数を用いて事象を考察し表現したり、その過程を振り返ったりすることなどを通して、関数的な見方や考え方を身につけています。	単元テスト 定期考査		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 2次関数に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。	提出物 授業への取り組み方		
10月 ～ 1月	図形と計量	21	① 知識・技能 三角比を用いて事象を表現・処理する技能を身につけています。三角比に関する基本的な性質を理解し、知識を身につけています。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。 考えたことを論理立てて記述する。	物理
			② 思考・判断・表現 三角比を用いて事象を考察し表現したり、その過程を振り返ったりすることなどを通して、角の大きさなどを用いて計量を行うための数学的な見方や考え方を身につけています。	単元テスト 定期考査		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 三角比に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。	提出物 授業への取り組み方		
2月 ～ 3月	データの分析	7	① 知識・技能 データを用いて事象を表現・処理する方法や、データの傾向を把握する技能を身につけています。データの分析に関する基本的な概念を理解し、知識を身につけています。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。 考えたことを論理立てて記述する。	情報Ⅰ
			② 思考・判断・表現 データの分布の特徴を考察し表現したり、その過程を振り返ったりすることなどを通して、データを分析するための数学的な見方や考え方を身につけています。	単元テスト 定期考査		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 データの代表値や散らばり、相関に関心をもち、それらを事象の考察に活用しようとしている。	提出物 授業への取り組み方		
指導時間数の計		70				

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
数学探究Ⅱ	2	全日制・普通科・3年次(文系)	ニューアクションフロンティア数学Ⅱ・B(東京書籍)			
科目の目標		各領域における概念を形成し、原理・法則についての理解をいっそう深め、数学的な表現力や論理的な思考力を高めるとともに、事象の考察における探求的な態度と創造的な能力を養う。				
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価標準>	評価方法	学習活動	主な言語活動
4月	式と証明	10	① 知識・技能 二項定理を用いて式の展開や因数分解ができる。多項式の割り算や分数式の計算ができる。恒等式と方程式の違いを理解し、そこにある基本的な概念、原理・法則など基礎的な知識を身につけている。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てで説明する。	考えたことを板書し、論理立てで説明する。
			② 思考・判断・表現 多項定理などを理解し、式の展開について活用することができる。恒等式の性質を理解し、それを用いて問題解決に使用できる。	単元テスト 定期考査		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 学習する定理の有用性を認識し、解法に活用しようとしている。	提出物 授業への取り組み方		
5月	複素数と方程式	10	① 知識・技能 虚数の定義を覚え、規則に沿った計算ができる。剩余の定理や因数定理を理解し、高次方程式が解ける。基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、知識を身につけている。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てで説明する。	考えたことを板書し、論理立てで説明する。
			② 思考・判断・表現 解と係数の関係や組立除法の仕組みを理解し、それを使って、多くの問題に対して考察し活用することができる。	単元テスト 定期考査		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用すること。	提出物 授業への取り組み方		
6月	図形と方程式	10	① 知識・技能 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すこと、座標平面上の直線や円を方程式で表すこと、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすること。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てで説明する。	考えたことを板書し、論理立てで説明する。
			② 思考・判断・表現 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。	単元テスト 定期考査		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 数量と図形との関係などに着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	提出物 授業への取り組み方		
7月	三角関数	10	① 知識・技能 三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解すること。三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解すること。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てで説明する。	考えたことを板書し、論理立てで説明する。
			② 思考・判断・表現 三角関数に関する様々な性質について考察するとともに、三角関数の加法定理から新たな性質を導くこと。	単元テスト 定期考査		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	提出物 授業への取り組み方		
9月	指數関数と対数関数	10	① 知識・技能 指數を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指數法則を用いて数式の計算をすること。対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすること。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てで説明する。	考えたことを板書し、論理立てで説明する。
			② 思考・判断・表現 指數関数及び対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察すること。	単元テスト 定期考査		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	提出物 授業への取り組み方		
10月 ~ 11月	微分法	10	① 知識・技能 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求める。導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解すること。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てで説明する。	考えたことを板書し、論理立てで説明する。
			② 思考・判断・表現 関数とその導関数との関係について考察すること。	単元テスト 定期考査		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 関数の局所的な変化に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	提出物 授業への取り組み方		
12月 ~ 3月	微分法	10	① 知識・技能 不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求める。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てで説明する。	考えたことを板書し、論理立てで説明する。
			② 思考・判断・表現 微分と積分の関係に着目し、積分の考え方を用いて直線や関数のグラフで囲まれた图形の面積を求める方法について考察すること。	単元テスト 定期考査		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 微分と積分の意味を理解し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	提出物 授業への取り組み方		
指導時間数の計		70				

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
数学探究Ⅲ		2	単位制・普通科・3年(理系)	ニューアクションフロンティア数学Ⅰ・A ニューアクションフロンティア数学Ⅱ・B (東京書籍)			
科目的目標		数学ⅠA・ⅡB全般の各領域における概念を形成し、原理・法則についての理解をいっそう深め、数学的な表現力や論理的な思考力を高めるとともに、事象の考察における探求的な態度と創造的な能力を養う					
時期	単元・題材名	指導時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月 ～ 5月	方程式と不等式(数学Ⅰ) 2次関数(数学Ⅰ) 图形と計量(数学Ⅰ)	12	① 知識・技能 方程式や不等式、2次関数、三角比の意味を理解し、解を求めることができる。数学的活動を通して、方程式や不等式、2次関数、图形と計量における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てで説明する。	考えたことを板書し、論理立てで説明する。	
			② 思考・判断・表現 方程式や不等式、2次関数、三角比を考察したり、その過程を振り返ったりして、事象の考察に活用することができる。				
			③ 主体的に学習に取り組む態度 方程式や不等式、2次関数、三角比などに関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。				
6月 ～ 7月	图形と計量(数学Ⅰ) 集合と論理(数学A) 图形の性質(数学A)	14	① 知識・技能 三角比や、集合、確率、平面图形の問題について、解を求めることができる。三角比や、集合、確率、平面图形に関する基本的な概念を理解し、知識を身につけている。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てで説明する。	考えたことを板書し、論理立てで説明する。	
			② 思考・判断・表現 三角比や集合、確率、图形の性質を考察したり、その過程を振り返ったりして、事象の考察に活用することができる。				
			③ 主体的に学習に取り組む態度 图形と計量や集合と論理、图形の性質に関心をもつとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。				
9月	式と証明(数学Ⅱ) 高次方程式(数学Ⅱ) 图形と方程式(数学Ⅱ)	8	① 知識・技能 恒等式や高次方程式、图形と方程式を用いて事象を表現・処理する技能を身につけている。恒等式や高次方程式、图形と方程式を用いて事象を考察し表現したり、その過程を振り返ったりすることなどを通じて、関数的な見方や考え方を身につけている。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てで説明する。	考えたことを板書し、論理立てで説明する。	
			② 思考・判断・表現 恒等式や高次方程式、图形と方程式に関する基本的な概念を理解し、知識を身につけている。				
			③ 主体的に学習に取り組む態度 恒等式や高次方程式、图形と方程式に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。				
10月 ～ 11月	图形と方程式(数学Ⅱ) いろいろな関数(数学Ⅱ) 微分・積分(数学Ⅱ)	12	① 知識・技能 图形と方程式や三角関数、指數関数、対数関数、微分・積分を用いて事象を表現・処理する技能を身につけている。图形と方程式や三角関数、指數関数、対数関数、微分・積分に関する基本的な性質を理解し、知識を身につけている。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てで説明する。	考えたことを板書し、論理立てで説明する。	
			② 思考・判断・表現 图形と方程式や三角関数、指數関数、対数関数、微分・積分を用いて事象を考察し表現したり、その過程を振り返ったりすることなどを通じて、角の大きさなどを用いて計量を行うための数学的な見方や考え方を身につけている。				
			③ 主体的に学習に取り組む態度 图形と方程式や三角関数、指數関数、対数関数、微分・積分に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。				
12月 ～ 3月	微分・積分(数学Ⅱ) 数列(数学B)	16	① 知識・技能 微分・積分や数列、ベクトルを用いて事象を表現・処理する方法や、データの傾向を把握する技能を身につけている。微分・積分や数列、ベクトルに関する基本的な概念を理解し、知識を身につけている。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てで説明する。	考えたことを板書し、論理立てで説明する。	
			② 思考・判断・表現 微分・積分や数列、ベクトルの特徴を考察し表現したり、その過程を振り返ったりすることなどを通じて、データを分析するための数学的な見方や考え方を身につけている。				
			③ 主体的に学習に取り組む態度 微分・積分や数列、ベクトルに関心をもち、それらを事象の考察に活用しようとしている。				
12月 ～ 3月	データの分析(数学Ⅰ) 統計的な推測(数学B)	8	① 知識・技能 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解すること。確率変数と確率分布、二項分布と正規分布の性質や特徴並びに正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法について理解すること。	単元テスト 定期考査	・考え方を数式を用いて論理立てで説明する。	考えたことを板書し、論理立てで説明する。	
			② 思考・判断・表現 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察すること。確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均・分散、標準偏差などを用いて考察すること。				
			③ 主体的に学習に取り組む態度 目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現すること。母集団の特徴や傾向を推測し判断するとともに、標本調査の方法や結果を批判的に考察すること。				
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)					
化学基礎	2	全日制・普通科・1年次	化基704「化学基礎」実教出版					
科目的目標		<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 						
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連	
4月～ 7月	序章 物質と化学	3	<p>① 知識・技能 ・物質の性質に注目し、それぞれの物質を性質ごとに分類することができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・実験を通して、身近な物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・実験を通して、身近な物質の物理的性質や化学的性質を調べることができます。</p>	<p>[発言分析・行動観察]</p> <p>[記録分析・記述分析]</p> <p>[発言分析・行動観察]</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中の化学について再発見をし、化学の役割について理解を深める。 物質の種類と性質について学び、化学を学ぶことに意欲をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアワーク グループワーク 発表 レポート作成 	国語（レポート作成）	
	1章 物質の構成 1節 物質の探究 1 物質の分類と性質 2 物質と元素 3 物質の三態と熱運動	8	<p>① 知識・技能 ・身のまわりの物質を純物質と混合物に分類することができる。 粒子の熱運動と粒子間にはたらく力との関係を理解し、物質の状態変化について粒子の運動をもとに考えることができます。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・混合物から純物質を分離する方法を思考、判断することができます。 ・物質の物理的、化学的性質を調べることにより、物質が数種類に分類できることを実験的・論理的に考え、表現することができます。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・実験において、自ら仮説、検証計画を立てることができます。また、レポート課題に意欲的に取り組む。 ・身近な物質の三態変化と、粒子の熱運動と温度との関係に関心をもち、それらを意欲的に探究しようとする。</p>	<p>[発言分析・記述分析]</p> <p>[行動観察・記録分析]</p> <p>[行動観察・記録分析]</p>	<ul style="list-style-type: none"> 物質の性質を調べるために、物質の分類や分離・精錬法、物質の状態変化について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアワーク グループワーク 発表 レポート作成 	国語（レポート作成）	
	2節 物質の構成粒子 1 原子の構造 2 イオンの生成 3 元素の周期表	12	<p>① 知識・技能 ・物質が原子から成り立っていることを理解する。また、原子構造の簡単なモデルを描く技能を習得し、的確に表現する。 ・原子は原子核と電子からなっていて、価電子が物質の性質を決めていることを推論・理解できる。また、同位体についての正しい知識を身につけていろ。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・イオンの生成を電子配置と関連づけて考えることができます。 ・元素の性質に興味をもち、元素の性質が周期的に変わることを探究しようとする。また、元素の性質が電子配置と関係しており、現在の周期表がつくられていることを理解することができます。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・物質に関心をもち、物質が原子・イオンなどの構成粒子からなっていることを探究しようとしている。 ・物質の状態変化の現象について、粒子の運動と関連付けて探究しようとする。</p>	<p>[発言分析・記述分析]</p> <p>[行動観察・記録分析]</p> <p>[行動観察・記録分析]</p>	<ul style="list-style-type: none"> 物質が原子、イオン、分子から構成されていることを学ぶ。 構成粒子の違いと物質の種類の違いを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアワーク グループワーク 発表 レポート作成 	国語（レポート作成）	
	2章 化学結合 1節 イオン結合 1 イオン結合とイオン結晶 2 イオン結合からなる物質 2節 共有結合と分子間力 1 共有結合と分子 2 分子間力と分子結晶 3 共有結合からなる物質	12	<p>① 知識・技能 ・イオン結合がイオン間の静電気的な引力による結合であることを理解している。 ・共有結合を電子配置と関連づけて理解することができます。また、配位結合について理解している。 ・分子の電子式・構造式を書くことができる。 ・分子にはたらく力を理解し、分子結晶や高分子化合物について理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・物質の性質は、イオン結合、共有結合、金属結合などの結合の違いによって異なることを、代表的な物質の性質の比較から推論できる。 ・それぞれの物質について、結合によって区別することができます。 ・それぞれの物質の性質を結合と関連付けて考えることができます。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・物質の構造は、イオン結合、共有結合、金属結合などの結合の仕方の違いに関わりがあることを、意欲的に探究しようとする。 ・それぞれの結合とその結晶について、正確に区別し探究しようとする。</p>	<p>発言分析・記述分析</p> <p>[発言分析・記録分析]</p> <p>[発言分析・記録分析]</p>	<ul style="list-style-type: none"> イオンの生成を電子配置と関連付けて理解し、イオン結合およびイオン結合からなる物質の性質を理解する。 共有結合を電子配置と関連付けて理解し、分子からなる物質の性質を理解する。さらに、分子間の結合によって物質ができるていることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアワーク グループワーク 発表 レポート作成 	国語（レポート作成）	
	3節 金属結合 1 金属結合と金属結晶 2 金属 4節 化学結合と物質 1 結晶の分類 2 化学結合と身のまわりの物質	6	<p>① 知識・技能 ・金属結合が自由電子の介在した結合であることを理解し、電気伝導性や展性、延性などの金属の性質と関連付けて理解している。 ・1～3節で学習した化学結合の種類を系統立てて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・物質の性質は、イオン結合、共有結合、金属結合などの結合の違いによって異なることを、代表的な物質の性質の比較から推論できる。 ・それぞれの物質について、結合によって区別することができます。 ・それぞれの物質の性質を結合と関連付けて考えることができます。</p>	<p>[発言分析・記述分析]</p> <p>[発言分析・記述分析]</p>	<ul style="list-style-type: none"> 金属原子間の結合及び金属からなる物質の性質を学ぶ。 1～3節において学んだ物質の結晶を、結合の違いによって区別し、性質を整理する。 具体的な物質について、それぞれ性質や利用例を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアワーク グループワーク 発表 レポート作成 	国語（レポート作成）	

		<p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・物質の構造は、イオン結合、共有結合、金属結合などの結合の仕方の違いに関わりがあることを、意欲的に探究しようとする。 ・それぞれの結合とその結晶について、正確に区別し探究しようとする。 ・身近な物質について、結合によって区別し、性質や利用例を日常の事象と関連付けて探究しようとする。</p>	[行動観察・記録分析]		
9月～12月	3章 物質の変化 1節 物質量と化学反応式 1 原子量と分子量・式量 2 物質量 3 溶液の濃度	12	<p>① 知識・技能 ・化学式が使用できるとともに、原子量・分子量・式量・物質量の知識を身につけている。 ・モル濃度が、溶液の体積と溶質の物質量との関係を表していることを理解し、質量バーセント濃度とモル濃度の違いを表現することができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・原子量・分子量・式量と物質量の定義を理解し、物質量を用いた基本的な計算ができ、化学変化には一定の量的関係があることを考察できる。また、物質量と溶液の濃度の関係を考察できる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・代表的な物質の原子量・分子量・式量などの物質量の基本事項や濃度との関係を関連付けて考察しようとするとともに、意欲的にそれらを探究しようとする。</p>	<p>[発言分析・記述分析]</p> <p>[発言分析・記述分析]</p> <p>[行動観察・記録分析]</p>	<p>・原子量・分子量・式量などの物質量の基本事項を学ぶ。 ・物質量と溶液の濃度の関係を学ぶ。</p> <p>・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成</p> <p>国語（レポート作成） 数学（量的な計算）</p>
4 化学反応式		10	<p>① 知識・技能 ・基本的な化学式、化学反応式を書く技能を習得し、的確に表現する。 ・反応式の係数が、物質量の比を表していることを見出すことができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・化学反応式から物質量の定義を理解し、物質量を用いた基本的な計算ができ、化学変化には一定の量的関係があることを考察できる。 ・考察して導き出した考えを的確に表現できる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・代表的な物質の化学変化に注目し、化学変化の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとするとともに、意欲的にそれらを探究しようとする。</p>	<p>[発言分析・記述分析]</p> <p>[発言分析・記述分析]</p> <p>[行動観察・記録分析]</p>	<p>・化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを学ぶ。 ・化学の進歩の歴史と基本的な法則の発見の経緯について学ぶ。</p> <p>・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成</p> <p>国語（レポート作成） 数学（量的な計算）</p>
2節 酸と塩基 1 酸と塩基 2 酸と塩基の分類 3 水素イオン濃度とpH		10	<p>① 知識・技能 ・酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連つけて酸・塩基の反応を捉えることができる。 ・酸・塩基の化学式や酸・塩基の反応を通して、酸と塩基の共通性を見出し、酸・塩基の定義を理解できる。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・酸・塩基の観察、実験をもとに共通性を見出し、酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連付けて酸・塩基反応を考察できる。 ・酸・塩基の強弱とpHの観察、実験などを通し、科学的に考察できる。 ・考察して導き出した考えを的確に表現できる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・酸、塩基に关心をもち、それらを日常生活に関連付けて意欲的に探究しようとする。 ・身近な物質のpHを測定して考察するなど、身近な現象と酸・塩基反応を関連付けて意欲的に探究しようとする。</p>	<p>[発言分析・記述分析]</p> <p>[発言分析・記述分析]</p> <p>[行動観察・記録分析]</p>	<p>・水溶液の酸性・塩基性の強弱と水素イオン濃度との関係およびpHについて学ぶ。 ・酸と塩基の性質と、中和反応に関与する物質の量的関係を理解する。</p> <p>・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成</p> <p>国語（レポート作成） 数学（量的な計算）</p>
4 中和反応と塩		12	<p>① 知識・技能 ・中和反応における量的関係を理解している。 ・また、メスフラスコ、ビュレット、ホールピペットなどの実験器具の取り扱いができると同時に、酸・塩基の量的関係から濃度未知の酸や塩基の濃度を実験で求める技能を習得している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・酸・塩基の観察、実験をもとに共通性を見出し、酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連付けて酸・塩基反応および中和反応を考察できる。 ・酸・塩基の強弱とpHの観察、実験などを通し、科学的に考察できる。また、酸・塩基の中和反応についても考察できる。 ・考察して導き出した考えを的確に表現できる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・酸、塩基や中和反応に关心をもち、それらを日常生活に関連付けて意欲的に探究しようとする。 ・身近な物質のpHを測定して考察するなど、身近な現象と酸・塩基反応を関連付けて延長上には中和反応にも関連しているということを意欲的に探究しようとする。</p>	<p>[発言分析・記述分析]</p> <p>[発言分析・記述分析]</p> <p>[行動観察・記録分析]</p>	<p>・中和滴定と滴定曲線により、中和反応を理解する。</p> <p>・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成</p> <p>国語（レポート作成） 数学（量的な計算）</p>
3章 酸化還元反応 1節 酸化と還元 2節 酸化剤と還元剤		8	<p>① 知識・技能 ・燃焼、金属の溶解の利用に興味をもち、それらの共通性を意欲的に探究する。 ・身近な現象と酸化還元反応を関連付けて意欲的に探究しようとする。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・様々な観察、実験を通して、酸化・還元反応の定義と酸化還元反応の有効性を理解し、共通性を見出し、酸化還元反応として論理的に考察できる。 ・身近にあるものから酸化還元反応との関連性を見出し、論理的に考察し、科学的に判断できる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・代表的な酸化剤、還元剤の観察、実験の報告書を作成する中で、電子の授受としての規則性を見出し、自らの考えで表現することができる。 ・酸化還元反応の例として、金属のイオン化傾向の実験を行って、その説明を科学的に表現できる。</p>	<p>[発言分析・記述分析]</p> <p>[発言分析・記述分析]</p> <p>[行動観察・記録分析]</p>	<p>・酸化・還元の定義を理解し、酸化還元反応が電子の授受によることを学習する。</p> <p>・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成</p> <p>国語（レポート作成） 数学（量的な計算）</p>

1月 ～3月	3節 酸化還元反応 1 酸化と還元 2 酸化剤と還元剤 3 金属の酸化還元 4 酸化還元反応の応用	9	① 知識・技能 ・酸化・還元の定義を理解し、酸化と還元が同時に起こることを理解している。 ・酸化還元反応の量的関係を理解している。 ・金属のイオン化傾向を、酸化還元反応と関連付けて理解している。 ② 思考・判断・表現 ・様々な観察、実験を通じ、酸化・還元反応の定義と酸化数の定義の有効性を理解し、共通性を見出し、酸化還元反応として論理的に考察できる。 ・実用電池と酸化還元反応との関連性を見出 ・論理的に考察し、利害的に判断できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・実用電池の利用に興味をもち、それらの共通性を意欲的に探究する。 ・身近な現象と酸化還元反応を関連付けて意欲的に探究しようとする。	[発言分析・記述分析]	・酸化剤と還元剤の反応と実用電池の形成の関係を理解する。	・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成	国語（レポート作成） 数学（量的な計算）
	終章 科学技術と化学	3	① 知識・技能 ・化学が生活を豊かにするための課題を克服してきたことを知っている。 ・酸化還元滴定の観察、実験の報告書を作成する中で、還元剤が食品にかわり酸化されることにより酸化を防いでいることを、自ら考察して看取できる。 ② 思考・判断・表現 ・日常生活や社会から切り離せない事柄に対し、科学技術を通して、化学基礎で学んだことがどのようにいかされているかを考察し、科学的に判断できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・身近にある飲料水、食品、ものを洗浄する力など、日常生活で不可欠なものに対して興味を持ち、それらを化学基礎のどの分野と関連が深いかを意欲的に探究する。	[発言分析・記述分析]	日常生活や社会において、さまざまな科学技術に支えられていることを学ぶ。	・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成	国語（レポート作成）
	指導時間数の計	70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
生物基礎	2	全日制 普通科 1年次	啓林館			
科目的目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。					
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動
4月 1週	A 生物がもつ特徴 第1部 生物の特徴 第1章 生物の特徴 第1節 生物の共通性と多様性 A 生物がもつ特徴	2	① 知識・技能 生物群の系統樹上の類縁関係がわかる。多様な生物の共通点がわかる。	ノート・観察	・生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解し、細胞および生物の構造について学ぶ。	グループ 探究1-1 生物には共通性があるのだろうか。
			② 思考・判断・表現 生物としての共通の特徴をあげることができ、多様な生物群が單一の共通祖先に由来すると言えることができる。	ノート・観察		探究1-2 脊椎動物の進化の道筋をたどってみよう
			③ 主体的に学習に取り組む態度 多様な生物に関心を持ち、形態や生活の多様さを知ろうとする意欲を持っている。	観察		
4月 2週	B 細胞と生物	2	① 知識・技能 単細胞生物の構造とそれはたらき、多細胞生物の器官のはたらき、細胞と組織の多様性がわかる。単細胞生物の図や写真の構造体に注目する。また、多細胞生物の組織をつくる細胞の多様性を観察する。	ノート・観察	・細胞の形、大きさなどは生物によってどのような違いがあるのかを学ぶ。 ・観察実験①単細胞生物と多細胞生物	
			② 思考・判断・表現 単細胞生物の構造とはたらき、多細胞生物の構造とはたらきの例をあげることができる。	発言		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 単細胞生物の構造の多様性と、多細胞生物の細胞と組織の多様性に関心を持つ。	観察		
4月 3週	C 細胞の構造	2	① 知識・技能 細胞小器官の名称とはたらきを理解し、原核生物と真核生物の共通点と相違点がわかる。原核生物と真核生物を観察し、正しくスケッチし、構造体を計測することができる。	レポート	・すべての細胞に共通する構造は何かを学ぶ。 ・細胞小器官の構造と働きについて学ぶ。 ・観察実験 ②原核生物の観察 ③ミクロメーターを用いた細胞の測定	グループ 探究1-3 原核生物と真核生物の特徴から、これらの起源について考えよう
			② 思考・判断・表現 細胞小器官の名称と働きを理解し、原核生物と真核生物の共通点と相違点を考えることができる。	レポート		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 細胞小器官の特徴とはたらきに注目する。	観察・レポート		
4月 4週	A 代謝とエネルギー B 代謝と酵素	4	① 知識・技能 ATPがエネルギーの移動に果たす役割と、酵素が果たす役割について理解する。特定の基質に反応する酵素反応の特徴を理解し、酵素と無機触媒の共通点と相違点とを考察することができる。	ノート・観察・レポート	・生物の活動に必要なエネルギーの出入りと、生物に必要な物質の合成や分解について学ぶ。 ・資料学習／観察実験④カタラーゼの性質	グループ 探究1-4 植物にとって光エネルギーはどれくらい重要なのだろうか。
			② 思考・判断・表現 代謝におけるエネルギーの移動と、反応を触媒する酵素の働きについて考えることができる。	発言		探究1-5 エネルギーはどのようにして生命活動に利用されているのか。
			③ 主体的に学習に取り組む態度 生命活動に必要なエネルギーと代謝について調べようとする。ATPとエネルギーの移動、酵素の役割について関心を持つ。	観察・レポート		
5月 1・2週	C 光合成と呼吸	4	① 知識・技能 光合成の場である葉緑体と呼吸の場であるミトコンドリアが共に原核生物起源であることを理解する。	発言・演習	・光合成と呼吸はどのような反応なのかを学ぶ。	
			② 思考・判断・表現 細胞内での光合成の場と呼吸の場を葉緑体やミトコンドリアと関連させることができる。	発言		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 光合成・呼吸の反応とエネルギーの転換を関連させて考えることができる。	観察		
5月 3週	A 遺伝子とその働き B 遺伝子とその働き 第1節 遺伝情報とDNA A DNAの構造	2	① 知識・技能 遺伝子の本体がDNAであるとわかる。	発言	・遺伝情報をいう物質としてのDNAの特徴について理解する。	グループ 探究2-1 DNAはどのような構造をしているのだろうか。
			② 思考・判断・表現 遺伝子を対になった因子ととらえたメンデルの法則を正しく表現できる。	ノート		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 DNAの構造が遺伝子の特性を備えていることに関心を持つ。肺炎球菌の実験およびバクテリオファージの実験からDNAが遺伝子であることが認められた。	観察・ノート		保健体育（生殖）
6月 1週	B 遺伝情報の複製	2	① 知識・技能 遺伝情報の複製は塩基配列の相補的な複製であることが理解できる。	発言	・DNAが複製され分配されることにより、遺伝情報が伝えられることを理解する。	グループ 探究2-2 DNA複製の様子
			② 思考・判断・表現 母細胞のDNAの複製は塩基配列の相補的な複製であることが表現できる。	発言		

			③ 主体的に学習に取り組む態度 DNAが複製されることにより、遺伝情報が伝えられることを調べようとする。	観察・ノート		
6月 2週	C 遺伝情報の分配	2	① 知識・技能 タマネギの根端などを用いて、体細胞分裂を観察し、分裂の各期を見分けることができる。細胞周期と体細胞分裂の各期の特徴が分かり、遺伝情報の分配の時期がわかる。	レポート	・どのようにDNAが細胞に分配されるのかを理解する。 ・実験観察⑤体細胞分裂の観察 ・資料学習 間期と分裂期の細胞の観察	
			② 思考・判断・表現 細胞周期と染色体の変化の関係を考えることができる。	発言・観察・レポート		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 体細胞分裂と細胞周期が染色体の変化によって観察できることに関心を持つ。	観察・レポート		
6月 3・4週	第2章 遺伝情報とタンパク質の合成 A 遺伝子の発現とタンパク質	4	① 知識・技能 セントラルドグマで遺伝情報の方向を確認し、アミノ酸配列がタンパク質の種類を決める事を理解する。	レポート	・DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解する。	グループ 探究2-4 塩基配列とアミノ酸の配列はどのように対応しているのだろうか。
			② 思考・判断・表現 DNAの塩基配列の情報がタンパク質のアミノ酸配列の情報になると対応することができる。	レポート・発言		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 セントラルドグマに関心を持つ。	観察・レポート		
7月 1週	B タンパク質の合成	2	① 知識・技能 ユスリカの幼虫のだ腺染色体を観察し、バフを確認することができる。転写と翻訳の過程を理解し、遺伝情報が転写されたmRNAの役割を理解することができる。	ノート・レポート	・DNAの情報をもとにどのようにタンパク質がつくられるのかを学ぶ。 ・資料学習 遺伝暗号の解説 ・実験観察⑥バフの観察	
			② 思考・判断・表現 遺伝情報が、DNAの塩基配列からmRNAの塩基配列に転写され、アミノ酸配列に翻訳されると考えることができる。 タンパク質が生命現象と関連して多様なはたらきをしていると考えることができる。	観察・発言		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 RNAとタンパク質の構造、および転写と翻訳のしくみに関心を持つ。	観察・プリント		
7月 2週	C 遺伝情報と遺伝子	2	① 知識・技能 DNAの塩基配列と遺伝情報とゲノムの関係がわかる。遺伝情報はほとんどの細胞で維持されているが、遺伝子の発現は調節されていることがわかる。	演習	・ゲノムとDNAと遺伝子の関係を学ぶ。	個人 ・最新の遺伝学に関する問題について調べて発表する。
			② 思考・判断・表現 遺伝子はゲノムを構成するDNAのごく一部であると考えることができる。個体を構成する細胞は遺伝的に同一で、部位によって発現する遺伝子が異なると考えることができる。	発言		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 遺伝情報をゲノムととらえることに関心を持つ。ゲノム医療など最新の医学的トピックにも関心を持つ。遺伝子の発現の調節によって細胞の分化が起こることに関心を持つ。	観察・発言		
9月 1・2週	第3部 ヒトの体の調節 第3章 神経系と内分泌系による調節 第1節 情報の伝達 A 体液と恒常性	4	① 知識・技能 血球を観察し、血球を区別することができる。体内環境とは体液の環境であり、体内環境が一定に保たれていること、つまり恒常性が重要である。体液（血液・リンパ液・組織液）の成分やはたらき、循環系を理解する。	ノート	・体内環境の恒常性が保たれているしくみを理解する。酸素解離曲線	グループ 探究3-1 心拍数が上がるということはどういうことだろうか。 数学(酸素解離曲線のグラフ読み取りや計算)
			② 思考・判断・表現 生物の体内環境が一定に保たれていると考えることができ、循環系と体液の働き（酸素解離や血液凝固など）を考えることができる。	発言		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 体内環境の恒常性に関心を持ち、体液の成分、体液のはたらき、循環に興味を持つ。	観察・レポート		
9月 3週	B 自律神経系と恒常性	2	① 知識・技能 運動前後において、心拍数を計測することで、心拍数の変化を観察することができる。自律神経にははたらきの対立する二種類の神経系、交感神経系と副交感神経系があり、器官の活動はこの二種の神経支配を受けていることを理解する。	ノート・発言	・体内環境の恒常性の維持に自律神経がどのようにかかわっているかを学ぶ。	グループ 探究3-2 心臓の拍動はどのように調節されているのだろうか。 保健体育（自律神経系）
			② 思考・判断・表現 動物の恒常性が自律神経により調節されていると考えることができる。	発言・観察		

			③ 主体的に学習に取り組む態度 体内環境の恒常性に自律神経がかかわっていることを調べようとする。	観察			
9月 4週 10月 1週	C 内分泌系 D ホルモン分泌の調節	4	① 知識・技能 特定の内分泌腺からは特定のホルモンが分泌され、血液で運ばれてきた細胞にはたらく。ホルモン量はフィードバック調節されている。	ノート・演習	・体内環境の維持にホルモンがどのようにかかわっているかを理解する。	保健体育（ホルモン）	
			② 思考・判断・表現 ホルモンにより器官の活動が調節されており、その量はフィードバック調節されている。	発言			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 多様なホルモンが特定の内分泌腺から分泌されていることに関心を持つ。	観察			
10月 2-4週	第2節 体内環境の維持のしくみ A 血糖濃度の調節 B ヒトの体温調節	6	① 知識・技能 特定の内分泌腺からは特定のホルモンが分泌され、血液で運ばれてきた細胞にはたらく。ホルモン量はフィードバック調節されている。	ノート・観察	・血糖濃度や体温の維持のしくみについて学ぶ。	グループ 探究3-3 血糖濃度の調節にはどのような経路が働いているのか。 探究3-4 食事の前後で血糖濃度はどのように調節されているのだろうか。	
			② 思考・判断・表現 血糖濃度や水分量、体温が、自律神経の働きやホルモンの作用により一定の範囲に保たれていけると考えることができる。	演習			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 自律神経とホルモンが共同して恒常性を維持していることに関心を持つ。	観察			
11月 1・2週	C 水分量の調節	4	① 知識・技能 塩類濃度のちがいによって血球に起こる変化を観察できる。腎臓の構造と機能、水生生物の塩類濃度調節のしくみを理解できる。	発言	・水分濃度がどのように維持されているのかを学ぶ。 ・観察実験⑦腎臓（糸球体）の観察	数学（濃縮率の計算）	
			② 思考・判断・表現 腎臓が塩類濃度の調節に果たす役割だけでなく、水生生物の塩類濃度調節のしくみも考えることができる。	レポート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 腎臓の構造と機能に関心を持ち、それらの器官が体液の恒常性に果たす役割を知ろうとする。	観察			
11月 3週	第4章 免疫 第1節 免疫の働き A 生体防御	2	① 知識・技能 白血球が異物を取り込む食作用の様子を観察することができる。生体防御には異物に対する非特異的な防御（侵入阻止、自然免疫）と特異的な防御（獲得免疫）があり、それぞれしくみが異なっている。	レポート・ノート	・免疫とそれにかかわる物質や細胞の働きについて理解する。	グループ 探究4-1 マクロファージにはどのような役割があるのだろうか。	
			② 思考・判断・表現 病原菌などの異物の認識、排除して体内環境を守るしくみにかかわる細胞について考えることができる。	レポート・発言			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 免疫とそれにかかわる細胞の働きについて調べようとする。	観察・レポート			
11月 4週 12月 1週	B 自然免疫	4	① 知識・技能 微生物パターンを非特異的に認識しての防御反応である。	ノート・観察	・自然免疫のしくみについて学ぶ。 ・観察実験⑧白血球の食作用		
			② 思考・判断・表現 自然免疫を獲得免疫と対比させて考えることができる。	観察			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 細菌などを食作用で除く生体防御反応である。	観察			
12月 2・3週	C 獲得免疫 D 免疫と病気	4	① 知識・技能 A B O式血型液の判定には血清を用いて赤血球の抗原抗体反応を利用する。生体に非自己の異物（抗原）が侵入してから起こる抗体産生反応の経過を体液性免疫と細胞性免疫にわけて理解する。アレルギーも抗原抗体反応のひとつであることを理解する。	発言・ノート	・獲得免疫のしくみについて学ぶ。 ・免疫と病気にはどのような関係があるかを学ぶ。 ・資料学習 マウスの皮膚移植実験	グループ 探究4-2 予防接種をすると、なぜ病気をふでせぐことができるのか。 個人 ・免疫についての最新の研究について調べて発表する。	
			② 思考・判断・表現 抗原が侵入した後の抗体産生反応の経過を体液性免疫と細胞性免疫の場合にわけて説明できる。アレルギーも抗原抗体反応のひとつであることを例をあげて説明できる。	演習			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 免疫のしくみに関心を持ち、予防接種や感染症との関連も含めて、免疫に関する話題に興味を持つ。幹細胞や移植医療に関する技術の発展も著しく、注目度の高い分野である。	観察			

1月 2週	第4部 生物の多様性と生態系 第5章 植生と遷移 A 環境	2	① 知識・技能 陽葉と陰葉を比較し、さまざまな測定を行って、各葉の適応のちがいを導き出すことができる。植物の形態に環境への適応が現れる例があり、光要因も大きな要因のひとつであることが分かる。森林の階層構造を植物の光に対する適応、土壤を動植物の環境形成作用のひとつと理解する。	演習・観察 発言 観察	・植物は、周囲の環境とどのようにかかわっているかを学ぶ。	グループ 探究5-1 植生の変化は光環境や土壤をどのように変化させたか。	
			② 思考・判断・表現 植物の生活形に影響する環境要因には主に水・土壤・温度・光がある。森林の階層構造を植物の光の強さに対する適応としてとらえることができる。		発言		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 植物の生活に影響を及ぼす環境要因を考察する意欲を持つ。		観察		
1月 3週	B 植生の遷移	2	① 知識・技能 植生の一次遷移に伴って植物種数や地表照度、土壤の厚さ、土壤有機物%などの変化をグラフ化し、読みとくことができる。遷移が起こる要因とそのしくみがわかる。	演習 レポート 観察	・陸上には様々な植生が見られ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解する。	グループ 探究5-1 植生の変化は光環境や土壤をどのように変化させたか。	
			② 思考・判断・表現 荒原が草原、森林へと変化してゆく過程には環境要因が関わっていることを考察する。		レポート		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 植生の変化に注目し、その要因に関心を持つ。		観察		
1月 4週 2月 1週	C 遷移とバイオーム 日本のバイオーム	4	① 知識・技能 気温と降水量のデータから各地のバイオームを予想し、衛星写真で確認できる。各バイオームの特色を理解し、代表的な生き物がわかる。	演習・レポート 観察・発言 観察	・気候に適応した様々なバイオームが成立していることとその特徴を学ぶ。	グループ 探究5-2 気候が異なると極端はどういうに変わるのだろうか。	地歴公民（バイオ
			② 思考・判断・表現 バイオームが成立するさいの環境要因について考えることができる		観察・発言		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 世界のバイオームや日本のバイオームの特色に関心を持つ。		観察		
2月 2・3週	第6章 生態系とその保全 第1節 生態系と生物の多様性 A 生態系における生物どうしのつながり B 多様性と生物間の関係	6	① 知識・技能 落葉に付着した分解者が養分を分解するようすを調べることができる。生態系を食物連鎖の関係で把握することができ、それぞれの量的関係を理解できる。物質は生態系内を循環するが、エネルギーは循環しないことが理解できる。	ノート・観察 ノート・観察 観察	・生物の種どうしあとのようすに関わりあっているのかを学ぶ。 ・生物の種多様性と、生物どうしの関わり合いは、どう関係しているのだろうか。	グループ 探究6-1 土壌にはどのような動物が生息しているのだろうか。 探究6-2 生態系の上位の生物がいなくなるとどうなるだろうか。	
			② 思考・判断・表現 生態系の成り立ちと構成要素について具体的な生き物を挙げて考えることができる。生態系において物質が循環し、それに伴ってエネルギーが移動すると考えることができる。		ノート・観察		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 生態系を構成する要素の関係についてどのような観点で把握することができるか関心を持っている。食物連鎖の過程を通して物質やエネルギーが移動することについて関心を持っている。		観察		
2月 4週 3月	第2節 生態系のバランスと保全 A 生態系のバランスと変動 B 生態系の保全	4	① 知識・技能 身近な河川の指標生物を調査することで水質を評価することができる。生態系のバランスと生物多様性を保全することの重要性がわかる。	レポート 発言 観察	・環境問題等について調べる。生態系では、物質が循環するとともにエネルギーが移動することを学び、生態系のバランスについての理解と生態系保全の重要性を認識する。	グループ 探究6-3 人間の活動は生態系にどのような影響を与えるのか。 探究6-4 人為的擾乱は生物の多様性にどのような影響を与えるのか。	地歴公民（環境問
			② 思考・判断・表現 生態系のバランスについて考え、生態系を保全することが重要であると考えることができる。		発言		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 生態系に与える人間生活の影響やグローバルな地球環境問題などについて関心を持っている。		観察		
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
物理基礎	2	全日制・普通科・2年次	高等学校 考える物理基礎(啓林館)				
科目の目標	(1) 物理学の基本概念・自然界の法則についての知識と理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、仮説、実験を通して法則性を見いだすなど、科学的に探究する力を養う。 (3) 自然界のあらゆる現象に興味関心を持って主体的に関わり、科学的に応用・探究しようとする態度を養う。						
時期 月 ()は半期 週4h履修	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	
4 月 (4月)	物理量の扱い方	2	① 知識・技能 ・物理量の表し方、物理量の測定誤差、有効数字の扱い方について理解する。 ② 考察・判断・表現 ・データをグラフにまとめ、グラフを解析して説明できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・データからグラフを主体的に作成し、話しあって、グラフを見てわかることを考えようとしている。	ノート、授業観察、小テスト、考查テスト ノート、授業観察、レポート、考查テスト ノート、授業観察、課題	・身近な単位の変遷を学び、実際の測定結果をグラフ化して平均値や有効数字の概念を学ぶ。	・発問に対する個別解答	・地歴公民(技術・貿易史) ・家庭科(生活で使用する単位)
4~7 月 (4・5月)	物体の運動とエネルギー ・物体の運動 ・力と運動 ・仕事とエネルギー	33	① 知識・技能 ・等速直線、加速度運動の式、向きおよびv-t図、v-t図を理解している。また、合成速度、相対速度の意味と求め方を理解している。自由落下や投射が加速度運動の一種であることを理解している。 ・重力、垂直抗力、摩擦力、張力、弾性力、力がベクトル量であることを正しく理解し、つりあいの式や運動方程式が立てる。圧力と浮力を正しく理解している。 ・仕事、運動エネルギー、重力や弾性力による位置エネルギー、エネルギー保存則を理解し計算できる。 ② 考察・判断・表現 ・等速直線、加速度運動する物体のようすを説明でき、動く観測者から見た動く物体の運動のようすを説明できる。実験から速度、加速度、重力加速度を求めることができる。 ・作用反作用とつりあいの違いを理解し、運動方程式を用いて物体の運動を考えることができる。 ・仕事の正負や各種エネルギー、エネルギー保存則を説明できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・日常の運動から、速さ、時間、進む距離、加速度、落下についての関係に興味をもち、実験にも主体的に取り組んでいる。速さと速度の違いや、相対速度の意味や使い方を理解しようとしている。 ・見えない「力」を考え、それをとらえる各種実験に主体的に取り組んでいる。	ノート、授業観察、小テスト、考查テスト ノート、授業観察、レポート、考查テスト ノート、授業観察、課題	・実験(記録テーブを使用)「加速度測定」「重力加速度測定」測定値をグラフ化し、関係法則を模擬。 ・作図課題「合成・相対速度」「力の合成・分解」 ・実験「摩擦力」何が摩擦力を決めるかを検証 ・実験(エネルギー保存)「振り子」「ジェットコースター模型」 等による法則の検証・仮説討論・レポートのまとめ	・班別実験による討議、発表、レポート作成 ・発問に対する個別解答	・保健体育(運動) ・地歴公民(技術史)
9・10 月 (6月)	熱 ・熱とエネルギー	10	① 知識・技能 ・温度、熱運動、熱量、比熱、熱容量などが正しく理解されており、熱量保存の式を立てることができる。 ・固体→液体、液体→気体になる際の、熱のやりとりについて理解している。 ・仕事と熱の関係や熱力学第一法則について理解している。 ・熱機関と熱機関の効率について理解している。 ② 考察・判断・表現 ・比熱の大きさから、物質の温まりやすさを類推できる。 ・温度や熱容量、比熱はどのような物理量か、自分の言葉で説明できる。 ・熱と仕事の関係について興味関心をもち、理解しようとしている。 ・不可逆変化とはどのような変化かを説明できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・熱にかかる現象、仕事と熱の関係について興味関心をもち、理解しようとしている。 ・熱と仕事の実験に主体的に取り組んでいる。	ノート、授業観察、小テスト、考查テスト ノート、授業観察、レポート、考查テスト ノート、授業観察、課題	・実験「銅球の比熱測定」「3態変化の温度測定(+分子模型演示)」 等による法則の検証・仮説討論・レポートのまとめ	・班別実験による討議、発表、レポート作成 ・発問に対する個別解答	・化学(状態変化) ・地歴公民(技術史・環境) ・家庭科(生活器具・環境)
10~12 月 (6・7月)	波 ・波の性質 ・音波	13	① 知識・技能 ・波の発生原理や基本事項、縦波と横波の違いを理解している。 ・定在波の生じるしきみ、波の重ねあわせの原理、自由端・固定端での波の反射について理解している。 ・日常生活での体験を通して、音の波としての性質を理解している。 ・うなりについて、音の干渉の知識を用いて定量的に扱うことができる。 ・弦や気柱の振動と音の高さの関係について理解している。 ② 考察・判断・表現 ・身近な波の現象に興味をもち、波の発生原理や基本事項について理解しようとしている。 ・定在波発生の条件、固定端と自由端での波の反射の違いを正しく説明できる。 ・音の3要素やうなり、倍音とはどのような振動数の音であるかを説明でき、温度と気柱の長さの関係について学んだ知識より類推できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・身近な波の現象に興味をもち、波の発生原理や基本事項、衝突や反射するときどのようになるかについて理解しようとしている。 ・弦楽器や管楽器について、どのようにして音の高さを変えているかについて、自分の考えを述べることができる。 ・弦や気柱の振動の実験や、振り子の共振の実験において、主体的に取り組んでいる。	ノート、授業観察、小テスト、考查テスト ノート、授業観察、レポート、考查テスト ノート、授業観察、課題		・班別実験による討議、発表、レポート作成 ・発問に対する個別解答	・保健(健康・生活)
1・2 月 (9月)	電気と磁気 ・静電気と電流 ・交流と電磁波	8	① 知識・技能 ・物体の帯電するしきみ、導体・不導体・半導体の違いについて理解している。 ・電流と電圧、オームの法則、抵抗の接続・断面積と抵抗、ジュールの法則、電力量と電力について理解している。 ・直線電流、円形電流、ソレノイドのつくる磁場の向きを判断することができ、電磁誘導の基礎を理解している。 ・交流電圧、変圧器と送電の基本について理解している。 ・電磁波の振動数と波長の関係を理解している。 ② 考察・判断・表現 ・帯電状態を説明できる。 ・I-Vグラフより、抵抗値を求めることができる。電気回路における、接続ごとの電流、電圧の大きさについて適切に理解し説明できる。 ・ジュール熱について、電流と電圧とどのような関係にあるか説明できる。 ・電流と磁場の関係、モーターの回る原理について説明できる。 ・身近な電磁誘導の利用例について、説明できる。 ・直流と交流の違い、送電における電力損失の理由を理解し説明できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・抵抗の接続変更時の抵抗に加わる電圧と電流値の測定、抵抗率の測定、ジュールの法則の検証実験など、に主体的に取り組んでいる。 ・モーターの回転する原理、電流の流れる向きと磁場の向きの関係について、主体的に考えることができる。 ・直流と交流の違いや送電時の工夫について、主体的に考えることができる。	ノート、授業観察、小テスト、考查テスト ノート、授業観察、レポート、考查テスト ノート、授業観察、課題	・実験「静電気による帯電」「静電モーター」「電流電圧の測定」「電力と発熱」「電流による磁場の観察」「クリップモーターの製作」「オシロスコープによる交流・直流測定」 等による法則の検証・仮説討論・レポートのまとめ	・班別実験による討議、発表、レポート作成 ・質問に対する個別解答	・地歴公民(技術史) ・家庭科(生活器具)
3月 (9月)	物理と私たちの生活 ・エネルギーとその利用 ・物理学が拓く世界	4	① 知識・技能 ・エネルギー資源の種類と長所と短所、原子力発電に関連して原子核の構成などを理解している。 ・学習してきた内容が、スポーツ、防災、環境問題とどのように関連しているかについて理解している。 ② 考察・判断・表現 ・再生可能エネルギー、火力、原子力・水力・風力発電について説明できる。 ・くらしを支える技術に、物理学の知識がどのように活用されているかを説明できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・発電実験や、新しい再生可能エネルギーに興味をもち、主体的に取り組むことができる。 ・スポーツや防災、自動車などの身近な科学技術に、物理学がどのように活用されているかについて興味をもつ。	ノート、授業観察、小テスト、考查テスト ノート、授業観察、レポート、考查テスト ノート、授業観察、課題	・実験「ハンドジェネレーターによるエネルギー変換」 等による法則の検証・仮説討論・レポートのまとめ	・班別調べ学習による討議、発表、レポート作成	・地歴公民(環境) ・家庭科(環境・生活)
指導時間数の計		70	備考:2年次「生物」選択者は「物理基礎_週2h」「生物_週2h」を平行履修 「物理」選択者は「物理基礎_週4h／前期」「物理_週4h／後期」の半期履修				

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
物理	2	全日制・普通科2年次	総合物理1－力と運動・熱－(教研出版)				
科目の目標		(1) 物理学の基本概念・自然界の法則についての知識と理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、仮説、実験を通して法則性を見いだすなど、科学的に探究する力を養う。 (3) 自然界のあらゆる現象に興味関心を持って主体的に関わり、科学的に応用・探究しようとする態度を養う。					
時期 月	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	
10月	第1編 力と運動 1. 運動の表し方 (1) 速度 (2) 加速度－平面－ (3) 落体の運動 －水平・斜方投射－	6	① 知識・技能 - 平面上の合成速度、相対速度の意味と求め方を理解している。 - 等加速度直線運動を表すつの式がどのようにして得られたかを理解し、その式やグラフを正しく運用することができる。 - 水平投射は鉛直方向には自由落下、水平方向には等速直線運動をしていることを理解し、適切に式を運用できる。 - 斜方投射は鉛直方向には鉛直投げ上げ、水平方向には等速直線運動をしていることを理解し、適切に式を運用できる。	ノート、授業観察、小テスト、考査テスト	* 物理基礎の復習 実験1 斜面を降下する台車の運動 実験2 重力加速度の大きさの測定 実験3 水平投射 実験4 動く発射台からの投射	- 班別実験による討議、発表、レポート作成 - 発問に対する個別解答	- 保健体育(運動) - 地歴公民(技術史)
10月	2. 運動の法則 (1) 力 (2) つりあい (3) 運動の法則 (4) 摩擦力 (5) 液体や気体から受ける力 (6) 剛体	10	① 知識・技能 - 力のモーメントについて理解している。 - 剛体のつりあいでは並進運動しない条件と回転運動しない条件が必要なことを理解している。 - 複数の力の合力や、偶力のモーメントを求めることができる。 - 重心を求めることができる。 - 剛体の転倒する条件を理解している。	ノート、授業観察、小テスト、考査テスト	* 物理基礎の復習 実験5 力のつりあい 実験6 作用反作用の法則 実験7 台車に力を加えるときの運動 実験8 静止摩擦力 実験9 浮力の測定 実験10 棒のつりあい 実験11 重心の求め方 実験12 斜面上の直方体	- 班別実験による討議、発表、レポート作成 - 発問に対する個別解答	- 保健体育(運動) - 地歴公民(技術史)
10・11月	3. 仕事と力学的エネルギー (1) 仕事 (2) 運動エネルギー (3) 位置エネルギー (4) 力学的エネルギー保存則	6	① 知識・技能 - 仕事やエネルギー、力学的エネルギー保存則を理解し、使いこなすことができる。 - 物体に保存以外の力がはたらくとき、その仕事の量だけ物体の力学的エネルギーは変化することを理解している。	ノート、授業観察、小テスト、考査テスト	* 物理基礎の復習 実験13 重力による位置エネルギー 実験14 力学的エネルギー保存則 実験15 力学的エネルギー保存則の検証	- 班別実験による討議、発表、レポート作成 - 発問に対する個別解答	- 保健体育(運動) - 地歴公民(技術史)
11月	4. 運動量の保存 (1) 運動量・力積 (2) 運動量保存則 (3) 反発係数	12	① 知識・技能 - 運動量の変化はその間に物体が受けた力積に等しいことを理解し、平面運動でも運動量と力積との間に成りたつ関係式をベクトル図から考えることができる。 - 直線運動、平面運動における運動量保存則式を用いて表現することができる。 - 衝突の前後ににおける相対速度の比である反発係数の式を用いて、衝突する物体の運動を調べることができる。 - 運動量保存則と反発係数の式から物体の速さを求めることができる。 - 弹性衝突以外では、力学的エネルギーが保存されないことを理解している。	ノート、授業観察、小テスト、考査テスト	実験16 運動量と力積 実験17 2物体の衝突 実験18 運動量保存則 実験19 反発係数の測定	- 班別実験による討議、発表、レポート作成 - 発問に対する個別解答	- 地学(ロケット、惑星)
11・12月	5. 円運動と万有引力 (1) 等速円運動 (2) 慣性力 (3) 単振動 (4) 万有引力	14	① 知識・技能 - 等速円運動をしている物体の回転の速度、角速度、周期、回転数、必要な向心力、の諸量の定義を理解し、運動方程式を立てられる。 - 慣性力、遠心力を含めたつりあいの式を立てることができる。 - ねじり子や单振り子の周期を表す式を導く過程を理解し、周期や振幅、最大の速さなどを求めることができる。 - ケプラーの法則、万有引力の式を理解している。 - 万有引力の位置エネルギーの式を用いて、力学的エネルギー保存則の式を立てることができる。	ノート、授業観察、小テスト、考査テスト	実験20 等速円運動の向心力 実験21 慣性力 実験22 单振動の周期 実験23 ねじり子の周期の測定 実験24 单振り子 実験25 单振り子の周期の測定 実験26 ケプラーの第二法則 実験27 万有引力の法則(実験)	- 班別実験による討議、発表、レポート作成 - 発問に対する個別解答	- 地学(惑星の運動)
1月	第2編 熱と気体 1. 熱と物質 (1) 熱と物質の状態 (2) 熱と仕事	6	① 知識・技能 - 温度、熱運動、熱量、比熱、熱容量、熱量の保存などが正しく理解され、式を立てることができます。また、状態変化の際の熱のやりとりについて理解している。 - 仕事と熱の関係について理解している。	ノート、授業観察、小テスト、考査テスト	* 物理基礎の復習 実験28 ブラウン運動 実験29 比熱の測定	- 班別実験による討議、発表、レポート作成 - 発問に対する個別解答	- 化学(状態変化) - 地歴公民(技術史・環境) - 家庭科(生活器具・環境)
1～3月	2. 気体のエネルギーと状態変化 (1) 気体の法則 (2) 気体分子の運動 (3) 気体の状態変化 (4) エネルギーの移り変わり	16	① 知識・技能 - ボイル・シャルルの法則を用いて、状態変化後の気体の圧力、体積・絶対温度を求めることができる。また、理想気体の状態方程式を用いることができる。 - 気体が熱運動して壁などの面に力を及ぼすから圧力の大きさを表す式を導くことができる。 - 理想気体の内部エネルギー、熱力学第一法則について理解している。 - 気体の状態変化の「定積変化」「定圧変化」「等温変化」「断熱変化」をp-V図や式で表すことができる。 - 気体のモル比熱について理解し、マイヤーの関係やボアソンの法則を適切に用いることができる。 - 熱機関サイクルの状態変化を理解し、熱効率を求めることができる。	ノート、授業観察、小テスト、考査テスト	実験30 ボイルの法則 実験31 断熱変化 実験32 スターリングエンジンの製作	- 班別実験による討議、発表、レポート作成 - 発問に対する個別解答	- 化学(気体)
月			② 思考・判断・表現 - 気体の圧力、体積、絶対温度の間の関係について理解している。 - 壁に分子が衝突することから分子の運動量の変化、壁が受けける圧力を考察し、理想気体の気体分子の速度と圧力の関係について説明できる。また、平均運動エネルギーと絶対温度の関係を説明できる。 - 気体の状態変化と気体がされた仕事について説明できる。	ノート、授業観察、小テスト、考査テスト			
			③ 主題的に学習に取り組む態度 - 気体の圧力や体積、温度を変えるとき、これらの量の間にどのような関係が成り立っているかを理解しようとしている。法則を検証する実験にも主体的に取り組んでいる。 - 気体分子のミクロな量と、圧力などのマクロな量がどのような関係にあるか興味関心をもち、理解しようとしている。 - 気体が状態変化をすると、エネルギーはどのようになるのかを理解しようとしている。	ノート、授業観察、課題			
	指導時間数の計	70	備考: 前期に「物理基礎」2単位、週4hを履修済み				

学校の教育目標		1 学習指導の技術を向上させ、主体的・対話的で深い学びを実現するとともに確かな学力の定着を図る。 2 自主的・自律的な生活態度を育成し学習習慣の確立を図る。					
教科の目標		自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。					
科目名		単位数	課程・学科・学年		使用教科書名(出版社)		
化学		3	全日制・普通科・2年次		化学(実教出版)		
科目の目標	単元・題材名	指導時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月	1章 物質の状態と平衡 1節 状態変化	7	<p>① 知識・技能 ・物質の構造と沸点・融点の関係について、基本的概念や知識を身につけている。 ・状態の平衡と粒子の熱運動について、基本的な原理や知識を理解している。 ・実験 1において、適切な実験操作を身に付けている。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・物質の構造が沸点・融点に大きく影響していることを考えることができる。 ・平衡状態における粒子のふるまいについて推論することができ、モデルで表現することができる。 ・実験 1を探究的に行い、考察することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・物質の構造と融点・沸点の関係に関心を持ち、それらを意欲的に探究しようとする。 ・物質の平衡と粒子の熱運動に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。</p>	<p>[発言分析・行動観察]</p> <p>[記録分析・記述分析]</p> <p>[発言分析・行動観察]</p>	<p>理科の見方・考え方を働かせ、物質の状態と平衡についての観察、実験などを通して、物質の状態とその変化、溶液と平衡について理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付け、思考力、判断力、表現力等を育成する。</p>	<p>・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成</p>	<p>・国語（レポート作成）</p>
5月	2節 固体の構造	8	<p>① 知識・技能 ・結晶構造について、基本的な知識を身につけたり、結晶とアモルファスの違いについて理解している。 ・実験 2において、適切な実験操作を身に付けている。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・結晶構造を理解し、モデルで表現することができる。 ・結晶とアモルファスの違いについて理解し、説明することができる。 ・実験 2を探究的に行い、考察することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・結晶の構造について興味をもち、意欲的に探究しようとする。</p>	<p>[発言分析・記述分析]</p> <p>[行動観察・記録分析]</p> <p>[行動観察・記録分析]</p>		<p>・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成</p>	<p>・国語（レポート作成）</p>
5月 ～6月	3節 気体の性質	12	<p>① 知識・技能 ・ボイル・シャルルの法則を理解し、知識として身につけている。 ・気体の状態方程式の原理を理解し、関連問題を解くことができる。 ・実験 3において、適切な実験操作を身に付けている。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・気体の温度、体積、圧力の関係を論理的に考え、基本的な計算で導くことができる。 ・気体の状態方程式について、その関係性を理解し、計算することができる。 ・実験 3を探究的に行い、考察することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・気体の温度、体積、圧力の関係に関心をもち、探究しようとする。 ・気体において成り立つ気体の状態方程式について、その導き方と計算方法について探究しようとする。</p>	<p>[発言分析・記述分析]</p> <p>[行動観察・記録分析]</p> <p>[行動観察・記録分析]</p>		<p>・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成</p>	<p>・国語（レポート作成）</p>
			<p>① 知識・技能 ・溶解のしくみについて、基本的原理と知識を身につけている。 ・溶解度の定義や法則を理解している。 ・沸点上昇、蒸気圧降下、浸透圧などの溶液の性質について、その基本原理と知識を身につけている。 ・コロイド溶液について、その基本概念と性質を実験を通して理解し、知識として身につけている。 ・実験 4、5において、適切な実験操作を身に付けている。</p>	<p>発言分析・記述分析]</p>		<p>・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成</p>	<p>・国語（レポート作成）</p>

6月 ～7月	4節 溶液	15	② 思考・判断・表現 ・溶液の溶解の仕方について、その液性と関連付けて理論的に考えることができる。 ・溶解度について理解し、計算することができる。 ・沸点上昇、凝固点降下、浸透圧などについて理解し、それをもとにした計算をすることができる。 ・コロイド溶液の性質について、推論することができる。 ・実験4、5を探究的に行い、考察することができる。	[発言分析・記録分析]		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・物質の溶解の仕方と溶解度について関心を持ち、探究しようとする。 ・溶液の性質に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 ・コロイド溶液について、その性質やふるまいに関心を持ち、意欲的に探究しようとする。	[発言分析・記録分析]		
9月	2章 物質の変化と平衡 1節 化学反応と熱・光エネルギー	10	① 知識・技能 ・化学反応と熱エネルギーの関係について、基本的概念を理解し、エンタルピーの表記を使用して熱の出入りを示すことができる。 ・化学反応と光エネルギーの関係について、具体例をもとに、基本的概念を理解している。 ・実験6、7において、適切な実験操作を身に付けている。	[発言分析・記述分析]	理科の見方・考え方を働きかせ、物質の変化と平衡についての観察、実験などを通じて、化学反応とエネルギー、化学反応と化学平衡について理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付け、思考力、判断力、表現力等を育成する。	・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成 ・国語（レポート作成）
			② 思考・判断・表現 ・化学反応と熱エネルギーの関係について理解し、その性質や法則を論理的に考えることができる。 ・化学反応と光エネルギーの関係について理解し、論理的に考えることができる。 ・実験6、7を探究的に行い、考察することができる。	[発言分析・記述分析]		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・化学反応とエネルギーの関係について関心を持ち、熱エネルギーと光エネルギーについて探究しようとする。	[行動観察・記録分析]		
9月 ～10月	2節 電池と電気分解	15	① 知識・技能 ・電池と電気分解のしくみについて理解し、電気量と物質量の関係から、関連問題を解くことができる。 ・実験8において、適切な実験操作を身に付けている。	[発言分析・記述分析]	理科の見方・考え方を働きかせ、物質の変化と平衡についての観察、実験などを通じて、化学反応とエネルギー、化学反応と化学平衡について理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付け、思考力、判断力、表現力等を育成する。	・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成 ・国語（レポート作成）
			② 思考・判断・表現 ・化学反応と電気エネルギーの関係について理解し、酸化還元反応と関連させて論理的に考えることができる。 ・実験8を探究的に行い、考察することができる。	[発言分析・記述分析]		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・化学反応とエネルギーの関係について関心を持ち、電気エネルギーについて探究しようとする。	[行動観察・記録分析]		
10月 ～11月	3節 反応の速さとしくみ	10	① 知識・技能 ・反応速度に影響する条件を理解し、その知識をもとに反応のしくみを理解している。 ・実験9において、適切な実験操作を身に付けている。	[発言分析・記述分析]	理科の見方・考え方を働きかせ、物質の変化と平衡についての観察、実験などを通じて、化学反応とエネルギー、化学反応と化学平衡について理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付け、思考力、判断力、表現力等を育成する。	・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成 ・国語（レポート作成）
			② 思考・判断・表現 ・反応の速さを決める条件やそのしくみを理解し、反応のしくみについて論理的に推論することができます。 ・実験9を探究的に行い、考察することができる。	[発言分析・記述分析]		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・反応の速さに関する事象・現象に関心を持ち、反応のしくみを探究しようとする。	[行動観察・記録分析]		
11月 ～12月	4節 化学平衡	15	① 知識・技能 ・化学平衡について、その概念、原理、法則を理解している。 ・化学平衡の移動の原理を理解している。 ・電離平衡について、酸・塩基と関連付けて、その原理を理解している。 ・実験10において、適切な実験操作を身に付けている。	[発言分析・記述分析]	理科の見方・考え方を働きかせ、物質の変化と平衡についての観察、実験などを通じて、化学反応とエネルギー、化学反応と化学平衡について理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付け、思考力、判断力、表現力等を育成する。	・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成 ・国語（レポート作成）
			② 思考・判断・表現 ・化学平衡について、その原理と法則を論理的に理解することができます。 ・平衡の移動について論理的に説明することができます。 ・電離平衡について、酸・塩基の概念と共に理解し、説明することができる。また、pHを計算することができる。 ・実験10を探究的に行い、考察することができる。	[発言分析・記述分析]		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・化学反応における可逆反応、化学平衡に興味を持ち、その現象について探究しようとする。 ・化学平衡における移動、利用について探究しようとする。	[行動観察・記録分析]		
1月	第3章 無機物質 1節 周期表	1	① 知識・技能 ・周期表における各元素の配置、性質を理解している。	[発言分析・記述分析]	理科の見方・考え方を働きかせ、無機物質の性質についての観察、実験などを通じて、無機物質について理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付け、思考力、判断力、表現力等を育成する。	・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成 ・国語（レポート作成）
			② 思考・判断・表現 ・無機物質の性質を周期表と関連付けて理解することができる。	[発言分析・記述分析]		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・周期表における元素の配置に興味を持ち、各元素の分類を探究しようとする。	[行動観察・記録分析]		

1月～ 3月	2節 非金属元素	12	① 知識・技能 ・非金属元素の単体、化合物において、それぞれの物質の製法、性質、反応性について理解し、知識を身に付けている。 ・人間生活で利用されている無機物質について理解し、具体的な例を知識として身に付けている。 ・実験 1-1、1-2において、適切な実験操作を身に付けている。	[発言分析・記述分析]	・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成	・国語（レポート作成）
			② 思考・判断・表現 ・それぞれの非金属元素の単体、化合物において、その性質や反応を論理的に類推、考察することができる。また、実験を通して判断することができる。 ・実験 1-1、1-2を探究的に行い、考察することができる。	[発言分析・記述分析]		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・それぞれの非金属元素の単体、化合物について関心を持ち、その製法や性質、反応性について意欲的に探究しようとする。 ・人間生活に利用されている無機物質について興味を持ち、その利用のされ方を積極的に探究しようとする。	[行動観察・記録分析]		
指導時間数の計		105				

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
生物	2	全日制・普通科・2年次	高等学校 生物(第一学習社)				
科目的目標		(1)生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。(知識及び技能) (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。(思考力・判断力・表現力) (3)生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う・生物や生物現象の基本的な概念や原理・法則を、科学的な観点より理解する(学び向かう力・人間性等)					
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動 各教科等横断的な資質・能力の育成に関する他教科等との関連	
4・5・6 月	生物の進化 ・生命の起源と細胞の進化 ・遺伝子の変化と進化の組合せ	18	① 知識・技能 ・生命の起源と細胞の進化に関する資料に基づいて、生命の起源に関する考え方を理解させるとともに、細胞の進化を地球環境の変化と関連付けて理解する。 ・遺伝子の変化に関する資料に基づいて、突然変異と生物の形質の変化との関係を見いだして理解させ、進化の理解する。 ・有性生殖によって遺伝子の多様な組合せが生じることを見いだして理解する。 ② 思考・判断・表現 ・生物の進化について、観察、実験、資料学習などを通して探究し、生物の進化についての特徴を見いだして表現する。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・生命の起源・細胞の進化・遺伝子についての観察、実験などを通して主体的に学習に取り組む。	ノート・観察 ノート・観察 レポート 観察・ノート	・生物はどのように誕生したのか、どのようなしくみで進化し多様化したのかを学ぶ。 ・資料学習を行う。	グループ 資料1 生物の進化と地球の大気組成の変化との関係を考えよう。 資料2 遺伝子の変化との形質との関係について考えよう。 資料3 連鎖している遺伝子の遺伝について考えよう。	保健・家庭科(生殖) 地歴公民(進化)
7・9月	生物の進化 ・生物の系統と進化	16	① 知識・技能 ・生物の遺伝情報に関する資料に基づいて、生物の系統と塩基配列やアミノ酸配列との関係を見いだして理解する。 ・生物の遺伝情報に関する資料に基づいて、生物の系統と塩基配列やアミノ酸配列との関係を見いだして理解したり、系統樹を描くことができる。 ② 思考・判断・表現 ・生物の進化について、観察、実験、資料学習などを通して探究し、生物の進化についての特徴を見いだして表現する。 ・進化の道筋を資料に基づいて推定し、判断できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・生物の進化についての観察、実験などを通じて主体的に学習に取り組み、自分と自分を取り巻くすべての生物について考えることができる。	ノート・観察 ノート・観察 レポート 観察・ノート	・進化の道筋は、どのような方法で推定することができるのかを学ぶ。 ・実験1～4 遺伝子頻度 ・資料学習を行う。	グループ 資料4 アミノ酸配列と系統関係 資料5 平均距離法 資料7 類人猿と人類の比較	地歴公民(進化)
10・11・ 12月	生命現象と物質 ・細胞と分子	18	① 知識・技能 ・生体物質と細胞に関する資料に基づいて、細胞を構成する物質を細胞の機能と関連付けて理解する。 ・タンパク質が生命現象で主要な物質であることを理解する。 ・生命現象とタンパク質に関する観察、実験などを行う。 ② 思考・判断・表現 生命現象と物質について、観察、実験などを通じて探究し、生命現象と物質についての特徴を見いだして表現する。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 生命現象と物質について観察、実験などを通じて主体的に学習に取り組む。	ノート・観察 ノート・観察 レポート 観察・ノート	・細胞膜にはどのような性質があるか、どのような働きを持つタンパク質が細胞には存在するかを学習する。 ・実験4・5 カタラーゼの働き	グループ 資料7 界面活性剤を用いた実験からの生体膜の構造について	家庭科(アミノ酸)

1・2・3 月	生命現象と物質 ・代謝	18	① 知識・技能 ・呼吸に関する資料に基づいて、呼吸を ATP が合成される過程におけるエネルギーの流れと関連付けて理解する。 ・光合成を糖の合成に至るまでのエネルギーの流れと関連付けて、理解する。	ノート・観察	・代謝の代表的な例である光合成や呼吸では、どのような過程で有機物を合成したりエネルギーを取り出したりしているのかを学習する。 ・実験 6 緑葉に含まれる色素 ・実験 7 脱水素酵素による酸化還元反応 ・実験 8 アルコール発酵	グループ 演習 1 呼吸基質の推定	
			② 思考・判断・表現 ・呼吸では、糖のエネルギーが解糖系、クエン酸回路、電子伝達系と流れる過程で、ATP が合成されること判断できる。その際、電子伝達系において水素イオンの濃度勾配が生じ、その濃度差を利用して ATP が合成されることを表現できる。 ・光のエネルギーが光化学系と電子伝達系を流れる過程で、ATP やNADPH が合成され、それを使ってカルビン回路で糖が合成されるまでのエネルギーの流れを考えることができる。その際、電子伝達系において水素イオンの濃度勾配が生じ、その濃度差を利用して ATP が合成されることを表現できる。 ・光合成と呼吸の反応で共通点や異なる点を判断することができる。	ノート・観察 レポート	③ 主体的に学習に取り組む態度 代謝について観察、実験などを通して主体的に学習に取り組む。		
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
地学基礎	2	全日制・普通科・2年次	地学基礎(東京書籍)				
科目的目標		地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。(知識及び技能) (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。(思考力、判断力、表現力等) (3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)					
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	
4月	1編 私たちの大地 1章 大地とその動き 1節 地球の形と大きさ	6	① 知識・技能 地球のすがたについて、地球の形や大きさに関する観察、実験などを行い、地球の形の特徴と大きさを見いだして理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 地球の形と大きさについて、観察、実験などを通して探究し、惑星としての地球、活動する地球、大気と海洋について、規則性や関係性を見いだして表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとし、自然環境の保全に寄与しようとしている。	テスト、提出物、行動観察 テスト、提出物、行動観察 提出物、行動観察	講義 演習 調べ学習 生徒発表	ペアワーク グループワーク 発表	・数学: 数値的な処理や計算 ・英語: 語句の理解 ・国語: 語句の理解 ・社会: 環境問題との関連
5月	1章 大地とその動き 2節 地球の構造	8	① 知識・技能 地球のすがたについて、地球内部の層構造とその状態を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 地球内部の層構造について、観察、実験などを通して探究し、惑星としての地球、活動する地球、大気と海洋について、規則性や関係性を見いだして表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとし、自然環境の保全に寄与しようとしている。	テスト、提出物、行動観察 テスト、提出物、行動観察 提出物、行動観察	講義 演習 調べ学習 生徒発表	ペアワーク グループワーク 発表	・数学: 数値的な処理や計算 ・英語: 語句の理解 ・国語: 語句の理解 ・社会: 環境問題との関連
6月	1章 大地とその動き 3節 地球内部の動きとプレート ~	8	① 知識・技能 地球のすがたについて、プレートの分布と運動を理解し、大地形の形成と地質構造をプレートの運動と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 プレートの運動について、観察、実験などを通して探究し、惑星としての地球、活動する地球、大気と海洋について、規則性や関係性を見いだして表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとし、自然環境の保全に寄与しようとしている。	テスト、提出物、行動観察 テスト、提出物、行動観察 提出物、行動観察	講義 演習 調べ学習 生徒発表	ペアワーク グループワーク 発表	・数学: 数値的な処理や計算 ・英語: 語句の理解 ・国語: 語句の理解 ・社会: 環境問題との関連
7~10月	2章 火山活動と地震	18	① 知識・技能 地球のすがたについて、火山活動や地震に関する資料に基づいて、火山活動と地震の発生の仕組みをプレートの運動と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 火山活動と地震について、観察、実験などを通して探究し、惑星としての地球、活動する地球、大気と海洋について、規則性や関係性を見いだして表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとし、自然環境の保全に寄与しようとしている。	テスト、提出物、行動観察 テスト、提出物、行動観察 提出物、行動観察	講義 演習 調べ学習 生徒発表	ペアワーク グループワーク 発表	・数学: 数値的な処理や計算 ・英語: 語句の理解 ・国語: 語句の理解 ・社会: 環境問題との関連
11~12月	2編 私たちの空と海 1章 地球の熱収支	12	① 知識・技能 地球のすがたについて、気圧や気温の鉛直方向の変化などに関する資料に基づいて、大気の構造の特徴を見いだして理解し、太陽放射の受熱量と地球放射の放熱量がつり合っていることを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 地球の熱収支について、観察、実験などを通して探究し、惑星としての地球、活動する地球、大気と海洋について、規則性や関係性を見いだして表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとし、自然環境の保全に寄与しようとしている。	テスト、提出物、行動観察 テスト、提出物、行動観察 提出物、行動観察	講義 演習 調べ学習 生徒発表	ペアワーク グループワーク 発表	・数学: 数値的な処理や計算 ・英語: 語句の理解 ・国語: 語句の理解 ・社会: 環境問題との関連
1~3月	2章 大気と海水の運動	18	① 知識・技能 地球のすがたについて、大気と海水の運動に関する資料に基づいて、大気と海洋の大循環について理解し、緯度により太陽放射の受熱量が異なることなどから、地球規模で熱が輸送されていることを見いだして理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 大気と海水の運動について、観察、実験などを通して探究し、惑星としての地球、活動する地球、大気と海洋について、規則性や関係性を見いだして表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとし、自然環境の保全に寄与しようとしている。	テスト、提出物、行動観察 テスト、提出物、行動観察 提出物、行動観察	講義 演習 調べ学習 生徒発表	ペアワーク グループワーク 発表	・数学: 数値的な処理や計算 ・英語: 語句の理解 ・国語: 語句の理解 ・社会: 環境問題との関連
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
地学	2	全日制・普通科・2年次	高等学校 地学(啓林館)				
科目的目標		地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働きかせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 地学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。(知識及び技能) (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。(思考力、判断力、表現力等) (3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)					
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	
10～翌年3月	第1部 固体地球の概観と活動	70	① 知識・技能 地球の形状や内部構造について、地球の形状と重力との関係、地磁気の特徴とその働き、地球内部の構造、地球内部の温度、密度、圧力及び構成物質の組成を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 地球の形状や内部構造について、観察、実験などを通じて探究し、地球の形状や内部構造の特徴を見いだして表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	テスト、提出物、行動観察 テスト、提出物、行動観察 提出物、行動観察	講義 演習 調べ学習 生徒発表	ペアワーク グループワーク 発表	・数学: 数値的な処理や計算 ・英語: 語句の理解 ・国語: 語句の理解 ・社会: 環境問題との関連
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
物理	5	全日制・普通科・3年次	総合物理2-波・電気と磁気・原子(数研出版)			
科目的目標		(1) 物理学の基本概念・自然界の法則についての知識と理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、仮説、実験を通して法則性を見いだすなど、科学的に探究する力を養う。 (3) 自然界のあらゆる現象に興味関心を持って主体的に関わり、科学的に応用・探究しようとする態度を養う。				
時期 月	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動
4月	第3編 波 1. 波の性質 (1) 波と媒質の運動 (2) 正弦波の式 (3) 波の伝わり方	12	<p>① 知識・技能 ・波の発生原理や継波と横波の違いを理解し、継波を横波の形で表現できる。 ・位相ずれや進行方向の違いも考慮し、正弦波の式を正しく表すことができる。 ・定在波の生じるしきみ、実験・観察を通して波の重ねあわせの原理や自由端・固定端での波の反射について、水面波の干涉で得られる波の重ねあわせの条件・波の反射屈折の法則 等を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・波の基本事項について説明できる。 ・正弦波の式に$t=0, t=2T$を代入した式について、何を表す式かを説明することができる。 ・強めあう条件と弱めあう条件を説明することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・身近な波の現象に興味をもち、発生原理や基本事項を理解しようとしている。 ・正弦波を数式で表す方法について理解しようとしている。 ・波の干涉や反射屈折などの波の伝わり方に興味をもち、水面波の干渉や水面波の反射と屈折・水面波の回折の実験に主体的に取り組んでいる。</p>	ノート、授業観察、小テスト、発表 *物理基礎・物理「円運動」の復習 実験1 縦波・横波 実験2 重ねあわせの原理 実験3 反射・定常波 実験4 ホインスの原理、屈折、干渉	・班別実験による討議、発表、レポート作成 ・発問に対する個別解答	・保健体育・地歴公民 ・地学(地震、津波)
5月	2. 音 (1) 音の伝わり方 (2) 発音体の振動と共振・共鳴 (3) 音のドップラー効果	16	<p>① 知識・技能 ・音の干涉について音が強めあう条件と弱めあう条件を理解し、うなりについて干渉の知識を用いて定量的に扱うことができる。 ・弦や気柱の振動と音の高さの関係について理解している。 ・ドップラー効果の式を用いて、観測者が聞く音の振動数を求めることができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・音は空気などの媒質が必要であること、冬の良く晴れた夜に遠くの音がよく聞こえる理由、を説明することができる。 ・弦楽器や管楽器について、どのようにして音の高さを変えているかについて、自分の考えを述べることができる。 ・身近な現象である音のドップラー効果に興味をもち、なぜそのような現象が起こるか理解しようとしている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・音が関係する現象に興味をもち、音の性質と音の伝わり方にについて理解しようとしている。 ・弦楽器や管楽器について、どのようにして音の高さを変えているかについて、自分の考えを述べることができる。 ・身近な現象である音のドップラー効果に興味をもち、なぜそのような現象が起こるか理解しようとしている。</p>	ノート、授業観察、小テスト、発表 *物理基礎の復習 実験5 音の三要素、観察 実験6 可聽音と超音波 実験7 音の干涉 実験8 弦の共鳴 実験9 気柱の共鳴 実験10 楽器 実験11 回転ブザーのドップラー効果 実験12 水面波のドップラー効果	・班別実験による討議、発表、レポート作成 ・発問に対する個別解答	・保健体育・音楽(音波、楽器)
6月	3. 光 (1) 光の性質 (2) レンズと鏡 (3) 光の回折と干渉	16	<p>① 知識・技能 ・光の反射、屈折、分散、散乱、その際に成立する法則を理解している。 ・レンズと鏡によって生じる像を作図すること、写像公式を利用して凸レンズの焦点距離を測定することができる。 ・ヤングの実験、回折格子、薄膜、くさび形空気層、ニュートンリングのそれぞれの光の干渉条件を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・媒質の境界面で屈折する図からどちらの媒質が光が速いか判断でき、プリズムで白色光が分散する理由を説明することができる。 ・凸レンズの上半分をおこう像がどうなるか、焦点距離の外側に物体を置くとどのような像が生じるか、説明することができる。 ・回折格子の波長や格子定数を変えたときの明線の間隔の変化、ヤングの実験で光が強めあうときの条件、媒質の屈折率と光路長の関係、くさび形空気層の平面ガラスに力を加えたときの線の変化、について説明することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・光についての基本事項と光の進み方について理解しようとしている。 ・レンズや鏡に興味をもち、どのような像ができるか理解しようとしている。 ・ヤングの実験と回折格子の干渉実験に主体的に取り組んでいる。</p>	ノート、授業観察、小テスト、発表 *物理基礎の復習 実験13 虹、青空の原理 実験14 レンズの利用 実験15 ヤングの実験 実験16 分光器の製作	・班別実験による討議、発表、レポート作成 ・発問に対する個別解答	・保健体育・美術 ・情報・地学(光、鏡、恒星)
7月	第4編 電気と磁気 1. 電界と電位 (1) 静電気力 (2) 電場 (3) 電位 (4) 物質と電場 (5) コンデンサー	18	<p>① 知識・技能 ・帯電のしみや電気量、電気量保存の法則やクーロンの法則を理解し、関係式を正しく適用できる。 ・電場がベクトル量であることを理解し電場の向きや強さを求めることができ、電気力線を理解している。 ・電位、等電位線(面)を理解している。 ・静電遮蔽を理解している。 ・コンデンサーの基本式、誘電体をはさんだとき、直列並接続、充電放電のしかた、を正しく理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・電荷間の距離をはたらかせる静電気力との関係、静電誘導及び誘電分極の現象を、説明できる。 ・電位はスカラーラー量、電気力線と等電位線の関係、を説明できる。 ・電場中の導体内部の電場と電位、アース線の役割、を説明できる。 ・平行板コンデンサーの充電のメカニズム、誘電体をはさんだときの電気容量、を説明することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・身近な現象から、静電気の現象に興味・関心をもち、さまざまな静電気現象について理解しようとしている。 ・電気的な力が及ぶ空間である電場、電位、静電遮蔽などの事例、について興味・関心を示し、電場と電位の違いについて理解しようとしている。 ・コンデンサーの性質などを理解しようとしている。</p>	ノート、授業観察、小テスト、発表 実験17 滲検電器 実験18 等電位線 実験19 静電遮蔽、静電モーター 実験20 コンデンサーの電容量	・班別実験による討議、発表、レポート作成 ・発問に対する個別解答	・技術・情報(電気回路)
9月	2. 電流 (1) オームの法則 (2) 直流回路 (3) 半導体	12	<p>① 知識・技能 ・オームの法則をはじめとする基本式、ショル熱や電力・電力量について、理解している。 ・抵抗の直列並接続と並列電圧の関係、電圧計・電流計や分流器・倍率盤、キルヒホフの法則、電池の起電力や内部抵抗の関係やホイーストンブリッジや電位差計など未知の抵抗値や起電力を調べる方法、を理解している。 ・ダイオードやトランジスターのしくみはたとえを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・電圧降下とは、温度と抵抗率の関係、静電誘導及び誘電分極の現象を、説明することができる。 ・電圧計に記載される内部抵抗の大きさを大きくする理由、電池の起電力や内部抵抗、について説明できる。 ・半導体のキャリアについて理解し、整流作用について説明できる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・電流の流れ方は物質の種類がつながりによってどのように異なるかということに興味をもっている。 ・半導体に興味や関心をもつことができる。</p>	ノート、授業観察、小テスト、発表 実験21 電力の熱作用 実験22 ホイーストンブリッジ 実験23 ダイオードの特性	・班別実験による討議、発表、レポート作成 ・発問に対する個別解答	・技術・情報(電気回路) ・化学(電気分解、電池)
9~10月	3. 電流と磁場 (1) 磁場 (2) 電流のつくる磁場 (3) 電流が磁場から受けける力 (4) ローレンツ力	16	<p>① 知識・技能 ・磁気力に関するクーロンの法則や磁場の定義の中で磁気量がどのように使われているか理解している。 ・直線・円電流・レノードの電流がつくる磁場を理解している。 ・フレミングの左手の法則、「説明率・比説明率・磁束密度・磁束」、平行電流が及ぼしあう力、を理解している。 ・ローレンツ力、「ホール効果・サイクロトロン」を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・磁石の性質について理解し、説明できる。 ・直線電流や円形電流がつくる磁場について説明できる。 ・磁束密度と磁場の関係を説明でき、フレミングの左手の法則を用いて電流の流れる導線がどの向きに力を及ぼすかを判断できる。 ・磁場中を運動する荷電粒子の運動を説明できる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・磁石の性質に興味を示し、身近なものとの関連を考えることができる。 ・電流で生じる磁場の向きを観察、実験で主体的に取り組んでいる。 ・モーターの原理、電流が磁場から受けける力について理解しようとしている。 ・オーロラなどのローレンツ力の例に興味・関心を示し、理解しようとしている。</p>	ノート、授業観察、小テスト、発表 実験24 磁石による磁場観察 実験25 電流による磁場観察 実験26 電流同士にはたらく力 実験27 モーター 実験28 クルックス管による荷電粒子にはたらく力	・班別実験による討議、発表、レポート作成 ・発問に対する個別解答	・地歴公民(技術史・環境) ・家庭科(生活器具・環境) ・技術・情報(電気回路) ・地学(惑星)
10月	4. 電磁誘導と電磁波 (1) 電磁誘導の法則 (2) 自己誘導と相互誘導 (3) 交流の発生 (4) 交流回路 (5) 電磁波	18	<p>① 知識・技能 ・電磁誘導の法則について説明し、確認できる。 ・自己誘導や相互誘導などの関係式を適用できる。 ・交流電流電圧の式や位相差、リアクタンスやインピーダンス、共振回路や電気振動、を理解している。 ・電磁波も回折・干渉・反射・屈折の性質を示すことを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・レンツの法則について説明できる。 ・自己誘導起電力の大きさを表示するフックの電磁誘導の法則の式から、コイルに蓄えられるエネルギーと電流の関係を、説明できる。 ・抵抗・コイル・コンデンサーに流れる交流電流に対する位相差を説明できる。 ・電磁波の発生原理について説明できる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・電磁誘導や渦電流の実験に主体的に取り組んでいる。 ・変圧器を例に、自己誘導・相互誘導に学習する意欲・関心をもっている。 ・コイルやコンデンサーでの電圧・電流の位相差に興味をもち、交流回路について理解しようとしている。</p>	ノート、授業観察、小テスト、発表 実験29 電磁誘導・交流発電機 実験30 自己誘導 実験31 振幅回路	・班別実験による討議、発表、レポート作成 ・発問に対する個別解答	・技術・情報(電気回路)

11月	16	第5編 原子 1. 電子と光 (1)電子 (2)光の粒子性 (3)X線 (4)粒子の波動性	① 知識・技能 ・放電(液体放電、真空放電)および陰極線、比電荷、ミリカンの実験を踏まえた電気素量の導出、を理解している。 ・光子のエネルギーの式、光電効果、電子ボルト単位を理解適用できる。 ・X線の性質、特徴、X線回折、コンブトン効果、を理解している。 ・物質波、電子線の回折や干渉、を理解している。	ノート、授業観察、小テスト、調査テスト	実験32 放電管、陰極線 実験33 光電効果	・班別実験による討議、発表、レポート作成 ・発問に対する個別解答	・地学(宇宙)
		② 思考・判断・表現 ・電子の比電荷と電気素量の値から電子の質量をどのように求めるか説明できる。 ・光電効果の原理を踏まえて、考え、説明することができる。 ・X線回折とコンブトン効果を、波動性と粒子性で説明できる。 ・電子の波動性について説明できる。	ノート、授業観察、レポート、調査テスト				
		③ 主体的に学習に取り組む態度 ・電子の発見、電荷や質量の測定、電子の性質、を理解しようとしている。 ・光の粒子性に興味、関心を示し、光電効果の原理を理解しようとしている。	ノート、授業観察、課題				
12~3月	16	2. 原子と原子核 (1)原子の構造とエネルギー準位 (2)原子核 (3)放射線とその性質 (4)核反応と核エネルギー (5)素粒子	① 知識・技能 ・連続・統一・ペクトル、ボーア理論(量子条件・振動条件)、を理解している。 ・原子・原子核・電子・中性子・陽子・中性子の数を求めることがで、同位体について理解している。 ・放射性崩壊による原子核の変化、半減期、単位の定義、を理解している。 ・核反応によって放出されるエネルギーを求めることができ、核分裂反応・核融合反応について理解している。 ・素粒子の分類について理解している。	ノート、授業観察、小テスト、調査テスト	実験34 黒い炎(吸収線) 実験35 霧箱	・班別実験による討議、発表、レポート作成 ・発問に対する個別解答	・地学(宇宙) ・技術(原力)
		② 思考・判断・表現 ・電子のエネルギー準位について理解し、説明できる。 ・原子核の構成から同位体どうのの相違点について説明できる。 ・α線、β線、γ線の正体や、α崩壊と崩壊のしくみを説明できる。 ・核反応の前後で原子核の質量の和が減少、質量差に相当するエネルギーが解放されることを定量的に説明できる。 ・ハドロンなどのような粒子で構成され、どのような力がはたらいているかを説明できる。	ノート、授業観察、レポート、調査テスト				
		③ 主体的に学習に取り組む態度 ・原子核に興味・関心を示し、構造とエネルギー準位も理解しようとしている。 ・原子核について理解しようとしている。 ・放射線と放射性物質の意味の違いに興味・関心を示し、放射線とその性質について理解しようとしている。 ・最大な量のエネルギーがなぜ取り出せるのか興味・関心を示し、理解しようとしている。 ・物質の最小単位、自然界にはどのような力が存在するか興味・関心を示し、理解しようとしている。	ノート、授業観察、課題				
12~3月	35	演習	① 知識・技能	模擬試験(毎時)		—	—
		② 思考・判断・表現	模擬試験(毎時)		—	—	
		③ 主体的に学習に取り組む態度	授業観察		—	—	
指導時間数の計		175					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
化学	3	全日制・普通科・3年次	化学704(実教出版)				
科目的目標	化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働きかせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す						
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	
4月	2節 非金属元素	8	<p>① 知識・技能 ・非金属元素の単体、化合物において、それぞれの物質の製法、性質、反応性について理解し、知識を身につけている。 ・人間生活で利用されている無機物質について理解し、具体的な例を知識として身につけている。 ・実験11、12において、適切な実験操作を身に付けている。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・それぞれの非金属元素の単体、化合物において、その性質や反応を論理的に類推、考察することができる。また、実験を通して判断することができる。 ・実験11、12を探究的に行い、考察することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・それぞれの非金属元素の単体、化合物について関心を持ち、その製法や性質、反応性について意欲的に探究しようとする。 ・人間生活で利用されている無機物質について興味を持ち、その利用のされ方を積極的に探究しようとする。</p>	[発言分析・記述分析]	理科の見方・考え方を働きかせ、無機物質の性質についての観察、実験などを通して、無機物質について理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付け、思考力、判断力、表現力等を育成する。	・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成	・国語(レポート作成)
4月 ～5月	3節 金属元素	12	<p>① 知識・技能 ・金属元素の単体、化合物において、それぞれの物質の製法、性質、反応性について理解し、知識を身につけている。 ・人間生活で利用されている無機物質について理解し、具体的な例を知識として身につけている。 ・金属イオンについて、それぞれの反応性を理解し、イオンを分離する方法を身につけている。 ・実験13～17において、適切な実験操作を身に付けている。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・それぞれの金属元素の単体、化合物の性質や反応を論理的に類推、考察することができる。また、実験を通して判断することができる。 ・実験13～17を探究的に行い、考察することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・それぞれの金属元素の単体、化合物について関心を持ち、その製法や性質、反応性について意欲的に探究しようとする。 ・人間生活で利用されている無機物質について興味を持ち、その利用のされ方を積極的に探究しようとする。</p>	[発言分析・記述分析]	理科の見方・考え方を働きかせ、有機化合物の性質についての観察、実験などを通して、有機化合物について理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付け、思考力、判断力、表現力等を育成する。	・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成	・国語(レポート作成)
5月 ～6月	1節 有機化合物の特徴と分類	7	<p>① 知識・技能 ・有機化合物の特徴と分類について理解している。 ・有機化合物の構造決定の方法を理解している。 ・実験18において、適切な実験操作を身に付けている。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・有機化合物の特徴を理解し、分類することができる。 ・有機化合物の構造決定の手順を理解し、実際に未知の化合物の構造を決定することができる。 ・実験18を探究的に行い、考察することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・有機化合物の特徴と分類について探究しようとする。 ・有機化合物の構造決定について意欲的に探究しようとする。</p>	[発言分析・記述分析]	理科の見方・考え方を働きかせ、有機化合物の性質についての観察、実験などを通して、有機化合物について理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付け、思考力、判断力、表現力等を育成する。	・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成	・国語(レポート作成)
6月	2節 脂肪族炭化水素	6	<p>① 知識・技能 ・炭化水素の構造や反応性、それぞれの関係について理解し、知識として身につけている。 ・異性体について理解している。 ・実験19において、適切な実験操作を身に付けている。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・アルカン、アルケン、アルキンのそれぞれの性質が構造に関連していることを理解し、異性体についても論理的に考察することができる。 ・実験19を探究的に行い、考察することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・アルカン、アルケン、アルキンについて、その構造と性質を意欲的に探究しようとする。</p>	[発言分析・記述分析]	理科の見方・考え方を働きかせ、有機化合物の性質についての観察、実験などを通して、有機化合物について理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付け、思考力、判断力、表現力等を育成する。	・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成	・国語(レポート作成)
6月	3節 酸素を含む脂肪族化合物	6	<p>① 知識・技能 ・酸素を含む脂肪族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解している。また、実験によって確かめられる。 ・人間生活で利用されている有機化合物について理解し、具体的な例を知識として身につけている。 ・実験20において、適切な実験操作を身に付けている。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・酸素を含む脂肪族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたらされることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。 ・実験20を探究的に行い、考察することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・酸素を含む脂肪族化合物について、その構造や性質、反応性を意欲的に探究し、官能基ごとに整理しようとする。 ・人間生活で利用されている有機化合物について興味を持ち、その利用のされ方を積極的に探究しようとする。</p>	[発言分析・記述分析]	理科の見方・考え方を働きかせ、有機化合物の性質についての観察、実験などを通して、有機化合物について理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付け、思考力、判断力、表現力等を育成する。	・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成	・国語(レポート作成)
7月 ～9月	4節 芳香族化合物	18	<p>① 知識・技能 ・芳香族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解している。また、実験によって確かめられる。 ・人間生活で利用されている有機化合物について理解し、具体的な例を知識として身につけている。 ・実験21～24において、適切な実験操作を身に付けている。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・芳香族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたらされることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。 ・実験21～24を探究的に行い、考察することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・芳香族炭化水素について、その構造や性質、反応性を意欲的に探究しようとする。 ・芳香族化合物について、その代表的な物質の性質や反応性を意欲的に探究しようとする。 ・人間生活で利用されている有機化合物について興味を持ち、その利用のされ方を積極的に探究しようとする。</p>	[発言分析・記述分析]	理科の見方・考え方を働きかせ、有機化合物の性質についての観察、実験などを通して、有機化合物について理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付け、思考力、判断力、表現力等を育成する。	・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成	・国語(レポート作成)

9月	1節 高分子化合物	6	<p>① 知識・技能 ・高分子化合物の分類と特徴について理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・高分子化合物の特徴を理解し、分類することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・高分子化合物の分類と特徴について探究しようとする。</p>	[発言分析・記述分析]	<p>高分子化合物についての観察、実験などを通して、合成高分子化合物、天然高分子化合物について理解し、それらの観察、実験などの技能を身に付けるとともに、思考力、判断力、表現力等を育成する。</p>	<p>・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成</p>	・国語(レポート作成)
10月	2節 天然高分子化合物	12	<p>① 知識・技能 ・天然高分子化合物の性質と反応に関する概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 ・人間生活で利用されている天然高分子化合物について理解し、具体的な例を知識として身につけている。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・天然高分子化合物について、代表的な物質の構造とその性質、存在例を理解することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・天然高分子化合物について、その構造や性質、存在例を意欲的に探究しようとする。 ・人間生活で利用されている天然高分子化合物について興味を持ち、その利用のされ方を積極的に探究しようとする。</p>	[発言分析・記述分析]		<p>・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成</p>	・国語(レポート作成)
11月	3節 合成高分子化合物	12	<p>① 知識・技能 ・合成高分子化合物の性質と反応に関する概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 ・合成高分子化合物について、日常生活および化学工業に関連付けて理解し、知識を身につけている。 ・人間生活で利用されている合成高分子化合物について理解し、具体的な例を知識として身につけている。 ・実験25、26において、適切な実験操作を身に付けています。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・合成高分子化合物について、代表的な物質の構造とその性質、利用例を理解することができる。また、単量体から高分子化合物の構造式を書くことができる。 ・実験25、26を探究的に行い、考察することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・合成高分子化合物について、その構造や性質、利用のされ方を意欲的に探究しようとする。 ・人間生活で利用されている合成高分子化合物について興味を持ち、その利用のされ方を積極的に探究しようとする。</p>	[発言分析・記述分析]		<p>・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成</p>	・国語(レポート作成)
12月	さまざまな物質と人間生活	12	<p>① 知識・技能 ・無機物質、有機化合物、高分子化合物のそれぞれの特徴に着目して、様々な物質がそれぞれの特徴を生かして人間生活の中で利用され、日常生活や社会を豊かにしていることを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・日常生活で利用されている物質について、具体的な例をもとに、克服してきた課題や科学技術の発展について、科学的な根拠に基づいて考察することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・日常生活で利用されている物質について、その特徴や技術的な背景について、探究しようとする。</p>	[発言分析・記述分析]	<p>理科の見方・考え方を働かせ、化学が果たす役割について、日常生活や社会と関連付けながら理解するとともに、思考力、判断力、表現力等を育成する。</p>	<p>・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成</p>	・国語(レポート作成)
1月	化学が築く未来	6	<p>① 知識・技能 ・資源、エネルギー、情報、生命、環境、材料などに関連する先端の化学に着目して、化学の成果が様々な分野で利用され、未来を築く新しい科学技術の基盤となっていることを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・今後の発展が期待されている化学とその応用について、具体的な事例をもとに考察することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・今後の発展が期待されている化学とその応用について、科学技術や利用の未来を考察し、探究しようとする。</p>	[発言分析・記述分析]		<p>・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成</p>	・国語(レポート作成)
指導時間数の計		105					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
生物	5	全日制・普通科・3年次	高等学校 生物(第一学習社)			
科目的目標		(1)生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。(知識及び技能) (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。(思考力・判断力・表現力) (3)生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う・生物や生物現象の基本的な概念や原理・法則を、科学的な観点より理解する(学び向かう力・人間性等)				
時期	単元・題材名	指導時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動
4・5月	遺伝情報とその発現	30	① 知識・技能 ・DNAの複製のしくみを理解している。 ・遺伝子の発現について理解している。 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度 遺伝情報とその発言に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究している。	ノート・観察 ノート・観察・レポート ノート・観察	•DNAの分子構造 •半保存的複製のしくみ、DNAポリメラーゼの働き •RNAの構造 •転写のしくみ、RNAポリメラーゼの働き •センス鎖とアンチセンス鎖 •スプライシング •遺伝暗号表 •翻訳の過程 •原核生物における転写・翻訳	各教科等横断的な資質・能力の育成に 関わる他教科等との 関連
6・7月	遺伝子の発現と調節	30	① 知識・技能 ・実験観察に関する器具の取り扱いが見についている。 ・遺伝子の発言が調節されていることを見出して理化している。 ② 思考・判断・表現 ・資料から状況に応じて遺伝子の発現が調節されていることや、胚の領域ごとに異なる遺伝子が発現することについて考察できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・発生と遺伝子発現に関する事物・現象に主体的に関わり、それらに対する気づきから課題を設定し解決することができる。	ノート・観察 ノート・観察・レポート ノート・観察	•調節タンパク質 •原核生物における遺伝子の発現調節 •真核生物における遺伝子の発現調節 •動物の配偶子形成、受精、卵割(観察1) •カエルの発生の過程 •細胞の分化と遺伝子の発現調節 •形成体と誘導 •器官形成と遺伝子の発現調節 •脊椎動物と節足動物におけるボディプランの多様性、共通性	保健体育 公民
9・10月	遺伝子を扱う技術とその応用	30	① 知識・技能 ・遺伝子を扱う技術の原理と有用性を理解している。 ② 思考・判断・表現 ・細胞への遺伝子導入を行い、遺伝子の発現調節について考察することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・遺伝子を扱う技術に関する事物・現象に主体的に関わり、それらに対する気づきから課題を設定し解決することができる。	ノート・観察 ノート・観察・レポート ノート・観察	•制限酵素、ベクター、プラスミド •クローニング、PCR法 •遺伝子の構造、発現、機能を解析する方法 •GFP遺伝子の導入による遺伝子の発現調節の確認(実験9) •食糧生産への応用 •医療への応用 •遺伝子を扱う際の課題	公民
11・12月	動物の反応と行動	30	① 知識・技能 ・外界の刺激を受容し、神経系を介して反応するしくみを関与する細胞の特性と関連づけて理解している。 ・盲斑検査の過程を適切に行うことができる。 ・動物の行動には生得的なものと習得的なものがあることを理解している。 ② 思考・判断・表現 ・資料から、運動ニューロンの活動電位と筋収縮の関係を考慮することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 動物の反応と行動に関する事物・現象に主体的に関わり、それらに対する気づきから課題を設定し解決することができる。	ノート・観察 ノート・観察・レポート ノート・観察	•ニューロン、神経系 •静止電位、活動電位 •興奮の伝導、伝達 •受容器(眼、耳、鼻)(実験10) •中枢神経系 •効果器 •ニューロンの活動電位と筋収縮のしくみの関係(資料12) •筋収縮のしくみ	
1・2月	植物の成長と環境応答	30	① 知識・技能 ・植物の成長や反応に植物ホルモンが関わることを理解している。 ・被子植物の配偶子形成と受精、胚の形成過程について理解している。 ② 思考・判断・表現 ・ダイコンの芽生えがリンゴの果実から受ける影響について仮説から考察することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・植物の成長と環境応答に関する事物・現象に主体的に関わり、それらに対する気づきから課題を設定し解決することができる。	ノート・観察 ノート・観察・レポート ノート・観察	•植物ホルモン、光受容体 •被子植物の受精、胚発生 •種子の休眠と発芽 •光芽種子 •植物の成長、屈性 •気孔の開閉 •花芽形成のしくみ •ABCモデル •果実の成熟、落葉・落果	家庭科
2・3月	生態系のしくみと人間の関わり	25	① 知識・技能 ・個体群が維持されているしくみや個体間の関係性を理解している。 ・生物群集が維持されるしくみを個体群間の関係性を見出して理解している。 ・生態系における物質の循環とエネルギーの流れについて理解している。 ② 思考・判断・表現 ・個体群の変動影響を与える要因を見出し、仮説を検証することができる。 ・2種を混合培養した実験の結果から異種間でも競争があることを見出せる。 ・人間活動が生態系に与えている影響を考察することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・生態系のしくみと人間のかかわりに関する事物・現象に主体的に関わり、それらに対する気づきから課題を設定し解決することができる。	ノート・観察 ノート・観察・レポート ノート・観察	•個体群の大きさ、構成 •個体群が維持されるしくみや個体間の関係性を見いだす(観察2、観察3) •競争と個体群密度 •種間競争、共生 •物質生産 •生産構造図の作成(観察4) •炭素の循環、窒素の循環 •生物多様性 •人間活動が生態系に及ぼす影響 •化学肥料の使用が生態系に及ぼす影響 •生態系サービス •生態系保全の取り組み •生態系に影響を与える人間活動と保全の取り組みの調査(調査1)	保健体育 家庭科 公民
指導時間数の計		175				

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
地学基礎	2	全日制・普通科・3年次	高等学校 地学基礎(第一学習社)				
科目的目標		地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働きかせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。(知識及び技能) (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。(思考力、判断力、表現力等) (3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)					
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	
4~6月	第4章 宇宙と地球	25	① 知識・技能 変動する地球について、宇宙や太陽系の誕生から今日までの一連の時間の中で捉えながら、宇宙の誕生、太陽系の誕生と生命を生み出す条件を備えた地球の特徴を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。また、自然環境の保全の重要性について認識している。 ② 思考・判断・表現 宇宙、太陽系と地球の誕生について、観察、実験などを通して探究し、地球の変遷、地球の環境について、規則性や関係性を見いだして表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとして、自然環境の保全に寄与しようとしている。	テスト、提出物、行動観察 テスト、提出物、行動観察 提出物、行動観察	講義 演習 調べ学習 生徒発表	ペアワーク グループワーク 発表	・数学: 数値的な処理や計算 ・英語: 語句の理解 ・国語: 語句の理解 ・社会: 環境問題との関連
7~10月	第5章 生物の変遷と地球環境	25	① 知識・技能 変動する地球について、宇宙や太陽系の誕生から今日までの一連の時間の中で捉えながら、古生物の変遷に基づいた地質時代の区分や大気の変化と生命活動の相互の関わりを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。また、自然環境の保全の重要性について認識している。 ② 思考・判断・表現 古生物の変遷と地球環境について、観察、実験などを通して探究し、地球の変遷、地球の環境について、規則性や関係性を見いだして表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとして、自然環境の保全に寄与しようとしている。	テスト、提出物、行動観察 テスト、提出物、行動観察 提出物、行動観察	講義 演習 調べ学習 生徒発表	ペアワーク グループワーク 発表	・数学: 数値的な処理や計算 ・英語: 語句の理解 ・国語: 語句の理解 ・社会: 環境問題との関連
11~翌年3月	第6章 地球の環境	20	① 知識・技能 変動する地球について、宇宙や太陽系の誕生から今日までの一連の時間の中で捉えながら、地球環境の変化とその仕組みや、日本の自然環境、それらがもたらす恩恵や災害など自然環境と人間生活との関わりを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。また、自然環境の保全の重要性について認識している。 ② 思考・判断・表現 地球環境の科学や日本の自然環境について、観察、実験などを通して探究し、地球の変遷、地球の環境について、規則性や関係性を見いだして表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとして、自然環境の保全に寄与しようとしている。	テスト、提出物、行動観察 テスト、提出物、行動観察 提出物、行動観察	講義 演習 調べ学習 生徒発表	ペアワーク グループワーク 発表	・数学: 数値的な処理や計算 ・英語: 語句の理解 ・国語: 語句の理解 ・社会: 環境問題との関連
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
地学	5	全日制・普通科・3年次	高等学校 地学(啓林館)				
科目的目標		地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働きかせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 地学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。(知識及び技能) (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。(思考力、判断力、表現力等) (3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)					
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・ 能力の育成に関わる他教 科等との関連
4~6月	第2部 地球の歴史	55	① 知識・技能 地球の活動と歴史について、プレートテクトニクスとその成立過程、プレート境界における地震活動や地殻変動、島弧・海溝系における火成活動の特徴、変成作用と変成岩の特徴、諸作用による地形の形成、地層の形成及び地質時代における地球環境や地殻変動、地球環境の移り変わり、日本列島の地学的な特徴と形成史を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けていく。 ② 思考・判断・表現 地球の活動と歴史について、観察、実験などを通して探し、地球の活動の特徴と歴史の概要を見いだして表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとし、自然環境の保全に寄与しようとしている。	テスト、提出物、行動観察	講義 演習 調べ学習 生徒発表	ペアワーク グループワーク 発表	・数学: 数値的な処理や計算 ・英語: 語句の理解 ・国語: 語句の理解 ・社会: 環境問題との関連
7~9月	第3部 大気と海洋	60	① 知識・技能 地球の大気と海洋について、大気の組成、太陽放射と地球放射の性質、各圏の特徴と地球全体の熱収支など大気の構造、大循環と対流による現象、日本や世界の気象の特徴、海水の組成、海洋の構造、海水の運動と循環、海洋と大気の相互作用を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けていく。 ② 思考・判断・表現 地球の大気と海洋について、観察、実験などを通して探し、地球の大気と海洋の構造や運動の規則性や関係性を見いだして表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとし、自然環境の保全に寄与しようとしている。	テスト、提出物、行動観察	講義 演習 調べ学習 生徒発表	ペアワーク グループワーク 発表	・数学: 数値的な処理や計算 ・英語: 語句の理解 ・国語: 語句の理解 ・社会: 環境問題との関連
10~翌年3月	第4部 宇宙の構造	60	① 知識・技能 宇宙に関する事物・現象について、地球の自転と公転の証拠となる現象、太陽系天体の特徴、惑星の運動の規則性、太陽表面の現象、恒星の性質と進化の特徴、銀河系の構成天体とその分布、様々な銀河の存在と銀河の分布の特徴、現代の宇宙像の概要を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けていく。 ② 思考・判断・表現 宇宙に関する事物・現象について、観察、実験などを通じて探し、天体の運動や宇宙の構造を見いだして表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとし、自然環境の保全に寄与しようとしている。	テスト、提出物、行動観察	講義 演習 調べ学習 生徒発表	ペアワーク グループワーク 発表	・数学: 数値的な処理や計算 ・英語: 語句の理解 ・国語: 語句の理解 ・社会: 環境問題との関連
指導時間数の計		175					

科目名	単位数	課程・学科・学年		使用教科書名(出版社)			
生物探究	2	全日制・普通科・3年次		センサー生物基礎(啓林館)			
科目的目標		<p>・生物や生物現象の基本的な概念や原理・法則を、科学的な観点より理解する(知識及び技能)</p> <p>・日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物をとりまく環境について考え、適切に判断する。また、考えた事を文章や図を用いて表現することができるようになるとともに、一つの文章や図から発展的なことを考えたりすることができる。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>・積極的に観察・実験・発表などに取り組み、生物学について学習したことを日常生活にいかし、より良い方向に向かうように行動することに意欲的になることができる。(学び向かう力・人間性等)</p>					
時期	単元・題材名	指導時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価標準>		評価方法	学習活動	主な言語活動
4月	用語・要点の確認	6	<p>① 知識・技能 生物基礎で学習した内容で扱った用語や要点を復習し、基本的な概念を復習する。</p>		観察・小テスト	<p>・生物基礎全般の重要事項</p>	
			<p>② 思考・判断・表現 生物基礎で学習した内容を、日常生活との関連を考えながら思考する。</p>		発言		
			<p>③ 主体的に学習に取り組む態度 生物についての基本的な概念や法則などを積極的に学習しようとする。</p>		観察		
5月	細胞と酵素	8	<p>① 知識・技能 生物の構成単位である細胞について学習を深める。特に細胞の共通性や細胞周期についての理解を深め、ミクロメーターを用いた測定を修得する。酵素の特徴を理解する。</p>		ノート・観察	<p>・ミクロメーターを用いた観察 ・細胞周期 ・酵素の特徴</p>	発表・相談
			<p>② 思考・判断・表現 1回の細胞分裂により細胞が2倍に増えるという概念から、細胞周期にかかる時間をグラフや表から判断することができる。酵素と無機触媒の違いについてグラフなどから思考・判断できる。</p>		プリント・観察		
			<p>③ 主体的に学習に取り組む態度 細胞周期や酵素について、関心をもって意欲的に学習する。</p>		観察		
6月	腎臓と塩類濃度調節について	8	<p>① 知識・技能 腎臓の構造と機能、水生生物の塩類濃度調節のしくみを理解できる。</p>		レポート	<p>・腎臓の働き ・塩類濃度調節の観察</p>	家庭科(塩分調整)
			<p>② 思考・判断・表現 腎臓が塩類濃度の調節に果たす役割だけでなく、水生生物の塩類濃度調節のしくみも考えることができる。</p>		レポート		
			<p>③ 主体的に学習に取り組む態度 腎臓の構造と機能に関心を持ち、それらの器官が体液の恒常性に果たす役割を知ろうとする。</p>		観察・レポート		
7月	血液の循環と酸素解離濃度について	6	<p>① 知識・技能 血球を観察し、血球を区別することができる。体内環境とは体液の環境であり、体内環境が一定に保たれていること、つまり恒常性が重要である。体液(血液・リンパ液・組織液)の成分やはたらき、循環系を理解する。</p>		プリント	<p>・体内環境の恒常性が保たれていくしくみを理解する。 ・血液のはたらき、循環 ・酸素解離曲線</p>	発表・相談
			<p>② 思考・判断・表現 生物の体内環境が一定に保たれていると考えることができ、循環系と体液の働きを考えることができる。酸素解離曲線のグラフから肺と臓器での酸素の受け渡しについて考察できるようにする。</p>		プリント		
			<p>③ 主体的に学習に取り組む態度 体内環境の恒常性に関心を持ち、体液の成分、体液のはたらき、循環に興味を持つ。</p>		観察・レポート		
9月	遺伝子について	8	<p>① 知識・技能 DNAの塩基配列と遺伝子、ゲノムの関係について正しく理解する。</p>		発言	<p>・遺伝情報をいう物質としてのDNAの特徴について理解する。</p>	
			<p>② 思考・判断・表現 塩基組成についてシャルガフの法則を用いて、思考判断することができる。</p>		ノート		
			<p>③ 主体的に学習に取り組む態度 遺伝情報をゲノムととらえることに関心を持つ。ゲノム医療など最新の医学的話題にも関心を持つ。遺伝子の発現の調節によって細胞の分化が起こることに関心を持つ。</p>		観察・ノート		
10月	遺伝情報とタンパク質の合成	8	<p>① 知識・技能 セントラルドグマで遺伝情報の方向を確認し、アミノ酸配列がタンパク質の種類を決める事を理解する。</p>		プリント	<p>・DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解する。</p>	
			<p>② 思考・判断・表現 遺伝情報が、DNAの塩基配列からmRNAの塩基配列に転写され、アミノ酸配列に翻訳されると考えることができる。タンパク質が生命現象と関連して多様なはたらきをしていると考えることができる。</p>		プリント		

			③ 主体的に学習に取り組む態度 RNAとタンパク質の構造、および転写と翻訳のしくみに関する心を持つ。日常生活と関連付けて遺伝子とタンパク質に関する心を持つ。	観察・レポート		
11月	自律神経系と恒常性 内分泌系	8	① 知識・技能 自律神経にははたらきの対立する二種類の神経系、交感神経系と副交感神経系があり、器官の活動はこの二種の神経支配を受けていることを理解する。特定の内分泌腺からは特定のホルモンが分泌され、血液で運ばれてきた細胞にはたらく。ホルモン量はフィードバック調節されている。	ノート・発言	・体内環境の恒常性の維持に自律神経がどのようにかかわっているかを学ぶ。	発表・相談 保健体育(自律神経)
			② 思考・判断・表現 動物の恒常性が自律神経により調節されていると考えることができる。ホルモンによる調節についてグラフや実験例を見て正しく思考判断することができる。	発言・観察		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 体内環境の恒常性に自律神経がかかわっていることを調べようとする。	観察		
12月	免疫の働き	6	① 知識・技能 生体防御には異物に対する非特異的な防御(侵入阻止、自然免疫)と特異的な防御(獲得免疫)があり、それぞれしくみが異なっている。	プリント・発言	・免疫とそれにかかわる物質や細胞の働きについて理解する。	保健体育・家庭科(免疫)
			② 思考・判断・表現 病原菌などの異物の認識、排除して体内環境を守るしくみにかかわる細胞について実験例などから正しく思考判断することができる。	レポート・発言		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 日常生活や社会問題と関連させて、免疫とそれにかかわる社会問題について調べようとする。	観察		
1月	植生と遷移	6	① 知識・技能 植物の生活形に影響する環境要因には主に水・土壤・温度・光があり、植物遷移にも関係していることを理解する。	プリント	・植物は、周囲の環境とどのようにかかわっているかを学ぶ。	地理(植生)
			② 思考・判断・表現 植物遷移の様子や環境を構成する要素から、過去の植生やこれから推測される様子を考えることができる。	発言		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 人間の生活と植物が大きく関わっていることに関心をもつことができる。	観察		
2・3月	生態系とその保全	6	① 知識・技能 生態系とその保全についての考えをまとめ、発表することができる。	レポート	・自分の興味・関心に基づいて生態系とその保全について学び探究し、まとめる。	発表・相談
			② 思考・判断・表現 生態系とその保全について例をあげて考えたり、現在の状況になっている原因や、これから起こりうることを推測し、表現できる。	レポート・発言		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 これからの生活において、自らは何ができるかを軸に学習に取り組むことができる。	観察		
指導時間数の計		70				

科目「体育」 の目標 【学習指導要領】	保健の見方・考え方を働かせて、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝え る力を養う。 (3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。				
教科書	現代高等保健体育(大修館書店)		副教材	学習ノート(大修館書店)	

月・週	内容のまとめ (領域・種目等)	指導 時数	育成する資質・能力 <評価規準>	評価 方法	学習活動	言語活動	他教科・科目等 との関連
4月 第3週 ～ 5月 第2週	体づくり運動 県民体操 集団行動	8	<p>【知識・技能】(現行:「知識・理解」,「運動の技能」)</p> <p>○知識 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。</p> <p>○運動 健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」)</p> <p>自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」)</p> <p>体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い、教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとすること、話合いに貢献しようとするなどをしており、健康・安全を確保したりしている。</p>	観察 テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の運動実践 ・グループワーク ・課題の整理、解決 ・発表(小テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで仲間の技術的な課題を指摘したり、有効な練習方法を話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健「現代社会と健康」(ウ)生活習慣病などの予防と回復 ・保健「現代社会と健康」(オ)精神疾患の予防と回復【自己実現】 ・体育理論(豊かなスポーツライフの設計の仕方)
5月 第3週 ～ 6月 第3週	球技 (男子) [ベースボール型] ソフトボール (女子) [ネット型] バレーボール	10	<p>【知識・技能】(現行:「知識・理解」,「運動の技能」)</p> <p>○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解している。</p> <p>○技能(体づくり運動は「運動」) [ベースボール型] 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。</p> <p>[ネット型] 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」)</p> <p>攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」)</p> <p>球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようすること、作戦などについての話合いに貢献しようすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い、教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	観察 テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・個人練習 ・ペアワーク ・グループワーク ・ルールの確認 ・課題の整理、解決 ・リーグ戦 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアやチームで技術的な課題を指摘し合う。 ・ゲームにおいて勝つために、意見を出し合って作戦を立てる。 ・結果をチームでふりかえり、次のゲームのためのミーティングをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育理論(運動やスポーツの効果的な学習の仕方)
6月 第4週	体育理論 (スポーツの 文化的特性や 現代スポーツ の発展)	2	<p>【知識】(現行:「知識・理解」)</p> <p>○知識 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」)</p> <p>スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」)</p> <p>スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組んでいる。</p>	ワークシート テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 ・ワークシート ・グループ討論 ・発表 ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・事実を正確に理解し伝達する。 ・自らの考えを整理し、他者に伝える。 ・他者の意見を解釈し自分の考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民「倫理」「政治・経済」 ・保健「健康を支える環境づくり」(ウ)保健・医療制度及び地域の保健・医療機関
6月 第5週 ～ 9月 第2週	水泳	10	育成する資質・能力 <評価規準>	評価 方法	学習活動	言語活動	他教科・科目等 との関連
			<p>【知識・技能】(現行:「知識・理解」,「運動の技能」)</p> <p>○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解している。</p> <p>○技能(体づくり運動は「運動」) [クロール] 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。</p> <p>[平泳ぎ] 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。</p> <p>[背泳ぎ] 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。</p> <p>[バタフライ] 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」)</p>	観察 テスト タイム計測 記録 レポート	<ul style="list-style-type: none"> ・個人練習 ・ペアワーク ・グループワーク ・課題の整理、解決 ・タイムトライアル 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで技術的な課題を指摘し合う。 ・お互いの健康と安全を確保するために、積極的に声かけなどを 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育理論(運動やスポーツの効果的な学習の仕方) ・保健「安全な社会生活」(イ)応急手当

			泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとして、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしてすることなどをしたり、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。	観察 学習ノート	○の。		
9月 第3週 ～ 10月 第5週	球技 〔ネット型〕 (男子) バレー・ボーラー (女子) ソフトテニス	14	【知識・技能】(現行:「知識・理解」、「運動の技能」) ○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解している。 ○技能(体つくり運動は「運動」) 〔ネット型〕 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考え方を他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとして、作戦などについての話し合いに貢献しようすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとして、互いに助け合い教え合おうすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	観察 学習ノート	・ペアやチームで技術的な課題を指摘し合う。 ・ゲームにおいて勝つために、意見を出し合って作戦を立てる。 ・結果をペアやチームでふりかえり、次のゲームのためのミーティングをする。	・体育理論(運動やスポーツの効果的な学習の仕方)	
11月 第1週 ～ 12月 第3週	陸上 (長距離走)	10	【知識・技能】(現行:「知識・理解」、「運動の技能」) ○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解している。 ○技能(体つくり運動は「運動」) 〔長距離走〕 自己に適したペースを維持して走ることができます。 【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとして、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしてすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	観察 タイム計測 記録 レポート	・個人練習 ・ペアワーク ・グループワーク ・ルールの確認 ・課題の整理、解決 ・リーグ戦	・お互いの健康と安全を確保するために、積極的に声かけなどをする。 ・自らの経験や知識を整理し、仲間に有効なアドバイスをする。	・保健「現代社会と健康」 (ウ)生活習慣病などの予防と回復 ・体育理論(運動やスポーツの効果的な学習の仕方)
月・週	内容のまとめ (領域・種目等)	指導 時数	育成する資質・能力 <評価規準>	評価 方法	学習活動	言語活動	他教科・科目等 との関連
12月 第4週	体育理論 (スポーツの 文化的特性や 現代スポーツ の発展)	2	【知識】(現行:「知識・理解」) ○知識 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	ワークシート テスト	・講義 ・ワークシート ・グループ討論 ・発表 ・小テスト	・概念・法則を解釈し説明する。 ・自分の考えや集団の考えを発展させる。	・公民「倫理」「政治・経済」 ・保健「健康を支える環境づくり」(ウ)保健・医療制度及び地域の保健・医療機関
1月 第2週 ～ 3月 第4週	球技 〔ゴール型〕 (男子) バスケットボール (女子) サッカー	14	【知識・技能】(現行:「知識・理解」、「運動の技能」) ○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解している。 ○技能(体つくり運動は「運動」) 〔ゴール型〕 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考え方を他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとして、作戦などについての話し合いに貢献しようすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとして、互いに助け合い教え合おうすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	観察 学習ノート	・個人練習 ・ペアワーク ・グループワーク ・ルールの確認 ・課題の整理、解決 ・リーグ戦	・ペアやチームで技術的な課題を指摘し合う。 ・ゲームにおいて勝つために、意見を出し合って作戦を立てる。 ・結果をチームでふりかえり、次のゲームのためのミーティングをする。	・体育理論(運動やスポーツの効果的な学習の仕方)

第 1 学次 学科(普通科) 1 単位

県立太田第一高等学校[全日制]

科目「保健」 の目標 【学習指導要領】	保健の見方・考え方を働かせて、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通じて、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようする。 (2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝え る力を養う。 (3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
---------------------------	--

教科書	現代高等保健体育(大修館書店)	副教材	学習ノート(大修館書店)
-----	-----------------	-----	--------------

月・週	内容(単元)	指導時数	育成する資質・能力 <評価規準>	評価方法	学習活動	言語活動	他教科・科目等との関連
4月 第2週 ～ 5月 第2週	(1)「現代社会と健康」 (ア)健康の考え方 (大修館-1単元1～3)	6	<p>【知識】(現行:「知識・理解」) 国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること、健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 健康の考え方に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 健康の考え方についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	テスト 観察	<ul style="list-style-type: none"> 講義 ワークシート作業(グループワーク) レポート作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・隣の仲間と意見を交換する。 ・グループ内で議論し、自分の考えや集団の考えを発展させる。 ・グループで話し合った結果をまとめ、クラスで発表する。 	・家庭基礎(生涯の生活設計)
5月 第3週 ～ 5月 第4週	(4)「健康を支える環境づくり」 (オ)健康に関する環境づくりと社会参加 (大修館-1単元4)	2	<p>【知識】(現行:「知識・理解」) 自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かし、健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であること、それらを実現するには、適切な健康情報の活用が有効であることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 健康に関する環境づくりと社会参加に関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 健康に関する環境づくりと社会参加についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	テスト 観察	<ul style="list-style-type: none"> 講義 ワークシート作業(グループワーク) レポート作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・隣の仲間と意見を交換する。 ・グループ内で議論し、自分の考えや集団の考えを発展させる。 ・グループで話し合った結果をまとめ、クラスで発表する。 	・家庭基礎(持続可能なライフスタイルと環境)
5月 第5週 ～ 7月 第1週	(1)「現代社会と健康」 (ウ)生活習慣病などの予防と回復 (大修館-1単元5～8)	7	<p>【知識】(現行:「知識・理解」) 健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 生活習慣病などの予防と回復に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 生活習慣病などの予防と回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	テスト 観察	<ul style="list-style-type: none"> 講義 ワークシート作業(グループワーク) レポート作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・隣の仲間と意見を交換する。 ・グループ内で議論し、自分の考えや集団の考えを発展させる。 ・グループで話し合った結果をまとめ、クラスで発表する。 	・家庭基礎(食生活と健康)
7月 第2週 ～ 9月 第4週	(1)「現代社会と健康」 (エ)喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 (大修館-1単元9～11)	6	<p>【知識】(現行:「知識・理解」) 喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行つてはならないこと、それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康についての学習に自主的に取</p>	テスト 観察	<ul style="list-style-type: none"> 講義 ワークシート作業(グループワーク) レポート作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・隣の仲間と意見を交換する。 ・グループ内で議論し、自分の考えや集団の考えを発展させる。 ・グループで話し合った結果をまとめ、クラスで発表する。 	・生徒指導行事(薬物乱用防止講話)

			り組もうとしている。	ワークシート	ノハ・元気・ る。		
9月 第5週 ～ 10月 第5週	(1)「現代社会 と健康」 (イ)現代の感 染症とその予 防 (大修館-1單 元12～14)	6	<p>【知識】(現行:「知識・理解」) 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること、その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 現代の感染症とその予防に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 現代の感染症とその予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	テスト 観察 ワークシート レポート 観察 観察 ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 ・ワークシート作業 (グループワーク) ・レポート作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・隣の仲間と意見を交換する。 ・グループ内で議論し、自分の考えや集団の考えを発展させる。 ・グループで話し合った結果をまとめ、クラスで発表する。 	・保健厚生 行事 (健康教育講 座)
11月 第1週 ～ 12月 第3週	(1)「現代社会 と健康」 (オ)精神疾患 の予防と回復 (大修館-1單 元15～18)	8	<p>【知識】(現行:「知識・理解」) 精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践することとともに、心身の不調に気付くことが重要であること、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 精神疾患の予防と回復に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 精神疾患の予防と回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	テスト 観察 ワークシート レポート 観察 観察 ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 ・ワークシート作業 (グループワーク) ・レポート作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・隣の仲間と意見を交換する。 ・グループ内で議論し、自分の考えや集団の考えを発展させる。 ・グループで話し合った結果をまとめ、クラスで発表する。 	・公民 (公共の扉) ・家庭基礎 (生涯の生活 設計) (青年期の自 立と家族・家 庭)
1月 第2週 ～ 2月 第1週	(2)「安全な社 会生活」 (ア)安全な社 会づくり (大修館-1單 元19～21)	5	<p>【知識】(現行:「知識・理解」) 安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること、交通事故には補償をはじめとした責任が生じることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 安全な社会づくりに関わる事象や情報から課題を発見し、自他や社会の危険の予測を基に、危険を回避する方法を選択し、安全な社会の実現に向けてそれらを説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 安全な社会づくりについての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	テスト 観察 ワークシート レポート 観察 観察 ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 ・ワークシート作業 (グループワーク) ・レポート作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・隣の仲間と意見を交換する。 ・グループ内で議論し、自分の考えや集団の考えを発展させる。 ・グループで話し合った結果をまとめ、クラスで発表する。 	・生徒指導 行事 (バイク講習 会)
2月 第2週 ～ 3月 第3週	(2)「安全な社 会生活」 (イ)応急手当 (大修館-1單 元22～24)	6	<p>【知識・技能】(現行:「知識・理解」) 適切な応急手当は、傷害や疾病的悪化を軽減できること、応急手当には、正しい手順や方法があること、応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることを理解しているとともに、心肺蘇生法などの応急手当を適切に行う技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 応急手当に関わる事象や情報から課題を発見し、傷害の悪化等を防止する方法を選択し、安全な社会の実現に向けてそれらを説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 応急手当についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	テスト 観察 ワークシート レポート 観察 観察 ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 ・ワークシート作業 (グループワーク) ・レポート作成 ・ダミーによるCPRの練習 ・グループワーク 	<ul style="list-style-type: none"> ・心肺蘇生法の実践練習において、ペアやグループで課題を指摘し合う。 ・隣の仲間と意見を交換する。 	・保健厚生 行事 (救急救命講 習会)

科目「体育」 の目標 【学習指導要領】	<p>保健の見方・考え方を働かせて、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝え る力を養う。</p> <p>(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>					
教科書	現代高等保健体育(大修館書店)			副教材	学習ノート(大修館書店)	

月・週	内容のまとめ (領域・種目等)	指導 時数	育成する資質・能力 <評価規準>	評価 方法	学習活動	言語活動	他教科・科目等 との関連	
4月 第3週 ～ 5月 第2週	体つくり運動 県民体操 集団行動	8	<p>【知識・技能】(現行:「知識・理解」,「運動の技能」)</p> <p>○知識 体つくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解している。</p> <p>○運動 自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」)</p> <p>生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」)</p> <p>体つくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い、高め合おうすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようすること、合意形成に貢献しようすることなどをしたり、健康・安全を確保している。</p>	観察 テスト	<ul style="list-style-type: none"> 個別の運動実践 グループワーク 課題の整理、解決 発表(小テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> グループで仲間の技術的な課題を指摘したり、有効な練習方法を話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健「現代社会と健康」 (ウ)生活習慣病などの予防と回復 保健「現代社会と健康」 (オ)精神疾患の予防と回復〔自己実現〕 体育理論(豊かなスポーツライフの設計の仕方) 	
5月 第3週 ～ 6月 第3週	球技 〔ネット型〕 (男子) バレー・ボーラー (女子) ソフトテニス	10	<p>【知識・技能】(現行:「知識・理解」,「運動の技能」)</p> <p>○知識 技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解している。</p> <p>○技能(体つくり運動は「運動」) 〔ネット型〕 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防ができる。</p> <p>【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」)</p> <p>生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」)</p> <p>球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようすること、合意形成に貢献しようすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようすること、互いに助け合い、高め合おうすることなどをしたり、健康・安全を確保している。</p>	観察 テスト	<ul style="list-style-type: none"> 個人練習 ペアワーク グループワーク ルールの確認 課題の整理、解決 リーグ戦 	<ul style="list-style-type: none"> ゲームにおいて勝つために、意見を出し合って作戦を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 結果をペアやチームでふりかえり、次のゲームのためのミーティングをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育理論(運動やスポーツの効果的な学習の仕方)
6月 第4週	体育理論 (運動やスポーツの効果的な学習の仕方)	2	<p>【知識】(現行:「知識・理解」)</p> <p>○知識 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」)</p> <p>運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」)</p> <p>運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	ワークシート テスト	<ul style="list-style-type: none"> 講義 ワークシート グループ討論 発表 小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 事実を正確に理解し伝達する。 自らの考えを整理し、他者に伝える。 他者の意見を解釈し自分の考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健「現代社会と健康」 (ウ)生活習慣病などの予防と回復 	
月・週	内容のまとめ (領域・種目等)	指導 時数	育成する資質・能力 <評価規準>	評価 方法	学習活動	言語活動	他教科・科目等 との関連	
6月 第5週 ～ 9月 第2週	水泳	10	<p>【知識・技能】(現行:「知識・理解」,「運動の技能」)</p> <p>○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解している。</p> <p>○技能(体つくり運動は「運動」) 〔クロール〕 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。</p> <p>〔平泳ぎ〕 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。</p> <p>〔背泳ぎ〕 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。</p> <p>〔バタフライ〕 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」)</p> <p>生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の</p>	観察 テスト タイム計測 記録 レポート	<ul style="list-style-type: none"> 個人練習 ペアワーク グループワーク 課題の整理、解決 	<ul style="list-style-type: none"> ペアで技術的な課題を指摘し合う。 お互いの健康と安全を確保するため 	<ul style="list-style-type: none"> 体育理論(運動やスポーツの効果的な学習の仕方) 保健「安全な水泳」 	

			<p>課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えていく。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどをしたり、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。</p>	学習ノート 観察学習ノート	学習ノート 観察学習ノート	・個人練習 ・ペアワーク ・グループワーク ・ルールの確認 ・課題の整理、解決 ・リーグ戦	・個人練習 ・ペアワーク ・グループワーク ・ルールの確認 ・課題の整理、解決 ・リーグ戦	・ペアやチームで技術的な課題を指摘し合う。 ・ゲームにおいて勝つために、意見を出し合って作戦を立てる。 ・結果をペアやチームでふりかえり、次のゲームのためのミーティングをする。	・個人練習 ・ペアワーク ・グループワーク ・ルールの確認 ・課題の整理、解決 ・リーグ戦	・個人練習 ・ペアワーク ・グループワーク ・ルールの確認 ・課題の整理、解決 ・リーグ戦	・個人練習 ・ペアワーク ・グループワーク ・ルールの確認 ・課題の整理、解決 ・リーグ戦	・個人練習 ・ペアワーク ・グループワーク ・ルールの確認 ・課題の整理、解決 ・リーグ戦	
9月 第3週 ～ 10月 第5週	球技 〔ネット型〕 (男子) バレー・ボール (女子) ソフトテニス	14	<p>【知識・技能】(現行:「知識・理解」、「運動の技能」)</p> <p>○知識 技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解している。</p> <p>○技能(体つくり運動は「運動」) 〔ネット型〕 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすこしができる。</p> <p>【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、合意形成に貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い高め合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	観察 テスト	観察 学習ノート	・個人練習 ・ペアワーク ・グループワーク ・ルールの確認 ・課題の整理、解決 ・リーグ戦	・個人練習 ・ペアワーク ・グループワーク ・ルールの確認 ・課題の整理、解決 ・リーグ戦	・ペアやチームで技術的な課題を指摘し合う。 ・ゲームにおいて勝つために、意見を出し合って作戦を立てる。 ・結果をペアやチームでふりかえり、次のゲームのためのミーティングをする。	・体育理論(運動やスポーツの効果的な学習の仕方)				
11月 第1週 ～ 12月 第3週	陸上 (長距離走)	10	<p>【知識・技能】(現行:「知識・理解」、「運動の技能」)</p> <p>○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解している。</p> <p>○技能(体つくり運動は「運動」) 〔長距離走〕 ペースの変化に対応して走ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	観察 タイム計測 記録 レポート	観察 学習ノート	・個人練習 ・ペアワーク ・グループワーク ・課題の整理、解決 ・タイムトライアル	・個人練習 ・ペアワーク ・グループワーク ・課題の整理、解決 ・タイムトライアル	・お互いの健康と安全を確保するために、積極的に声かけなどをする。 ・自らの経験や知識を整理し、仲間に有効なアドバイスをする。	・保健「現代社会と健康」 (ウ)生活習慣病などの予防と回復 ・体育理論(運動やスポーツの効果的な学習の仕方)				
月・週	内容のまとめ (領域・種目等)	指導 時数	育成する資質・能力 <評価規準>	評価 方法	学習活動	言語活動	他教科・科目等 との関連						
12月 第4週	体育理論 (運動やスポーツの効果的な学習の仕方)	2	<p>【知識】(現行:「知識・理解」)</p> <p>○知識 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	ワークシート テスト	ワークシート テスト	・講義 ・ワークシート ・グループ討論 ・発表 ・小テスト	・講義 ・ワークシート ・グループ討論 ・発表 ・小テスト	・概念・法則を解釈し説明する。 ・自分の考えや集団の考えを発展させる。	・保健「現代社会と健康」 (ウ)生活習慣病などの予防と回復				
1月 第2週 ～ 3月 第4週	球技 〔ゴール型〕 (男子) バスケットボール (女子) サッカー	14	<p>【知識・技能】(現行:「知識・理解」、「運動の技能」)</p> <p>○知識 技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解している。</p> <p>○技能(体つくり運動は「運動」) 〔ネット型〕 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすこしができる。</p> <p>【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、合意形成に貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い高め合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	観察 テスト	観察 学習ノート	・個人練習 ・ペアワーク ・グループワーク ・ルールの確認 ・課題の整理、解決 ・リーグ戦	・個人練習 ・ペアワーク ・グループワーク ・ルールの確認 ・課題の整理、解決 ・リーグ戦	・ペアやチームで技術的な課題を指摘し合う。 ・ゲームにおいて勝つために、意見を出し合って作戦を立てる。 ・結果をチームでふりかえり、次のゲームのためのミーティングをする。	・ペアやチームで技術的な課題を指摘し合う。 ・ゲームにおいて勝つために、意見を出し合って作戦を立てる。 ・結果をチームでふりかえり、次のゲームのためのミーティングをする。	・体育理論(運動やスポーツの効果的な学習の仕方)			

第2年次 学科(普通科) 1単位

県立太田第一高等学校[全日制]

科目「保健」 の目標 【学習指導要領】	保健の見方・考え方を働かせて、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通じて、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝え る力を養う。 (3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
---------------------------	---

教科書	現代高等保健体育(大修館書店)	副教材	学習ノート(大修館書店)
-----	-----------------	-----	--------------

月・週	内容(単元)	指導時数	育成する資質・能力 <評価規準>	評価方法	学習活動	言語活動	他教科・科目等との関連
4月 第2週 ～ 6月 第1週	(3)「生涯を通じる健康」 (ア)生涯の各段階における健康 (大修館-2単元1～7)	10	<p>【知識】(現行:「知識・理解」) 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 生涯の各段階における健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 生涯の各段階における健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	テスト 観察	<p>・講義</p> <p>・ワークシート作業(グループワーク)</p> <p>・レポート作成</p>	<p>・グループ内で議論し、自分の考えや集団の考えを発展させる。</p> <p>・グループで話し合った結果をまとめ、クラスで発表する。</p>	<p>・保健厚生行事 (性教育講演会)</p> <p>・家庭基礎(生涯の生活設計) (子供の生活と保育) (高齢期の生活と福祉)</p>
6月 第2週 ～ 7月 第3週	(4)「健康を支える環境づくり」 (ウ)保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 (大修館-2単元8～10)	7	<p>【知識】(現行:「知識・理解」) 生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが必要であること、医薬品は、有効性や安全性が審査されており、販売には制限があること、疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関に関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	テスト 観察	<p>・講義</p> <p>・ワークシート作業(グループワーク)</p> <p>・レポート作成</p>	<p>・グループ内で議論し、自分の考えや集団の考えを発展させる。</p> <p>・グループで話し合った結果をまとめ、クラスで発表する。</p>	<p>・家庭基礎(生涯の生活設計) (共生社会と福祉)</p>
9月 第1週 ～ 9月 第3週	(4)「健康を支える環境づくり」 (エ)様々な保健活動や社会的対策 (大修館-2単元11)	3	<p>【知識】(現行:「知識・理解」) 我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や社会的対策などが行われていることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 様々な保健活動や社会的対策に関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 様々な保健活動や社会的対策についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	テスト 観察	<p>・講義</p> <p>・ワークシート作業(グループワーク)</p> <p>・レポート作成</p>	<p>・隣の仲間と意見を交換する。</p> <p>・グループで話し合った結果をまとめ、クラスで発表する。</p>	<p>・家庭基礎(生涯の生活設計) (共生社会と福祉)</p>
月・週	内容(単元)	指導時数	育成する資質・能力 <評価規準>	評価方法	学習活動	言語活動	他教科・科目等との関連
9月 第4週 ～ 11月 第3週	(4)「健康を支える環境づくり」 (ア)環境と健康 (大修館-3単元1～4)	10	<p>【知識】(現行:「知識・理解」) 人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること、それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとることが必要であること、環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとするよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 環境と健康に関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 環境と健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	テスト 観察	<p>・講義</p> <p>・ワークシート作業(グループワーク)</p> <p>・レポート作成</p>	<p>・隣の仲間と意見を交換する。</p> <p>・グループ内で議論し、自分の考えや集団の考えを発展させる。</p> <p>・グループで話し合った結果をまとめ、クラスで発表する。</p>	<p>・家庭基礎(持続可能なライフスタイルと環境)</p> <p>・地理総合(地球環境問題)</p> <p>・生物基礎(自然環境保全)</p> <p>・地学基礎(自然環境保全)</p>
11月 第4週	(4)「健康を支える環境づくり」		<p>【知識】(現行:「知識・理解」) 食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であること、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」)</p>	テスト 観察	<p>・講義</p>	<p>・隣の仲間と意見を交換する。</p> <p>・グループ内で議論し、自</p>	<p>・家庭基礎</p>

アドバイス ～ 1月 第2週	(イ) 食品と健 康 (大修館-3单 元5～6)	6	<p>食品と健康に関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 食品と健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	ワークシート レポート 観察 観察 ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート作業 (グループワーク) レポート作成 	<p>分の考えや集 団の考えを発 展させる。</p> <p>・グループで 話し合った結 果をまとめ、ク ラスで発表す る。</p>	分の基礎 (食生活と健 康)
1月 第3週 ～ 3月 第3週	(3)「生涯を通 じる健康」 (イ) 労働と健 康 (大修館-3单 元7～9)	10	<p>【知識】(現行:「知識・理解」) 労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 労働と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 労働と健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	テスト 観察 ワークシート レポート 観察 観察 ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> 講義 ワークシート作業 (グループワーク) レポート作成 	<p>・隣の仲間と 意見を交換す る。</p> <p>・グループ内 で議論し、自 分の考えや集 団の考えを発 展させる。</p> <p>・グループで 話し合った結 果をまとめ、ク ラスで発表す る。</p>	家庭基礎 (生涯の生活 設計)

第3年次 学科(普通科) 3単位

県立太田第一高等学校[全日制]

科目「体育」 の目標 【学習指導要領】 え	保健の見方・考え方を働かせて、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。					
	教科書	現代高等保健体育(大修館書店)			副教材	学習ノート(大修館書店)

月・週	内容のまとめ (領域・種目等)	指導 時数	育成する資質・能力 <評価規準>	評価 方法	学習活動	言語活動	他教科・科目等 との関連
4月 第3週 ～ 5月 第2週	体つくり運動 県民体操 集団行動	12	<p>【知識・技能】(現行:「知識・理解」,「運動の技能」)</p> <p>○知識 体つくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解している。</p> <p>○運動 自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」)</p> <p>生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えていく。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」)</p> <p>体つくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い、高め合おうすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようすること、合意形成に貢献しようすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	観察 テスト	<ul style="list-style-type: none"> 個別の運動実践 グループワーク 課題の整理、解決 発表(小テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> グループで仲間の技術的な課題を指摘しあったり、有効な練習方法を話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健「現代社会と健康」 (ウ)生活習慣病などの予防と回復 ・保健「現代社会と健康」 (オ)精神疾患の予防と回復 [自己実現] ・体育理論(豊かなスポーツライフの設計の仕方)
5月 第3週 ～ 6月 第3週	球技 〔ネット型〕 〔ベースボール型〕 (男女共習選) バレー・ボール ソフトテニス ソフトボール	16	<p>【知識・技能】(現行:「知識・理解」,「運動の技能」)</p> <p>○知識 技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解している。</p> <p>○技能(体つくり運動は「運動」)</p> <p>〔ネット型〕 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。</p> <p>〔ベースボール型〕 状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」)</p> <p>生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えていく。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」)</p> <p>球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようすること、合意形成に貢献しようすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようすること、互いに助け合い高め合おうすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	<p>観察 テスト</p> <p>観察 学習ノート</p> <p>観察 学習ノート</p>	<ul style="list-style-type: none"> 個人練習 ペアワーク グループワーク ルールの確認 課題の整理、解決 リーグ戦 	<ul style="list-style-type: none"> ペアやチームで技術的な課題を指摘し合う。 ゲームにおいて勝つために、意見を出し合って作戦を立てる。 結果をペアやチームでふりかえり、次のゲームのためのミーティングをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育理論(運動やスポーツの効果的な学習の仕方)
6月 第4週	体育理論 (豊かなスポーツライフの設計の仕方)	3	<p>【知識】(現行:「知識・理解」)</p> <p>○知識 豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」)</p> <p>豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えていく。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」)</p> <p>豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>ワークシート テスト</p> <p>観察 ワークシート</p> <p>観察 ワークシート</p>	<ul style="list-style-type: none"> 講義 ワークシート グループ討論 発表 小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・事実を正確に理解し伝達する。 ・自らの考えを整理し、他者に伝える。 ・他者の意見を解釈し自分の考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健「現代社会と健康」 (オ)精神疾患の予防と回復 [自己実現]
			<p>【知識・技能】(現行:「知識・理解」,「運動の技能」)</p> <p>○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解している。</p> <p>○技能(体つくり運動は「運動」)</p>				

6月 第5週 ～ 9月 第2週	球技 水泳 〔ネット型〕 (男女共習選 択) 卓球 バドミントン 水泳	14	<p>〔水泳〕 (クロール) 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 (平泳ぎ) 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 (背泳ぎ) 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 (バタフライ) 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」)</p> <p>〔球技〕 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 〔水泳〕 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の問題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」)</p> <p>〔球技〕 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとしていること、合意形成に貢献しようとしていること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしていること、互いに助け合い高め合おうとしていることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。 〔水泳〕 水泳に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとしていること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとしていること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしていることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	観察 タイム計測 記録 レポート	<ul style="list-style-type: none"> ・個人練習 ・ペアワーク ・グループワーク ・課題の整理、解決 ・タイムトライアル 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで技術的な課題を指摘し合う。 ・お互いの健康と安全を確保するため、積極的に声かけなどをする。 	・体育理論(運動やスポーツの効果的な学習の仕方) ・保健「安全な社会生活」(イ)応急手当
			観察 学習ノート				
9月 第3週	体育理論 (豊かなスポーツライフの設計の仕方)	3	<p>【知識】(現行:「知識・理解」) ○知識 豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解している。 【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	ワークシート テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 ・ワークシート ・グループ討論 ・発表 ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・概念・法則を解釈し説明する。 ・自分の考えや集団の考えを発展させる。 ・自らの考えを整理し、他者に伝える。 	・保健「現代社会と健康」(オ)精神疾患の予防と回復 [自己実現]
月・週	内容のまとめ (領域・種目等)	指導 時数	育成する資質・能力 <評価規準>	評価 方法	学習活動	言語活動	他教科・科目等との関連
9月 第4週 ～ 10月 第4週	球技 〔ゴール型〕 〔ネット型〕 (男女共習選 択) サッカー 卓球 バドミントン	14	<p>【知識・技能】(現行:「知識・理解」,「運動の技能」) ○知識 技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解している。 ○技能(体づくり運動は「運動」) 〔ゴール型〕 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができる。 〔ネット型〕 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすこしとができる。 【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとしていること、合意形成に貢献しようとしていること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしていること、互いに助け合い高め合おうとしていることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	観察 テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・個人練習 ・ペアワーク ・グループワーク ・ルールの確認 ・課題の整理、解決 ・リーグ戦 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアやチームで技術的な課題を指摘し合う。 ・ゲームにおいて勝つために、意見を出し合って作戦を立てて、結果をペアやチームでふりかえり、次のゲームのためのミーティングをする。 	・体育理論(運動やスポーツの効果的な学習の仕方)
10月 第5週 ～ 12月 第3週	陸上 (長距離走)	10	<p>【知識・技能】(現行:「知識・理解」,「運動の技能」) ○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解している。 ○技能(体づくり運動は「運動」) 〔長距離走〕 ペースの変化に対応して走ることができる。 【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしていること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとしていること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしていることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	観察 タイム計測 記録 レポート	<ul style="list-style-type: none"> ・個人練習 ・グループワーク ・課題の整理、解決 ・タイムトライアル 	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの健康と安全を確保するため、積極的に声かけなどをする。 ・自らの経験や知識を整理し、仲間に有効なアドバイスをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健「現代社会と健康」(ウ)生活習慣病などの予防と回復 ・体育理論(運動やスポーツの効果的な学習の仕方)

12月 第4週 ～ 1月 第5週	球技 ダンス 〔ゴール型〕 〔ネット型〕 (男女共習選 択) バスケットボール 卓球 ダンス	16	【知識・技能】(現行:「知識・理解」,「運動の技能」) ○知識 技術などの名称や行い方, 体力の高め方, 課題解決の方法, 競技会の仕方などを理解している。 ○技能(体つくり運動は「運動」) 〔球技〕 〔ゴール型〕 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができる。 〔ネット型〕 状況に応じたボール操作や対応した用具の操作上連携した 【思考・判断・表現】(現行:「思考・判断」) 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチーム(グループ)や自己の課題を発見し, 合理的, 計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに, 自己やチームの考えたことを他者に伝えていく。 【主体的に学習に取り組む態度】(現行:「関心・意欲・態度」) 〔球技〕 球技に主体的に取り組むとともに, フェアなプレイを大切にしようとすること, 合意形成に貢献しようすること, 一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること, 互いに助け合い高め合おうとすることなどをしたり, 健康・安全を確保したりしている。 〔ダンス〕 ダンスに主体的に取り組むとともに, 勝敗などを冷静に受け止め, ルールやマナーを大切にしようとすること, 役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること, 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどをしたり, 健康・安全を確保したりしている。	観察 テスト		・ペアやチームで技術的な課題を指摘し合う。 ・ゲームにおいて勝つために、意見を出し合って作戦を立てる。	
			・個人練習 ・ペアワーク ・グループワーク ・ルールの確認 ・課題の整理、解決 ・リーグ戦	観察 学習ノート		・結果をペアやチームでふりかえり、次のゲームのためのミーティングをする。	・体育理論(運動やスポーツの効果的な学習の仕方)

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
音楽 I		2	全日制課程・普通科・1学年	ON ! (音楽の友社)			
科目的目標		音楽の幅広い活動を通して、音楽を通した見方や考え方を使い、生活や社会の中の音楽や音楽文化と幅広くかかわる資質及び能力を育成する。 (1)曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり、音楽の多様性について理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。 (2)自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや音楽のよさや美しさを評価しながら聞くことができるようになる。 (3)音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育て、感性を高め、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。					
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4~6 月 7週 14日	歌唱① ・花は咲く ・少年時代 ・椰子の実 ・早春賦 理論① ・楽譜の知識と書法 ・音名 ・リズムと拍子 ・反復記号 ・音符と休符 鑑賞① ・パロック時代	14	① 知識・技能 歌唱：楽譜を正確に歌う技能を身に付けている。 理論：理論①の内容を知識として習得している。 ② 思考・判断・表現 歌唱：歌詞の意味や曲想を考えて表現できる。 理論：楽譜のなかで考え生かすことができる。 鑑賞：鑑賞の記録を書く。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日本語の歌の美しさを感じ、主体的に表現している。 理論で得た知識を歌唱表現に生かしている。	歌唱テスト 理論テスト 鑑賞記録の評価	歌唱はすべて声に 出して行う。また、範唱鑑賞後 は、軽いディスカッションを行 う。	歌唱はすべて声に 出して行う。また、範唱鑑賞後 は、軽いディスカッションを行 う。	パロック時代と社会 科世界史のつながりについてレクチャーする。
6~9 月 7週 14日	器楽① (クラシックギター) ・ギターの知識 ・やさしいメロディーによるギ ター入門 鑑賞② ・古典派の音楽 舞台芸術鑑賞① ・ミュージカルを見よう	14	① 知識・技能 器楽：楽器の特徴を理解し、正しく演奏する技 能を身に付ける。 鑑賞：古典派の音楽を理解している。 ② 思考・判断・表現 器楽：楽器独特の表現を理解し、演奏に生か す。 鑑賞：鑑賞の記録を書く。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 主体的にミニコンサートに参加し、人前でのギ ター演奏に取り組む。	ギター演奏テスト 鑑賞記録の評価	ギターの特徴を知る。 ・テキストから演奏する時の姿勢や基本的な弾き方を学 ぶ。 ・調弦 ・ウォーミングアップ ・テキストの曲を演奏 ・ミニコンサート ・CD鑑賞 ・鑑賞の記録作成 ・DVD鑑賞 ・ミュージカル鑑賞プリント作成	ギターの特徴を知る。 ・テキストから演奏する時の姿勢や基本的な弾き方を学 ぶ。 ・調弦 ・ウォーミングアップ ・テキストの曲を演奏 ・ミニコンサート ・CD鑑賞 ・鑑賞の記録作成 ・DVD鑑賞 ・ミュージカル鑑賞プリント作成	古典派と歴史的時代 とのつながりについてレクチャーする。
9~11 月 7週 14日	歌唱② ・Caro mio ben ・野ばら 理論② ・音程 ・音階と調 鑑賞③ ・ロマン派の音楽	14	① 知識・技能 歌唱：イタリア語、ドイツ語の曲を原語で歌う 技能を身に付ける。 理論：理論②の内容を知識として習得してい る。 ② 思考・判断・表現 歌唱：原語の特徴を生かし表現を工夫してい る。 理論：楽曲の中で取り出し考えることができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 外国語の音読などを主体的に行い、歌唱に生か せるようにする。	歌唱テスト 理論テスト 鑑賞記録の評価	歌唱はすべて声に 出して行う。また、範唱鑑賞後 は、軽いディスカッションを行 う。	歌唱はすべて声に 出して行う。また、範唱鑑賞後 は、軽いディスカッションを行 う。	ロマン派の音楽と歴 史的時代とのつながりについてレク チャーする。
11~12 月 7週 14日	器楽② (クラシックギター) ・和音の響きと独奏の世界へ ・応用曲集 鑑賞④ ・宗教と音楽	14	① 知識・技能 器楽：楽器の特徴を理解し、正しく演奏する技 能を身に付ける。 鑑賞：宗教と音楽を理解している。 ② 思考・判断・表現 器楽：楽器独特の表現を理解し、演奏に生か す。 鑑賞：鑑賞の記録を書く。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 主体的にミニコンサートに参加し、人前でのギ ター演奏に取り組む。	ギター演奏テスト 鑑賞記録の評価	ギター演奏テスト 鑑賞記録の評価	ギター演奏テスト 鑑賞記録の評価	宗教と音楽の関係に について学ぶ。
1~3月 7週 14日	合唱の喜び ・春に ・ニューミュージックより1曲 鑑賞⑤ ・近現代の音楽 舞台芸術鑑賞② ・歌舞伎を見よう	14	① 知識・技能 合唱：楽譜を正確に読み取り、また、歌唱で身 に付けた技能を生かし、歌うことができる。 鑑賞：近現代の音楽を理解している。 日本の伝統芸能を理解している。 ② 思考・判断・表現 合唱：曲想や言葉の意味を考え、それに合った 表現をしている。 鑑賞：鑑賞の記録を書く。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 合唱においてパート練習などに主体的に取り組 み、全体合唱で合唱の喜びをあ味わえるように する。	録音による自己評価 鑑賞記録の評価	基礎発声 ・階名唱 ・歌詞朗誦 ・歌詞唱 ・範唱鑑賞 ・パート練習 ・全体合唱 ・録音・鑑賞 ・CD鑑賞 ・鑑賞の記録作成 ・DVD鑑賞 ・歌舞伎鑑賞プリント作成	歌唱はすべて声に 出して行う。また、録音終了後 は、鑑賞し軽い ディスカッション	近現代の音楽と歴史 的背景についてレク チャーする。
指導時間数の計		70					

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
美術1		2	全日制課程・普通科・3学年	高校生の美術1(日本文教出版社)				
科目的目標		美術の幅広い創造活動をとおして 造形的な見方・考え方を働かせ 美術制作体験を重ね 造形表現にかかわる 資質・能力を育成することを目指す (1)美術の意味 社会や身の回りにある美術の意義 素材の研究など 美術制作体験を通して身につける (知識・技能) (2)様々な出題形式に対応できる思考力 判断力 表現力の質の向上を目指す (思考力、判断力、表現力等) (3)自己表現した作品を尊重し 客観的に分析して 評価・鑑賞できる能力を身につける (学びに向かう力、人間性等)						
時期	単元・題材名	指導時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連	
4月	絵画作品制作…作品制作 ① ②	4	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連	
5月		7	① 知識・技能 幅広い美術世界の確認 学問への啓発活動	全体確認	教科書分析 ①作品制作開始	解説 基本指示	全教科 全分野	
			② 思考・判断・表現 学問への啓発活動	個々の作品			国語 理科	
6月		7	③ 主体的に学習に取り組む態度 学問への啓発活動			技法指示		
7月		6	① 知識・技能 自己分析		①作品完成 ②作品制作開始	質疑応答 講評 基本指示	国語 理科	
			② 思考・判断・表現 組み合わせ 配置	個々の作品	技法指示			
9月		7	③ 主体的に学習に取り組む態度 点描 線描		②作品完成	質疑応答 講評		
10月		8	① 知識・技能 言葉 イメージ 文学 美学 芸術学 他 学問 分野の研究		③作品製作開始	基本指示	全教科 全分野	
11月		8	② 思考・判断・表現 組み合わせ 配置	個々の作品	全教科 全分野			
12月		7	③ 主体的に学習に取り組む態度 自己分析 調査 研究		③作品完成 ④作品製作開始	技法指示		
		7	① 知識・技能 言葉 イメージ 文学 美学 芸術学 他 学問 分野の研究		④作品完成 ⑤作品製作開始	質疑応答 講評	全教科 全分野	
			② 思考・判断・表現 組み合わせ 配置		⑤作品完成			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 自己分析 調査 研究					
1月	美術史	2	① 知識・技能 言葉 イメージ 文学 美学 芸術学 他 学問 分野の研究		調査 研究	解説	社会 国語	
2月	製図	4	② 思考・判断・表現 組み合わせ 配置		製図 調査 研究	解説	数学	
3月	総合美術	4	③ 主体的に学習に取り組む態度 自己分析 調査 研究			解説	全教科 全分野	
指導時間数の計		70						

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名（出版社）				
書道 I	2	全日制課程・普通科・1学年	書 I 光村図書				
科目の目標		(1) 書の表現の方法や多様性を理解し、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、基礎的技能を身に付ける。（知識及び技能） (2) 書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し、書の伝統と文化の価値を考え、書の美を表現し、味わうことができる。（思考力・判断力・表現力等） を高め、心豊かな社会を創造する態度を養う。（学びに向かう力・人間性等）	(3) 主体的に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育み、感性				
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	
4~6月 7週 14日	漢字の書 I (楷書)	14	<p>① 知識・技能 ・楷書の書体や書風と、用筆・運筆との関連等の知識を理解している。 ・楷書の古典の線質、字形、構成の基礎的表現の技能を身に付けています。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・楷書の古典の書体や書風に即した用筆、字形、全体構成について、構想し工夫している。 ・楷書の価値とその根拠、生活や社会における書の効用を考え、鑑賞して書の美を捉えている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・楷書の特質に基づく表現の活動に、主体的に取り組もうとしている。 ・楷書の美や良さを感受し、価値を考え、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>・ノート ・制作作品</p> <p>・ワークシート</p> <p>・授業観察（表現） ・授業観察（鑑賞）</p>	<p>・国語科書写と芸術科書道とのちがい ・用具用材（墨のすり方） ・用具用材（筆の洗い方） ・楷書の古典の臨書 ・楷書の古典の鑑賞</p>	<p>・年度初アンケートで、1年間の目標を書いて、発表する。 ・唐の四大家の楷書の書きぶりについて、自分の言葉で、特徴を発表する。 ・臨書作品の互評会</p>	
6~9月 7週 14日	漢字の書 II (篆書・篆刻)	14	<p>① 知識・技能 ・篆書・篆刻の書風と刻風、運筆法・運刀法の知識を理解している。 ・篆書・篆刻の線質、字形、構成の基礎的表現の技能を身に付けています。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・篆書・篆刻の古典に即した運筆（運刀）、字形、全体構成について、構想し工夫している。 ・篆書・篆刻の価値とその根拠、篆書、印章の効用を考え、鑑賞して書の美を捉えている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・篆書・篆刻の特質に基づく表現の活動に、主体的に取り組もうとしている。 ・篆書・篆刻の美や良さを感受し、価値を考え、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>・ワークシート ・制作作品</p> <p>・ワークシート</p> <p>・授業観察（表現） ・授業観察（鑑賞）</p>	<p>・用具用材（印章の種類、歴史） ・篆書の古典の臨書 ・篆刻の制作（姓名印作り） ・篆刻の鑑賞（押印・鑑賞）</p>	<p>・篆刻の種類、使い方について発表する。 ・古典の印影について、自分の言葉で、特徴を発表する。 ・製作印章の互評会</p>	
9~11月 7週 14日	仮名の書	14	<p>① 知識・技能 ・仮名の古典の書風と、用筆・運筆との関連、仮名の成立にみる日本文化の知識を理解している。 ・仮名の古典の連綿、単体、線質、字形、構成の基礎的表現の技能を身に付けています。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・仮名の古典の書風に即した用筆、字形、全体構成について、構想し工夫している。 ・仮名の価値とその根拠、生活や社会における書の効用を考え、鑑賞して書の美を捉えている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・仮名の特質に基づく表現の活動に、主体的に取り組もうとしている。 ・仮名の美や良さを感受し、価値を考え、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>・ノート ・制作作品</p> <p>・ワークシート</p> <p>・授業観察（表現） ・授業観察（鑑賞）</p>	<p>・用具用材（小筆、料紙） ・仮名の基本用筆（いろは歌） ・仮名の古典の臨書 ・仮名の創作 ・仮名の鑑賞</p>	<p>・百人一首について、調べた歌を発表する。 ・百人一首の歌の創作について、自分の言葉で、特徴を発表する。 ・仮名創作の互評会</p>	<p>・国語科の古典との連携により、百人一首について調べる。</p>
11~12月 7週 14日	漢字の書 III (行書・草書・隸書)	14	<p>① 知識・技能 ・行書・草書・隸書の書体や書風と、用筆・運筆との関連等の知識を理解している。 ・行書・草書・隸書の古典の線質、字形、構成の基礎的表現の技能を身に付けています。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・行書・草書・隸書の古典の書体や書風に即した用筆、字形、構成を、構想し工夫している。 ・行書・草書・隸書の価値と、生活における書の効用を考え、鑑賞して書の美を捉えている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・行書・草書・隸書の特質に基づく表現の活動に、主体的に取り組もうとしている。 ・行書・草書・隸書の美を感受し、価値を考え、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>・ノート ・制作作品</p> <p>・ワークシート</p> <p>・授業観察（表現） ・授業観察（鑑賞）</p>	<p>・行書の古典の臨書 ・草書の古典の臨書 ・隸書の古典の臨書 ・漢字の書の創作 ・漢字の書の鑑賞</p>	<p>・行書について、調べたことを発表する。 ・草書について、調べたことを発表する。 ・隸書について、調べたことを発表する。 ・漢字創作の互評会</p>	
1~3月 7週 14日	漢字仮名交じりの書	14	<p>① 知識・技能 ・用具用材の特徴、名筆表現の運筆法、線質、字形、構成等の表現効果等の知識を理解している。 ・目的に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けています。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・意図に基づいた表現、名筆を生かした表現を構想し工夫している。 ・創作の価値とその根拠、現代社会における書の効用を考え、書の美を味わって捉えている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・漢字仮名交じりの書の特質に基づく表現の活動に、主体的に取り組もうとしている。 ・書の美や良さを感受し、価値を考え、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>・ワークシート ・制作作品</p> <p>・ワークシート</p> <p>・授業観察（表現） ・授業観察（鑑賞）</p>	<p>・書初め（国語科書写の復習） ・自作詩、自作句の創作 ・名作の鑑賞 ・創作作品の相互鑑賞</p>	<p>・書初めについて、調べたことを発表する。 ・漢字と仮名の調和について、調べたことを発表する。 ・名作を鑑賞して、全体構成や余白の効用を発表する。 ・漢字仮名交じりの書の創作の互評会</p>	
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
音楽Ⅱ	2	全日制課程・普通科・3学年	ON!Ⅱ(音楽の友社)				
科目的目標		音楽作品の演奏や鑑賞を通して、音楽的な見方や考え方を使って、専門的な音楽の資質・能力を育成する。 (1) 演奏における客觀性と多様性を理解し、理解したことを生かした演奏に必要な技能を身に付ける。 (2) 音楽の様式を考えた演奏をする思考力、判断力、表現力等を育成する。 (3) 音楽作品を尊重して演奏したり、鑑賞したりする態度を養う。					
時期	単元・題材名	指導時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	
4~6 月 7週 15日	歌唱① ・上に向いて歩こう ・やさしさに包まれて 理論① ・音階 ・調号と主音 鑑賞① ・バロック時代	15	① 知識・技能 歌唱：楽譜を正確に歌う技能を身に付ける。 理論：理論①の内容を知識として習得している。 ② 思考・判断・表現 歌唱：歌詞の意味や曲想を考えて表現できる。 理論：楽譜のなかで考え生かすことができる。 鑑賞：鑑賞の記録を書く。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日本語の歌の美しさを感じ、主体的に表現している。 理論で得た知識を歌唱表現に生かしている。	歌唱テスト 理論テスト 鑑賞記録の評価	歌唱はすべて声に出して行う。また、範唱鑑賞後は、軽いディスカッションを行う。	各教科等横断的な資質・能力の育成に関する他教科等との関連	
6~9 月 7週 15日	器楽① ・リコーダー 鑑賞② ・古典派の音楽 舞台芸術鑑賞① ・ミュージカルを見よう	15	① 知識・技能 器楽：楽器の特徴を理解し、正しく演奏する技能を身に付ける。 鑑賞：古典派の音楽を理解している。 ② 思考・判断・表現 器楽：楽器独特の表現を理解し、演奏に生かす。 鑑賞：鑑賞の記録を書く。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 主体的にミニコンサートに参加し、人前でのリコーダー演奏に取り組む。	リコーダー演奏テスト 鑑賞記録の評価	リコーダーの特徴を知る。 ・テキストから演奏する時の姿勢や基本的な弾き方を学ぶ。 ② 思考・判断・表現 ・ウォーミングアップ ・教科書の曲を演奏 ・ミニコンサート ・CD鑑賞 ・鑑賞の記録作成 ・DVD鑑賞 ・ミュージカル鑑賞プリント作成	古典派と歴史的時代とのつながりについてレクチャーする。	
9~11 月 7週 14日	歌唱② ・Vergin,tutto amor ・女心の歌 ・歌の翼に 理論② ・和音 ・コードネーム 鑑賞③ ・ロマン派の音楽	15	① 知識・技能 歌唱：イタリア語、ドイツ語の曲を原語で歌う技能を身に付ける。 理論：理論②の内容を知識として習得している。 鑑賞：ロマン派の音楽を理解している。 ② 思考・判断・表現 歌唱：原語の特徴を生かし表現を工夫している。 理論：楽曲の中で取り出し考えることができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 外国语の音読などを主体的にを行い、歌唱に生かせるようにする。	歌唱テスト 理論テスト 鑑賞記録の評価	歌唱はすべて声に出して行う。また、範唱鑑賞後は、軽いディスカッションを行う。	ロマン派の音楽と歴史的時代とのつながりについてレクチャーする。	
11~12 月 7週 15日	器楽② ・鍵盤楽器(ピアノ・キーボード) 鑑賞④ ・宗教と音楽	15	① 知識・技能 器楽：楽器の特徴を理解し、正しく演奏する技能を身に付ける。 鑑賞：宗教と音楽を理解している。 ② 思考・判断・表現 器楽：楽器独特の表現を理解し、演奏に生かす。 鑑賞：鑑賞の記録を書く。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 主体的にミニコンサートに参加し、人前での鍵盤楽器演奏に取り組む。	鍵盤楽器の演奏テスト 鑑賞記録の評価	教科書から演奏する時の姿勢や基本的な弾き方学ぶ ・ウォーミングアップ ・教科書及びその他のテキストの曲を演奏 ・ミニコンサート ・CD鑑賞 ・鑑賞の記録作成	宗教と音楽の関係について学ぶ。	
1~3月 7週 10日	歌唱③ <日本の歌> ・からたちの花 ・初恋 鑑賞⑤ ・近現代の音楽 舞台芸術鑑賞② ・オペラを見よう	10	① 知識・技能 ・楽譜を正確に読み取り、また、基礎練習で身に付けた技能を生かし、歌うことができる。 鑑賞：近現代の音楽を理解している。 ② 思考・判断・表現 歌唱：曲想や言葉の意味を考え、それに合った表現をしている。 鑑賞：鑑賞の記録を書く。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日本の歌などに主体的に取り組み、日本の芸術歌曲を歌う喜び味わえるようにする。	録音による自己評価 鑑賞記録の評価	基礎発声 ・階名唱 ・歌詞朗読 ・歌詞唱 ・範唱鑑賞 ・録音・鑑賞 ・CD鑑賞 ・鑑賞の記録作成 ・DVD鑑賞 ・オペラ鑑賞プリント作成	歌唱はすべて声に出して行う。また、録音終了後は、鑑賞し軽いディスカッションを行う。	近現代の音楽と歴史的背景についてレクチャーする。
指導時間数の計		70					

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
美術2		2	全日制課程・普通科・3学年	高校生の美術2(日本文教出版社)				
科目的目標		美術の幅広い創造活動をとおして 造形的な見方・考え方を働かせ 美術制作体験を重ね 造形表現にかかわる 資質・能力を育成することを目指す (1)美術の意味 社会や身の回りにある美術の意義 素材の研究など 美術制作体験を通して身につける (知識・技能) (2)様々な出題形式に対応できる思考力 判断力 表現力の質の向上を目指す (思考力、判断力、表現力等) (3)自己表現した作品を尊重し 客観的に分析して 評価・鑑賞できる能力を身につける (学びに向かう力、人間性等)						
時期	単元・題材名	指導時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連	
4月	絵画作品制作…油絵作品制作①②	5	① 知識・技能 幅広い美術世界の確認 学問への啓発活動	全体確認	教科書分析 ①作品制作開始	油彩画の基本指示 国語 理科	全教科 全分野	
5月		8	② 思考・判断・表現 学問への啓発活動	個々の作品				
			③ 主体的に学習に取り組む態度 学問への啓発活動					
6月		8	① 知識・技能 自己分析		①作品完成 ②作品制作開始	質疑応答 講評	国語 理科	
7月		7	② 思考・判断・表現 組み合わせ 配置	個々の作品	②作品完成	質疑応答 講評		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 点描 線描					
9月		8	① 知識・技能 言葉 イメージ 文学 美学 芸術学 他 学問 分野の研究		③作品製作開始	質疑応答 講評	全教科 全分野	
10月		9	② 思考・判断・表現 組み合わせ 配置	個々の作品	③作品完成 ④作品製作開始 ④作品完成 ⑤作品製作開始		全教科 全分野	
11月		9	③ 主体的に学習に取り組む態度 自己分析 調査 研究					
12月		8	① 知識・技能 言葉 イメージ 文学 美学 芸術学 他 学問 分野の研究				全教科 全分野	
1月		8	② 思考・判断・表現 組み合わせ 配置		⑤作品完成	質疑応答 講評		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 自己分析 調査 研究					
月 週 日								
指導時間数の計		70						

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
書道II	2	全日制課程・普通科・3年次	書II(教育図書)			
科目の目標	(1) 書の線質、字形、構成の要素と表現効果や風趣との関わり、書の伝統と文化、時代、風土、筆者などについて理解を深める(知識・技能) (2) 漢字の古典や仮名の古筆、創造された作品の価値と根拠、書の現代的意義について考え、書のよさや美しさを深く捉える。(思考力・判断力・表現力等) (3) 主体的に書の創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。(学びに向かう力、人間性等)					
時期	単元・題材名	指導時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動 各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4~6月 11週 22日	漢字の書 (篆書・隸書・草書・行書・楷書)	22	① 知識・技能 ・各書体や書風と、用筆・運筆との関連等の知識を理解している。 ・各書体の線質、字形、構成の基礎的表現の技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 ・古典の書体や書風に即した用筆、字形、全体構成について、構想し工夫している。 ・古典を鑑賞して書の美を捉えている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・各書体の表現の活動に、主体的に取り組もうとしている。 ・各書体の美や良さを感受し、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。	・ノート ・作品	・用具用材 ・臨書 ・創作	・各書体の書きぶりについて、自分の言葉で、特徴を発表する。 ・作品の互評会
7~9月 8週 16日	刻字	16	① 知識・技能 ・刻字の作風、彫り方の知識を理解している。 ・刻字の彫り方の基礎的技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 ・字形、全体構成を、構想し工夫している。 ・刻字を鑑賞して書の美を捉えている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・刻字の表現の活動に、主体的に取り組もうとしている。 ・刻字の美や良さを感受し、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・作品	・用具用材(ノミ、彫刻刀) ・刻法の種類 ・刻字の制作 ・刻字の鑑賞	・作品の良さや美しさを、自分の言葉で発表する。 ・刻字の互評会
10~11月 8週 16日	漢字仮名交じりの書 (自作都都逸)	16	① 知識・技能 ・都都逸の歴史と、作者、常陸太田市との関連を知る。 ・都都逸のリズム、音韻数の原則を踏まえ、自作表現の技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 ・自作都都逸に即した用筆、字形、全体構成について、構想し工夫している。 ・自作都都逸の書の効用を考え、鑑賞して書の美を捉えている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・都都逸の書表現の活動に、主体的に取り組もうとしている。 ・都都逸の書の美を感受し、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・ワークシート ・作品	・用具用材 ・名筆の鑑賞 ・作品の制作 ・作品の鑑賞	・自作の都都逸を作り、伝えたいことを発表する。 ・作品の互評会
12~2月 8週 16日	篆刻(朱文印)	16	① 知識・技能 ・朱文印の刻風、運筆法・運刀法の知識を理解している。 ・朱文印の線質、字形、構成の基礎的表現の技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 ・朱文印の運刀、字形、全体構成について、構想し工夫している。 ・朱文印の効用を考え、鑑賞して書の美を捉えている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・朱文印の表現の活動に、主体的に取り組もうとしている。 ・朱文印の美や良さを感受し、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・ワークシート ・作品	・用具用材(印刀、印泥) ・篆刻の制作 ・篆刻の鑑賞	・印影について、自分の言葉で、特徴を発表する。 ・作品の互評会
指導時間数の計		70				

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
音楽実技研究Ⅰ	2	全日制課程・普通科・3学年	全訳コールユーブンゲン(大阪開誠館)				
科目的目標		音楽作品の演奏や鑑賞を通して、音楽的な見方や考え方を使って、専門的な音楽の資質・能力を育成する。 (1) 演奏における客觀性と多様性を理解し、理解したことを生かした演奏に必要な技能を身に付ける。 (2) 音楽の様式を考えた演奏をする思考力、判断力、表現力等を育成する。 (3) 音楽作品を尊重して演奏したり、鑑賞したりする態度を養う。					
時期	単元・題材名	指導時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	
4~6月 12週 24日	コールユーブンゲン ・No1~18 個人進度別実技演習	24	① 知識・技能 声や楽器の特徴を踏まえた演奏ができる。 ② 思考・判断・表現 作曲者の表現上の特徴を踏まえた解釈や思考ができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 発表などを主体的に行い、鑑賞することにより、能力を高める。	・コンサート形式による試験 ・コールユーブンゲン試験 同上 同上	・コールユーブンゲン歌唱 ・自選楽器の基礎演奏 ・自選楽器演習 ・ミニコンサート	ミニコンサートの鑑賞後、お互いの演奏についてディスカッションを行う。	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
7~9月 8週 16日	コールユーブンゲン ・No19~24 個人進度別実技演習	16	① 知識・技能 声や楽器の特徴を踏まえた演奏ができる。 ② 思考・判断・表現 作曲者の表現上の特徴を踏まえた解釈や思考ができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 発表などを主体的に行い、鑑賞することにより、能力を高める。	・コンサート形式による試験 ・コールユーブンゲン試験 同上 同上	・コールユーブンゲン歌唱 ・自選楽器の基礎演奏 ・自選楽器演習 ・ミニコンサート	ミニコンサートの鑑賞後、お互いの演奏についてディスカッションを行う。	外国語の歌を歌うことにより英語やその他の外国語に親しむ。
10~1月 15週 30日	コールユーブンゲン ・No25~43 個人進度別実技演習	30	① 知識・技能 声や楽器の特徴を踏まえた演奏ができる。 ② 思考・判断・表現 作曲者の表現上の特徴を踏まえた解釈や思考ができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 発表などを主体的に行い、鑑賞することにより、能力を高める。	・コンサート形式による試験 ・コールユーブンゲン試験 同上 同上	・コールユーブンゲン歌唱 ・自選楽器の基礎演奏 ・自選楽器演習 ・ミニコンサート	ミニコンサートの鑑賞後、お互いの演奏についてディスカッションを行う。	外国語の歌を歌うことにより英語やその他の外国語に親しむ。
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
音楽実技研究Ⅱ	2	全日制課程・普通科・3学年	全訳コールユーブンゲン(大阪開誠館)				
科目的目標	音楽作品の演奏や鑑賞を通して、音楽的な見方や考え方を使って、専門的な音楽の資質・能力を育成する。 (1) 演奏における客觀性と多様性を理解し、理解したことを生かした演奏に必要な技能を身に付ける。 (2) 音楽の様式を考えた演奏をする思考力、判断力、表現力等を育成する。 (3) 音楽作品を尊重して演奏したり、鑑賞したりする態度を養う。						
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	
4~6月 12週 24日	コールユーブンゲン ・No48~55 個人進度別実技演習 ソルフェージュ演習	24	① 知識・技能 声や楽器の特徴を踏まえた演奏ができる。 ソルフェージュ演習により、音楽を正確に記譜できる。 ② 思考・判断・表現 作曲者の表現上の特徴を踏まえた解釈や思考ができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 発表などを主体的に行い、鑑賞することにより、能力を高める。	・コンサート形式による試験 ・コールユーブンゲン試験 ・ソルフェージュ試験	同上 同上	ミニコンサートの鑑賞後、お互いの演奏についてディスカッションを行う。	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
7~9月 8週 16日	コールユーブンゲン ・No56~71 個人進度別実技演習 ソルフェージュ演習	16	① 知識・技能 声や楽器の特徴を踏まえた演奏ができる。 ソルフェージュ演習により、音楽を正確に記譜できる。 ② 思考・判断・表現 作曲者の表現上の特徴を踏まえた解釈や思考ができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 発表などを主体的に行い、鑑賞することにより、能力を高める。	・コンサート形式による試験 ・コールユーブンゲン試験 ・ソルフェージュ試験	同上 同上	ミニコンサートの鑑賞後、お互いの演奏についてディスカッションを行う。	外国語の歌を歌うことにより英語やその他の外国語に親しむ。
10~1 月 15週 30日	コールユーブンゲン ・No72~85 個人進度別実技演習 ソルフェージュ演習	30	① 知識・技能 声や楽器の特徴を踏まえた演奏ができる。 ソルフェージュ演習により、音楽を正確に記譜できる。 ② 思考・判断・表現 作曲者の表現上の特徴を踏まえた解釈や思考ができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 発表などを主体的に行い、鑑賞することにより、能力を高める。	・コンサート形式による試験 ・コールユーブンゲン試験 ・ソルフェージュ試験	同上 同上	ミニコンサートの鑑賞後、お互いの演奏についてディスカッションを行う。	外国語の歌を歌うことにより英語やその他の外国語に親しむ。
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
デッサン	2	全日照課程・普通科・3学年	新版 基礎から身につく はじめての デッサン(株式会社 西東社)				
科目的目標	デッサンの幅広い創造活動をとおして 造形的な見方・考え方を働かせ デッサン体験を重ね 造形表現にかかわる 資質・能力を育成することを目指す (1)デッサンの意味 物体の見方・とらえ方 鉛筆や木炭などの素材の研究から 自己表現できる技能を身につける (知識・技能) (2)様々な出題形式に対応できる思考力 判断力 表現力の質の向上を目指す (思考力、判断力、表現力等) (3)自己表現した作品を尊重し 客観的に分析して 評価・鑑賞できる能力を身につける (学びに向かう力、人間性等)						
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月	作品制作その1…素描作品制作	5	① 知識・技能 調子による明暗 形態としての図 構図 狹いと意図	全体確認	教科書分析 調査 研究 準備と実践	質疑応答 講評	数学 国語
5月	作品制作その2…素描作品制作	8	② 思考・判断・表現 空間認識 図形認識	個々の作品	調査 研究 準備と実践	質疑応答 講評	数学 国語
6月	作品制作その3…素描作品制作	8	③ 主体的に学習に取り組む態度 調査 研究 準備	個々の作品	組み合わせ 配置	質疑応答 講評	数学 国語
7月	作品制作その4…素描作品制作	7		個々の作品	組み合わせ 配置	質疑応答 講評	数学 国語
9月	作品制作その5…素描作品制作	8	① 知識・技能 調子による明暗 形態としての図 構図 狹いと意図	個々の作品	組み合わせ 配置	質疑応答 講評	数学 国語
10月	作品制作その6…素描作品制作	9	② 思考・判断・表現 空間認識 図形認識	個々の作品	組み合わせ 配置	質疑応答 講評	数学 国語
11月	作品制作その7…素描作品制作	9	③ 主体的に学習に取り組む態度 調査 研究 準備	個々の作品	組み合わせ 配置	質疑応答 講評	数学 国語
12月	作品制作その8…素描作品制作	8	① 知識・技能 調子による明暗 形態としての図 構図 狹いと意図	個々の作品	組み合わせ 配置	質疑応答 講評	数学 国語
1月	作品制作その9…素描作品制作	8	② 思考・判断・表現 空間認識 図形認識	個々の作品	組み合わせ 配置	質疑応答 講評	数学 国語
2月			③ 主体的に学習に取り組む態度 調査 研究 準備				
3月							
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
デザイン	2	全日制課程・普通科・3学年	やさしいデザインの教科書(エムティエヌコーポレーション)				
科目的目標	デザインの幅広い創造活動をとおして 造形的な見方・考え方を働かせ デザイン制作体験を重ね 造形表現にかかるる 資質・能力を育成することを目指す (1)デザインの意味 社会や身の回りにあるデザインの意義 素材の研究など デザイン制作体験を通して身につける (知識・技能) (2)様々な出題形式に対応できる思考力 判断力 表現力の質の向上を目指す (思考力、判断力、表現力等) (3)自己表現した作品を尊重し 客観的に分析して 評価・鑑賞できる能力を身につける (学びに向かう力、人間性等)						
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月	作品制作その1…平面構成の基本 平面分割・構成	5	① 知識・技能 幅広い美術世界の確認 学問への啓発活動 コンパス 三角定規による製図	個々の作品	教科書分析	質疑応答	全教科 全分野
5月			② 思考・判断・表現 学問への啓発活動 黄金分割 5角形 12面体 フィボナッチ数列による製図 透視図法	個々の作品	調査 研究 準備と実践	講評	国語 理科 数学 理科
			③ 主体的に学習に取り組む態度 学問への啓発活動 空間認識 図形認識	個々の作品	配置 組み合わせ 構成		
6月	作品制作その2その3…平面構成の基本 平面分割・構成	8	① 知識・技能 自己分析		配置 組み合わせ 構成	質疑応答	国語 理科 数学 理科
7月			② 思考・判断・表現 組み合わせ 配置	個々の作品	配置 組み合わせ 構成	講評 質疑応答	
			③ 主体的に学習に取り組む態度 点描 線描			講評	
9月	作品制作その4…平面構成の基本 平面分割・構成	8	① 知識・技能 言葉 イメージ 文学 美学 芸術学 他 学問分野の研究	個々の作品	配置 組み合わせ 構成	質疑応答	国語 理科 数学 理科
10月			② 思考・判断・表現 組み合わせ 配置	個々の作品	配置 組み合わせ 構成	講評 質疑応答	
11月			③ 主体的に学習に取り組む態度 自己分析 調査 研究	個々の作品	配置 組み合わせ 構成	講評 質疑応答	
12月	作品制作その6…平面構成の基本 平面分割・構成	8	① 知識・技能 言葉 イメージ 文学 美学 芸術学 他 学問分野の研究	個々の作品		講評会 質疑応答	
1月			② 思考・判断・表現 組み合わせ 配置	個々の作品			
2月			③ 主体的に学習に取り組む態度 自己分析 調査 研究				
3月							
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
書の世界 I	2	全日制課程・普通科・3年次	書のひみつ (朝日出版社)				
科目的目標	(1) 書の線質、字形、構成の要素と表現効果や風趣との関わり、書の伝統と文化、時代、風土、筆者などについて理解を深める(知識・技能) (2) 漢字の古典や仮名の古筆、創造された作品の価値と根拠、書の現代的意義について考え、書のよさや美しさを深く捉える。(思考力・判断力・表現力等) (3) 主体的に書の創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。(学びに向かう力、人間性等)						
時期	単元・題材名	指導時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	
4~7月 11週 22日	漢字の書 (楷書・行書・草書)	22	① 知識・技能 - 各書体や各書風と、用筆・運筆との関連等の知識を理解している。 - 各書体の古典の線質、字形、構成の基礎的表現の技能を身に付けています。 ② 思考・判断・表現 - 古典の書体や書風に即した用筆、字形、全体構成について構想し工夫している。 - 古典の価値とその根拠、社会における書の効用を考え、鑑賞して書の美を捉えている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 - 各書体の特質に基づく表現の活動に、主体的に取り組もうとしている。 - 各書体の美や良さを感受し、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。	- ノート - 作品 - ワークシート - 授業観察(表現) - 授業観察(鑑賞)	- 用具用材 - 古典の臨書 - 古典の鑑賞 - ワークシート - 授業観察(表現) - 授業観察(鑑賞)	- 各書体の書きぶりについて、自分の言葉で発表する。 - 作品の互評会	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
7月 3週 5日	生活の中の書 (創作・蒔絵)	5	① 知識・技能 - 茔絵の技法の知識を理解している。 - 茔絵による文字の線質、字形、構成の基礎的表現の技能を身に付けています。 ② 思考・判断・表現 - 言葉に合う書体や書風を構想できる。 - 小皿、盆、茶筒などの用具用材に即した運筆、字形、全体構成について、構想している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 - 茔絵の表現の活動に、主体的に取り組もうとしている。 - 茔絵の美や良さを感受し、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。	- ワークシート - 作品 - ワークシート - 授業観察(表現) - 授業観察(鑑賞)	- 茔絵制作DVD鑑賞 - 茔絵の制作(小皿・盆) - 茔絵の鑑賞(互評会)	- 創作する言葉について、どんな思いで書くのか、自分の言葉で発表する。 - 作品の互評会	
9月 4週 7日	拓本実習	7	① 知識・技能 - 拓本の歴史や種類の知識を理解している。 - 拓本採取の技能を身に付けています。 ② 思考・判断・表現 - 拓本採取方法について、工夫している。 - 拓本の価値や学書における効用を考え、鑑賞して拓本の美を捉えている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 - 拓本採取活動に、主体的に取り組もうとしている。 - 拓本の美や良さを感受し、価値を考え、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。	- ワークシート - 採拓物 - 授業観察(実習) - 授業観察(鑑賞)	- 拓本技法DVD鑑賞 - 拓本実習1(石膏レプリカ) - 拓本実習2(剛健碑) - 拓本実習3(校歌碑) - 拓本の鑑賞	- 拓本実習した感想を、自分の言葉で発表する。 - 採拓物の互評会	
10~12月 11週 22日	漢字の書 (創作・条幅)	22	① 知識・技能 - 条幅の書法の知識を理解している。 - 条幅のための文字の線質、字形、構成の基礎的表現の技能を身に付けています。 ② 思考・判断・表現 - 創作にあたり、言葉をつむぎ、言葉に合う書体や書風を構想し、調べることができる。 - 条幅に即した運筆、字形、全体構成について、構想している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 - 条幅による表現の活動に、主体的に取り組もうとしている。 - 条幅の美や良さを感受し、価値を考え、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。	- ノート - 作品 - ワークシート - 授業観察(表現) - 授業観察(鑑賞)	- 条幅作品の創作 - 条幅作品の裏打ち - 条幅作品の額装 - 条幅作品の鑑賞	- 条幅作品を観て、感じたことを発表する。 - 作品の互評会	国語科の古典との連携により、漢詩句や漢文の一節について調べる。
12月~2月 7週 14日	実用書 (年賀状・熨斗袋・芳名帖)	14	① 知識・技能 - 年賀状、熨斗袋、芳名帖などの歴史や文化の知識を理解している。 - 目的に即した効果的な表現の技能を身に付けています。 ② 思考・判断・表現 - 意図に基づいた表現を構想し工夫している。 - 現代社会における書の効用を考え、書の美を味わって捉えている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 - 実用書の表現の活動に、主体的に取り組もうとしている。 - 実用書の美や良さを感受し、価値を考え、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。	- ワークシート - 制作物 - ワークシート - 授業観察(表現) - 授業観察(鑑賞)	- 年賀状(表書・裏書) - 熨斗袋の書き方 - 芳名帖の書き方 - 硬筆の書き方	- 実用書の互評会	
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
書の世界Ⅱ	2	全日制課程・普通科・3年次	書のひみつ(朝日出版社)				
科目の目標	(1) 書の線質、字形、構成の要素と表現効果や風趣との関わり、書の伝統と文化、時代、風土、筆者などについて理解を深める(知識・技能) (2) 漢字の古典や仮名の古筆、創造された作品の価値と根拠、書の現代的意義について考え、書のよさや美しさを深く捉える。(思考力・判断力・表現力等) (3) 主体的に書の創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。(学びに向かう力、人間性等)						
時期	単元・題材名	指導時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	
4~7月 11週 22日	漢字の書 (楷書・篆書・隸書)	22	① 知識・技能 ・各書体や各書風と、用筆・運筆との関連等の知識を理解している。 ・各書体の古典の線質、字形、構成の基礎的表現の技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 ・古筆の書体や書風に即した用筆、字形、全体構成について、構想し工夫している。 ・古筆の価値とその根拠、社会における書の効用を考え、鑑賞して美を捉えている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・各書体の特質に基づく表現の活動に、主体的に取り組もうとしている。 ・各書体の美や良さを感受し、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。	・ノート ・作品	・用具用材 ・古典の臨書 ・古典の鑑賞	・各書体の書きぶりについて、自分の言葉で、特徴を発表する。 ・作品の互評会	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
7月 2週 4日	生活の中の書 (創作・うちわ作り)	4	① 知識・技能 ・うちわの歴史や知識を理解している。 ・うちわの形式による文字の線質、字形、構成の基礎的表現の技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 ・言葉に合う書体や書風を構想し、調べができる。 ・うちわの形式に即した運筆、字形、全体構成について、構想している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・うちわ作りの表現の活動に、主体的に取り組もうとしている。 ・うちわの美や良さを感受し、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・作品	・うちわへの揮毫 ・うちわの作成 ・作品の鑑賞	・創作する言葉について、どんな構想で書くのか自分の言葉で発表する。 ・作品の互評会	
9月 4週 8日	仮名の書	8	① 知識・技能 ・仮名の古筆の書風と、用筆との関連、仮名の成立にみる日本文化の知識を理解している。 ・仮名の古筆の連続、単体、線質、字形、構成の基礎的表現の技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 ・仮名の古筆の書風に即した用筆、字形、全体構成について、構想し工夫している。 ・仮名の価値と生活や社会における書の効用を考え、鑑賞して美を捉えている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・仮名の表現の活動に、主体的に取り組もうとしている。 ・仮名の美や良さを感受し、価値を考え、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。	・ノート ・作品	・平仮名の字源 ・変体仮名の字源 ・古筆の臨書 ・古筆の鑑賞	・仮名の古筆の特徴について、自分の言葉で、発表する。 ・作品の互評会	
10~12月 11週 22日	漢字仮名交じりの書 (創作・俳句、川柳)	22	① 知識・技能 ・名筆表現から、運筆法、線質、字形、構成等の表現効果等の知識を理解している。 ・漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 ・意図に基づいた表現を構想し工夫している。 ・現代社会における書の効用を考え、書の美を味わって捉えている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・漢字仮名交じりの書の表現の活動に、主体的に取り組もうとしている。 ・書の美や良さを感受し、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・制作作品	・自作俳句、川柳作り ・名筆の鑑賞 ・作品の裏打ち ・作品の額装 ・作品の鑑賞	・自作俳句、川柳について、どんな思いで作ったか発表する。 ・作品の互評会	・国語科の古典との連携により、名作俳句や川柳について調べる。
12月~2月 7週 20日	実用書 (硬筆・ペン字)	14	① 知識・技能 ・手紙や文書の書式の知識を理解している。 ・目的に即した効果的な表現の技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 ・意図に基づいた表現を構想し工夫している。 ・現代社会におけるペン字の効用を考え、書の美を味わって捉えている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・実用書の表現の活動に、主体的に取り組もうとしている。 ・実用書の美や良さを感受し、価値を考え、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・制作実用書	・手紙(便箋)の書き方 ・封筒の書き方 ・葉書の書き方 ・硬筆の名筆の鑑賞	・実用書の互評会	
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
英語コミュニケーション I	4	全日制・普通科・1年次	Creative English Communication I (第一学習社)			
CAN-DOリストに基づく年度末の学習到達目標	<p>R: 英検準2級レベルの初見の英文を、パラグラフ毎の要点を理解し、さらには話の展開に注目しながら概要を理解できる。 L: 教科書本文を聞いて、概要を理解できる。相手の発表や意見を聞いて、疑問などを用意することができます。 W: 身近な話題について、60語以上の内容のまとまりのある文章を書くことができる。与えられたテーマについて1パラグラフエッセイを指定時間内に書くことができる。 S(Production): 社会的な話題に沿って調べたものや考案したものについて英語で簡単なプレゼンテーションができる。与えられたテーマについて、自分の意見を理由とその根拠を示しながら言うことができる。 S(Interaction): 教科書の内容をもとに、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどをわかりやすく伝え合うことができる。英検準2級レベルの自由応答問題で合格点を取ることができる</p>					
時期	単元・題材名	指導時数	単元の目標	主な言語活動等	評価方法	
4月2週～5月1週	Lesson 1 Bringing Out the Best in Himself	14	<ul style="list-style-type: none"> ・夢の実現に関する大谷翔平選手のメッセージを的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、自分自身の「目標達成シート」を書くことができる。 	<p><文型・文法事項> ・to不定詞、動名詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・日本語と英語の語順の違いに注意して、英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・ウェブサイトの情報の特徴を理解しようとしている。・読み手に配慮して、わかりやすく「目標達成シート」を書こうとしている。</p>	・活動の観察 ・内容理解ワークシート ・パフォーマンステスト ・単元テスト ・一斉考査	自主・自立・協働の精神(道徳)
5月2週～4週	Lesson 2 What Do You Eat for Lunch?	12	<ul style="list-style-type: none"> ・日本および世界の「弁当文化」について的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、コンテストに応募することを想定した弁当について説明することができる。 	<p><文型・文法事項> ・現在完了形、分詞の形容詞用法について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・英語のリズムやイントネーションに注意して、英文を音読することができる。 <場面・状況など> ・Q&Aサイトなどに投稿する場合の注意点を理解し、読み手に配慮して、わかりやすく投稿文を書こうとしている。・聞き手に配慮して、コンテストに応募することを想定した弁当についてわかりやすく説明しようとしている。</p>	・活動の観察 ・内容理解ワークシート ・パフォーマンステスト ・単元テスト ・一斉考査	異文化理解(英語、歴史、地理)
6月1週～6月3週	Lesson 3 The Evolution of the Cellphone	12	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話の発展について的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、未来の携帯電話を想像し、それについてプレゼンテーションをすることができる。 	<p><文型・文法事項> ・現在完了形、関係代名詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・意味のまとまりに注意して、英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・効果的なプレゼンテーションにするための方法を理解し、聞き手に配慮して、わかりやすくプレゼンテーションをしようとしている。</p>	・活動の観察 ・内容理解ワークシート ・パフォーマンステスト ・単元テスト ・一斉考査	科学技術の発展(理科)
6月4週～7月3週	Lesson 4 A Healthy Planet	16	<ul style="list-style-type: none"> ・絶滅危惧種の保護のあり方について的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、絶滅危惧種の保護を訴えるポスターを作り、それを説明することができる。 	<p><文型・文法事項> ・動助詞+be+過去分詞、It seems that …について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・ディスコースマークに注意して、英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・ポスターの構成や作成方法を理解し、聞き手や読み手に配慮して、わかりやすくポスターを作成し、それを説明しようとしている。</p>	・活動の観察 ・内容理解ワークシート ・パフォーマンステスト ・単元テスト ・一斉考査	気候変動(SDGs7, 13, 14, 15)(理科・地理)
9月1週～4週	Lesson 5 The Adventures of Curious George's Creators	14	<ul style="list-style-type: none"> ・『おさるのジョージ』の作者の人生について的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、好きなマンガ・アニメとその理由を説明することができる。 	<p><文型・文法事項> ・知覚動詞・使役動詞+0+C(=原型不定詞)、関係代名詞whatについて理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・英語の音の変化に注意して、英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・インタビューにおける注意点を理解しようとしている。・聞き手や読み手に配慮して、わかりやすく好きなマンガ・アニメとその理由を説明しようとしている。</p>	・活動の観察 ・内容理解ワークシート ・パフォーマンステスト ・単元テスト ・一斉考査	異文化理解(英語、歴史、地理)
10月1週～10月3週	Lesson 6 Messages about Happiness from Jose Mujica	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ホセ・ムヒカの幸福に関するメッセージを的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、幸福を感じるときについて説明することができる。 	<p><文型・文法事項> ・過去完了形・過去完了進行形、S+V+0(+0)(=疑問詞節)について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・考え方や意図をうまく伝えるための表現に注意して、英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・ポスター・プレゼンテーションにおける注意点を理解しようとしている。・聞き手や読み手に配慮して、わかりやすく幸福を感じるときについて説明しようとしている。</p>	・活動の観察 ・内容理解ワークシート ・パフォーマンステスト ・単元テスト ・一斉考査	国際社会(政治・経済)
10月4週～11月3週	Lesson 7 To stop plastic Pollution	14	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋プラスチック汚染について的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、世界的な環境問題の解決のためにできることについてパラグラフを書くことができる。 	<p><文型・文法事項> ・S+V+it+to不定詞、関係副詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・パラグラフの構造に注意して、英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・ブログなどのSNSの投稿文の特徴を理解しようとしている。・読み手に配慮して、世界的な環境問題の解決のためにできることについてわかりやすく書こうとしている。</p>	・活動の観察 ・内容理解ワークシート ・パフォーマンステスト ・単元テスト ・一斉考査	つくる責任つかう責任(SDGs8, 10, 12)(公共)
11月4週～12月3週	Lesson 8 Stories to be Passed On	16	<ul style="list-style-type: none"> ・近藤紘子さんのストーリーを的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、平和の定義について説明することができる。 	<p><文型・文法事項> ・仮定法過去、仮定法過去完了について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・キーワードや言い換え表現に注意して、英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・ディスカッションにおける注意点を理解しようとしている。・聞き手や読み手に配慮して、わかりやすく平和の定義について説明しようとしている。</p>	・活動の観察 ・内容理解ワークシート ・パフォーマンステスト ・単元テスト ・一斉考査	生命尊重(道徳)
1月～2月1週	Lesson 9 Will Human Beings and AI Go Hand in Hand	14	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の人間とAIのあるべき姿について的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、人間とAIが共存する将来について説明することができる。 	<p><文型・文法事項> ・分詞構文(現在分詞)、関係詞の非制限用法について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・事実や情報をわかりやすく伝えるための表現に注意して、英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・広告の構成を理解しようとしている。・聞き手や読み手に配慮して、わかりやすく人間とAIが共存する将来について説明しようとしている。</p>	・活動の観察 ・内容理解ワークシート ・パフォーマンステスト ・単元テスト ・一斉考査	人工知能の最新技術や共生(理科)
2月2週～3月	Optional Lesson The Safe	16	<ul style="list-style-type: none"> ・ストーリーの展開を的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、ストーリーに関連する自分の考えを話すことができる。 	既習事項の総復習	・活動の観察 ・内容理解ワークシート ・パフォーマンステスト ・単元テスト ・一斉考査	
指導時間数の計		140				

教科の目標	(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
-------	--

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
論理・表 I	2	全日制・普通科・1年次	be English Logic and Expression I Clear (いいいざな書店)			
CAN-DOリストに基づく年度末の学習到達目標	W: 身近な話題について、60語以上の内容のまとめのある文章を書くことが出来る。与えられたテーマについて1ページグラフエッセイを指定時間内に書くことができる。 S(Production): 社会的な話題に沿って調べたものや考査したものについて英語で簡単なプレゼンテーションができる。与えられたテーマについて、自分の意見を理由とその根拠を示しながら言うことができる。英検準2級レベルのラスト描写、ストーリー説明問題で合格点を取ることができる。 S(Interaction): 教科書の内容をもとに、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどをわかりやすく伝え合うことができる。英検準2級レベルの自由応答問題で合格点を取ることができる。					
時期	単元・題材名	指導時数	単元の目標	主な言語活動等	評価方法	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月	Lesson 1 Meeting People	6	・学習・課外活動に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・学習・課外活動に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。	【文法】過去完了形・過去完了進行形・未来完了形 【言語の機能】 <ul style="list-style-type: none">・「同意を求める」表現を含む対話を理解し、展開する。・「同意を求める」表現を用いて文を作る。	・活動の観察 ・授業ワークシート ・単元テスト ・一斉考查	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
	Lesson 2 Holidays and Weekends		・休日や週末に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・休日や週末に関する文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。	【文法】過去形・過去進行形 【言語の機能】 <ul style="list-style-type: none">・「聞き直す」表現を含む対話を理解し、展開する。・「聞き直す」表現を用いて文を作る。		
5月	Lesson 3 Making Plans	8	・予定に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・予定に関する文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。	【文法】未来の表現 【言語の機能】 <ul style="list-style-type: none">・「詳しい情報をたずねる」表現を含む対話を理解し、展開する。・「詳しい情報をたずねる」表現を用いて文を作る。	・活動の観察 ・授業ワークシート ・単元テスト ・一斉考查	目標を持って生きる(家庭)
	Lesson 4 Travel		・旅行に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・旅行に関する文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。	【文法】現在完了形・現在完了進行形 【言語の機能】 <ul style="list-style-type: none">・「話を切り出す」表現を含む対話を理解し、展開する。・「話を切り出す」表現を用いて文を作る。		
6月	Lesson 5 Study and Activities	7	・学習・課外活動に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・学習・課外活動に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。	【文法】 <ul style="list-style-type: none">・過去完了形・過去完了進行形・未来完了形 【言語の機能】 <ul style="list-style-type: none">・「同意を求める」表現を含む対話を理解し、展開する。・「同意を求める」表現を用いて文を作る。	・活動の観察 ・授業ワークシート ・単元テスト ・一斉考查	食品ロス (SDGs12) (家庭)
	Lesson 6 Food Culture		・食文化に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・食文化に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。	【文法】能力・可能・推量・許可を表す助動詞 【言語の機能】 <ul style="list-style-type: none">・「お礼を言う」表現を含む対話を理解し、展開する。・「お礼を言う」表現を用いて文を作る。		
7月	Lesson 7 School Life	7	・学校生活に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・学校生活に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。	【文法】義務・確信・推測・後悔を表す助動詞 【言語の機能】 <ul style="list-style-type: none">・「理由をたずねる」表現を含む対話を理解し、展開する。・「理由をたずねる」表現を用いて文を作る。	・活動の観察 ・授業ワークシート ・単元テスト ・一斉考查 ・パフォーマンステスト(話すこと)	
	Lesson 8 Daily Life		・日常生活に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・日常生活に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。	【文法】意志・推量・依頼を表す助動詞 【言語の機能】 <ul style="list-style-type: none">・「依頼を受け入れる・断る」表現を含む対話を理解し、展開する。・「依頼を受け入れる・断る」表現を用いて文を作る。		

9月	Lesson 9 Transportation Issues	6	<ul style="list-style-type: none"> ・交通問題に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・交通問題に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 	<p>【文法】受動態 【言語の機能】<ul style="list-style-type: none"> ・「話しかける」表現を含む対話を理解し、展開する。 ・「話しかける」表現を用いて文を作る。 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・授業ワークシート ・単元テスト ・一斉考査 	
	Lesson 10 Future Activities		<ul style="list-style-type: none"> ・将来の夢や目標に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・将来の夢や目標に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 	<p>【文法】不定詞の名詞用法 【言語の機能】<ul style="list-style-type: none"> ・「励ます」表現を含む対話を理解し、展開する。 ・「励ます」表現を用いて文を作る。 </p>		
10月	Lesson 11 Staying Healthy	8	<ul style="list-style-type: none"> ・健康に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・健康に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 	<p>【文法】不定詞の形容詞・副詞用法 【言語の機能】<ul style="list-style-type: none"> ・「具合をたずねる」表現を含む対話を理解し、展開する。 ・「具合をたずねる」表現を用いて文を作る。 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・授業ワークシート ・単元テスト ・一斉考査 	現代社会の健康（保健体育）
	Lesson 12 New Products		<ul style="list-style-type: none"> ・新しい製品に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・新しい製品に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 	<p>【文法】使役的な不定詞・原形不定詞、不定詞（進行形・受動態・完了形） 【言語の機能】<ul style="list-style-type: none"> ・「勧誘する」表現を含む対話を理解し、展開する。 ・「勧誘する」表現を用いて文を作る。 </p>		
11月	Lesson 13 Hobbies and Interests	8	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味・関心についての会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・趣味・関心についての情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 	<p>【文法】動名詞 【言語の機能】<ul style="list-style-type: none"> ・「同じだと言う」表現を含む対話を理解し、展開する。 ・「同じだと言う」表現を用いて文を作る。 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・授業ワークシート ・単元テスト ・一斉考査 	
	Lesson 14 The World of Nature		<ul style="list-style-type: none"> ・自然に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・自然に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 	<p>【文法】分詞の形容詞的用法 【言語の機能】<ul style="list-style-type: none"> ・「感情を表す」表現を含む対話を理解し、展開する。 ・「感情を表す」表現を用いて文を作る。 </p>		自然環境と動植物（理科）
12月	Lesson 15 Trouble and Accidents	6	<ul style="list-style-type: none"> ・トラブル・事故に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・トラブル・事故に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 	<p>【文法】分詞構文 【言語の機能】<ul style="list-style-type: none"> ・「同情・共感を表す」表現を含む対話を理解し、展開する。 ・「同情・共感を表す」表現を用いて文を作る。 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・授業ワークシート ・単元テスト ・一斉考査 	
	Lesson 16 Inventions		<ul style="list-style-type: none"> ・発明に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・発明に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 	<p>【文法】主格・目的格の関係代名詞、what 【言語の機能】<ul style="list-style-type: none"> ・「感想をたずねる」表現を含む対話を理解し、展開する。 ・「感想をたずねる」表現を用いて文を作る。 </p>		偉人（歴史）
1・2月	Lesson 17 Cities and Towns	7	<ul style="list-style-type: none"> ・都市・町に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・都市・町に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 	<p>【文法】関係副詞・複合関係詞 【言語の機能】<ul style="list-style-type: none"> ・「感情を伝える」表現を含む対話を理解し、展開する。 ・「感情を伝える」表現を用いて文を作る。 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・授業ワークシート ・単元テスト ・一斉考査 ・パフォーマンステスト（話すこと） 	世界都市（地理）
	Lesson 18 Living Environment		<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・生活環境に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 	<p>【文法】原級・比較級 【言語の機能】<ul style="list-style-type: none"> ・「存在を伝える」表現を含む対話を理解し、展開する。 ・「存在を伝える」表現を用いて文を作る。 </p>		食品ロス（家庭基礎）
2・3月	Lesson 19 Social Problems	7	<ul style="list-style-type: none"> ・社会問題に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・社会問題に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 	<p>【文法】最上級 【言語の機能】□<ul style="list-style-type: none"> ・「提案する」表現を含む対話を理解し、展開する。 ・「提案する」表現を用いて文を作る。 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・授業ワークシート ・単元テスト ・一斉考査 	社会問題や環境問題（公共）
	Lesson 20 Making a Wish		<ul style="list-style-type: none"> ・願い事に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・願い事に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 	<p>【文法】・仮定法過去・仮定法過去完了 【言語の機能】<ul style="list-style-type: none"> ・「したいことを伝える」表現を含む対話を理解し、展開する。 ・「したいことを伝える」表現を用いて文を作る。 </p>		

教科の目標	(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
-------	--

科目名 英語コミュニケーションⅡ CAN-DOリストに基づく	単位数 4	課程・学科・学年 全日制・普通科・2年次	使用教科書名(出版社) ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION II			
時期 月 週 日	単元・題材名	指導時数	単元の目標	主な言語活動等	評価方法 各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連	
4月 2週 ~4週	Unit 1 What can we do to prevent endemic species from becoming extinct?	9	かつてニュージーランドに生息していた巨大な鳥、モアの絶滅の歴史を知るとともに、今まさに危機に瀕する動物について学び、保護のためにできることを考える。	【言語活動】絶滅の危機に瀕している動物の特徴や生態などをについて説明する。 【言語の働き】勧める／理解や納得を示す 【言語材料】助動詞+完了形／不定詞の意味上の主語	・活動の観察 ・内容理解 ・プレゼンテーション ・文法に関するテスト ・一斉考查	自然環境の保全(生物)
5月 1週 ~3週	Unit 2 Which sports can really be called sports?	9	年々人気を増すeスポーツの特徴を理解し、伝統的なスポーツとの違いや、スポーツをスポーツたらしめている条件とは何かを考える。	【言語活動】ある論題について、主張と根拠を明確にしながら、ディベートを行う。 【言語の働き】勧誘する／断る 【言語材料】受け身の不定詞／助動詞doによる強調	・活動の観察 ・内容理解 ・ディベート ・文法に関するテスト ・一斉考查	スポーツの歴史・文化、スポーツ推進の課題(保健)
5月 4週 ~6月2週	Unit 3 How do we choose what we eat?	9	多様な食習慣の背景にある文化や、地球環境への影響について知る。「食べるものを選択する」という視点から、レストランのレビューやコメントも取り上げる。	【言語活動】レストランのレビューや、ほかのレビューへのコメントを書く。 【言語の働き】提案する／説得する／妥協する 【言語材料】先行詞を含む関係副詞／否定語の倒置	・活動の観察 ・内容理解 ・ライティング ・文法に関するテスト ・一斉考查	これからの食生活、食料需給をめぐる問題(家庭基礎、地理総合)
6月 3週 ~7月1週	Unit 4 How have inventions changed history?	10	ペニシリンの発明に至る経緯と、後世に与えた影響について理解する。さらに、現代のさまざまな発明品について、その意義を考える。	【言語活動】有益だと思う発明品について説明する。 【言語の働き】想像したことを伝える／相手の考えを聞く 【言語材料】強調構文／関係副詞の非制限用法	・活動の観察 ・内容理解 ・プレゼンテーション ・文法に関するテスト ・一斉考查	有機化合物と人間生活(化学)
7月 2週	Speaking Review Task (Unit 1, Unit 2)	3			・パフォーマンステスト	
7月 2週 ~3週	Speaking Review Task (Unit 3, Unit 4)	5			・パフォーマンステスト	
9月 1週 ~3週	Unit 5 What can we learn from traveling?	10	若者が旅行をすることの意義と問題点を踏まえて、進学・就職前に長期の休暇をとって見聞を広げる「ギャップ・イヤー」という仕組みへの賛否を考える。	【言語活動】「ギャップ・イヤー」への賛成・反対の意見とその理由を説明する。 【言語の働き】希望を伝える 【言語材料】接続詞+分詞／完了不定詞	・活動の観察 ・内容理解 ・ディベート ・文法に関するテスト ・一斉考查	持続可能な社会づくりの主体となる私たち(公共)

9月 4週 ～10月2 週	Unit 6 How do people's personalities affect their behavior?	10	内向的な人の特徴や、性 格が振る舞いに及ぼす影 響について理解する。自 分自身やクラスメートの 性格の分析を通して、多 様性についても考える。	【言語活動】 性格が振る舞いに及ぼし ている影響について説明 する。 【言語の働き】 誘いを受け入れる／うま く誘いを断る 【言語材料】 部分否定	・活動の観察 ・内容理解 ・プレゼンテーション ・文法に関するテスト ・一斉考査	社会的な関係のなか で生きる人間（公 共）
10月 3週 ～11月2 週	Unit 7 Who should we celebrate on our money?	11	日本の新紙幣の顔となる 津田梅子や、アメリカの 紙幣への掲載が計画され ていたハリエット・タブ マンについて知り、紙幣 に取り上げるべき人物に について考える。	【言語活動】 紙幣に取り上げるべき人 物について意見を述べ合 う。 【言語の働き】 自分について伝える 【言語材料】 受け身の進行形／be動詞 + 不定詞	・活動の観察 ・内容理解 ・ディスカッション ・文法に関するテスト ・一斉考査	金融のしくみと機能 (政治・経済)
11月 3週 ～12月2 週	Unit 8 How can we find out if news is real or fake?	11	フェイクニュースの歴史 を知る。現在のインター ネット上のフェイク ニュースの見分け方につ いても学び、あるニュー スの真偽を考察する。	【言語活動】 あるニュースの真偽につ いて意見を述べ合う。 【言語の働き】 話題を発展させる／いき さつを説明する 【言語材料】 複合関係副詞	・活動の観察 ・内容理解 ・ディスカッション ・文法に関するテスト ・一斉考査	メディアと世論（公 共）
12月 3週	Speaking Review Task (Unit 5, Unit 6)	3			・パフォーマンステスト	
1月 2週 ～3週	Speaking Review Task (Unit 7, Unit 8)	5			・パフォーマンステスト	
1月 4週 ～2月2週	Unit 9 What is important when choosing a job?	11	社会の変化を踏まえなが ら、今、仕事を選ぶ際に 重要なことについて理解 する。さらに、ある仕事 を選ぶ理由や、その仕事 への適性についても考 える。	【言語活動】 ある仕事を選ぶ理由やそ の仕事への適性を伝え合 う。 【言語の働き】 将来したい仕事をたずね る、伝える 【言語材料】 過去の習慣	・活動の観察 ・内容理解 ・ディスカッション ・文法に関するテスト ・一斉考査	これからの生活を創 造する、私たちの職 業生活（家庭基礎、 公共）
2月 3週 ～3月2週	Unit 10 How can we improve our school?	11	制服、カリキュラムなど の面から、学校を改善す るための提案とそれに対 する反論を理解する。最 後に、自分たちの学校を よりよくするための提案 を考える。	【言語活動】 ディスカッションを通し て考えを深め、効果的に プレゼンテーションす る。 【言語の働き】 助言を求める、与える 【言語材料】 未来進行形／未来完了形	・活動の観察 ・内容理解 ・ディスカッション ・文法に関するテスト ・一斉考査	自立した主体として 社会に参画する私た ち（公共）
3月 3週	Speaking Review Task (Unit 9, Unit 10)	3			・パフォーマンステスト	
指導時間数の計		120				

教科の目標	<p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考え方などの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p> <p>○理解していること・できることをどう使うか(思考力、判断力、表現力等)</p> <p>○どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか(学びに向かう力、人間性等)</p>		

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
論理・表現Ⅱ	2	全日制・普通科・2年次	Harmony Ⅱ English Logic and Expression (いいいざな書店)			
CAN-DOリストに基づく年度末の学習到達目標	<p>話すこと[やりとり](SI) : 与えられた論題に対して、ディスカッションをし、結論を出すことができる。</p> <p>話すこと[発表](SP) : 与えられた課題に対して、長めの意見を述べることができる。</p> <p>書くこと(W) : 与えられたテーマについて、ふさわしい語彙や表現を適切に使用して論理的に書くことができる。</p>					
時期	単元・題材名	指導時数	単元の目標	主な言語活動等	評価方法	
4月	Lesson 1 During Spring Vacation	6	<ul style="list-style-type: none"> ・最近の出来事に関する会話を聞いて理解し、質問に答えたり、それらの文章を書いたり、発表したりする。 ・現在形、過去形、未来の表現について学んで理解し、その表現を用いて文を作る。 	<p>【言語の機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Narrativeの構造を理解し、展開する。 ・Narrativeの構造を用いて文を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・英作文 ・小テスト ・パフォーマンステスト ・一斉考查 	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連 社会的な関係のなかで生きる人間(公共)
5月	Lesson 2 My Favorite Star	8	<ul style="list-style-type: none"> ・有名人の経験に関する会話を聞いて理解し、質問に答えたり、それらの文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 ・現在完了形・過去完了形について学んで理解し、その表現を用いて文を作る。 	<p>【言語の機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Descriptionの構造を理解し、展開する。 ・Descriptionの構造を用いて文を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・英作文 ・小テスト ・パフォーマンステスト ・一斉考查 	目標を持って生きる(家庭基礎)
	Lesson 3 My Career Path		<ul style="list-style-type: none"> ・将来のキャリアに関する会話を聞いて理解し、質問に答えたり、それらの文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 ・助動詞について学んで理解し、その表現を用いて文を作る。 	<p>【言語の機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Exampleの構造を理解し、展開する。 ・Exampleの構造を用いて文を作る。 		これからの生活を創造する、私たちの職業生活(家庭基礎、公共)
6月	Lesson 4 Talking about Japanese Culture	8	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の文化・ものに関する会話を聞いて理解し、質問に答えたり、それらの文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 ・受動態について学んで理解し、その表現を用いて文を作る。 	<p>【言語の機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Descriptionの構造を理解し、展開する。 ・Descriptionの構造を用いて文を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・英作文 ・小テスト ・パフォーマンステスト ・一斉考查 	私たちと歴史の結びつき(日本史探究)
	Lesson 5 Disaster Prevention		<ul style="list-style-type: none"> ・防災に関する会話を聞いて理解し、質問に答えたり、それらの文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 ・不定詞(名詞用法・形容詞用法・副詞用法)について学んで理解し、その表現を用いて文を作る。 	<p>【言語の機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Processの構造を理解し、展開する。 ・Processの構造を用いて文を作る。 		安全で快適な住生活の計画(家庭基礎)
7月	Lesson 6 Town Planning ディスカッションをしてみよう!	6	<ul style="list-style-type: none"> ・都市構造に関する会話を聞いて理解し、質問に答たり、それらの文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 ・不定詞を使った表現について学んで理解し、その表現を用いて文を作る。 	<p>【言語の機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Reasonの構造を理解し、展開する。 ・Reasonの構造を用いて文を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・英作文 ・小テスト ・パフォーマンステスト ・一斉考查 	持続可能な社会づくりの主体となる私たち(公共)
9月	Lesson 7 Foods and Culture	6	<ul style="list-style-type: none"> ・食に関する会話を聞いて理解し、質問に答えたり、それらの文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 ・動名詞について学んで理解し、その表現を用いて文を作る。 	<p>【言語の機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Cause and Effectの構造を理解し、展開する。 ・Cause and Effectの構造を用いて文を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・英作文 ・小テスト ・パフォーマンステスト ・一斉考查 	これからの食生活、食料需給をめぐる問題(家庭基礎、地理総合)

10月	Lesson 8 ICT and Universal Design	8	・ICTとバリアフリー社会に関する会話を聞いて理解し、質問に答えたり、それらの文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 ・分詞について学んで理解し、その表現を用いて文を作る。	【言語の機能】 ・Exampleの構造を理解し、展開する。 ・Exampleの構造を用いて文を作る。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト ・パフォーマンステスト ・一斉考査	共生社会と福祉（家庭基礎）
	Lesson 9 World Peace		・世界平和に貢献した人々に関する会話を聞いて理解し、質問に答えたり、それらの文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 ・関係代名詞について学んで理解し、その表現を用いて文を作る。	【言語の機能】 ・Narrativeの構造を理解し、展開する。 ・Narrativeの構造を用いて文を作る。		国際社会の変化と日本の役割（公共）
11月	Lesson 10 Volunteering Abroad	8	・海外ボランティアに関する会話を聞いて理解し、質問に答えたり、それらの文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 ・関係副詞について学んで理解し、その表現を用いて文を作る。	【言語の機能】 ・Problem Solvingの構造を理解し、展開する。 ・Problem Solvingの構造を用いて文を作る。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト ・パフォーマンステスト ・一斉考査	国際社会の変化と日本の役割（公共）
	Lesson 11 Health and Lifespan		・健康と生活に関する会話を聞いて理解し、質問に答えたり、それらの文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 ・比較について学んで理解し、その表現を用いて文を作る。	【言語の機能】 ・Comparisonの構造を理解し、展開する。 ・Comparisonの構造を用いて文を作る。		現代社会の健康（保健体育）
12月	Lesson 12 If the World Were ...	6	・異なる視点に関する会話を聞いて理解し、質問に答えたり、それらの文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 ・仮定法について学んで理解し、その表現を用いて文を作る。	【言語の機能】 ・Viewpointの構造を理解し、展開する。 ・Viewpointの構造を用いて文を作る。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト ・パフォーマンステスト ・一斉考査	社会的な関係のなかで生きる人間（公共）
1・2月	Lesson 13 Culture and Perception	7	・文化と認知の関係に関する会話を聞いて理解し、質問に答えたり、それらの文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 ・否定・疑問文について学んで理解し、その表現を用いて文を作る。	【言語の機能】 ・Emphasisの構造を理解し、展開する。 ・Emphasisの構造を用いて文を作る。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト ・パフォーマンステスト ・一斉考査	国際社会の変化と日本の役割（公共）
	Lesson 14 World News		・ニュースの内容に関する会話を聞いて理解し、質問に答えたり、それらの文章を書いて、発表したりする。 ・時制の一致・話法について学んで理解し、その表現を用いて文を作る。	【言語の機能】 ・Reporting and Analysisの構造を理解し、展開する。 ・Reporting and Analysisの構造を用いて文を作る。		メディアと世論（公共）
2・3月	Lesson 15 Be Yourself ミニディベートをしてみよう！	7	・自分らしい生き方に関する会話を聞いて理解し、質問に答えたり、それらの文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 ・要求／提案を表す動詞・無生物主語・強調構文について学んで理解し、その表現を用いて文を作る。	【言語の機能】 ・Suggestionの構造を理解し、展開する。 ・Suggestionの構造を用いて文を作る	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト ・パフォーマンステスト ・一斉考査	これからの生活を創造する（家庭基礎）
指導時間数の計		70				

教科の目標		<p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの論理展開や概要、要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合つたり、会話を発展させることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーション、対応する力を養う。</p>				
-------	--	--	--	--	--	--

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)		
英語コミュニケーションⅢ		4	全日制・普通科・3年次	FLEX ENGLISH COMMUNICATION Ⅲ		
CAN-DOリストに基づく		R:英検2級～準1級レベルの初見の文章を、指定時間内にリーディングスキル(概要把握、主題文の特定、支持文把握、パラグラフ展開を意図した理解)				
時期	単元・題材名	指導時数	単元の目標	主な言語活動等	評価方法	各教科等横断的な資質・能力の育成に関する他教科等との関連
4	Skill 1～6 「食料不足の解決」「ゴミを楽器にリサイクル」「自然を回復する再野生化」「サステナブルファッショング」「子ども食堂」	5	Reading の基礎スキルを知り、活用できるようにする(パラグラフの構成、事実と意見の捉え方、論理的な文章構成、スキミング・スキーニング)	・TFクイズ、英問英答などのペアワーク、グループワーク、リテリング、リスニングクイズ等	・活動の観察 ・記述の分析 ・小テスト	
4	Skill 6 「視覚、聴覚、触覚における錯覚」	1	ディスコースマーカーに注意し、順序立て述べる英文構成を活用できるようにする	・TFクイズ、英問英答などのペアワーク、グループワーク、リテリング、リスニングクイズ等	・活動の観察 ・記述の分析 ・小テスト	科学
4	Lesson 1 : Potential Uses of Optical Illusions	8	ディスコースマーカーに注意し、順序立て述べる英文構成を活用できるようにする 錯視の効果と利用について理解する	・ペアワーク、グループワーク、リテリング、リスニングクイズ等	・活動の観察 ・記述の分析 ・小テスト	科学
5	Skill 7 「在留外国人の増加を妨げる要因」	1	グラフ・表を含む英文を統合的に理解する	・ペアワーク、グループワーク、リテリング、リスニングクイズ等	・活動の観察 ・記述の分析 ・小テスト	共生社会と福祉(家庭基礎)
5	Lesson 2: Expanding World Population	8	グラフ・表を含む英文を統合的に理解する 人口増加の歴史とそれによって生じる問題について理解する	・ペアワーク、グループワーク、リテリング、リスニングクイズ等	・活動の観察 ・記述の分析 ・小テスト	共生社会と福祉(家庭基礎)
5	Skill 8/9 「SNSで情報を正しく入手するために」	2	言い換え・要約して説明する	・ペアワーク、グループワーク、リテリング、リスニングクイズ等	・活動の観察 ・記述の分析 ・小テスト	科学情報
6	Lesson 3: What Makes a Hit Song?	8	言い換え・要約して説明する ヒットソングになるために必要なことを理解し、説明する	・ペアワーク、グループワーク、リテリング、リスニングクイズ等	・活動の観察 ・記述の分析 ・小テスト	科学情報
6	Skill 10: 「日米の友好の象徴となつた桜」	1	必要な情報を要約する	・ペアワーク、グループワーク、リテリング、リスニングクイズ等	・活動の観察 ・記述の分析 ・小テスト	歴史
6	Lesson 4 「Visas for Life」	8	必要な情報を要約する 杉原千畝の功績について理解し、要約する	・ペアワーク、グループワーク、リテリング、リスニングクイズ等	・活動の観察 ・記述の分析 ・小テスト	歴史
7	Skill 11 「渡りをする蝶」	1	結論・結果を的確に読み取る	・ペアワーク、グループワーク、リテリング、リスニングクイズ等	・活動の観察 ・記述の分析 ・小テスト	自然科学
7	Lesson 5 「How Have Butterflies Survived?」	8	結論・結果を的確に読み取る 蝶はいかにして天敵から身を守ってきたのかを理解する	・ペアワーク、グループワーク、リテリング、リスニングクイズ等	・活動の観察 ・記述の分析 ・小テスト	自然科学
7	Skill 12: 「モン族の裁縫技術と文化」	1	譲歩による論理展開を知り、読み取りを深める	・ペアワーク、グループワーク、リテリング、リスニングクイズ等	・活動の観察 ・記述の分析 ・小テスト	伝統・文化と私たち(公共)
9	Lesson 6 「Mr. Price Meets Jakuchū」	8	譲歩による論理展開を知り、読み取りを深める 時代を超えた出会いを理解し、説明する	・ペアワーク、グループワーク、リテリング、リスニングクイズ等	・活動の観察 ・記述の分析 ・小テスト	伝統・文化と私たち(公共)
9	Skill 13 「サステナブルなショッピングモール」	1	対比を含む文章構成を理解する	・ペアワーク、グループワーク、リテリング、リスニングクイズ等	・活動の観察 ・記述の分析 ・小テスト	持続可能なライフスタイルと環境(家庭基礎)
9	Lesson 7 「Sustainable Lifestyle of the Edo Period」	8	対比を含む文章構成を理解する 江戸時代のサステナブルな生活を要約する	・ペアワーク、グループワーク、リテリング、リスニングクイズ等	・活動の観察 ・記述の分析 ・小テスト	持続可能なライフスタイルと環境(家庭基礎)
10	Skill 14 「地球温暖化に対する嘘と真実」	1	情報元や真偽を考えながら読む	・ペアワーク、グループワーク、リテリング、リスニングクイズ等	・活動の観察 ・記述の分析 ・小テスト	持続可能な社会づくりの主体となる私たち(公共)
10	Lesson 8 「Why Do We Lie?」	8	情報元や真偽を考えながら読む 嘘をつく原因と社会生活における役割を理解し、説明する	・ペアワーク、グループワーク、リテリング、リスニングクイズ等	・活動の観察 ・記述の分析 ・小テスト	持続可能な社会づくりの主体となる私たち(公共)
10	Skill 15 「動物福祉という観点」	2	理解を促進する例示の仕方を学ぶ	・ペアワーク、グループワーク、リテリング、リスニングクイズ等	・活動の観察 ・記述の分析 ・小テスト	現代社会における権利(公共)
11	Lesson 9 「In Defense of Zoos」	8	例示を活用して意見を述べる 動物園廃止意見に対し、弁護側・反対側の意見をまとめる	・ペアワーク、グループワーク、リテリング、リスニングクイズ等	・活動の観察 ・記述の分析 ・小テスト	現代社会における権利(公共)

11	Skill 16 「水産資源を守る陸上での魚の養殖」	2	情報や説明を加えて効果的に説明する	・ペアワーク、グループワーク、リーディング、リスニングクイズ等	・活動の観察 ・記述の分析 ・小テスト	社会の変化と職業観、雇用と労働問題(公共)
12	Lesson 10 「Eco-friendly Farming of Bluefin Tuna」	8	情報や説明を加えて効果的に説明する 絶滅の危機にあるクロマグロの完全養殖について要約する	・ペアワーク、グループワーク、リーディング、リスニングクイズ等	・活動の観察 ・記述の分析 ・小テスト	社会の変化と職業観、雇用と労働問題(公共)
12	Skill 17/18 「世界種子貯蔵庫」	2	理由・根拠を適切に加えて述べる	・ペアワーク、グループワーク、リーディング、リスニングクイズ等	・活動の観察 ・記述の分析 ・小テスト	人間と幸福(公共)
1	Lesson 11 「A Brief History of Humans」	8	理由・根拠を適切に加えて述べる なぜ人類は地球の支配者となりえたのかを要約する	・ペアワーク、グループワーク、リーディング、リスニングクイズ等	・活動の観察 ・記述の分析 ・小テスト	人間と幸福(公共)

教科の目標	(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようとする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
-------	--

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
論理・表現Ⅲ	2	全日制・普通科・3年次	教科書名: be English Logic and ExpressionⅢ Smart (いいいざな書店)			
CAN-DOリストに基づく 年度末の学習到達目標	<p>R: 英検2級～準1級レベルの初見の文章を、指定時間内にリーディングスキル(概要把握、主題文の特定、支持文把握、パラグラフ展開を意識した情報整理・理解など)を使いながら読んで理解できる。</p> <p>L: 英検2級～準1級レベルの文章を聞いて、概要を理解できる。様々な場面において、多様な英語を必要な情報をメモしながら聞くことができる。共通テストリスニング80点</p> <p>W: 社会問題など与えられたテーマについて、自分の意見を論理的に整理し、ふさわしい語彙や表現、多様な文のパターンを適切に使用して、120語以上で書くことができる。GTEC スコア130～</p> <p>S (Production): 社会的な課題について調べ、英語でプレゼンテーションができる。与えられたテーマについて、自分の意見を理由とその根拠を示しながら言うことができる。</p> <p>S (Interaction): 即興での説得力のある意見発表、質疑応答、反論などができる。英検2～準1級レベルの面接試験の質問に対して、自分の意見を理由とその根拠を示しながら説明することが出来る。</p>					
時期	単元・題材名	指導 時数	単元の目標	主な言語活動等	評価方法	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月 2週 ～ 4週	Lesson 1 The Easiest City to Live in	6	住みやすい街について考える	・住みやすい街に関する文章について、情報を整理し理解する。また、住みやすい街について話したり、文章を書いたりする。 ・動詞の形を意識する。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト	
5月 1週 ～ 3週	Lesson 2 The Value of Libraries	6	図書館の価値について考える	・図書館の役割に関する文章について、情報を整理し理解する。また、図書館の役割について話したり、文章を書いたりする。 ・動詞に続く要素を確認する。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト	
5月 4週 ～ 6月 2週	Lesson 3 Improving Our Town	6	魅力ある町づくりを考える	・町の活性化に関する会話について、情報を整理し理解する。また、街の活性化について話したり、文章を書いたりする。 ・助動詞を使い分ける。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト ・定期試験 ・プレゼンテーション	
6月 3週 ～ 7月 1週	Lesson 4 Free Time	6	時間の過ごし方について考える	・ひとり時間の過ごし方に関する文章について、情報を整理し理解する。また、ひとり時間の過ごし方について話したり、文章を書いたりする。 ・副詞を適切に使う。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト	休養・余暇の過ごし方(保健)
7月 2週 ～ 3週	Lesson 5 New Sports and Entertainment	5	新しいスポーツや娯楽を考える	・新しいスポーツやコンサート様式に関する文章について、情報を整理し理解する。また、新スポーツやコンサート様式について話したり、文章を書いたりする。 ・分詞構文で情報を加える。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト ・定期試験	情報の収集・比較と意思決定(家庭基礎)
9月 1週 ～ 3週	Lesson 6 Enriching Our Lives	6	人生に必要なものについて考える	・体育祭の企画に関する会話について、情報を整理し理解する。また、体育祭の企画について話したり、文章を書いたりする。 ・スピーチ例の構成を確認して、情報を整理し理解する。 ・比較表現を効果的に使う。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト	自己形成の課題(公共)
9月 4週 ～ 10月 2週	Lesson 7 A Common Concern	6	人類共通の課題について考える	・CO2排出問題に関する文章について、情報を整理し理解する。また、それについて話したり、文章を書いたりする。 ・名詞に〈主語+動詞〉を続けて説明を加える。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト ・ディベート	地球環境問題(地理)
10月 3週 ～ 11月 1週	Lesson 8 Maintaining the Ecosystem	6	生態系の維持について考える	・海洋プラスチック汚染に関する文章について、情報を整理し理解する。また、海洋プラスチック汚染について話したり、文章を書いたりする。 ・関係代名詞や分詞を使って名刺に説明を加える。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト ・定期試験	持続可能な社会づくりの主体となる私たち(公共)
11月 2週 ～ 4週	Lesson 9 A Sustainable Lifestyle	6	持続可能なライフスタイルについて考える	・よい未来のために若者が果たす役割に関する文章について、情報を整理し理解する。また、よい未来のために若者が果たす役割について話したり、文章を書いたりする。 ・前置詞を使って名詞に説明を加える。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト	ICT教育(情報)
12月 1週 ～ 3週	Lesson 10 The Evolving Japanese Workforce	6	変わりゆく日本の労働力のあり方を考える	・日本の外国人労働者に関する文章について、情報を整理し理解する。また、日本の外国人労働者について話したり、文章を書いたりする。 ・動詞に不定詞を続ける。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト	社会の変化と職業観、雇用と労働問題(公共)
1月 2週 ～ 4週	Lesson 11 Inside Fairtrade	6	フェアトレードについて考える	・フェアトレードに関する文章について、情報を整理し理解する。また、フェアトレードについて話したり、文章を書いたりする。 ・不定詞の意味上の主語を示す。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト ・定期試験	共生社会(地理歴史、公民、家庭基礎)
2月 ～ 3月	Lesson 12 Volunteering to Help	5	ボランティア活動について考える	・日本のボランティアプログラムに関する文章について、情報を整理し理解する。また、日本のボランティアプログラムについて話したり、文章を書いたりする。 ・不定詞を形容詞や副詞として使う。 ・世界をよりよくするために必要な国際協力について、実際にプレゼンテーションする。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト ・プレゼンテーション	共生社会(地理歴史、公民、家庭基礎)
指導時間数の計		70				

教科の目標	(1)外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
-------	---

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
国際探究	3	全日制・普通科・3年次	CNN comprehensive Trainer (朝日出版社)			
CAN-DOリストに基づく 年度末の学習到達目標		<p>R: 英検2級～準1級レベルの初見の文章を、指定時間内にリーディングスキル(概要把握、主題文の特定、支持文把握、パラグラフ展開を意識した情報整理・理解など)を使いながら読んで理解できる。</p> <p>L: 英検2級～準1級レベルの文章を聞いて、概要を理解できる。様々な場面において、多様な英語を必要な情報をメモしながら聞くことができる。共通テストリスニング80点</p> <p>W: 社会問題など与えられたテーマについて、自分の意見を論理的に整理し、ふさわしい語彙や表現、多様な文のパターンを適切に使用して、120語以上で書くことができる。GTEC スコア130～</p> <p>S (Production): 社会的な課題について調べ、英語でプレゼンテーションができる。与えられたテーマについて、自分の意見を理由とその根拠を示しながら言うことができる。</p> <p>S (Interaction): 即興での説得力のある意見発表、質疑応答、反論などができる。英検2～準1級レベルの面接試験の質問に対して、自分の意見を理由とその根拠を示しながら話すことができる。</p>				
時期	単元・題材名	指導時数	単元の目標	主な言語活動等	評価方法	
4月 2週 ～ 4週	1 Deeply Disturbing [Technology]	9	A Iによる「ディープフェイク動画」の衝撃について扱い、生活をより豊かにする科学技術や倫理について考える力を養う。	・ディープフェイク動画について、JTE、ALTの発言やCDを聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解する。また、トピックについて話し合ったり、自分の考えを書いたり発表したりする。	・定期試験 ・話す、書くを中心言語活動を観察する。 ・プレゼンテーション ・ディスカッション ・ディベート ・インタビューテスト ・ワークシート	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
5月 1週 ～ 3週	2 Vaping's Pitfalls [Health]	9	米国の未成年350万人以上をむしばむ「電子たばこ」依存症について扱い、喫煙の減少や禁煙に対する役割など、健康問題に関して必要な情報を捉える力を養う。	・電子たばこ依存症について、JTE、ALTの発言やCDを聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解する。また、トピックについて話し合ったり、自分の考えを書いたり発表したりする。	・定期試験 ・話す、書くを中心言語活動を観察する。 ・プレゼンテーション ・ディスカッション ・ディベート ・インタビューテスト ・ワークシート	生涯の健康（家庭基礎）
5月 4週 ～ 6月 2週	3 No Age Barrier [Technology]	9	日本初VR技術が可能にする高齢者の仮想世界旅行について扱い、高齢者の健康増進や社会参画、また、家族や友人との交流を提供する科学技術について。必要な情報を捉える力を養う。	・高齢者の仮想世界旅行について、JTE、ALTの発言やCDを聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解する。また、トピックについて話し合ったり、自分の考えを書いたり発表したりする。	・定期試験 ・話す、書くを中心言語活動を観察する。 ・プレゼンテーション ・ディスカッション ・ディベート ・インタビューテスト ・ワークシート	高齢期の健康と自立（家庭基礎）
6月 3週 ～ 7月 1週	4 Labor Pains [Welfare]	8	超大国米国の有給の産休・育休制度がない福祉事情について扱い、よりより社会福祉制度について考える力を養う。	・超大国米国の有給の産休・育休制度がない福祉事情について、JTE、ALTの発言やCDを聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解する。また、トピックについて話し合ったり、自分の考えを書いたり発表したりする。	・定期試験 ・話す、書くを中心言語活動を観察する。 ・プレゼンテーション ・ディスカッション ・ディベート ・インタビューテスト ・ワークシート	社会保障の考え方（家庭基礎）
7月 2週 ～ 3週	5 Giving Currency to History [Social Media]	6	インスタグラムで現代によみがえる「もう一つのアンネの日記」について扱い、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。	・「もう一つのアンネの日記」についてJTE、ALTの発言やCDを聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解する。また、トピックについて話し合ったり、自分の考えを書いたり発表したりする。	・定期試験 ・話す、書くを中心言語活動を観察する。 ・プレゼンテーション ・ディスカッション ・ディベート ・インタビューテスト ・ワークシート	国際社会の平和（歴史）
9月 1週 ～ 3週	6 Suspicious of Technology [Society]	8	香港でのデモ参加者の顔データを収集する「スマート街灯」をめぐる攻防について扱い、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。	・香港のスマート街灯をめぐる攻防について、JTE、ALTの発言やCDを聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解する。また、トピックについて話し合ったり、自分の考えを書いたり発表したりする。	・定期試験 ・話す、書くを中心言語活動を観察する。 ・プレゼンテーション ・ディスカッション ・ディベート ・インタビューテスト ・ワークシート	
9月 4週 ～ 10月 2週	7 Youths demand Their Future [Environmental Activism]	8	気候変動対策を求める英国の子どもたちの「絶滅への反抗デモ」について扱い、地球環境問題への意識啓発とともに、日常的な話題に関して必要な情報を捉える力を養う。	・絶滅への反抗デモについて、JTE、ALTの発言やCDを聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解する。また、トピックについて話し合ったり、自分の考えを書いたり発表したりする。	・定期試験 ・話す、書くを中心言語活動を観察する。 ・プレゼンテーション ・ディスカッション ・ディベート ・インタビューテスト ・ワークシート	地球環境問題（地理）
10月 3週 ～ 11月 1週	8 From the Comfort of Home [Healthcare]	8	ロンドン発、忙しい現代人の健康を救う「待ち時間ゼロAI診察」について扱い、現代医療と科学技術の融合に関して必要な情報を捉える力を養う。	・待ち時間ゼロAI診察について、JTE、ALTの発言やCDを聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解する。また、トピックについて話し合ったり、自分の考えを書いたり発表したりする。	・定期試験 ・話す、書くを中心言語活動を観察する。 ・プレゼンテーション ・ディスカッション ・ディベート ・インタビューテスト ・ワークシート	
11月 2週 ～ 4週	9 Edible Ecofriendliness [Innovation]	8	プラごみ問題の救世主となる南アフリカ「食べられる食器」について扱い、地球環境問題への意識啓発とともに、日常的な話題に関して必要な情報を捉える力を養う。	・食べられる食器について、JTE、ALTの発言やCDを聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解する。また、トピックについて話し合ったり、自分の考えを書いたり発表したりする。	・定期試験 ・話す、書くを中心言語活動を観察する。 ・プレゼンテーション ・ディスカッション ・ディベート ・インタビューテスト ・ワークシート	地球環境問題（地理）

12月 1週 ～ 3週	10 Huge Dilemma [Wildlife Conservation]	8	“ゾウの楽園ボツワナ”政府によるアフリカゾウの狩猟解禁について扱い、野生動物の保護と人間の共存に関して必要な情報を捉える力を養う。	・アフリカゾウの狩猟解禁について、JTE、ALTの発言やCDを聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解する。また、トピックについて話し合ったり、自分の考えを書いたり発表したりする。	・定期試験 ・話す、書くを中心に言語活動を観察する。 ・プレゼンテーション ・ディスカッション ・ディベート ・インタビューテスト ・ワークシート	地球環境問題（地理）	
1月 2週 ～ 4週	11 It really Happened [Disaster Tourism]	9	観光地化するチエルノブイリで過去の教訓を伝えられるかについて扱い、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。	・観光地化するチエルノブイリについて、JTE、ALTの発言やCDを聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解する。また、トピックについて話し合ったり、自分の考えを書いたり発表したりする。	・定期試験 ・話す、書くを中心に言語活動を観察する。 ・プレゼンテーション ・ディスカッション ・ディベート ・インタビューテスト ・ワークシート	国際社会の平和（地歴）	
2月 ～ 3月	12 Parnts' Prerogative [Medical Ethics]	15	延命か治療打ち切りかという医療倫理の難問に揺れる小さなのちについて扱い、医療が抱える問題に関して必要な情報を捉える力を養う。	・医療倫理について、JTE、ALTの発言やCDを聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解する。また、トピックについて話し合ったり、自分の考えを書いたり発表したりする。	・定期試験 ・話す、書くを中心に言語活動を観察する。 ・プレゼンテーション ・ディスカッション ・ディベート ・インタビューテスト ・ワークシート		
指導時間数の計		105					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
家庭基礎	2	全日制・普通科・1年	家庭基礎 つながる暮らし 共に創る未来(教育図書)			
科目的目標	生活の営みに係る見方・考え方を働きかせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協議し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力の育成に努める。					
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動 各教科等横断的な資質・能力 の育成に関わる他教科等との 関連
4月 ~ 5月	生活設計	3	① 知識・技能 生涯発達の視点から各ライフステージの特徴・課題とそれに対応した意思決定の必要性について理解している。 これから的人生で起こりうるライフイベントについて理解している。	ワークシート	オリエンテーション ライフステージについて知る 将来を見通して目標設定と意思決定について考える	現代社会、政治・経済
			② 思考・判断・表現 これからの自分の人生について想像し、まとめたり発表したりすることができる。 自らの目標を想定し、そのために必要なことやリスクについて考えている。 生活設計について自分の考え方と人の考え方を比較して意見を言うことができる。	ワークシート		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 人生で起こりうるライフイベントについて自分の将来と照らし合わせながら主体的に考えようとしている。 生涯発達の視点で各ライフステージごとの発達課題に関心をもち、学習活動に取り組もうとしている。 人生の目標達成のために必要なことや考えられるリスクについて自ら調べようとしている。	ワークシート		
5月 ~ 7月	青年期と家族	7	① 知識・技能 青年期の5つの自立について理解している。 職業の種類や意義について理解している。 現代の家族の特徴について、家族機能の変化や人々の意識の変化などから理解している。 新聞や書籍、インターネットなどを活用したり、身近な知人へのインタビューをしたりすることに	ワークシート 定期考査	青年期とはどのような時期なのかを知る。 職業労働と家事労働の特徴を理解する。 日本の雇用環境を考え、職業観を身に付ける。 男女共同参画社会について考える。 家族・家庭について考える。	現代社会、政治・経済
			② 思考・判断・表現 生涯発達の視点から、青年期をどのように過ごすかについて具体的に考え、意見をまとめたり、発表したりすることができる。 ワーク・ライフ・バランスの視点から、職業労働のあり方について考え、意見をまとめることができる。	ワークシート		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 家族・家庭と社会との関わりに関心をもち、男女が協力して家庭を築くという視点から学習活動に取り組もうとしている。 さまざまな家族の形や性のあり方について、理解しようとしている。 青年期の課題や家族・家庭についての学習を自分の問題として捉えようとしている。	ワークシート レポート		
8月 ~ 9月	衣生活	15	① 知識・技能 被服の機能や衣服が健康に与える影響について理解している。 平面構成と立体構成の特徴を理解している。 ライフステージや目的に応じた衣服について理解している。 被服の管理について理解している。	ワークシート 定期考査 被服実習	衣服の機能について理解する。 衣服の素材について理解する。 衣服の表示、衣服の手入れや管理について理解し、日常生活での活用について考える。 衣生活と環境問題について考える。 被服製作をとおして基礎的な技術を身に付ける。	地理、化学
			② 思考・判断・表現 衣生活と環境問題について、新聞、インターネットなどを通じて資料を収集し、まとめることができる。	ワークシート		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 衣服の機能や安全性、環境への配慮などの知識を生かして、自分の衣生活を改善しようとしている。	ワークシート		
10月 ~11 月	食生活	15	① 知識・技能 生活の課題を見つけて、その改善方法を考え、調査したり実践したりすることができる。	レポート	生活の課題を見つけて、改善方法を考え、実践する。 実践したことスライドにまとめて発表する。	スライドにまとめて発表する。
			② 思考・判断・表現 実践したことスライドにまとめ、発表する。	レポート 発表		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 実践を振り返り、さらなる学習へつなげることができる。	レポート 発表		
			① 知識・技能 栄養素の特徴と、それを多く含む食品について理解している。 日常食の調理について、栄養バランスのよい献立作成、調理について理解している。 安全で衛生的な調理方法を理解し、基礎的な技術を身に付ける。 安全性やエネルギーに配慮した食品の購入や保存ができる。	調理実習 定期考査	食事と健康のかかわりや、食事の役割を理解する。 栄養素の種類と特徴、主な食品について理解する。 食事摂取基準を理解し、各栄養素の必要量を満たす献立を考える。 調理の基礎的な技術を身につけ、安全や衛生面に配慮した調理をする。 現代の食生活の問題や課題について理解し、改善方法を具体的に考える。	グループで話し合い、効率的な調理を考える。
			② 思考・判断・表現 食品の表示を理解し、購入時の判断材料とすることができる。 食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすを活用し、献立を考え、作成することができる。 自給率の低下など現在の食生活の問題について深く考えている。	ワークシート 献立作成シート		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 様々な人々と協議し、よりよい社会の構築に向けて、高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図り、実践しようとしている。	ワークシート		

12月	保育	6	<p>① 知識・技能 子どもの心身の特徴や発達を理解している。 子どもを取り巻く環境整備と社会全体で子育てを支援する必要性を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 親の役割や子どもを生み育てることの意義について考え、まとめたり、発表したりすることができる。 現代の子どもを取り巻く環境の変化や課題についてまとめたことができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 保育における親や社会の果たす役割について考えようとしている。 自分が将来、保育に関わる存在であることを理解し、自分ごととして学習に取り組んでいる。</p>	ワークシート 定期考査	<p>子どもの心身の発達を理解する。 親の役割や子どもを生み育てることの意義を考える。 社会全体で子育てを支援し、環境を整備することの重要性を理解する。</p>	自分の考えをまとめ、発表する。	保健、現代社会
1月	消費生活	6	<p>① 知識・技能 さまざまな契約のしくみや、未成年と成年の法律上の違いについて理解している。 消費者問題の原因と被害に遭わないための対策について理解している。 契約や消費者信用、多重債務などの問題について具体的に認識し、消費者として適切な判断ができる</p> <p>② 思考・判断・表現 消費者問題について考え、今後の課題と解決方法について発表したり、意見交換したりすることができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 自分の意思で契約できる「おとな」としての権利と責任や消費者問題について、自分ごととして捉えようとしている。</p>	ワークシート	<p>18歳で成年となることについて自覚をもち、契約について理解する。 消費者トラブルについて理解し、対策を考える。 さまざまな支払方法を知り、自分にあった利用方法を考える。</p>	グループで話し合い、トラブルを防止する方法を考える。	公共、政治経済、現代社会
2月	高齢者/共生社会	5	<p>① 知識・技能 高齢者の心身の特徴について理解している。 我が国の高齢化の特徴を知り、高齢者の生活を支える制度や地域社会のしくみについて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 高齢化が進む現状や高齢者を取り巻く社会について知り、その課題と改善についてインターネットなどを活用して調査したり発表したりすることができる。 祖父母や身近な高齢者から生きがいや健康問題などの現状を聞き取り、まとめたことを発表することができる。 高齢者の自立した生活を支えるために、家族・地域・社会の役割を具体的に考察することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 様々な人々と協議し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図り、実践しようとしている。</p>	ワークシート	<p>高齢期の心身の特徴を理解する。 高齢者を支える地域の役割を考える。 社会保障制度など高齢者を支える仕組みを知る。</p>	高齢者とのかかわりについて話し合う。	地理、現代社会
3月	住生活	5	<p>① 知識・技能 安全で快適な住生活を送るための知識を身に付け、環境にも配慮した住生活について理解している。 住居の平面図を読みとり、住生活の設計に必要な情報を収集・整理し、計画をたてることができる</p> <p>② 思考・判断・表現 安全で健康的な住まいについて考えることができる。 動線を考えて平面図を作成することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 住まいの役割について自身の生活を振り返りながら考えようとしている。 住居の安全性や防災の知識を生かして、家庭生活において具体的な行動に移すことができる。</p>	ワークシート 平面計画シート	<p>住まいの機能について理解する。 平面図を理解し、動線を考えた平面計画を作成する。 災害への備えや家庭内事故の予防方法を考える。</p>	グループで話し合い、防災への意識を高める。	地理、保健
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
フードデザイン	2	全日制・普通科・3学年	フードデザインFood Changes LIFE (教育図書)				
科目的目標		家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働きかせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食生活を総合的にデザインするとともに食育を推進し、食生活の充実向上を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2)食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3)食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。					
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	
4月 2週 ～ 5月 1週	(1) 健康と食生活 ア 食事の意義と役割 イ 食生活の現状と課題	8	① 知識・技能 食事の意義と役割について理解するとともに、食習慣、栄養状態、食料事情、食の安全と環境との関わりなどの視点で、我が国の食生活の現状と課題を把握し、関連する情報を収集・整理することができる。 ② 思考・判断・表現 健康な食生活の在り方に関する課題を発見し、その解決に向けて望ましい食習慣の形成や環境に配慮した食生活の工夫などについて考察することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 健康と食生活について自ら学び、食生活を総合的にデザインするため主体的かつ協働的に取り組むことができる。	定期考査 レポート ワークシート ワークシート	教科書や映像資料から、食事の意義と役割を知る。 食生活の現状と課題について教科書で学習した後、各自でテーマを一つ取り上げ、情報を収集し、レポートにまとめれる。	グループ内で発表	保健
5月 2週 ～ 11月 4週	(2)フードデザインの構成要素 ア 栄養 イ 食品 ウ 料理形式と献立 エ 調理 オ テーブルコーディネート	35	① 知識・技能 食生活を総合的に計画・実践できるようにするために、栄養、食品、料理様式と献立、調理、テーブルコーディネートなどのフードデザインの構成要素について理解し、関連する技術を身に付ける。 ② 思考・判断・表現 フードデザインの構成要素について課題を発見し、その解決に向けてより豊かな食生活について考察し、工夫することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 フードデザインの構成要素について自ら学び、食生活を総合的にデザインするため主体的かつ協働的に取り組むことができる。	実技試験 定期考査 発表・スライド 行動観察 ワークシート	栄養と食品について教科書で学習する。 調理実習や、実技試験で調理の基本的な技術を身に付ける。 グループごとにテーマを決め、スライドを作り、発表をする。	スライドを使った発表 グループでの話し合い	保健
11月 5週 ～ 12月 3週	(3) フードデザイン実習 ア 食事テーマの設定と献立作成 イ 食品の選択と調理 ウ テーブルコーディネートとサービスの実習	15	① 知識・技能 食事のテーマに応じた献立作成、食材の選択と調理、テーブルコーディネートと各料理のサービス方法について、基本的な考え方や方法を理解し関連する技術を身に付ける。 ② 思考・判断・表現 食事計画についての課題を発見し、その解決に向けて考察し、表現することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 フードデザイン実習について自ら学び、食生活を総合的にデザインするため主体的かつ協働的に取り組むことができる。	定期考査 定期考査 ワークシート ワークシート	食事のテーマに応じた献立作成をする。 食事計画についての課題を発見し、解決方法を考察する。	グループでの話し合い	
1月 2週 ～ 1月 5週	(4) 食育と食育推進活動 ア 食育の意義 イ 家庭や地域における食育推進活動	12	① 知識・技能 食育を推進することの重要性を理解し、家庭や学校及び地域で食育推進活動を推進するための関連する技術を身に付ける。 ② 思考・判断・表現 家庭や学校及び地域における食育の推進について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 食育と食育推進活動について自ら学び、家庭や社会の人々の健康の保持増進と健全な食生活の実現を図るために食育の推進に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	ワークシート レポート ワークシート	食育と食育推進活動について調べ、課題を設定し、解決方法を考察し、レポートにまとめる。	グループ内の発表	
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年		使用教科書名(出版社)			
情報 I	2	2年次		高校情報 I python (実教出版)			
科目の目標		情報に関する科学的な見方・考え方を働きかせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 (2) 様々な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。					
時期	単元・題材名	指導時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月	第1章 情報社会	6	<p>① 知識・技能 ・情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けること。 ・情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解すること。 ・情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解すること。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えること。 ・情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考察すること。 ・情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察すること。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・授業内容を理解しようとしている。</p>	<p>・一斉試験 ・小テスト</p> <p>・一斉試験 ・小テスト</p> <p>・授業態度</p>	<p>・解説を聞き、プリントで演習</p>	<p>・個人情報や著作権などについて話し合う</p>	公共 ・自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち
5月	第2章 情報デザイン	6	<p>① 知識・技能 ・メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解すること。 ・情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解すること。 ・効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付けること。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・メディアとコミュニケーション手段の関係を科学的に捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択すること。 ・コミュニケーションの目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインを考えること。 ・効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し、評価し改善すること。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・授業内容を理解しようとしている。</p>	<p>・一斉試験 ・小テスト</p> <p>・一斉試験 ・小テスト</p> <p>・授業態度</p>	<p>・解説を聞く ・パソコンでの演習</p>		美術 I ・デザイン ・情報メディアデザイン
6月 ～ 7月	第3章 デジタル	12	<p>① 知識・技能 ・コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解すること。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察すること。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・授業内容を理解しようとしている。</p>	<p>・一斉試験 ・小テスト</p> <p>・一斉試験 ・小テスト</p> <p>・授業態度</p>	<p>・解説を聞く ・パソコンでの演習</p>		数学 A 数学と人間の活動 (n進法)
9月 ～ 10月 中	第4章 ネットワーク	12	<p>① 知識・技能 ・情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解すること。 ・データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴について理解すること。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに、情報セキュリティを確保する方法について考えること。 ・情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考えること。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・授業内容を理解しようとしている。</p>	<p>・一斉試験 ・小テスト</p> <p>・一斉試験 ・小テスト</p> <p>・授業態度</p>	<p>・解説を聞く ・パソコンでの演習</p>		
10月 下 ～ 11月 上	第5章 問題解決	6	<p>① 知識・技能 ・社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解すること。 ・データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付けること。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに、その結果を踏まえて問題の適切な解決方法を考えること。 ・データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善すること。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・授業内容を理解しようとしている。</p>	<p>・一斉試験 ・小テスト</p> <p>・一斉試験 ・小テスト</p> <p>・授業態度</p>	<p>・解説を聞く ・パソコンでの演習</p>	<p>・問題の解決方法について話し合う</p>	数学 I データの分析 数学 B 統計的な推測
11月 中 ～ 12月	第6章 プログラミング	12	<p>① 知識・技能 ・アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付けること。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・目的に応じたアルゴリズムやシミュレーションを適切に行うとともに、その結果を踏まえて問題の適切な解決方法を考えること。 ・データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善すること。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・授業内容を理解しようとしている。</p>	<p>・一斉試験 ・小テスト</p> <p>・一斉試験 ・小テスト</p> <p>・授業態度</p>	<p>・解説を聞く ・パソコンでの演習</p>		
1月 ～ 3月	問題演習	16	<p>① 知識・技能 ・基本的な問題が解ける。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・応用力の必要な問題が解ける。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・問題を解き、解説を聞いて理解しようとする。</p>	<p>・問題集 ・模擬試験</p> <p>・問題集 ・模擬試験</p> <p>・問題集 ・模擬試験</p>	<p>・問題を解き、解説を聞く</p>		
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
情報 I	2	3年次:人文社会学類型(文系2)	高校情報 I python (実教出版)			
科目的目標		情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。				
時期	単元・題材名	指導時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動
4月 ～ 6月中	情報デザイン1	14	① 知識・技能 ・Word、PowerPoint の基本的な使い方を理解している。 ② 思考・判断・表現 ・情報デザインを意識した作品が作れる。 ・PowerPoint を用いてプレゼンテーションが行える。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・Word、PowerPoint を用いて作品を作る。	作品を評価する 作品及びプレゼンテーションを評価する 授業態度 作品の制作状況	Word、PowerPoint の基本的な使い方及び情報デザインについての講義を聞く。 情報デザインを意識して、Word、PowerPoint を用いて作品を作る。	PowerPoint を用いてプレゼンテーションを行う。
6月下旬 ～ 9月	情報デザイン2	12	① 知識・技能 ・HTML、CSS について理解している。 ② 思考・判断・表現 ・Webページを作成できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・Webページを作成する。	ワークシートを使った実習結果 Webページの出来 作品の制作状況	HTML、CSS について、復習の講義を聞く。 課題についての Webページ を作る。	Webページの発表
10月 ～ 11月	問題解決	12	① 知識・技能 ・Excel の関数を用いることができる。 ・Excel でグラフを作成することができる。 ② 思考・判断・表現 ・Excel の関数を用いて、データが分析できる。 ・Excel で適切なグラフを選んで作成することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・課題に取り組んでいるか。	ワークシートを使った実習結果 分析結果のレポート 課題に対する取り組み状況	Excel の関数の使い方、グラフの作成方法について講義を聞く。 課題についての Excel による分析を行いレポートを作成する。	レポートの発表
12月 ～ 1月	プログラミング	10	① 知識・技能 ・Excel のVBAで簡単なプログラムを作れる。 ・作ったプログラムを実行できる。 ② 思考・判断・表現 ・状況に合わせてプログラムを作成することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・プログラムを作成しようとしているか。	ワークシートを使った実習結果 課題に対するプログラム 課題に対する取り組み状況	講義を聞いて、VBAの使い方を理解する。 課題に合わせたプログラムを作る。	グループで話し合ってプログラムを完成する
指導時間数の計		50				